

中國第一歷史檔案館編

光緒朝上諭檔

第一四冊（光緒一四年）

廣西師範大學出版社

第一四冊

《光緒朝上諭檔》編輯委員會

主任：徐藝圃 副主任：秦國經

委員（按姓氏筆畫為序）：牛平漢 李國榮 徐藝圃

秦國經 陳鏘儀 葉志如 趙雄 盧經

總主編：葉志如 陳鏘儀 趙雄 牛平漢

本冊主編：陳鏘儀

本冊編輯：江珊

凡 例

一、本書所輯為中國第一歷史檔案館所藏清代光緒朝上諭檔，一年一冊，按原檔影印編輯出版。

二、本書所輯上諭檔基本維持檔案形成的月日順序，以諭旨頒發先後為序，依次編排，一般調整祇在同日檔案文件之中進行。

三、本書對原檔諭旨時間的處理原則：（一）凡原檔標明頒發諭旨時間者，以頒發時間為序編排；（二）凡未標明時間或時間有誤之諭旨，均進行必要的考證查出；（三）個別無法查考時間之諭旨，採用此前一件之時間。第（二）（三）項均在『校勘表』中註明。

四、本書對各類非諭旨性文件，不作時間考證。

五、本書對此類文件作了考證調整：原檔同日內之文件（包括奏摺、奏片、交片、咨文、名單、清單及所錄本日以前諭旨等），凡內容上有內在關係，但按原排列順序卻被相互隔離開的，經考證調整到一起。調整後諭旨在前，所屬附件在後。同一諭旨有兩件以上附件者，按其原有先後順序排列。另，對原檔冊中存在的錯序、錯位、錯頁者，亦分別糾正和調整。凡調整件，均於『校勘表』註明。

六、本書對原檔考證調整的主要依據，是我館所藏清代當時形成的

『隨手登記檔』。

七、本書對同日内奏報的秋審朝審名單等附件，均視為單一件，依照原有順序歸併於同日相關諭旨之後，編一個文件順序號。

八、本書對於原檔中天頭處出現的『硃』、『硃圈』及諭旨左下方的『吏部摺』、『禮部片』、『摘鈔交總理衙門』、『×月×日』等字樣，以及諭旨行文中間改動添加的各種字樣，均一律保留。

九、本書對原檔上後人打印的阿拉伯頁碼號、原檔夾縫處原標的漢字頁碼號、原檔天頭處所附的紙籤簽、地角處所圈劃的符號，在編輯過程中一律刪除。

十、本書對於原檔中存在的錯字、衍字、簡化字、異體字、古體字等，均不作改動和糾正。

十一、本書將編者經過調整、校勘、考證的結果，以『校勘表』形式說明之。『校勘表』自右往左豎寫，各著錄項自上而下依次登記：順序號、頁碼號、原檔頁碼號、校勘內容。校勘內容和使用符號：（一）無時間（或時間有誤）之諭旨，標明據『隨手登記檔』查到的時間；（二）某件諭旨時間暫未查出，標用此前一件之時間，以『*』標明；（三）凡經過調整順序的文件，一律註明『調整』字樣；（四）檔案原件殘破缺損者，均註『殘缺』；（五）墨迹霉變污染遮蓋一個字以上者，註明『污跡』字樣，並將所能辨識者的文字標出。

十二、本書所有文件統一編號，各冊序號獨立。

光緒朝上諭檔 第一四冊 校勘表

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
十六	一〇	五三	調整
十七	一一	五五	調整
四十	一七	一〇七	調整
六一	五二	二四一	調整
八九	六二	三三三	調整
一一八	七五	一〇三	調整
一一一	八〇	一二九	* 二月十五日
一一二	八〇	一三三	調整
一三三	八〇	一三一	* 二月十五日
一四四	八二	一七三	調整
一五〇	八三	一六五	* 二月十九日
一五二	八三	一六九	* 二月十九日
一七三	八八	二一三	* 二月二十七日
一九五	九六	三七	調整
一九六	九六	三九	調整

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
二〇〇	九八	五五	調整
二一〇	九九	六五	* 三月十一日
二二六	一〇〇	八三	調整
二二七	一〇〇	八五	調整
二三四	一〇五	一二一	調整
二五四	一〇九	一六三	調整
二八〇	一一六	二一七	調整
二八一	一一六	二一九	調整
二八四	一一七	二一五	調整
二九〇	一一九	二五	調整
二九四	一二〇	一三	* 四月初二日
二九五	一二〇	一五	* 四月初二日
二九六	一二〇	一七	* 四月初二日
二九七	一二〇	一九	* 四月初二日
三三三	一三〇	九五	* 四月十三日

序 號	頁 碼	原 檔 頁 碼	校 勘 內 容
三六三	一四一	一六五	調整
三六四	一四一	一六七	調整
三六八	一四二	一八一	調整
三七九	一四五	一九九	調整
三八七	一四七	二一一	調整
三九四	一四九	二三一	調整
三九五	一四九	二三三	調整
四二六	一五八	四三三	* 五月初八日
四三六	一六一	七一	調整
四六八	一六九	一三七	調整
四七四	一七一	一四九	調整
四七六	一七一	一五一	調整
四九六	一七六	一七	* 六月初三日
五一六	一八三	六五	調整
五二一	一八四	七九	調整
五二九	一八七	一〇七	調整
五三〇	一八八	一〇九	調整
五四一	一九〇	一一七	調整
五四二	一九〇	一一九	調整

序 號	頁 碼	原 檔 頁 碼	校 勘 內 容
五六一	一九五	一五五	* 六月十九日
五六九	一九六	一七一	* 六月二十二日
五七〇	一九七	一七三	* 六月二十二日
五七一	一九七	一七五	* 六月二十二日
五七二	一九七	一七七	* 六月二十二日
五八六	二〇〇	一七	調整
五八七	二〇〇	一九	調整
五八九	二〇一	二一	調整
五九〇	二〇一	二三	調整
五九七	二〇三	三一	調整
六一七	二一〇	一〇一	調整
六二〇	二一〇	九九	調整
六二二	二一一	七三	調整
六二三	二一一	八三	調整
六二四	二一二	八五	調整
六二五	二二三	八七	調整
六二六	二二三	九五	調整
六四三	二二八	一二五	* 七月十四日
六四四	二二八	一二七	* 七月十四日

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
六六〇	二二二二	一六七	調整
六七八	二二二六	一九七	調整
六七九	二二二六	一九九	調整
六八〇	二二二七	二〇一	調整
六八一	二二二七	二〇三	調整
六八二	二二二八	二〇五	調整
六八三	二二二九	二〇九	調整
六九七	二二三三	二三九	* 七月二十七日
七〇二	二二三五	一三	調整
七〇六	二二三六	一五	調整
七一二	二三八八	六九	調整
七二三	二三八八	七一	調整
七二五	二三三九	六五	調整
七二六	二三三九	六七	調整
七二八	二三三九	七三	調整
七二九	二四一	四九	* 八月初二日
七三三	二四二	五七	* 八月初二日
七四一	二四三	八七	調整
七五〇	二四六	一四七	調整

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
七五一	二四六	一四九	調整
七五三	二四六	一三一	調整
七五四	二四六	一三三	調整
七五七	二四七	一三五	調整
七五八	二四七	一三七	調整
七六〇	二四七	一三九	調整
七六一	二四八	一四一	調整
七六三	二四八	一四三	調整
七六四	二四八	一四五	調整
七六五	二四八	一一九	調整
七六六	二四九	一一一	調整
七六七	二四九	一一三	調整
七六八	二四九	一二五	調整
七六九	二五〇	一二九	調整
七七二	二五一	一一五	* 八月初七日
七八二	二五四	一七五	調整
七九〇	二五六	二〇一	調整
七九四	二五七	一九一	* 八月十三日
七九六	二五七	一九五	* 八月十三日

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
八二七	二六四	二六一	* 八月二十五日
八二八	二六四	二六三	* 八月二十五日
八五一	二七〇	七	調整
八五二	二七〇	九	調整
八五三	二七〇	一一	調整
八五四	二七〇	一一	調整
八五五	二七一	一三	調整
八六七	二七一	一七	調整
八六九	二七四	四七	調整
八七一	二七四	四九	調整
八七三	二七五	五一	調整
八七五	二七五	五三	調整
八八四	二七六	五五	調整
八八九	二七九	八七	調整
九〇〇	二八〇	八一	* 九月初九日
九〇四	二八三	一一	調整
九二四	二八四	一一	調整
九三一	三〇三	一一	調整
	三〇四	二二三	* 九月二十日

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
九三七	三〇五	二三七	調整(本件內調原檔裝錯的(二四三頁))
九四三	三二四	二八一	調整
九五五	三二七	三一一	調整
九五六	三二七	三一一	調整
九五七	三二八	三一一	調整
九八三	三二八	三三五	調整
九八四	三二七	二五	調整
九九五	三二八	二七	調整
九九八	三三一	四三	調整
一〇一六	三三二	四五	調整
一〇一七	三三七	八三	調整
一〇二七	三三七	八五	調整
一〇三二	三四〇	九九	* 十月十五日
一〇三六	三四〇	一三五	調整
一〇三七	三四一	一二九	調整
一〇四五	三四一	一三一	調整
一〇四六	三四七	一五一	調整
一〇五〇	三四七	一四五	* 十月十七日
	三四八	一六一	調整

序號	頁碼	原權頁碼	校勘內容
一〇五一	三四八	一六三	調整
一〇五八	三五〇	一七一	* 十月十九日
一〇五九	三五〇	一七三	* 十月十九日
一〇六五	三五二	一八五	* 十月二十二日
一一〇七	三六九	二九九	調整
一一〇八	三六九	三〇一	調整
一一一一	三七〇	二九五	* 十月二十九日
一一二六	三七七	四五	調整
一一四〇	三八〇	六三	* 十一月初六日
一一四一	三八〇	六五	* 十一月初六日
一一四二	三八一	六七	原權如此。(山東秋審常犯後第二十三起案應調插至直隸第十六起案之後。)
一一四五	三八七	九五	* 十一月初八日
一一五四	三九一	一二七	調整
一一六九	四〇〇	一七三	調整
一一七〇	四〇〇	一七五	調整
一一七一	四〇一	一七七	調整
一一七三	四〇一	一六九	調整

序號	頁碼	原權頁碼	校勘內容
一一七四	四〇一	一七一	調整
一一八二	四〇三	二〇三	調整
一一八三	四〇四	二〇五	調整
一一九九	四一一	二三七	調整
一二〇八	四一三	二六三	調整
一二一六	四一四	二六五	* 十一月二十三日
一二一七	四一五	二六七	* 十一月二十三日
一二一八	四一五	二六九	* 十一月二十三日
一二二〇	四一五	二七三	* 十一月二十三日
一二二二	四一五	二七七	* 十一月二十三日
一二二三	四一五	二七九	* 十一月二十三日
一二三一	四一七	二九七	* 十一月二十六日
一二三二	四一七	二九九	* 十一月二十六日
一二五六	四三三	三七五	* 十一月三十日
一二六二	四三五	九	* 十二月初二日
一二七一	四四一	三九	調整
一二七六	四四四	五三	* 十二月初六日
一二七七	四四四	五五	* 十二月初六日
一二七八	四四四	五七	* 十二月初六日

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
一二八八	四四七	一〇五	調整
一二九〇	四四七	一〇九	調整
一二九六	四四八	八九	* 十二月初八日
一二九七	四四八	九一	* 十二月初八日
一二九八	四四八	九三	* 十二月初八日
一二九九	四四八	九五	* 十二月初八日
一三一六	四五三	一三五	* 十二月初十日
一三一七	四五三	一三七	* 十二月初十日
一三一八	四五三	一三九	* 十二月初十日
一三一九	四五三	一四一	* 十二月初十日
一三二〇	四五四	一四三	* 十二月初十日
一三二九	四五五	一七三	調整
一三三〇	四五六	一七五	調整
一三三三	四五七	一七一	調整
一三四〇	四五八	一八三	* 十二月十四日
一三五五	四六五	二三九	調整
一三五八	四六七	二三七	調整
一三六一	四六七	二三一	* 十二月十七日
一三七五	四七一	二六三	* 十二月二十日

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
一三八六	四七三	二九五	調整
一三八七	四七三	二九七	調整
一三九〇	四七四	二八九	* 十二月二十二日
一三九二	四七四	二九九	調整
一三九五	四七六	三二一	調整
一三九六	四七六	三二三	調整
一三九九	四七七	三二五	調整
一四〇八	四八〇	三四五	調整
一四一七	四八三	三七五	調整
一四一八	四八三	三七七	調整
一四二二	四八八	三八一	調整
一四二三	四八八	三八三	調整
一四二四	四八九	三八五	調整
一四二五	四九二	三九七	調整
一四二六	五〇二	四三一	調整
一四二七	五〇七	四四七	調整
一四二八	五〇八	四五一	調整
一四五〇	五二三	五二三	調整
一四五一	五二四	五二五	調整
一四六一	五二八	五四三	殘缺

光緒朝上諭檔 第一四冊 目錄

光緒十四年(戊子 公元一八八八年)

正月	
初二日	(一)
初四日	(一)
初七日	(五)
初八日	(八)
初九日	(一〇)
初十日	(一〇)
十一日	(一〇)
十二日	(一一)
十三日	(一一)
十四日	(一二)
十五日	(一二)
十六日	(一三)
十七日	(一四)
十八日	(一五)
十九日	(一六)

二月	
初一日	(一七)
初二日	(一九)
初三日	(二〇)
初四日	(二〇)
二十日	(五二)
二十一日	(五四)
二十二日	(五四)
二十三日	(五四)
二十四日	(五五)
二十五日	(五五)
二十六日	(五六)
二十七日	(五六)
二十八日	(五六)
二十九日	(五六)
三十日	(五六)

初五日	(六八)
初六日	(七〇)
初七日	(七〇)
初八日	(七一)
初九日	(七三)
初十日	(七四)
十一日	(七五)
十二日	(七六)
十三日	(七八)
十四日	(七九)
十五日	(七九)
十六日	(八〇)
十七日	(八一)
十八日	(八二)
十九日	(八二)
二十日	(八四)
二十一日	(八四)
二十二日	(八六)
二十三日	(八六)
二十四日	(八七)
二十五日	(八七)
二十六日	(八八)
二十七日	(八八)
二十八日	(八九)

二十九日	(八九)
三 月		
初一日	(九一)
初二日	(九一)
初三日	(九二)
初四日	(九三)
初五日	(九四)
初六日	(九四)
初七日	(九五)
初八日	(九五)
初九日	(九七)
初十日	(九七)
十一日	(九八)
十二日	(一〇〇)
十三日	(一〇二)
十四日	(一〇二)
十五日	(一〇三)
十六日	(一〇四)
十七日	(一〇四)
十八日	(一〇六)
十九日	(一〇六)

四月

二十日	(一〇八)
二十一日	(一〇九)
二十二日	(一〇九)
二十三日	(一一〇)
二十五日	(一一一)
二十六日	(一一三)
二十七日	(一一四)
二十八日	(一一五)
二十九日	(一一五)
三十日	(一一八)
初一日	(一一九)
初二日	(一一九)
初三日	(一二一)
初四日	(一二一)
初五日	(一二二)
初六日	(一二三)
初七日	(一二四)
初八日	(一二五)
初九日	(一二八)
初十日	(一二九)
十一日	(一三〇)

五月

十二日	(一三〇)
十三日	(一三〇)
十四日	(一三一)
十五日	(一三一)
十六日	(一三四)
十七日	(一三五)
十八日	(一三九)
十九日	(一三九)
二十日	(一四〇)
二十一日	(一四二)
二十二日	(一四四)
二十三日	(一四五)
二十四日	(一四五)
二十五日	(一四六)
二十六日	(一四七)
二十七日	(一四七)
二十八日	(一四八)
二十九日	(一五一)
三十日	(一五一)
初一日	(一五三)
初二日	(一五三)

初三日	(一五四)
初四日	(一五五)
初五日	(一五六)
初六日	(一五六)
初七日	(一五六)
初八日	(一五七)
初九日	(一五九)
初十日	(一六〇)
十一日	(一六一)
十二日	(一六一)
十三日	(一六二)
十四日	(一六三)
十五日	(一六四)
十六日	(一六五)
十七日	(一六六)
十九日	(一六六)
二十日	(一六七)
二十一日	(一六八)
二十二日	(一六八)
二十三日	(一六九)
二十四日	(一七一)
二十五日	(一七二)
二十六日	(一七三)
二十七日	(一七三)

六月

二十八日	(一七三)
二十九日	(一七四)
初一日	(一七五)
初二日	(一七五)
初三日	(一七六)
初四日	(一七七)
初五日	(一七七)
初六日	(一七八)
初七日	(一七九)
初八日	(一七九)
初九日	(一八一)
初十日	(一八一)
十一日	(一八二)
十二日	(一八三)
十四日	(一八七)
十五日	(一九〇)
十六日	(一九一)
十七日	(一九二)
十八日	(一九三)
十九日	(一九三)
二十一日	(一九五)

七月

二十二日	(一九六)
二十三日	(一九七)
二十四日	(一九七)
二十六日	(一九八)
二十七日	(一九八)
三十日	(一九九)
初一日	(二〇〇)
初二日	(二〇〇)
初三日	(二〇二)
初四日	(二〇三)
初五日	(二〇五)
初七日	(二〇五)
初八日	(二〇七)
初九日	(二〇九)
初十日	(二〇九)
十一日	(二一五)
十二日	(二一五)
十三日	(二一六)
十四日	(二一六)
十五日	(二一九)
十六日	(二一九)

八月

十七日	(二二一)
十八日	(二二一)
十九日	(二二二)
二十日	(二二三)
二十一日	(二二三)
二十二日	(二二四)
二十三日	(二二四)
二十四日	(二二五)
二十五日	(二二五)
二十六日	(二三〇)
二十七日	(二三二)
二十八日	(二三三)
二十九日	(二三三)
初一日	(二三五)
初二日	(二三八)
初三日	(二四二)
初四日	(二四三)
初五日	(二四四)
初六日	(二四四)
初七日	(二四五)
初八日	(二五一)

初九日	(二五三)
初十日	(二五四)
十二日	(二五五)
十三日	(二五六)
十四日	(二五七)
十五日	(二五八)
十六日	(二五八)
十七日	(二五八)
十八日	(二五九)
十九日	(二六〇)
二十一日	(二六〇)
二十二日	(二六一)
二十三日	(二六一)
二十四日	(二六二)
二十五日	(二六三)
二十六日	(二六五)
二十七日	(二六七)
二十八日	(二六八)
二十九日	(二六九)
初一日	(二七〇)
初二日	(二七二)

初三日	(二七三)
初四日	(二七三)
初五日	(二七三)
初六日	(二七四)
初七日	(二七七)
初八日	(二七七)
初九日	(二七九)
初十日	(二八〇)
十二日	(二八一)
十三日	(二八二)
十四日	(二八四)
十六日	(二八五)
十七日	(二八六)
十八日	(二八六)
十九日	(二九四)
二十日	(三〇一)
二十一日	(三一二)
二十二日	(三一三)
二十三日	(三一三)
二十四日	(三一四)
二十五日	(三一四)
二十六日	(三一六)
二十七日	(三二〇)
二十八日	(三二四)
二十九日	(三二五)

十月

三十日	(三二六)
初一日	(三二七)
初二日	(三二七)
初三日	(三三〇)
初四日	(三三三)
初五日	(三三四)
初六日	(三三四)
初七日	(三三五)
初八日	(三三五)
初九日	(三三六)
十一日	(三三七)
十二日	(三三七)
十四日	(三三八)
十五日	(三三九)
十六日	(三四〇)
十七日	(三四六)
十八日	(三四八)
十九日	(三五〇)
二十日	(三五一)
二十一日	(三五一)
二十二日	(三五二)

十一月

二十三日	(三六四)
二十五日	(三六五)
二十六日	(三六六)
二十七日	(三六六)
二十八日	(三六八)
二十九日	(三六八)
初一日	(三七二)
初二日	(三七二)
初三日	(三七二)
初四日	(三七七)
初五日	(三七七)
初六日	(三七九)
初八日	(三八七)
初九日	(三九一)
初十日	(三九二)
十一日	(三九九)
十二日	(四〇二)
十三日	(四〇二)
十四日	(四〇三)
十五日	(四〇三)
十六日	(四〇七)

十二月

初一日	(四三五)
初二日	(四三五)
初三日	(四三六)
初四日	(四四〇)
初五日	(四四一)
初六日	(四四一)
初七日	(四四五)
初八日	(四四六)
十七日	(四〇七)
十九日	(四〇八)
二十日	(四〇八)
二十一日	(四一二)
二十二日	(四一二)
二十三日	(四一三)
二十四日	(四一五)
二十五日	(四一七)
二十六日	(四一七)
二十七日	(四一八)
二十八日	(四二〇)
二十九日	(四二九)
三十日	(四三二)

初九日	(四五二)
初十日	(四五二)
十一日	(四五四)
十二日	(四五五)
十三日	(四五七)
十四日	(四五八)
十五日	(四五九)
十六日	(四六三)
十七日	(四六四)
十八日	(四六八)
十九日	(四六九)
二十日	(四七〇)
二十一日	(四七二)
二十二日	(四七三)
二十三日	(四七六)
二十四日	(四七九)
二十五日	(四八三)
二十六日	(五一〇)
二十七日	(五一八)
二十八日	(五一八)
二十九日	(五二二)

光緒十四年正月初二日內閣奉

上諭上年順直各州縣被災地方業經分別蠲緩糧租並撥給銀米以資賑濟小民諒可不致失所惟念今春青黃不接之時民力未免拮据加恩著將通州三河武清寶坻薊州香河甯河霸州保定文安大城永清東安順義灤州盧龍遷安撫甯昌黎樂亭新城孟縣雄縣安州高陽河間獻縣任邱景州天津青縣靜海鹽山開州元城大名東明長垣豐潤玉田饒陽安平深澤等四十三州縣成災五六七八九十分村莊應納本年春賦地丁錢糧各項旗租著緩至本年秋後啟徵其歉收三四分村莊應納本年春賦地丁錢糧各項旗租著緩至本年麥後啟徵固安涿州懷柔密雲清苑安肅完縣吳橋滄州南皮無極邢臺深州武強等十四州縣歉收三四分村莊應納本年春賦照常徵收其原緩至本年麥後啟徵之歉收四分村莊應納光緒十三年並節年地丁錢糧各項旗租同歉收三分村莊應納光緒十二年及以前地丁錢糧各項旗租均著緩至本年秋後啟徵凡有應徵屯米穀豆

草米電課學租通津二幫屯租旗產錢糧及海防經費河道錢糧儲備軍餉廣恩庫永濟庫兵部馬館鑾儀衛等項地租代徵租暨出借倉穀籽糧口糧牛具等項隨同正項糧租分別緩徵津軍廳菓魚課納糧地畝內有坐落武清天津二縣者著仍照案歸入該二縣災歉村莊一併查辦以紓民力該督卽刊刻謄黃偏行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副朝廷履端布閭嘉惠畿疆至意該部卽遵諭行欽此

光緒十四年正月初四日內閣奉

上諭上年山東被災各州縣業經分別蠲緩錢漕藉資賑濟小民諒可不致失所惟念今春青黃不接之時民力未免拮据加恩著將濟甯州登豐里等地方前卓家廟等六村莊歷城縣北會清一等里褚家莊等四十九村莊齊河縣桑梓店等里寄莊桃園等一百二村莊同併衛焦斌等里朱莊等六屯莊濟陽縣官莊東中河等一百十六村莊禹城縣一都一等都尹家莊等九村莊又一都一等都

劉家花園等三十一村莊肥城縣孝山社安家道
口等四十八村莊孝山社孝里鋪等七村莊及併
衛處屯一屯莊東平州西智來等保晉城莊等四
十九村莊東阿縣白洋等村隄幫坑等一百九十
五村莊平陰縣大義屯等里滑口莊等五十六村
莊鄉北等里趙家莊等六村莊陽信縣欽風等鄉
小封莊等十三村莊商河縣隆一等鄉周家莊等
十一村莊等霑化縣皮店等里孟家莊等一百一
村莊蒲台縣仁家等鄉朱家莊等二十九村莊並
大隄佔壓取土溝塘等地畝曹縣教信等里蔣窪
等八十五村莊范縣南西等里顏村鋪等三百五
十三村莊堂邑縣在城坊一甲蕭家香坊等十三
村莊博平縣豆腐趙莊等二十九村莊高苑縣東
三約永阜莊等一百十三村莊東昌衛坐落范縣
境內夏宣屯等六屯莊坐落堂邑縣境內陳連登屯
等三屯莊坐落博平縣境內潘秉乾屯等二屯莊
東平所西鄉王屯王官屯等七屯莊應徵光緒十
四年上忙新賦漕倉河銀荒田馬場臨德等倉民
佃鹽課產課學租地租鹽鈔窰地攤徵隄工河工

等項同濟甯歷城禹城范縣博平等處併衛錢糧
及禹城東河霑化高苑樂安等處寄莊窰地錢糧
均著緩至光緒十四年冬後啟徵德州東昌臨清
濟甯等四衛及東平所各屯莊永阜永利等窰地
均隨同坐落各州縣民田一律辦理濟甯州黑土
店等地方東店等八村莊歷城縣北會清一等里
老窩莊等七十一村莊及併衛丁家屯一屯莊又
北會清一等里解家莊等十一村莊北會清一等
里太平莊等十一村莊北會清二等里路家寨等
二十三村莊齊東縣林二等里高家園等十三村
莊固十一等里紀家莊等一百四十八村莊齊河
縣駟渡岸等里朱河前園等二百八村莊及併衛
焦斌等里馮家壘等五十二屯莊濟陽縣官莊羊
口等二百一十一村莊官莊商橋等一百二十二村
莊馬塋等一百七十四村莊禹城縣一都一等都
吳東安莊等四十二村莊又一都一等都東陳鉄
匠莊等二十九村莊二都六等都鳳凰莊等三村
莊臨里縣清四等里馮家井等十六村莊長清縣
相保等里魏家莊等六十五村莊及併衛苗屯里

邢家莊等十二村莊潘東等里常家莊等一百六
村莊及併衛律屯等里徐家莊等十四村莊順保
等里安家道口等二十八村莊及併衛律屯等里
仁里集等四村莊東阿縣白洋等村楊家莊等一
百九十六村莊惠民縣紀家等約豆腐寨等三百五
十二村莊紀家等約大龍聚吳家等一百八十一
村莊紀字等約雙廟等九十九村莊和字等約路
家莊等五十六村莊及青城縣洪字等號馬札子
家等九十三村莊陽信縣欽風等鄉惠林莊等六
十四村莊海豐縣子家等堆曹家廟等一百十二
村莊路楊等堆路楊莊等三十八村莊商河縣順
一等鄉李美生莊等六十一村莊濱州西路九等
保董口莊等六十九村莊西路七等保于莊等八
十三村莊西路七等保圍莊等九十村莊東路三
等保鄭莊等一百二十六村莊利津縣東鄉清戶
等地方北范莊等四十六村莊霑化縣皮店等里
楊家莊等五十六村莊陽穀縣東西更名等里蘇
家莊等五十一村莊東西更名等里東姜莊等三
百四十七村莊辛五都張固堆等十七村莊素張

縣王中等里西影唐等二百八十三村莊黃前等
里尚嶺莊等七十九村莊坊廓等里西紙房等四
四十五村莊荷澤縣甘露等四都大連集等二十
村莊大郭等六都魏樓等三十八村莊鄆城縣管
小莊等里劉小人莊等二十七村莊濮州北舊城
等里葛家樓等一百四十九村莊南關西等里李
文早村等三百九十六村莊朝城縣秋一里箕山
等六村莊聊城縣北七下等里喬黃莊等五十五
村莊城北民里老柳頭等三十八村莊茌平縣東
五等鄉西王家集等四十二村莊清平縣安四等
里十甲代灣等三村莊博興縣東姑等鄉翟家莊
社劉官莊等五十六村莊樂安縣崇信鄉崇三等
保北鹽莊等五十九村莊魚臺縣第方古城集等
地方龔家莊等一百五十村莊德州衛坐落清平
縣境內左衛後所趙官營之帶莊代家灣莊一屯
莊東昌衛坐落濮州境內楊宣屯等二十四屯莊
坐落聊城縣境內河西北屯等十九屯莊永阜場
坐落惠民縣境內淄角楊家莊等五村莊永利場
坐落霑化縣境內陳家莊等十三村莊大年莊等

十三村莊謝家窰等十一村莊應徵光緒十四年上忙新賦漕倉河銀荒田馬場臨德等倉民佃鹽課蘆課學租地租鹽鈔窰地攤徵隄工河工等項同濟甯歷城禹城鄆城濮州聊城清平魚臺等處併衛錢糧及禹城東阿惠民海豐濰化博興樂安魚臺等處寄莊窰地錢糧均著緩至光緒十四年秋後啟徵其德州東昌臨清濟甯等四衛及東平所各屯莊永阜永利等場窰地均著隨同坐落各州縣民田一律辦理以紓民力該撫即刊刻謄黃偏行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副朝廷始和溥澤嘉惠齊氓至意該部即遵諭行欽此

3 光緒十四年正月初四日內閣奉

上諭上年安徽濱淮各州縣被水較重業經截留河運漕糧並分別別徵緩徵錢漕又令於該省漕折等項內撥銀賑濟小民諒可不至失所惟念該處農田現在尚未涸復當此青黃不接之時民力未免拮据加恩著將太和阜陽潁上渦陽壽州鳳臺懷遠鳳陽靈璧泗州盱眙五河等十二州縣黃流

淹浸未能耕種田畝應完光緒十四年上忙錢糧均著悉予蠲免以紓民力該撫即刊刻謄黃偏行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副朝廷始和布澤惠愛元元至意該部即遵諭行欽此

4 光緒十四年正月初四日內閣奉

上諭劉錦棠奏溫宿等處被災請將額徵糧草分別蠲緩一摺新疆南路溫宿州北路綏來縣濟木薩縣丞所屬地畝被水被凍致成災歉若將應徵糧草照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有溫宿州屬被水成災十分地三千七百四畝零著蠲免十分之七糧六十五石零草八千四百九十五斤零其應緩徵糧二十八石零草三千六百四十一斤零著分作三年帶徵成災八分地三十六百五十七畝零著蠲免十分之四糧三十九石零草五千一百零其應緩徵糧五十九石零草七千五百二斤零著分作三年帶徵成災七分地一千七百四十一畝零著蠲免十分之二糧八石零草一千一百九十二畝零其應緩徵糧三十五石零

草四千七百七十畝零著分作二年帶徵成災六
分地九千三百二十八畝零著蠲免十分之一種
二十三石零草二千九百七十五畝零其應緩徵
糧二百八石零草二萬六千七百七十七畝零著
分作二年帶徵收成歉薄地一萬五百九十畝零
額徵糧三百二十三石零草三萬六千三百二十
三畝著緩至光緒十四年秋收後帶徵綏來縣屬
應繳成本銀兩著緩至光緒十四年收還濟木陸
屬被凍地三千三百六十四畝額徵糧二百石零
著緩至光緒十四年秋收後帶徵以紓民力餘著
照所議辦理該撫即刊刻謄黃徧行曉諭務使實
惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部
知道欽此

5 蒙

發下摺報已奉

硃批二件應請

批示漢字摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理劉錦棠奏溫宿等處被災請蠲緩

糧草摺擬繕明發

諭旨照所請分別蠲緩是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年正月初四日奉

旨依議欽此

6 光緒十四年正月初七日内閣奉

上諭奉宸苑卿著海緒補授欽此

7 光緒十四年正月初七日内閣奉

上諭裕祿等奏神靈顯應請頒扁額並加封號一摺

湖北德安府

城隍神前於同治三年捻匪擾境屢著靈異克保

危城上年自春徂秋賜雨不時經該官紳祈禱得

以轉歎為豐實深寅感著南書房翰林恭書扁額

一方交裕祿等祇領飭屬敬謹懸挂以答

神麻至所請飭加封號之處著禮部議奏欽此

8 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單四件擬於

召見時請

旨是各有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年正月初七日奉

旨依議欽此

9 王大臣年歲生日單

惇親王 年五十八歲六月十五日生日

恭親王 年五十七歲十月二十一日生日

醇親王 年四十九歲九月二十三日生日

禮親王 年四十六歲七月初一日生日

睿親王 年二十五歲九月十二日生日

鄭親王 年十八歲七月初八日生日

豫親王 年四十三歲三月十七日生日

肅親王 年四十九歲九月初三日生日

莊親王 年三十六歲十月十六日生日

怡親王 年六十二歲正月二十四日生日

克勤郡王 年四十五歲二月十五日生日

順承郡王 年八歲五月初八日生日

慶郡王 年五十一歲二月二十九日生日

定郡王 年五十八歲四月初八日生日

郡王 年七十三歲十二月初三日生日

貝勒 年三十三歲七月十六日生日

載澐 年二十八歲二月初一日生日

載澂 年十九歲十月十四日生日

貝子奕謨 年二十九歲四月十一日生日

奉恩輔國公載澤 年二十三歲二月二十四日生日

大學士李鴻章 年六十八歲正月初五日生日

額勒和布 年六十三歲正月十一日生日

恩承 年六十九歲二月二十九日生日

閻敬銘 年七十三歲九月十六日生日

協辦大學士福錕 年五十五歲十月初五日生日

張之萬 年七十八歲七月初八日生日

尚書錫珍 年四十二歲八月初十日生日

徐桐 年七十歲四月初九日生日

翁同龢 年五十九歲四月二十七日生日

奎潤 年六十二歲三月初五日生日

李鴻藻 年六十九歲正月初一日生日

烏拉喜崇阿 年六十歲二月二十七日生日

彭玉麟 年歲生日未據查覆

麟書 年六十歲三月十三日生日

崑岡 年五十五歲四月初九日生日

潘祖蔭 年五十九歲十月初六日生日

紹祺 年六十五歲正月初八日生日

署尚書許庚身 年六十四歲六月十四日生日

都察院左都御史松森 年六十三歲十一月十五日生日

祁世長 年六十四歲六月十九日生日

都統尚宗瑞 年六十九歲五月初十日生日

景壽 年五十九歲十二月十三日生日

伯彥訥謨祜 年五十三歲正月初十日生日

長順 年五十八歲九月二十八日生日

長善 年六十四歲四月初八日生日

榮祿 年五十三歲二月二十二日生日

總督曾國荃 年六十五歲八月二十日生日

楊昌濬 年六十二歲九月初九日生日

裕祿 年四十九歲七月十七日生日

譚鍾麟 年六十七歲三月十九日生日

劉秉璋 年歲生日未據查覆

張之洞 年五十五歲八月初三日生日

岑毓英 年六十歲五月二十五日生日

將軍慶裕 年五十五歲四月初二日生日

希元 年四十六歲七月初四日生日

吉和 年歲生日未據查覆

豐紳 年歲生日未據查覆

古尼音布 年歲生日未據查覆

祥亨 年歲生日未據查覆

繼格 年六十二歲十月二十四日生日

維慶 年四十九歲二月十一日生日

善慶 年五十六歲四月初二日生日

岐元 年六十歲十一月十三日生日

克家額 年七十一歲十月初八日生日

色楞額 年歲生日未據查覆

杜嘎爾 年歲生日未據查覆

署將軍恭鐘 年五十三歲未據聲明生日

錫綸 年歲生日未據查覆

恭壽 年歲生日未據查覆

熱河都統謙禧 年五十九歲七月二十八日生日

察哈爾都統托倫布 年六十六歲九月十九日生日

致仕大學士寶鑿 年八十二歲十一月二十八日生日

10 光緒十四年正月初八日奉

旨這所參疏防監犯越獄之管獄官河南遂平縣典

史葉恩昌著即革職拏問交倪文蔚提同刑禁人等嚴訊有無鬆刑賄縱情弊按例究辦有獄官遂平縣知縣延擇雖係因公出境惟未能先事豫防著交部照例議處仍勒限嚴緝逸犯汪百端等務獲懲辦該部知道欽此

11 蒙

發下摺件已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片十六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批發下後欽遵辦理倪文蔚奏遂平縣疏防越獄摺擬繕明發

諭旨將典史葉恩昌革職拏問訊究知縣延擇照例

議處是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年正月初八日奉

旨依議欽此

滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

道銜禮部郎中玉恆

侍讀銜刑部郎補主事桂春

四品銜吏部郎補郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾慶額

理藩院郎補郎中志模

漢頭班章京

前太僕寺卿馮光勛

刑部員外郎吳引孫

刑部員外郎孟繼堦

兵部郎補郎中沈恩嘉

戶部主事郎補員外郎顧璜

吏部主事郎補員外郎王倣

刑部郎補員外郎陳邦瑞

四品銜兵部主事郎補員外郎胡寶鐸

刑部員外郎主事吳魯

戶部員外郎主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

四品銜通政使司叅議堃岫

理藩院員外郎郎補郎中奎華

戶部主事郎補員外郎孚琦

侍讀銜戶部主事廷祉

四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部郎補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

太僕寺少卿錢應溥

四品銜工部員外郎祝維城

吏部員外郎兼襲騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳蒂棠

刑部郎補主事易俊

刑部即補主事馮錫仁
貧外郎銜吏部候補主事孫朝華
戶部候補主事王頌蔚

13 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片十九件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年正月初九日奉

旨依議欽此

14 蒙

發下摺件臣等公同商閱應請

批示漢字摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年正月初十日奉

旨依議欽此

15 光緒十四年正月十一日內閣奉

上諭敬信現在穿孝禮部左侍郎著清安兼署欽此

16 應兼署滿洲侍郎名單

吏部左侍郎松柱

右侍郎景善

戶部左侍郎嵩申

右侍郎熙敬

禮部右侍郎續昌 現兼署刑部右侍郎

兵部左侍郎師曾

右侍郎綿宜

刑部左侍郎桂全

右侍郎貴恆 現出學差

硃

工部左侍郎烏拉布

右侍郎清安

理藩院左侍郎崇禮

右侍郎慶福

17

應署滿洲侍郎名單

內閣學士恩崇

文興

寶昌

豐烈

文治

都察院左副都御史奕平

志元

通政使司通政使奕杖

大理寺卿明桂

詹事府詹事福楸

18 光緒十四年正月十一日內閣奉

上諭曾國荃崧駿奏請飭催藩司赴任等語江蘇布政使黃彭年著速赴新任毋庸來京請訓欽此

19 蒙

發下摺報已奉

硃批十件其餘應請

批示清漢摺片單二十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片二件圖一件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年正月十一日奉

旨依議欽此

20 光緒十四年正月十二日奉

旨仍留學政之任欽此

吏部奏梁耀樞應否仍留學政任摺

21 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽道辦理吏部奏梁耀樞現升少詹事應否

仍留學政之任摺擬請

旨仍留學政之任恭候

命下傳知該部遵照是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年正月十二日奉

旨依議欽此

22 蒙

發下摺件已奉

硃批十一件其餘應請

批示漢字摺片二十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽道辦理謹

奏

光緒十四年正月十三日奉

旨依議欽此

23 光緒十四年正月十四日內閣奉

上諭劉秉璋奏甄別不職各員據實糾劾一摺四川

雙流縣知縣廖葆恆緝捕不力妄岳縣知縣畢獻

人欠謹飭仁壽縣知縣張士錡風疾未愈均著開

缺另補前署高縣知縣候補同知蕭澍森聲名平

常試用通判周上達居心巧猾均著革職候補知

縣袁杰性近貪詐試用知縣張源泉行為不端均

著以縣丞歸部銓選擬為縣教諭周志元訓導張

塤士論不洽大邑縣教諭駱家駿訓導田鴻觀習
為欺罔均著以原品休致鹽源縣教諭高人傑縱
斗勒搥著即革職大竹縣石橋縣丞王殿輝舉止
乖張遂甯縣梓潼鎮縣丞劉家瑞頗唐不振達縣
麻柳場巡檢錢世熙縱差需索大甯縣典史朱成
詞操守不謹候補縣丞周祖彝辦理釐卡短收甚
多均著革職以肅官方餘著照所議辦理該部知
道欽此

24 蒙

發下摺件已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理劉秉璋奏甄別不職各員據實糾

參摺擬繕明發

諭旨照所請將知縣廖葆恆等開缺另補並休致降

革是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年正月十四日奉

旨依議欽此

25 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片單九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年正月十五日奉

旨依議欽此

26 光緒十四年正月十六日內閣奉

上諭廣西桂林府知府負缺緊要著該撫於通省知

府內揀員調補所遺負缺著志彭補授欽此

27 光緒十四年正月十六日內閣奉

上諭德馨奏神靈顯應請頒扁額並加封號一摺江
西省城崇祀

許真君並

龍神

風神均著靈應每遇地方水旱經該官紳虔誠祈
禱無不賜雨應時實深寅感著南書房翰林恭書
扁額各一方交德馨祇領飭屬分詣敬謹懸挂以答
神庥至所請飭加
許真君封號之處著禮部議奏欽此

28 光緒十四年正月十六日內閣奉

上諭德馨奏甄別文武各員據實糾參等語江西袁
州府同知韓筠居心巧詐控案甚多德化縣通遠
驛驛丞吳慶餘違例擅受濫差滋事永豐縣表湖
司巡檢彭翔辦事竭蹶才具平庸補用副將劉芳
棟情性乖張罔知倫理均著即行革職以肅官方
餘著照所議辦理該部知道欽此

29 奉

發下摺件已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年正月十六日奉

旨依議欽此

30 光緒十四年正月十七日內閣奉

上諭順天府奏撥案請撥京倉米石專備春撫一摺
上年順天各屬被水成災業經賞撥漕米俾資賑
濟惟念災區較廣積水未消現值青黃不接之時

民力尚形拮据自應量為接濟加恩著再賞給京
倉漕米三萬石以資散放餘依議該衙門知道欽此

31 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片單二十九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年正月十七日奉

旨依議欽此

32 光緒十四年正月十八日內閣奉

上諭譚鈞培奏特參庸劣不職各員一摺雲南昭通
府知府高梧雙目失明著勒令休致却署祿勸縣
知縣丁憂候補同知蕭宗瑀信任家丁捏飾案情
惟文理尚優著俟服滿後以教職歸部銓選却署
他郎通判試用同知恩綸捺守不謹物議沸騰試
用知州馮發揚行同無賴平彝縣知縣劉樹勳任
性妄為却署路南州知州候補知縣汪志立昏憤
糊塗却署定遠縣知縣甯洱縣知縣張鐸性情凶
莽動事刑求却署楚雄縣知縣候補知縣吳蔭委
靡徇延難期振作試用知縣冉謙辦事荒唐雲龍
井鹽大使王席珍居心狡詐弊混多端署副官村
縣丞候補州判常保彝貪利取巧均著革職以肅
官方該部知道欽此

33 光緒十四年正月十八日內閣奉

上諭譚鈞培奏鼓勵屬員願懇嘉勉等語雲南署永
昌府知府候補知府鄒馨蘭署昭通府知府試用
知府劉春霖候補知府蔡信義署安平同知龍陵

同知覃克振署大關同知試用同知龍文署石屏
州知州候補知州王培心署安南州知州補用知
縣陳清昌署昆明縣知縣試用知縣樂理瑩署恩
安縣知縣候補知縣韓再蘭署羅次縣知縣候補
知縣賈汝讓據譚鈞培臚列該貢等才守治績均
有可觀殊堪嘉許著譚鈞培飭令該貢等益加策
勵勉為循良毋得始勤終怠欽此

34 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示清漢摺片十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年正月十八日奉

旨依議欽此

35 李鴻藻等摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

正月十八日

36 蒙

發下摺件已奉

硃批十六件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年正月十九日奉

旨依議欽此

37 軍機大臣 字寄

陝甘總督譚 四川總督劉 江西巡撫德

光緒十四年正月二十日奉

上諭前據譚鍾麟奏請催四川江西欠餉當諭令戶部速議具奏茲據該部奏稱甘肅新餉江西省欠解光緒十一年分四十九萬八千餘兩丁亥年應帶解銀九萬八千餘兩又自戊子年起每年帶解銀十萬兩四川省欠解光緒十二年分三十三萬二千餘兩自丁亥年起每年應帶解銀十一萬七千餘兩前經奏准飭令依限解清上年江西僅帶解銀三萬兩尚欠解六萬八千餘兩四川並未帶解分毫等語關外遣撤各軍需餉孔亟四川江西欠解餉數甚鉅自應遵照部議分年帶解若劉秉璋德馨嚴飭各該藩司將丁亥年應行帶解甘肅新餉務於本年三月以前如數籌撥並將戊子年

應行帶解之款一併提前照數解清毋稍延宕並

著譚鍾麟於前項餉銀解到時按照各處應分數目劃撥以濟要需將此由五百里各諭令知之欽

此遵

旨寄信前來

鈔交戶部

38 光緒十四年正月二十日內閣奉

上諭湖南鹽法長寶道員缺著宜麟補授欽此

39 光緒十四年正月二十日內閣奉

上諭雲南昭通府知府員缺著倫五常補授欽此

40 查湖南鹽法長寶道係衝繁難要缺雲南昭通

府知府係最要缺謹

奏

41 光緒十四年正月二十日內閣奉

上諭貴州貴陽府知府員缺緊要著該撫於通省知

府內揀貧調補所遺貧缺著吳壽齡補授欽此

42 光緒十四年正月二十日內閣奉

上諭衛榮光奏鹽場竈蕩被災請將應徵竈課分別蠲緩一摺兩浙鹽場竈蕩上年夏秋之間陽雨不時並有被潮竈地仍未墾復若將額課照常徵收竈力實有未逮加恩著照所請所有海沙杜瀆二場成災十分田地並海沙場全荒竈蕩應徵光緒十三年竈課著全行蠲免其分成帶徵錢清西興長亭杜瀆海沙橫浦浦東等場歉收竈蕩田地應徵光緒十三年竈課均著緩至十四年秋後徵完並各該場未完各年舊欠同秋收減色之蘆漚場原緩帶徵竈課均著一律遞緩徵收其被災項下如有已完在官錢糧准其流抵次年新賦以紓竈力餘著照所議辦理該撫即刊刻謄黃偏行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

43 光緒十四年正月二十日內閣奉

上諭衛榮光奏查明杭嘉松各場荒蕪未墾各竈地蕩塗請蠲免竈課錢糧一摺杭州嘉興松江所屬荒蕪場竈未能一律墾復若將額課錢糧照常徵收竈力實有未逮加恩著照所請所有仁和海沙鮑郎蘆漚橫浦浦東等場荒蕪未墾各竈地蕩塗應徵光緒十三年分竈課錢糧著全行蠲免以紓竈力該撫即刊刻謄黃偏行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

44 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年正月二十日奉

旨依議欽此

45 衛榮光片一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

正月二十日

46 光緒十四年正月二十一日內閣奉

上諭文碩著來京另候諭旨長庚著賞給副都統銜

作為駐藏辦事大臣迅速馳驛前往毋庸來京請

訓欽此

47 光緒十四年正月二十一日內閣奉

上諭鴻臚寺卿鄧承脩奏病仍未愈懇請開缺一摺

鄧承脩著准其開缺欽此

48 蒙

發下摺報已奉

硃批十一件其餘應請

批示漢字摺片單十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年正月二十一日奉

旨依議欽此

發下摺件已奉

硃批十二件其餘應請

批示漢字摺片單二十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年正月二十二日奉

旨依議欽此

50 軍機大臣 字寄

伊犁將軍色 甘肅新疆巡撫劉 光緒十四

年正月二十三日奉

上諭戶部奏持叅擅動軍餉之署將軍請澈底查辦

一摺已有旨將錫綸交部議處據原奏內稱錫綸前借商銀補發兵餉其中情節支離當即逐一駁查現尚未經覈定復據錫綸咨稱由現餉款下陸續歸還惟商人籍貫借款次數歸還日期前後均不相符顯有不實不盡情弊等語覽奏殊堪詫異著色楞額劉錦棠按照原奏各節迅提經手官員並承借客商人等確切查明據實具奏毋稍徇隱原摺單均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵旨寄信前來

51 光緒十四年正月二十三日內閣奉

上諭三載考績為國家激揚大典中外滿漢諸臣有能職守恪共勞動最著者允宜特加甄敘以示優眷茲當京察屆期吏部開單題請詳加披閱禮親王世鐸大學士額勒和布協辦大學士刑部尚書張之萬署兵部尚書吏部右侍郎許庚身工部左侍郎孫毓汶翔贊樞廷勤勞懋著公忠共矢悉協機宜均著交該衙門議敘大學士直隸總督李鴻章宣力畿疆經猷遠大兩江總督曾國荃勛勤卓

著歷久不渝均著交部從優議敘陝甘總督譚鍾麟兩廣總督張之洞雲貴總督岑毓英甘肅新疆巡撫劉錦棠福建臺灣巡撫劉銘傳盡心民事綏輯巖疆殫竭盡忱不解勞瘁譚鍾麟張之洞岑毓英均著交部議敘劉錦棠著開復降一級留任處分劉銘傳著開復降二級留任處分餘著照舊供職欽此

52 光緒十四年正月二十三日內閣奉

上諭軍機大臣工部左侍郎孫毓汶著加恩賞戴花翎欽此

53 光緒十四年正月二十三日內閣奉

上諭德馨奏查明各屬被災請將新舊錢漕等款分別緩徵遞緩一摺江西南昌等府屬地方上年入夏以後或被水淹浸或雨澤愆期收成均形歉薄若將新舊錢漕等款照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有南昌縣東鄉五都二圖四甲東三圖三甲西三圖三甲五圖五甲八圖四甲中九

圖八甲又中九圖八甲七都五圖五甲八都與二圖二甲正二圖五甲四圖三甲上六圖四甲下六圖十甲七圖七甲十一都中三圖四甲下三圖四甲北鄉十三都一圖一甲二圖三甲三圖四甲四圖二三甲五圖一甲十四都一圖二甲二圖三甲上三圖六甲應三圖四甲四圖五甲五圖三甲六圖七甲七圖八甲十五都一圖三甲二圖二甲上三圖一甲中三圖五甲南四圖三甲北四圖八甲下四圖五甲上五圖六甲下五圖九甲六圖七甲七圖九甲八圖八甲十一社二圖二甲軍都下一圖四甲十六都一圖二甲二圖四甲三圖四甲四圖五甲五圖二甲十七都一圖一甲上二圖二甲中二圖三甲下二圖四甲三圖一甲四圖四甲五圖五甲六圖一甲東鄉十八都一圖一甲二圖四甲三圖三甲四圖五甲五圖三四甲北鄉十九都運一圖二甲正一圖一甲一圖一甲上三圖三甲下三圖三甲北四圖四甲北下四圖四甲五圖六甲六圖七甲七圖七甲八圖一甲九圖二甲十圖三五甲二十都一圖一甲二圖四甲上四圖四

甲下四圖四甲五圖六甲東鄉二十一都歸一圖
二甲歸二圖八甲歸三圖三甲南一圖一二甲南
二圖二甲又二圖一甲南三圖五甲二十二都上
一圖一甲下一圖一甲二圖三甲上三圖五甲東
三圖二甲西三圖五甲四圖三甲五圖二甲六圖
六甲七圖五甲八圖七甲二十三都又下一圖
二三四甲二圖二甲三圖四甲四圖六甲五圖七
甲六圖七甲七圖八甲八圖三甲九圖五甲十圖
二甲十一圖六甲十二圖三甲十三圖七甲十四
圖五甲十五圖五甲十六圖六甲十八圖八甲十
九圖九甲二十圖十甲二十一圖二甲二十二圖
三甲二十四都一圖一甲二圖三甲三圖三甲四
圖五甲五圖六甲六圖七甲七圖六甲南八圖七
甲北八圖五甲九圖四甲十圖三甲十二圖一二
甲十三圖五甲十五圖六甲十六圖七甲軍都二
圖一甲一社一圖二甲十三社一圖一甲二十五都
一九圖二甲二圖三甲三圖三六甲四圖五甲五
圖五甲六圖七甲七圖八甲八圖一甲十圖五甲
十一圖五甲十二圖四甲十三圖五甲十四圖一

甲二十六都上一圖三甲下一圖二甲下二圖三
甲三圖三甲四圖五甲上五圖五甲下五圖四甲
六圖七甲二十七都一圖一甲二圖三甲三圖四
甲正四圖五甲南五圖二甲北五圖五甲六圖七
甲上下七圖六甲東西八圖八甲九圖十甲十圖
一甲十一圖四甲十二圖三甲二十八都上二圖
三甲下二圖二甲上下六圖四五甲上八圖一甲
上十圖二甲二十九都三十圖五甲四圖五甲五
圖六甲六圖七甲七圖四甲八圖六甲東九圖七
甲西九圖八甲十二圖三甲三十都一圖二甲二
五圖一甲又三圖三甲四圖五甲六圖五甲七圖
六甲八九圖一甲十一圖四甲軍都三圖八甲三
十一都七圖五甲十圖六甲下十四圖三甲三十
二都一圖一甲四圖三甲三十五都三圖二甲六
圖五甲七圖四甲八圖三甲十圖一甲十三圖六
甲中鄉三十九都五圖三甲六圖二甲四十一都
二圖三甲四十二都九圖七甲西鄉四十五都長
一圖三甲長二圖二四甲長三圖一二甲長四圖
五甲長五圖一四甲長六圖三四七甲四十六都

二圖五甲五圖二甲七圖二甲九圖七甲十甲十
四圖一二三甲十五圖五六八九甲六十五都五圖
一二甲八圖十甲六十六都一圖七甲二圖五甲
三圖六甲六圖三甲進外三圖一甲等處共被水
各則田三千一百四十三頃十四畝零應緩地丁
銀一萬一千八百八十三兩零漕米一萬六千九
十四石零同新建縣之南鄉五都一圖一甲至十
甲七圖一甲至五甲七九甲忠孝鄉二十一都一
二圖各一甲至十甲三圖一甲至八甲十甲四圖
一甲至十甲五圖一甲至五甲八九甲北鄉二十
二都二三五六圖各一甲至十甲善政鄉二十七
都一二三四五六七八圖各一甲至十甲洪崖鄉
二十八都一二三四五六圖各一甲至十甲二十
九都一二五圖各一甲至十甲桃花鄉三十一都
六圖一甲至十甲七圖一甲三甲至十甲八圖一
甲至十甲三十二都五圖一甲至十甲三十四都
一圖一甲三甲至十甲二圖一二三七八九十甲三
圖一四五六七九十甲三十六都一圖一二四五
六七八甲二圖一甲至十甲伍諫鄉四十一都一

圖一甲至六甲八九十甲二圖一甲至七甲九十
甲三圖一二三四甲十甲四五圖各一甲至十甲
四十二都一圖一甲至十甲二圖一八九甲三圖
一甲至十甲儀鳳鄉四十二都一二三圖各一甲
至十甲四十三都一圖一甲至十甲二圖四六七
十甲四十四都一二三圖各一甲至十甲大三圖
四圖各一甲至十甲四十五都一圖三五六八十
甲正二圖左二圖右二圖一甲至六甲三圖一甲
至十甲四圖一甲至八甲十甲四十六都一二三
四圖各一甲至十甲四十七都一圖一甲至八甲
十甲二三圖各一甲至十甲從善鄉四十八都一
圖又一圖一二三五六七八九十甲二三圖各一
甲至十甲四圖一甲至九甲四十九都一二圖各
一甲至十甲五十都一圖又一圖一甲至十甲二
圖一甲三甲至十甲昌邑鄉五十一都一二圖各
一甲至十甲五十二都一圖二甲至八甲二圖三
甲至十甲軍都六圖一甲西鄉五十三都一圖一
甲至十甲二圖一甲至六甲八九十甲三四圖各
一甲至十甲五十四都一圖一甲至十甲二圖一

三四六七八九甲三圖一四六七甲四圖一甲至
十甲五圖一三四五六七八十甲東鄉五十五都
一二三四五圖各一甲至十甲五十六都一圖一
甲至十甲正二圖左右二圖一甲至十甲十坊一
甲至五甲七八十甲等處共被水各則民田四千
六百九十六頃十八畝零應緩地丁銀八千五百
三十四兩零漕米九千九百六十八石零豐城縣
之一坊一都一二三圖二都一二圖三都二六圖
四都一二圖六都四五圖八都一圖二坊十一都
一二圖十二都二圖十三都一三圖三坊三十都
一二三四圖三十一都二圖三十二都一二三四
圖四坊五十六都一二三四圖五坊五十七都一
二三圖五十九都二三圖六十三都一三七圖六
十四都一二三四五圖六十五都一二三四圖六
十六都一二三四五圖六十七都一二三四
圖六十八都二三四五圖六十九都一圖七十一
都一二三四圖七坊七十四都一二圖七十五都
一三四六七八九圖十二圖七十六都一二圖八
坊七十九都二三五六七八圖八十都一二三四

圖八十一都四八圖九坊八十七都五六七八圖
八十八都一二三四五六七圖八十半都一圖等
處共被旱各則田三千三百十七頃八十二畝零
應緩下忙三分地丁銀五千二百二十五兩零漕
米四千五百二十六石零進賢縣北鄉下五坂二
十七都一圖一甲至四甲二圖一甲至五甲三圖
三四五甲四圖一甲至五甲五圖三甲六甲至九
甲二十八都一圖一甲至五甲二圖一二三甲三
圖一甲至四甲四圖一甲至五甲二十九都一圖
一甲四甲至七甲二圖三甲六甲至九甲三圖六
甲至十甲四圖一三六七八甲三十三都一圖六
甲至十甲二圖五七八九甲三圖一甲至五甲四
圖一甲三甲至六甲五圖一三六七八甲三十一
二都一圖一甲至五甲二圖一甲至四甲三圖三
六七甲四圖一甲至四甲等處同東北鄉一都一
圖一甲至五甲二圖三六七八甲三圖一二三甲
四圖一甲至四甲五圖三甲至六甲六圖五甲至
八甲五都一圖一甲至四甲二圖一二三甲三圖
三六七八甲四圖一三四五甲五圖二甲至五甲

六都一圖一甲至五甲二圖一甲至四甲三圖一
二三甲四圖三四五甲五圖一甲至四甲六圖六
甲至九甲七圖四五六甲七都一圖一三四六甲
二圖一甲至四甲三圖二三四甲四圖一二三甲
五圖六甲至九甲六圖四五六甲七圖一甲至四
甲軍圖五六七甲上八都一圖三六七八甲二圖
四甲至七甲三圖一甲至五甲四圖一甲至四甲
五圖二三四六甲六圖一甲至四甲七圖二三
四甲八圖六甲至十甲九圖一二三甲十圖二甲
至五甲下八都一圖一甲至四甲二圖三四五甲
三圖四六七八甲四圖二三六七甲五圖四甲至
七甲六圖三六七八甲七圖四五六甲八圖一二
三甲九圖六甲至九甲九都一圖一甲至五甲二
圖三六七甲三圖二甲至五甲四圖四六九甲
五圖六八九十甲六圖五六九甲七圖一二五
六七甲八圖三五六九甲九圖一甲至四甲十圖
三六九十甲十都一圖一甲至四甲二圖三六又
四甲三圖一二前二甲六圖六七八甲七圖三六
九甲八圖四七甲九圖二五八甲十圖一四七

甲十三四都六圖六七九甲七圖三十八甲八圖
四六八十甲九圖一二三甲十圖一甲至四甲十
五都一圖一甲至五甲二圖二三四甲三圖三六
九甲四圖一甲至四甲五圖二五六八甲六圖一
甲至四甲七圖五甲至八甲八圖三六九甲九
圖三六九甲十圖一三四六甲十六都一圖一
甲至四甲二圖一三五六甲三圖六七九甲四圖
五七九甲五圖三六九甲六圖四七八九甲
七圖一三五八甲八圖一二三六甲九圖三六九
十甲十圖三甲至六甲十一圖一甲至五甲十二
圖二四六九甲十七都一圖六九甲二圖二
五八十甲三圖六甲至九甲四圖一甲至四甲五
圖四六九甲六圖五六九甲七圖一甲至四甲
八圖二五八甲九圖四六九甲二十二都一圖
四六九甲二圖五六九甲三圖一甲至四甲
四圖二五八甲五圖三六九甲六圖一三四
六七甲七圖三五七八九甲八圖一二三四六甲
九圖二五八九十甲十圖三五七甲十一圖一三
四六甲十二圖四六九甲二十三都一圖一甲

至五甲二圖三六七八甲三圖四五六九甲四圖
六九十甲五圖一甲至四甲六圖七甲至十甲七
圖一甲至四甲八圖三六九甲九圖一甲至五甲
十圖三五六八甲十一圖一甲至四甲十二圖二
四五六九甲二十四五都一圖二三五六甲二圖
一甲至四甲三圖六七八十甲四圖三六七八甲
二十六都一圖一甲至四甲二圖一甲至四甲三
圖三四五甲四圖五六七甲五圖三六七八甲三
十三都一圖一甲至五甲二圖三六七八甲三圖
四六九十甲四圖五六九十甲五圖三甲至六甲
六圖一三四六甲七圖三六九十甲三十四都一
圖二五八甲二圖一四六七八甲三圖一四七
九甲四圖三六九十甲東隅一甲至四甲西隅二
三四甲南隅一二三甲北隅三五六甲正隅六七
八甲中隅四六七甲等處並西北西南兩鄉三十
五都一圖一甲至四甲二圖一甲至四甲三圖六
七八甲四圖四甲至七甲五圖一甲至四甲六圖
三六七甲三十六都一圖三六九甲二圖一二
三甲三圖二五八甲四圖三六七八甲五圖一

甲至四甲六圖四甲至七甲三十七都一圖二五
六七甲二圖一甲至四甲三圖一二三甲四圖一
甲至四甲五圖一二三甲六圖六七八甲三十八
都一圖二七八甲二圖六七九甲三圖五甲至八
甲四圖六七八甲五圖五甲至八甲二都一圖一二
三甲二圖二四七八甲三圖三甲至七甲四圖八
九甲五圖五六七甲又五圖一二三甲六圖七
八九甲三都一圖七九十甲二圖二三四甲三圖
四五六甲四圖二三四甲五圖五六七甲六圖八
九甲七圖一甲至四甲四都一圖三四五甲二圖
一三四甲三圖三四八甲四圖九甲五圖五六
七甲六圖二三四甲十一都一圖一二三甲二圖
四五六甲三圖八九十甲四圖七八九甲五圖五
七甲六圖三四五甲七圖二三四甲十二都一圖
一三四甲二圖二五六甲三圖七九十甲四圖一
甲至五甲五圖二三四甲六圖三四甲七圖八九
十甲八圖一二四甲九圖八九甲十圖五六甲十
八都一圖一三四甲二圖一二甲三圖六七十甲
四圖二三五甲五圖六八甲六圖一二甲等處共

各則田三千四百五十八頃十八畝應緩地丁銀一萬四百八十九兩零漕米一萬三千九十一石零清江縣之一都一圖一甲至十甲尾甲二圖一甲至十甲三四五圖各一甲至十甲尾甲二都一圖至五圖各一甲至十甲尾甲三都一圖至五圖各一甲至十甲尾甲四都一圖至五圖各一甲至十甲尾甲五都一圖至五圖各一甲至十甲尾甲六都一二圖各一甲至十甲三圖一甲至十甲尾甲四圖一甲至十甲五圖一甲至十甲尾甲七都一二圖各一甲至十甲尾甲三圖一甲至十甲四五圖各一甲至十甲尾甲八都一圖至五圖各一甲至十甲尾甲九都一圖至五圖各一甲至十甲尾甲十都一圖至五圖各一甲至十甲尾甲十一都一圖至五圖各一甲至十甲尾甲十二都一圖至五圖各一甲至十甲尾甲十三都一圖至五圖各一甲至十甲尾甲十四都一圖至五圖各一甲至十甲尾甲十五都一圖至五圖各一甲至十甲尾甲十六都一圖至五圖各一甲至十甲尾甲十七都一二三圖各一甲至十甲尾甲城一二三四

五坊鎮一坊各一甲至十甲尾甲等處共被旱各則民田八百九十八頃二十五畝零應緩地丁銀四千二百九十九兩零漕米三千一百三十一石零新淦縣之東坊一圖一甲至五甲南坊一圖五甲至十甲西坊一圖一甲至七甲北坊一圖一甲至十甲一都一圖一甲至十甲三圖五甲至十甲四圖一甲至十甲五圖一甲至七甲六圖一甲至十甲二都四圖一甲至十甲六圖一甲至十甲三都一圖一甲至九甲三圖四甲至十甲四圖五甲至八甲六圖一甲至十甲十圖一甲至十甲四都一圖一甲至十甲二圖三甲至十甲三圖一甲至十甲四圖一甲至十甲五圖一甲至七甲六圖四甲至十甲七圖一甲至十甲八圖一甲至十甲九圖一甲至十甲十圖一甲至九甲五都二圖二甲至九甲三圖四甲至十甲四圖一甲至十甲五圖一甲至六甲七圖二甲至九甲八圖一甲至九甲九圖一甲至十甲六圖二甲至十甲六圖二甲至九甲七圖一甲至十甲八圖一甲至九甲九圖一甲至十甲十圖一甲至十甲七都一圖二甲

至七甲二圖一甲至十甲三圖一甲至八甲等處
共被旱各則氏田五百五十八頃七十六畝應緩
地丁銀三千九百八十八兩零漕米二千八百三
十七石零峽江縣附城一坊共十甲二三坊各共
十一甲四五坊各共十甲六坊共九甲東鄉一都
一二圖各共十一甲二都一圖共六甲三圖共十
一甲三都一圖共十二甲二圖共十一甲三圖共
十二甲四圖共十甲四都一二圖各共十一甲三
圖共十甲四圖共九甲東五都二圖共十一甲西
鄉一都二圖共十一甲二都一二圖各共十一甲
三都一圖共六甲二三圖各共十一甲等處共各
則田地一千六百三十三頃五十五畝零應徵地
丁漕米內緩徵二分四釐銀三千二百七十八兩
零米一千五百六十一石零同東鄉二都二圖共
十甲五都一圖共六甲六都一圖共二甲二圖共
十一甲三圖共十甲八都共十一甲西鄉一都一
圖共十一甲四五六七八九十一十二等都各
共十一甲十三都一二圖各共十一甲等處共各
則田地一千五百六十八頃十一畝零應徵地丁

漕米內請緩徵一分七釐銀二千二百十九兩零
米一千五十七石零並東鄉七都共十一甲九
都共六甲十都共十一甲十一都共六甲等處共
各則田地一百六十一頃二十五畝零應徵地丁
漕米內請緩徵一分銀一百三十二兩零米六十
一石零蓮花廳之磬西鄉一都一圖一甲至四甲
謙甲二圖一甲中一甲隆甲三圖一三六七甲二
都一圖一甲至四甲二圖一二甲風甲三圖一二
甲四都一圖三四甲二圖二三甲老甲振甲四圖
一二三甲福甲五都一圖一二三甲六八甲二圖
一四五甲四圖二三四甲正圖一三甲財甲中甲
七甲六都一圖一三五甲二圖二三四七甲三圖
一二甲崇甲七都一圖一二三五甲二圖一二三
甲源甲五圖一四甲九都一圖一三甲桂甲二圖
一九十甲三圖二四五甲公甲十都一圖一二三
甲二圖一甲至四甲三圖一二甲四圖二六甲十
二都一圖一二三甲二圖四五六甲三圖一三四
五甲十三都一圖一二三甲二圖四甲至七甲三
圖一三甲四圖一二四甲十四都二圖三甲至五

甲七甲三圖一四甲中四甲正圖一甲同甲洪甲
十五都一圖升甲九十甲二圖一二三甲三圖一
二甲光甲五圖一二三甲正甲十七都一圖一二
三甲二圖一二甲古甲彭甲西甲三圖二三四甲
十八都慶圖一二三甲二圖一甲五甲至七甲三
圖一二甲十九都一圖一甲昌甲祥甲二圖一二
三甲三圖一二三甲四圖一三甲貴甲上西鄉二
十二都一圖一二三甲二圖一甲安甲四甲三圖
一二甲四圖三四六甲二十三都一圖二三五六
甲二圖二三四甲四圖一甲朝甲琴甲二十四都
一圖一二甲羽甲二圖一三甲平甲四圖五甲至
八甲二十六都一圖一甲富甲新一甲二圖一二
四甲二十七都一圖一二甲通甲五甲二圖元甲
亨甲四五甲三圖一二三甲四圖五甲至八甲二
十八都一圖一二三甲正甲同甲二圖六七八甲
二十九都一圖一二四甲三圖一二甲金甲四圖
一三甲新三甲三十都一圖一三甲二圖一甲至
四甲六甲三圖一二甲彬甲三十一都一圖一二
三甲文甲二圖一甲威甲茂甲清甲等處共被旱

民田五百十七頃五十八畝屯田三十七頃五十
六畝零應緩地丁銀三千三百三十三兩零漕米
一千六百三十五石零漕運屯糧銀五百六兩零
餘租銀九百七十兩零安福縣之東鄉三都一圖二
三五甲二圖一三甲五甲至十甲三圖一甲至十甲
東三圖一甲至八甲三圖裕後甲四圖一甲至六
甲八九十甲又四圖二四五六甲四圖南六甲五
六圖各一甲至十甲七圖一甲至五甲七元圖一
二三六七八十甲上八圖一甲至七甲十一圖福
履甲單甲又附城東一二三四六八甲安泰福平
圖一甲至五甲聚昌圖一甲至五甲五十二都二
圖三甲六甲至十甲四圖四六七九甲秀四圖
單甲五上圖一二五甲六圖一三五甲七圖一六
七八甲九圖一二四六八十甲十圖一又一四七
十甲十圖正單甲十二圖一甲聚慶圖一甲上合
圖一二甲五十三都東三圖一四六七十甲古三
圖二五六甲三圖副四圖一四五六八十甲六圖
一六甲六聚圖一五六七甲六紹圖一二三五甲
十圖一二七十甲五十四都一圖三五七八十甲

二圖一甲至六甲九甲三圖一甲至五甲五圖一
二三五甲五十五都一圖一二副二三四五副甲
一圖單二圖一七八八上九十甲二上圖一三五
甲二圖永定甲三圖一甲至七甲七上八九甲三
瑞圖一二三甲三義圖一三五甲又三圖一二三
甲四圖一二三五甲六圖一甲正一甲至六甲十
甲七圖二三又三五九十甲八圖一三七十甲十
圖一二四甲五十六都一圖一上一三四六七八
十又十甲一圖又單一下圖單二圖並協一上一
二三五正五六七八十又協甲三圖一甲至十甲
四圖並四上圖一甲至四甲五圖一甲七甲至十
甲六圖一四五七九甲七圖一三四六七八十甲
七圖單甲九協圖一二四五六甲九上圖一甲至
五甲八甲九圖單九圖副甲九瑞圖五十七都一
圖一甲至八甲十甲二圖一甲至六甲八九十甲
三圖又三圖一二三四甲六甲至十甲四圖一甲
至五甲五圖一甲至十甲七圖一二四五七八甲
九圖一二三甲十一圖一三四五七八甲五十八
都一圖一甲至五甲二上圖一甲至六甲二下圖

六甲至十甲四圖一二三四又四五六甲五圖一
二二上又二三四四上並九十甲六圖一二三四
九甲六圖副七圖五八九十甲八圖一甲至十甲
九圖一二三甲九上圖一二六八十甲十圖一二
三四六七七上八九十甲十一圖一甲至六甲八
甲世德圖三甲至十甲五十九都一圖一甲至十
甲二圖副一二三四八十甲三圖一二三七九十
甲三圖上一二五八十甲四圖一三六八十甲四
圖副五圖一二四六八九十甲七圖一三五六八
九十甲八圖一甲至十甲八上圖一二三六九十
甲九圖一四五七八九十甲六十都二圖一三四
六八九十甲又二圖一三五七九十甲四圖一四
七九甲東四圖一三五七七十甲五圖一三五七八
九十甲六圖一二三七八九甲八圖一三五六八
九十甲十圖一三甲六甲至十甲十下圖一四七
九甲十一圖協一四八十甲十一圖單一四七甲
六十一都一圖一二五六八九十甲二圖一三七
八九十甲二上圖一四七八九十甲三上圖二五
六七九甲三下圖一三五七八九十甲四圖一三

四七九十甲五圖一三五六七八十甲七圖二四
七十八甲七上圖一五六七甲青紫圖一三四五
七甲六十二都一圖一三五七八九甲一上圖一
五六八九甲二圖一三四五七八十甲二圖單三
圖一二三四六七八十甲四圖一三四甲六甲至
十甲五圖四五七甲六圖一甲至五甲七甲至十
甲又六圖四甲至八甲七圖三四五七八九甲八
圖一二四六八甲九圖一四五七甲十圖一四五
七甲十四圖一四七八十甲六十三都一圖一三
五六七九十甲一義圖一五六甲一圖單甲二圖
一四五七九甲二上圖二甲至五甲又二圖四五
七甲三圖二五七九甲四圖單三五六七甲五圖
一三五七八九甲六仁圖二五七八甲陸義圖二
五六甲八圖一三七八甲十圖一四七八甲十圖
協一三五甲十三圖一四六甲十五圖一三四六
七甲廣聚圖一三五七甲南鄉一都一圖一甲至
十甲二圖一二甲四甲至十甲三圖一甲至七甲
九甲怡怡圖一三五六七九甲又附城南一三四
甲六甲至十甲三十五都一圖一甲至五甲三下

圖二三甲六甲至十甲四圖一二三四六八九十
甲五圖一甲至十甲六上圖一甲至六甲八九十
甲六下圖四甲六甲至十甲七圖一甲至五甲九
圖二甲至五甲九圖副十甲單三十六都二圖六
七九十甲二圖協甲三圖單五圖單七圖一甲至
十甲八圖一甲三甲至十甲八圖副九甲六甲至
十甲十圖一甲至十甲十三圖一甲至五甲十四
圖單全威圖一甲三十七都一圖一二四五七八
九十甲二圖六甲至十甲三圖一甲至四甲六七
九十甲四上圖古甲四下圖五甲至十甲六圖一
三四六九十九甲七圖一甲至五甲七八九甲八圖
一四甲六甲至十甲九圖單十圖單至樂圖單中
三十八都二圖一甲至五甲七十九甲二美圖一
甲至四甲三圖一甲至七甲三義圖一二甲四圖
一甲至六甲八九十甲六圖一甲至六甲六圖單
七圖仁壽甲八圖上單甲光裕圖三十九都一圖
協甲二圖副甲三圖一三四五八九甲四十都一
圖一甲至八甲十甲三圖一二三四七十九甲四圖
一甲至十甲四圖副五圖六甲至十甲五下圖單

甲六圖單甲七圖二三四五七八九十甲四十一
 都一上圖一甲至五甲一下圖六甲至十甲二圖
 一甲至五甲三圖一甲至八甲十甲四圖一甲至
 十甲副四圖一二四五甲五圖一甲至五甲九十
 甲七圖一甲至十甲四十二都一圖一二三五八
 九十甲三圖一二四五六八九甲四圖二甲至十
 甲五圖一甲至十甲七圖一二甲四甲至十甲七
 圖單八圖單副上圖單協圖單瑞圖一二五甲義
 圖一二四甲四十三都一圖一四六八甲二圖一
 二四七上甲二圖單三圖一甲至六甲四圖六
 甲至十甲五圖二三四六八九十甲五半圖一四
 五六甲七上圖二四五甲八圖一四七八十甲九
 圖一五八十甲十圖二六七八十甲十上圖二四
 五甲十二圖一三四五六甲十三圖單四十四都
 一圖一二三五七九甲三圖一三四五六十甲
 五圖一甲至七甲九甲六圖一二四十甲七圖一
 五六八十甲七圖副八圖一三四六八十甲九圖
 一四六十甲四十五都一圖一甲至十甲三圖陸
 崇六七八十甲五圖六八十甲五上圖一甲至六

甲六圖一甲至八甲十甲七圖單八圖一三六七
 九甲九圖單甲四十六都一圖一三五八十甲二
 上圖一二五甲二下圖六甲至十甲三圖一二三
 五六八十甲四圖尾一三四八九尾甲五圖二五
 八九甲六圖一三八九甲七圖單八圖一協一協
 三協四甲四十七都一圖一甲至四甲七甲至十
 甲二圖一二三五六八九十甲三圖三五六七八
 十甲五圖一三九五甲至九甲六圖一甲至六甲
 八九十甲七上圖一三四五甲四十八都一圖一
 二四五六八九十甲二圖單三圖一甲至七甲九
 十甲四圖副四圖又副五圖一甲至十甲古六圖
 一二四甲六甲至十甲軍六圖七圖一上一甲至
 十甲十上甲八圖二三四六七八十甲九圖一甲
 至九甲九上十甲十圖一甲至十甲崇福圖一甲
 至五甲四十九都一圖一甲至六甲三圖一甲至
 五甲四上圖一二三五八九十甲六圖一甲至七
 甲八圖副九圖一甲至五甲九甲九上圖一二三
 甲福壽圖一三五六七九甲五十都民一圖一甲
 至十甲二圖二甲至十甲三圖二三民三四甲又

三圖一五甲四圖一又一甲至十甲五圖一一上
三四五六上七八九十甲五圖單瑞五圖一二
三甲六圖一甲至八甲十甲六順圖七圖五甲至
十甲九圖一甲至六甲八甲八上九十甲十圖一
二甲四甲至十甲十一圖單十二圖一二四五甲
十三圖一甲至八甲禮義圖一二五六十甲五十
一都一圖一二二上三又三甲至九甲一圖單一
上圖一二三五六七九甲二圖一甲至五甲二圖
又單二圖副三圖一甲至十甲三圖單四圖六甲
至十甲五圖一三上四上六七八九又九十甲七
圖四五六又六甲至十甲十四圖單十五圖單甲
西鄉四都一圖一甲三甲至十甲二圖一甲至六
甲八九甲三圖五六八九十甲四圖一甲至七甲
九十甲正四圖一二四五六甲七圖一甲至十甲
七圖上副八一上圖一二三五六七八十甲又附
城西一甲四甲至十甲五都一圖一甲至十甲二
圖一甲至五甲七甲至十甲三圖一甲至五甲四
圖三四五九甲五圖一甲至五甲六圖二五甲六
圖單甲十圖單甲六都一圖一甲至十甲一上圖

一甲至五甲三下圖一二甲四甲至十甲三下圖
單五圖一甲至十甲五圖單九圖一三四五七九
甲十一圖一三四十甲七都一圖一二甲四甲至
八甲十甲二圖一甲至十甲二圖單二圖又副四
圖一二四五六八甲八都一圖一甲至六甲二圖
一二四甲三圖愷甲八圖單甲九都一圖二四五
七八十甲一圖協一圖怡威甲二圖一三五十甲
識仁圖惜陰甲三圖一甲至六甲十都二圖一甲
至七甲九十甲三圖一二六七十甲十二圖單十
一都二圖一甲至六甲八九甲三圖一甲至六甲
八九十甲四圖一甲至十甲五圖六甲至十甲十
二都一下圖二三六七八十甲二圖一二八十甲
二圖又單三上圖一甲至五甲十甲十三都二圖
一二三七甲三圖一二三五六七九十甲四上圖
一四六七八九甲十四都一圖一甲至四甲六甲
至九甲二上圖一甲三圖一甲六甲至十甲三上
圖一二四五六甲裕後圖二三甲十五都一圖單
一上圖一甲至五甲七八甲三圖一甲至四甲六
甲至十甲五圖一二四五六七十甲五圖僧甲十

六都協一圖一三四五六八甲三上圖一甲至五
甲七甲三下圖六甲至十甲十一圖一甲至四甲
十七都二圖一甲至十甲三圖一甲至五甲七甲至
十甲四圖一二三四六八甲十八都一圖一甲至
十甲二圖一甲至十甲三上圖一甲至五甲三下
圖六甲至十甲四圖一甲至五甲十九都一圖一
甲至六甲二圖一四八九甲二十都一圖一甲
至五甲七甲至十甲一圖單二圖一甲至七甲九
十甲三圖一甲至五甲五圖一甲至十甲八圖一
二六九甲長久圖一甲至五甲二十一都一圖一
甲至七甲九十甲一圖單三圖一二甲四圖一甲
至十甲五圖一四六七甲五圖副七圖副攸久圖
一二三五六甲二十二都一圖一甲至十甲二圖
一甲至七甲九十甲三圖一甲至六甲三上圖單
四圖一甲至五甲北鄉二都一圖一甲至十甲二
圖二三四六甲二圖副三圖一甲至十甲三上
圖一甲至八甲十甲三圖副四圖一甲三甲至十
甲北圖一上甲又附城北一二四甲六甲至十甲
六十四都一圖一三四七八九十甲二圖一五七

八九甲四圖一二三甲五甲至十甲四上圖二五
六八九甲四圖副五圖三四五七甲六圖一四五
七八九十甲又六圖一三六七八甲九圖一五六
七九甲九圖副十五圖三四五七甲爵譽圖二四
五七甲協圖三四五甲六十五都一圖一二甲四
甲至八甲二圖一甲至七甲三圖一甲至八甲四
圖一甲至十甲五圖一甲至八甲六圖一甲三甲
至九甲七圖一甲至五甲七八甲六十六都一圖
一甲至十甲二圖一甲至九甲二上圖一甲至十
甲二下圖一甲至九甲三圖一甲至七甲又三圖
一二甲四甲至八甲八圖一甲至十甲八圖又副
一甲至七甲餘慶圖一甲至五甲七甲六十七都
一圖一甲至六甲八九十甲二圖一二三甲五甲
至十甲三圖一甲至四甲六甲至十甲三上圖一
三五七九甲四圖三五七八甲四圖副五圖一三
四五七八九甲六圖一四五七八甲七圖一三四
六七九十甲十圖一三四七九甲十三圖一三五
七九甲六十八都一圖一甲至五甲七甲至十甲
二圖三五七八十甲四圖三五七九十甲四圖副

五圖一二三五七九十甲六圖副十圖二三四五
七八九十甲十三圖二四五七甲六十九都一圖
一二四七九十甲一上圖一三五七九甲一下圖
二三五甲二圖一三五九甲二上圖一三五七甲
三圖一二三甲五甲至九甲三上圖三四七九甲
又三圖一三五七十甲又四圖三五六八甲五圖
一甲至五甲七九十甲六圖一甲至六甲八九十
甲陸義圖一三四五七九十甲八圖一甲至十甲
十一圖一三五七十甲十三圖一三四七九甲福
壽圖一三五六七甲慶豐圖一二甲潔己圖一二
三四甲受祿圖貞祥圖新瑞圖等處共被水被旱
各別民田地一千八百五頃六十一畝零應緩地
丁銀一萬一千六百三十兩零漕米六千七百八
十六石零同東鄉五十七都二圖五十八都一三
圖六十三都一三圖南鄉四十四都三圖四十五
都四圖四十八都八圖四十九都一圖平橋圖五
十一都八圖西鄉四都一二四圖五都一二圖六
都一圖二上圖一甲至六甲十甲二下圖八都一
圖十都一圖十一都二圖十二都一二三四圖十

三都一圖十九都一圖二十都一圖一二三甲三
圖一二三甲北鄉六十四都一二圖六十八都圖
等處被水被旱屯田二十三頃二十七畝四分八
釐應緩漕運屯糧銀三百四十四兩零餘租銀六
百三十兩零永新縣之東鄉六十三都臺上等村
一圖一甲至十甲二圖大有圖上五甲昌盛圖下
五甲福六十四都長源等村一三圖從善圖上五
甲頭圖七星圖一甲至十甲近六十四都上坪等
村一圖一甲至十甲二圖下五甲三圖上五甲六
十五都菜下等村一四五六七圖康圖上五甲二
三圖十圖一甲至十甲八九圖安親圖下五甲六
十六都洲下陂等村一四圖仁義禮智信等圖一
甲至十甲二三圖上五甲六圖同結圖下五甲六
十九都歸仁頭圖七十都日暉橋等村大安仁義
五常鳩興等圖和圖一甲至十甲七十一都白土
等村一圖文恭圖上五甲二三圖昌義圖一甲至
十甲四圖下五甲福七十二都橫江市等村一圖
下五甲信義圖一甲至十甲仁善圖上五甲賢七
十二都汴田等村一二圖和義圖上五甲安仁圖

下五甲等處被旱各則民田五百七十三項應徵地丁漕米內緩徵十分之五銀一千九百五十五兩零米五百六十九石零並南鄉五十三都秋溪等村叶義圖八圖上五甲合義吉星兩圖下五甲六圖一甲至十甲五十四都水尾等村一圖尚義南星兩圖上五甲二三八九十圖下五甲四圖一甲至十甲五十五都橫露等村一圖結公圖一甲至十甲二三七圖萬年能由合盛陽禮合義等圖上五甲九五圖下五甲福五十六都黃棋等村一圖興文圖下五甲二圖一甲至十甲九十圖泉義圖上五甲近五十六都平分等村一圖上五甲二圖一甲至十甲豐五十七都橫石頭等村二圖上五甲四五六圖下五甲洲尼圖一甲至十甲福五十七都泰山橋等村一二圖上五甲福五十八都長富等村一二圖五鳳新下圖一甲至十甲才五十八都陟下等村一三圖上五甲二圖協義圖一甲至十甲五十九都塗嶺等村一二三圖伏威三忠兩圖一甲至十甲信義致和兩圖上五甲永興圖下五甲等處被旱各則民田四百七項四十五畝

應徵地丁漕米內緩徵十分之四銀一千二百二十六兩零米三百五十七石零同西鄉封十一都黃江等村一圖一甲至十甲二四圖上五甲六七圖下五甲永十一都一三四六八等圖上五甲二五七圖下五甲仁義圖一甲至十甲上十二都臺洲等村一二三圖上五甲四五十圖下五甲六七八九等圖一甲至十甲下十二都灌沈等村頭圖上五甲二圖至九圖一甲至十甲上十三都交文等村四仁圖上五甲下十三都視田等村一二七圖集賢圖上五甲三圖一甲至十甲四圖下五甲十四都洋港等村一二三圖明德圖一甲至十甲四五圖上五甲上十五都夏溪等村一圖上五甲仁禮圖一甲至十甲下十五都湯嶺等一二圖桂山圖上五甲和樂漢鼎兩圖一甲至十甲十六都沙市等村五圖下五甲四圖一甲至十甲十七都厚田等村上一圖上洲明倫聯科等圖上五甲二四圖下五甲永正九全兩圖炳圖一甲至十甲十八都龍田等村二圖仁義崇賢秀衣等圖上五甲三七和禮泉善等圖一甲至十甲秀純圖下五甲

十九都木江等村一圖一甲至十甲二圖上協叶
義兩圖康圖上五甲四十都潘陽等村一六圖景
圖神仙圖下五甲二三四五七等圖進圖巨圖上
五甲信達圖一甲至十甲四十一都東路等村一
三圖原尚圖一甲至十甲二六八九等圖上五甲
四七圖崇安圖下五甲上四十二都汶竹等村一
圖一甲至十甲二六圖源達圖上五甲四圖五樂
圖積善慶圖下五甲下四十二都落溝等村一二
圖景山圖上五甲樂善圖下五甲四十三都高坑
等村一二九十等圖慶圖上五甲三四七八等圖
下五甲福乾圖一甲至十甲四十四都甌潭等村
一二三圖善慶圖下五甲六十都麻田等村一二
五圖一本新義貴和忠恕等圖上五甲三四圖正
昌忠信兩圖下五甲六十一都成都等村一二三
圖健荷承成兩圖上五甲四維王圖下五甲六十
二都沙頭洲等村二三圖上五甲仁圖下五甲等
處被旱各則民田九百六十九頃五十畝應徵地丁
漕米內著徵徵十分之五銀三千七百三十五兩
零米一千八十八石零並北鄉一都左望等村一

圖五永圖上五甲二三圖下五甲五六圖四同圖
四義圖一甲至十甲上二都官溪等村一圖下五
甲三義倡義兩圖上五甲九德同昇兩圖一甲至
十甲下二都小鳳塘等村一二三圖五永圖一甲
至十甲四五圖東慶圖下五甲七圖下五甲三都
中政等村四五六圖上五甲七圖下五甲衆義圖
一甲至十甲四都賴田等村一圖仁義圖一甲至
十甲二三四五等圖下五甲善發圖上五甲平五
都石溪等村三至圖福圖一甲至十甲八九圖上五
甲禾五都前市等二圖福星圖上五甲四圖下五
甲崇善圖一甲至十甲六都風上等村三益新並
兩圖一甲至十甲二九三義兩圖上五甲七都蛇
形等村一九十等圖一甲至十甲二三七八等圖
和好圖上五甲四五圖三豐圖下五甲八上都五
圖等村一圖一甲至十甲二三圖中和大吉兩圖
上五甲八下都花波等村一圖和威圖下五甲仁
圖一甲至十甲二五圖忠清兩美聯珠等圖上五
甲九都獅山等村一圖仁義禮智等圖一甲至十
甲信圖萬鑑圖上五甲嘉謀七政兩圖下五甲十

都荒上等村豐圖乾圖首圖懷清圖下五甲本圖
旋圖崇義圖上五甲福圖叶吉圖一甲至十甲六
十二三兩都七十一上都一甲至十甲七十二都
汴田等村七十三都樂義順義上義思義由義等
圖峻義圖一甲至十甲等處被旱各則氏田九百
八十二頃二十畝應徵地丁漕米內緩徵十分之
六銀四千四百二十八兩零米一千二百八十九
石零同東鄉福六十四都長源等村近空四都上
坪等村六十五都菜下等村六十六都洲下陂等
村六十七都觀音橋等村六十八都白堡等村六
十九都高橋等村七十一都白土等村七十二都
汴田等村南鄉五十三都秋溪等村五十四都水
尾等村五十五都橫路等村福五十六都黃棋等
村近五十六都平分等村五十八都長富等村五
十九都塗嶺等村西鄉封十一都黃江等村禾十
一都上十二都臺洲等村下十二都灌沆等村上
十三都交文等村下十三都視田等村十四都洋
港等村十五都夏溪等村十六都沙市等村十七
都厚田等村十八都龍田等村十九都木江等村

四十都潘陽等村四十一都東路等村上四十二
都汶竹等村下四十二都落溝等村四十三都東
溪等村四十四都元頭等村六十一都城都等村
北鄉一都左望等村四都賴田等村六都風上等
村七都蛇形等村上八都五園等村下八都花陂
等村九都獅山等村十都荒山等村各軍圖一幫
至十幫等處共被旱屯田九十頃五畝八分六釐
應緩屯丁銀十六兩零存留糧銀六十五兩零漕
運屯糧銀五百三十兩零餘租銀一千八百九十
八兩零鄆陽縣之東隅一圖三六十八甲二圖四甲
南隅五圖六十八甲六圖六十八甲西隅一圖九甲
二圖四甲五圖八甲七圖十甲北隅一圖七八甲
二圖十甲三圖八甲永二圖一二甲四圖一甲六
圖四六甲東北關一圖六八甲三甲六甲後一圖
全甲二圖全甲四圖一二八甲一都一圖二甲四
圖三甲三四都一圖二二六甲二圖一甲至五甲
八九十甲又二圖六七甲三圖至十一圖各全甲
十二圖四甲十四圖二二六七八甲十五圖二三
四六甲十六十七圖各全甲十八圖三四五六甲

十九圖全甲二十圖一二四五七八甲二十一圖全甲四都九圖十甲六都一圖一四六七八甲二圖二四九甲七都一圖一五七八甲又一圖四七十甲二圖九甲三圖一二三四六九甲八都一圖三甲三四圖各全甲六圖一四五十甲十圖三八十甲十一圖全甲九都一圖一二四八十甲十都二圖全甲三圖一五甲又三圖二三四甲六甲至十甲四圖一二四五七八甲十一都二圖一甲又二圖二三四甲七甲至十甲三圖二三五六八甲四圖全甲五圖三八甲又五圖四甲十二都一圖一甲至四甲又一圖字號六甲六七九十甲二圖一二四六八十甲崇一圖二圖各全甲辛一圖二圖各全甲十四都一二圖各全甲十七都一圖一甲至七甲九十甲又一圖一甲二圖一甲至九甲二十一都二圖四甲四十八都二圖一二三五十甲三圖二四五甲四圖一甲至五甲八十甲五十都四圖七甲五十一都二四五圖各全甲六圖一四五六八九十甲七八圖各全甲九圖二三七十甲十圖六甲五十二都一圖至十圖各全甲五十

三都一圖二五八十甲二圖全甲三圖四九甲四圖全甲五圖一甲五十四都三圖三八甲四圖二三四五九甲五六圖各全甲五十六都四圖二甲五十七都一圖一三甲五甲至九甲五十八都一圖一七八九甲二圖四六十甲三四五圖各全甲六圖四六八九甲七圖全甲五十九都二圖四甲又二圖二三五六八十甲三圖二甲至七甲九甲四五六圖各全甲七圖三十甲八圖二三五六七十甲又八圖八甲六十四都二圖六甲四圖全甲六十五都一二三圖各全甲六十六都一圖至四圖各全甲六十七都一圖一三五九十甲一圖三四六甲北鄉四圖十甲等處共被水各則民田地三千五百一頃四十六畝零應緩地丁銀八千四百七十二兩零漕米四千三百二十一石零並坐落西北鄉屯田全行被水應緩屯糧丁銀二十六兩零存留屯糧銀一百四十六兩零漕運屯糧銀八百十五兩零餘租銀九百九十九兩零餘于縣之東隅一圖一二六八九十甲小溪等村二圖三十九甲灣里等村南隅一圖一二四六八九十甲

三塘等村二圖三甲至七甲九十甲南關等村三
圖二甲至十甲蝦子等村西隅一圖一甲至四甲
六甲至十甲嚴溪等村二圖一甲至十甲下童等
村西隅四圖一甲至六甲八九十甲上童等村西
隅五圖一二五七十甲後街等村六圖一三五六
八九十甲大湖等村北隅一圖三八九十甲周家
等村二圖一甲至五甲七九十甲洲上等村三圖
一三甲五甲至十甲大毛等村二都一圖一甲至
十甲東港等村二圖一甲至十甲上塔等村三圖
一甲至五甲七甲至十甲徐家等村三都一圖一
甲至十甲陳家等村二圖一甲至十甲周圩等村
三圖一甲至六甲九十甲院前等村四都一圖一
甲至十甲東灣等村二圖一甲至十甲澆頭等村
三圖一甲至五甲七八十甲白家等村四圖一甲
至十甲小路等村五都一圖一二甲四甲至十甲
勉山等村二圖一二甲四甲至十甲後周等村六
都一圖二三五六九十甲符河等村四圖一四
五
六
七
九十甲坂背等村七都一圖九甲畢溪等村
九都一圖一甲至八甲十甲奠下等村二圖二

至十甲史家等村三圖一甲至十甲博水等村四
圖一甲至十甲古埠等村五圖一二四甲七甲至十
甲石窟等村六圖一二三甲五甲至十甲馬
村七圖一二甲四甲至十甲振尾等村八圖
至十甲下段等村二十六都八圖二甲至五甲七
甲至十甲西岩等村二十七都一圖一甲至十甲
漕塘等村二圖一甲至十甲青林等村三圖一甲
至十甲柘屋等村四圖二甲至十甲壩灣等村二
十八都一圖三五九十甲洲上等村二圖一甲至
五甲七甲至十甲尖山等村三圖一甲三甲至七
甲九十甲在里等村四圖一二四六七八十甲龍
津等村五圖三五甲七甲至十甲墻頭等村六圖
四六九十甲南河等村七圖二甲至八甲十甲前
灣等村二十九都一圖一甲至十甲金坑等村二
圖一甲至十甲大坂等村三圖一甲至十甲西倉
等村四圖一甲至七甲九十甲胡下等村五圖一
甲至十甲桐源等村三十都一圖一二三甲五甲
至八甲十甲大毛等村二圖一甲至十甲大口等
村三圖一甲至十甲排頭等村四圖二五六七九

十甲高坑等村五圖二三五七八九十甲涂坊等
 村六圖一甲至五甲七甲至十甲樓下等村七圖
 六九十甲小埠等村三十一都一圖一甲至十甲
 赤岸等村二圖一甲至七甲十甲西源等村三圖
 一甲至十甲榨下等村四圖一甲至十甲尺江等
 三十二都一圖一甲至十甲朱灣等村二圖一二
 四甲六甲至十甲搭前等村三圖一甲至十甲排
 港等村四圖一甲至十甲西坪等村五圖一甲至
 十甲石子等村六圖一甲至十甲南河等村七圖
 一甲至十甲义口等村八圖十甲下西村三十三
 都一圖一甲至十甲大湖等村二圖一甲至十甲
 塘西等村三圖一甲至八甲十甲新溪等村三十
 四都一圖一甲至十甲毫湖等村二圖一甲至十
 甲上曹等村三圖一甲至十甲竹山等村三十五
 都一圖一甲至十甲土坊等村二圖一甲至十甲
 梁山等村三圖一甲至十甲大塘等村四圖一甲
 至十甲松山等村五圖一甲至十甲崇山等村三
 十六都一圖一二三甲五甲至十甲神口等村共
 被水各則民田四千一百二十八頃五十五畝零

應緩地丁銀一萬二千四百七十八兩零漕米五
 千九百十二石零萬年縣之北鄉隔塘村一都一
 圖四甲十甲尾甲二圖一甲三圖一甲至六甲九
 十甲尾甲四圖五六甲尾甲陶嶺村東隅一都一
 八十甲尾甲西鄉雷華村二都三圖三六七八九
 十甲尾甲東隅二圖二甲十甲北鄉石頭村十三
 都三圖一甲至十甲尾甲四圖一甲至十甲尾甲
 西鄉白馬村二都一圖一二五六七九十甲尾甲
 二圖二甲四甲至十甲尾甲三都一圖四甲七都
 三圖尾甲塘東村十二都三圖三五九甲尾甲北
 鄉道港隔港村十三都二圖一二甲四甲至十甲
 尾甲南隅二圖七甲均湖村十二都四圖三六八
 十甲尾甲永豐村西隅一圖五甲尾甲北隅一圖
 一四甲西隅二圖一甲山背村十四都三圖一甲
 至十甲尾甲十一都四圖三九甲尾甲青塘村十
 三都一圖一甲至十甲尾甲燠湖村十四都
 一甲至十甲尾甲雙藍村十四都四圖一三
 甲尾甲余柏村十四都一圖一甲至十甲尾
 處共被水各則田地一千六十七頃七十六畝零



應緩地丁銀二千六百三十四兩零漕米一千六百七十五石零星子縣之下七都上二都下二都上三都下三都上四都下四都上七都下八都五都六都及河村清風五里柘陽吳障城市南村北村等黨共被水各則民田三百七十頃六十一畝零應緩地丁銀一千九百一十一兩零同坐落七都南石黨下二都南渚黨上七都南茭黨下八都南茭黨河村黨九七黨清風黨九三黨柘陽黨九六黨吳障黨九四黨等處共被水各則七田四十一頃四十九畝零應緩地丁銀七十二兩零餘租銀五百五十一兩零都昌縣之一二都各一甲至十甲三上都三下都各一甲至十甲四上都二九甲四下都一二三五六八十甲五都二甲至十甲六上都六下都各一甲至十甲七都一甲至四甲六甲至十甲八都一甲至十甲九都一甲至六甲八九十甲十上都一甲至六甲八九十甲十中都一甲至四甲六九十甲十下都一甲至十甲十一都一甲四甲至八甲十甲十三上都二甲至五甲十甲十三下都二三五六八十甲十四上都二甲至

十甲十四下都一二甲四甲至十甲十五都一二四五六八九十甲十六都三六九甲十八都一二四五六八九十甲十九都一六八甲二十三都二甲二十五上都十甲二十六上都一二三甲七甲至十甲二十六下都一二三五七八九甲二十八都四甲二十九都一二甲四甲至十甲三十都一二三五六八九十甲三十一都二三五六七八十甲三十二三都各一甲至十甲三十四都一甲至六甲八九十甲三十五都一甲至十甲三十六都一甲至八甲十甲三十七八都各一甲至十甲四十一二都各一甲至十甲四十三都一二甲四甲至十甲四十五八都一甲至五甲七甲至十甲四十六七都一甲至十甲市一圖一甲至十甲市二圖一甲至六甲八九十甲市三圖二甲至八甲十甲市四市五圖各一甲至十甲柴圖一甲至十甲左圖一二四六八九十甲等處共被水各則民田二千一百四十九頃十四畝零應緩七分地丁銀五千七百四十四兩零漕米三千七百四十七石零建昌縣之歸義鄉一二三四五圖各一甲至十

甲新城鄉一二三四五六七八圖各一甲至十甲
修智鄉一二三四圖各一甲至十甲岸仙鄉一二
三四五圖各一甲至十甲甘泉鄉一二三四五六
圖各一甲至十甲受安鄉一二三四五六圖各一
甲至十甲永豐鄉一二三四五六七八九十十一
十二三十四五十六圖各一甲至十甲凝遠
鄉一二三四五六七八圖各一甲至十甲豐安鄉
上一二圖下一二圖三四五六七十一十二圖各
一甲至十甲德政鄉一二三四五六圖各一甲至十
甲市鎮鄉一二三四圖各一甲至十甲蘆鎮鄉圖
一甲至十甲釣台鄉一二三四五六七八九圖各
一甲至十甲等處共被水被旱各則田地五千三
百七十七頃四畝四釐應緩地丁銀一萬六千九
百二十六兩零漕米八千四百八十八石零並安
義縣寄莊坐落建昌縣之歸義新城甘泉受安永
豐凝遠豐安德政市鎮釣台等鄉各圖甲內被水
被旱各則田地七十二頃九十五畝零應緩地丁
銀三百四十二兩零漕米一百五十六石零德化
縣之桑落鄉上伍有司保勞家埂詹家港赤松鄉

上鄉下鄉官牌夫港口八五城子鎮三班泰臨鄉
城東城西城南城北通津鄉附城東西南北四隅
新民鄉下磯灣封廓鄉封一封二高埠橫港小池套
口李家口南池等寨南昌鄉黃司洞下馬塗長嶺
仙居鄉夏家鋪王老門城門湖李家河白鶴鄉石
門寨沙河太平宮鶴問寨黃土勘洞中寨陶華寨
德化鄉石塘鋪譚家坂東城坂殷家坳仁貴鄉硤
石大姑塘迴峯磯洪壠埂劉家嶺甘泉鄉蓋橋坂
王老門南昌鋪羅家塘張家山楚城鄉議所灣隄
心堰拾方坂荆林街堰尾等處共被水被旱各則
民田地二千五百四十六頃二十五畝零應緩地
丁銀三千八百二十八兩零並南衛坐落桑落鄉
程家營石埠頭桂家嘴下伍桑落封廓楊泗寨新
河封廓南昌鄉瑞昌仙居鄉王家洲義門白鶴鄉
黃土勘七里壚冲仁貴鄉殷家社仁貴洪壠甘泉
鄉百戶花田公祖路西園山楚城鄉上寨左泗又
九衛桑落鄉李家營全家壩羅家渡赤松鄉八五
團白洲城子鎮三班封廓鄉楊泗寨沙地寨白鶴
鄉太平寨土局寨危家寨德化鄉湖灣桂家壠仁

貴鄉廣西寨八里坡余家榨甘泉鄉分水嶺馬曰
嶺黃老門等處共被水被旱各則屯田地一千二
百四十頃二十二畝零應緩屯丁銀一百三十二
兩零存留屯糧銀九百六十五兩零漕運屯糧銀
三千七百九十五兩零餘租銀七千一百七十五
兩零同桑落鄉之桑落牧鵝林柳蔡楊家等洲桂
家營赤松鄉之赤松通津仁貴鴨蛋等洲團洲封
一鄉之封一洲沙池寨蔣家營封二鄉之封二洲
北關寨套口寨等處共被水被旱洲地九百五十
三頃八十四畝零應緩十三年應徵十二年蘆課
銀一千三十二兩零德安縣之東南路水鄉黃灣
陳灣固村墩下金雞附城河東后田烏石神子在
市墩上等堡東北路山鄉大壠高塘黃登召龍城
上仁勝秦山洞霄青龍等堡西北路山鄉小路峯
林聶橋義勇吳山西源山萬乾港溪源王公太平
塘山安福鄒橋楊坊白水楊梅白楊義門源潭尖
山雲峰中正神武等堡西南路山鄉上木下木粟
坑上黃田下黃田河南固守南田茶里橫山博陽
南路永安等堡共被水被旱各則田地山塘一千

七百八十五頃七十七畝零應緩地丁銀六千七
百五十六兩零并南九二衛坐落附城陳灣烏石
在市河東固村等堡並星子德化桑落赤松封廓
仁貴甘泉等鄉被水各則屯田地九十七頃七十
畝應緩屯丁銀九十四兩零存留屯糧銀一百八
兩零漕運屯糧銀七百十四兩零餘租銀一千六
十三兩零同南九二衛坐落黃田河南神武聶橋
義勇中正尖山固守小路太平粟坑峯林青龍王
公吳山西源洞霄山萬乾港溪源南田茶里白楊
橫山鄒橋白水源潭義門楊坊安福塘山等堡並
星子德化楚城甘泉白鶴等鄉被旱各則屯田地
塘四百七十五頃八十二畝零應緩屯丁銀一百
七十八兩零存留屯糧銀二百四兩零漕運屯糧
銀一千三百五十四兩零餘租銀二千一百九十
六兩零瑞昌縣安泰鄉之周灘九屯九民青龍安
城營桂暗林巴山迴龍羅湖板林東關荆林金崗
兩壇等堡營桂北營桂圻今一鄉之烏塘金蛇高
武馬頭等堡今二鄉之封門黃橋河塘牛山連山
武茭長流大林西隆北亭等堡甘露鄉之禁坪北

樂界首雙城等堡蒼城下半堡橫嶼下半堡南陽
堡秦城堡等處共被水被旱各則氏田地五百九
十三頃十七畝零應緩地丁銀三千四百八十一
兩零並九江衛坐落安泰德化赤松南昌仙居朗
山渠田等鄉被水被旱各則屯田地一百三十二
頃六十一畝零應緩漕運屯糧銀一千一百五十兩
零餘租銀二千一百六十三兩零湖口縣之上鄉
九都一三甲二圖二八甲十一都三四甲十三都
四八甲十四五都一七甲十六都二七甲十七都
二六甲二十都一九甲中鄉一圖二五甲八都四
九甲一坊一九甲二坊一二九甲十二都四十甲
下鄉三都八十甲四六都一三五甲五都二三五
甲七都二四甲等處被水各則田九百八十頃五
畝零同上鄉九都一四九甲二圖二五甲十一都
一二十甲十三都五十甲十六都二三甲中鄉一
圖五八甲八都二五甲一坊一九甲二坊二九甲
下鄉四六都三五甲五都三四甲七都一三四
甲等處被旱各則田五百五頃三十五畝零應緩
徵地丁銀四千六百八十七兩零並下鄉四六都

及編入德化縣之仁貴鄉宿松縣之孟家洲等處
共被水被旱屯田四十二頃三十八畝零應緩漕
運屯糧銀一百七十四兩零餘租銀四百二十八
兩零彭澤縣之一都一甲茅店等村二甲柏椿等
村三甲莊里等村四甲將軍廟等村五甲土橋等
村六甲老屋等村七甲陽南湖等村八甲大山等
村九甲董家塘等村十甲南壠村二都一甲第屋
等村二甲下莊灣等村三甲卓里劉等村四甲殺
豬塢等村五甲嶺背等村六甲程圍裏等村七甲
嶺上等村八甲程同裏等村九甲火冲等村十甲
蔣家邊等村三都一甲村裏伍等村二甲茅屋等
村三甲青山壩等村四甲老屋柯等村五甲老屋
詹等村六甲月池等村七甲官廳等村八甲老屋
高等村九甲五甲等村十甲新屋畢等村四都一
甲墩上等村二甲何家潭等村三甲桃潭等村四
甲礦山等村五甲壘嶺等村六甲大林等村七甲
陡礮等村八甲卓頭等村九甲畢家渡等村十甲
七鳳山等村五都一甲尖山等村二甲上屋等村
三甲蕪裏等村四甲塘壩等村五甲坂上等村六甲

大塘角等村七甲大塢等村八甲把口等村九甲
新屋等村十甲老屋等村六都一甲岸上等村二
甲掠家園等村三甲曹冲等村四甲浙村等村五
甲港下山等村六甲小林等村七甲堰塘等村八
甲方家廟等村九甲滾溪港等村十甲港下等村
七都一甲石壁山等村二甲大路柯家等村三甲
白林橋等村四甲神眼洞等村五甲早兒山等村
六甲坂上等村七甲下坂等村八甲太平坂等村
九甲苜蓿港等村十甲踏路坳等村八都一甲高
坂等村二甲汪家壩等村三甲燕窩等村四甲冷
水澗等村五甲朱家壩等村六甲媽媽礮等村七
甲長冲等村八甲嘆子嶺等村九甲老屋等村十
甲蓮塘等村九都一甲桑園等村二甲嵐嶺等村
三甲女兒橋等村四甲神霞等村五甲蜂窩等村
六甲橋亭等村七甲毛家灘等村八甲梓樹等村
九甲田里等村十甲柳樹等村十二都一甲拾牛
嶺等村二甲排上等村三甲竹林等村四甲郭家
礮等村五甲新屋等村六甲嚴魚灣等村七甲黃
荆礮等村八甲鑛峰等村九甲老屋易等村十甲

小嶺等村十三都一甲老灣等村二甲長嶺等村
三甲栗樹林等村四甲火廠等村五甲九房等村
六甲小屋等村七甲徐家嘴等村八甲三房等村
九甲匠時等村十甲桃紅山等村十五都一甲折
屋等村二甲爛柴港等村三甲饒家店等村四甲
楊家塘等村五甲馬家壠等村六甲黃土嶺等村
七甲梅家嘴等村八甲神樓廟等村九甲老屋艾
等村十甲項家山等村二十都一甲方家店等村
二甲龍池橋等村三甲上彭等村四甲八房方等
村五甲老屋李等村六甲法通寺等村七甲下彭
等村八甲老屋江等村九甲廣東柯等村十甲陽
西橋等村二十五都一甲廟前等村二甲栗瓏等
村三甲陳家山等村四甲蕭家等村五甲大山等
村六甲尖山等村七甲梧桐嶺等村八甲大鼓山
等村九甲土馬山等村十甲張家山等村三十都
一甲破屋等村二甲牌樓等村三甲黃金盤等村
四甲駱家嶺等村五甲堰上等村六甲竹槓等村
七甲八斗塢等村八甲劉相裏等村九甲石壠劉
等村十甲何百里等村上三十三都一甲蓮花坂

等村二甲高屋等村三甲栗樹時家等村四甲井塘等村五甲犁頭壩等村下三十三都六甲擱牌洲等村七甲新洲等村八甲蕭老洲等村九甲魏家泱等村十甲白沙洲等村一二坊尖山黃姓等村丁家嘴等村楓門王姓等村袁家山等村涼亭等村宋家堰等村第屋宗姓等村共被水被旱民田地一千九百七頃七畝零應緩地丁銀四千六百七十九兩零同四都下隅坂白洋湖等村梅林坂等村七鳳山等村七都太平坂上坂等村下坂等村八都烏沙坂油店等村上水壠等村九都周家埠等村新田坂等村六房周等村十二都古樓坂碼頭等村崇嶺饒等村建德戶嶺峰口等村青山礮等村二十都三百戶水沖等村椿樹等村黃土港等村楊梓橋法通寺等村龍眼橋等村民佃方家店等村唐家洲等村二十五都上滌洪張家山等村挑重山等村栗壠等村三十都定山鈔智等村觀音壩等村陳家橋等村二百戶石澗橋等村毛栗等村共被水被旱屯田地四百二十頃四十二畝零應緩屯丁銀二百八十一兩零存留屯糧

銀三百三兩零漕運屯糧銀六百八十四兩零餘租銀一千八百八十四兩零並下三十三都六爻蔣家營蕭老王家營魏家泱沙灣磨盤接源白沙孫家汪家墩龍潭口等洲共被水洲地九百十二頃十二畝零應緩十三年歷徵十二年蘆課銀一千一百五十四兩零九江府同知所轄南衛柰落鄉大灣三伯柰盛新生永興等洲九衛柰落鄉翁家羅葛東瓜等洲羅家渡新生羅家二洲毛溪壩譚家韋家李家詹家等營汪家漢洋灣永興新生等洲赤松鄉項家牛皮二洲小江埭田家林小江埭李祥洲南衛封一鄉封廓洲九衛封二鄉封廓洲等處共各則地五百六十八頃九十九畝零內被災較重地畝應緩十三年歷徵十二年蘆課銀七百五十二兩零均著緩至光緒十四年秋後分作兩年帶徵武甯縣安樂鄉一都至八都各一遞至十遞昇仁鄉十都至十三都十五都至十八都二十都各一遞至十遞上南鄉三十九四十一兩都各一遞至十遞一二圖下南鄉四十都四十二都至四十四都各一遞至十遞江陰鄉四十五都至

四十八都各一遞至十遞長樂鄉四十九都至五十四都各一遞至十遞北鄉二十三都至二十九都各一遞至十遞順義鄉三十四都至三十八都各一遞至十遞年豐鄉三十都至三十三都各一遞至十遞城市鄉一二三圖等處共被旱各則田地四千八百九十三頃十七畝零應緩十分之一地丁銀一千二百二十八兩零漕米一千三百七十九石零著緩至光緒十四年秋後帶徵湖口縣梅家大灣牛湖興福永和謝張秦張等洲共被水洲地三百九十四頃五十二畝零應緩十三年歷徵十二年蘆課銀二百七十一兩零著緩至光緒十四年秋後分作三年帶徵南昌縣光緒六七八九十一一十二年原緩各本年地丁漕米又新建縣光緒六七八十一一十二年原緩各本年地丁漕米又新淦新喻二縣光緒十一年各原緩本年地丁漕米峽江縣光緒七八九十十一年原緩各本年地丁漕米廬陵縣光緒七年原緩本年地丁漕米存留屯糧漕運屯糧餘租十一年原緩本年地丁漕米吉水縣光緒七年地丁原緩本年地

丁漕米永豐縣光緒九年原緩本年地丁漕米泰和縣光緒六七年原緩各本年地丁漕米東鄉縣光緒八九年原緩各本年地丁漕米餘干縣光緒八十一一十二年原緩各本年地丁漕米樂平縣光緒六七九十年原緩各本年漕米均除完納外其餘未完同原緩各本年地丁併八年原緩本年地丁漕米浮梁縣光緒十年原緩本年地丁除完納外其餘未完同原緩本年漕米又安仁縣光緒十二年原緩本年地丁漕米德興縣光緒八年原緩本年地丁漕米萬年縣光緒八十一一二年原緩各本年地丁漕米星子縣光緒七十八十一年原緩各本年地丁屯糧丁餘租都昌縣光緒八十一年原緩各本年地丁漕米德化縣光緒八九十十一年原緩各本年地丁屯糧丁存留屯糧漕運屯糧餘租廬徵七八九十十一年蘆課德安縣光緒十二年原緩本年地丁屯糧丁存留屯糧漕運屯糧瑞昌縣光緒八十一年原緩各本年地丁漕運屯糧餘租又湖口縣光緒六七八十一一十二年原緩各本年地丁除完納外其餘未完同原緩各

本年漕運屯糧餘租例九年原緩本年地丁漕運屯糧餘租彭澤縣光緒六年原緩本年二限一半地丁屯糧丁存留屯糧漕運屯糧餘租八十一年原緩各本年地丁屯糧丁存留屯糧漕運屯糧餘租歷征五七十年蘆課均著遞緩至光緒十四十五兩年秋後帶征又進賢縣光緒十二年原緩本年地丁漕米清江縣光緒十一年原緩本年地丁漕米蓮花廳光緒六七八九十一十二年原緩各本年地丁漕米漕運屯糧餘租安福縣光緒十二年原緩本年地丁漕米漕運屯糧餘租鄱陽縣光緒十一年原緩本年地丁漕米屯糧丁存留屯糧漕運屯糧餘租餘于縣光緒七年原緩本年地丁漕米建昌縣光緒十二年原緩本年地丁漕米併安義縣寄莊建昌縣光緒十二年原緩本年地丁漕米德化縣光緒七年原緩本年地丁屯糧丁存留屯糧漕運屯糧餘租歷征六年蘆課德安縣光緒十一年原緩本年地丁屯糧丁存留屯糧漕運屯糧九江府同知所轄蘆洲光緒十二年原緩本年歷征十一年蘆課均著遞緩至光緒十五十

六兩年秋後帶征又進賢縣光緒十一年原緩本年地丁漕米清江縣光緒九年原緩本年地丁漕米新淦縣光緒九年原緩本年地丁漕米新喻縣光緒十年原緩本年地丁漕米安福縣光緒十一年原緩本年地丁漕米漕運屯糧餘租餘于縣光緒六年原緩本年地丁漕米浮梁縣光緒八年原緩本年地丁除完納外其餘未完同原緩本年漕米建昌縣光緒十一年原緩本年地丁漕米並安善縣寄莊建昌縣光緒十一年原緩本年地丁漕米德化縣光緒六年原緩本年地丁屯糧丁存留屯糧漕運屯糧餘租歷徵五年蘆課德安縣光緒十年原緩本年地丁屯糧丁存留屯糧漕運屯糧九江府同知所轄蘆洲光緒十一年原緩本年歷徵十年蘆課均著遞緩至光緒十六十七兩年秋後帶徵又進賢縣光緒十年原緩本年地丁漕米安福縣光緒十年原緩本年地丁漕米漕運屯糧餘租鄱陽縣光緒十年原緩本年地丁漕米漕運屯糧漕運屯糧餘租建昌縣光緒十年原緩本年地丁漕米並安義縣寄莊建昌縣光緒十年原緩本

年地丁漕米德安縣光緒九年原緩本年地丁屯糧丁存留屯糧漕運屯糧九江府同知所轄蘆洲光緒十年原緩本年原緩九年蘆課均著遞緩至光緒十七十八兩年秋後帶徵進賢縣光緒九年原緩本年地丁漕米新淦縣光緒八年原緩本年地丁漕米新喻縣光緒九年原緩本年地丁漕米安福縣光緒九年原緩本年地丁漕米漕運屯糧餘租建昌縣光緒九年原緩本年地丁漕米並安義縣寄莊建昌縣光緒九年原緩本年地丁漕米德安縣光緒八年原緩本年地丁屯糧丁存留屯糧漕運屯糧九江府同知所轄蘆洲光緒九年原緩本年原緩八年蘆課均著遞緩至光緒十八十九年秋後帶徵又進賢縣光緒八年原緩本年地丁漕米安福縣光緒八年原緩本年地丁漕米漕運屯糧餘租鄱陽縣光緒九年原緩本年地丁漕米屯糧丁存留屯糧漕運屯糧餘租建昌縣光緒八年原緩本年地丁漕米並安義縣寄莊建昌縣光緒八年原緩本年地丁漕米德安縣光緒七年原緩本年地丁屯糧丁存留屯糧漕運屯糧九江府同知所轄

光緒八年原緩本年原緩七年蘆課均著遞至光緒十九二十年秋後帶徵又進賢縣光緒七年原緩本年地丁漕米新淦縣光緒七年原緩本年地丁漕米新喻縣光緒八年原緩本年地丁漕米安福縣光緒七年原緩本年地丁漕米漕運屯糧餘租建昌縣光緒七年原緩本年地丁漕米並安義縣寄莊建昌縣光緒六年原緩本年地丁漕米九江府同知所轄蘆洲光緒六年原緩本年原緩五年蘆課均著遞緩至光緒二十一二十二兩年秋後帶徵又新淦縣光緒六年原緩本年地丁漕米新喻縣光緒七年原緩本年地丁漕米均著

遞緩至光緒二十二二十三兩年秋後帶徵新喻縣光緒六年原緩本年地丁漕米著遞緩至光緒二十四二十五兩年秋後帶徵永新縣光緒六七八九十十一十二年原緩各本年地丁漕米屯糧丁存留屯糧漕運屯糧餘租興國縣光緒七年原緩本年地丁均著遞緩至光緒十四年秋後一併帶徵湖口縣光緒六七八九十一十二年原緩各本年原緩五六七八九十一一年原緩均著遞緩至光緒十四十五十六等三年後帶徵以紓民力餘著照所議辦理該撫即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

54 光緒十四年正月二十三日內閣奉

上諭謙德奏奉差官負改道出關請旨飭查一摺翰林院侍讀學士錫鈞奉旨前往科爾沁致祭自應照例由喜峯口台站行走乃輒取道山海關擅改舊章殊屬任性錫鈞著交部嚴加議處欽此

55 光緒十四年正月二十三日內閣奉
上諭戶部奏將參擅動軍餉之署將軍請交部議處一摺署伊犁將軍錫綸前因挪借商銀補發兵餉屢經戶部駁查尚未覈准乃輒將該處新餉歸還商款實屬任意擅專錫綸著交部議處欽此

56 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年正月二十三日奉

旨依議欽此

57 摘錄劉錦棠片

富勒銘額歷署烏魯木齊領隊大臣及護理都統與臣共事於一切邊防要務靡不和衷商辦識見老成洵為不可多得自以身受

國恩亟思圖報可否願懇

天恩准其交卸並應如何

擢用之處出自

鴻施

光緒十三年閏四月初四日奉

硃批知道了

58 光緒十四年正月二十四日內閣奉

上諭上年直隸各屬被水災區節經降旨蠲緩糧租並由李鴻章奏請提撥銀米分別賑撫俾資接濟惟念現距麥秋為時尚遠低窪之區積水未消小民生計維艱朝廷彌深廩賑除順天被水各屬業經賞給京倉漕米三萬石外直隸被災各州縣允

宜再沛恩膏以濟春賑著將本年江蘇海運漕米撥給十萬石即在天津就近截留由李鴻章詳查應賬戶口及時散放並以工代賑覈實經理其隨漕輕齎等項及剝價運費經剝耗食米石並著解交賑局應用該督務當飭令所屬認真撫恤毋任官吏稍有弊混用副軫念民艱有加無已至意該部知道欽此

59 光緒十四年正月二十四日內閣奉

上諭貴州貴西道負缺著邵積誠補授欽此

60 光緒十四年正月二十四日內閣奉

上諭直隸宣化府知府負缺著鄒振岳補授欽此

61 查貴州貴西道直隸宣化府知府均係衝繁難

要缺謹

奏

62 光緒十四年正月二十四日內閣奉

上諭劉錦棠奏已故大臣戰功卓著請宣付史館並
建立專祠一摺署塔爾巴哈臺參贊大臣明春上
年因病出缺業經降旨優卹該大臣久任邊防勦
勤卓著其在哈密辦事大臣任內練兵屯田尤多
政績該處人民至今誦思不忘加恩著將該故大
臣生平戰績宣付國史館立傳並准於哈密地方
建立專祠以彰勞勩該衙門知道欽此

63 光緒十四年正月二十四日奉

旨除例貢准予賞收外其餘貢物著留抵下次正貢
欽此

禮部奏朝鮮例貢請賞收著思方物應
否留抵下次正貢摺

64 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片十四件分別繕擬批條呈進恭候
欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年正月二十四日奉

旨依議欽此

65 李鴻章片一件劉錦棠摺一件遵擬批條呈進

恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

光緒十四年正月二十四日奉

旨依議欽此

66 光緒十四年正月二十五日奉

旨戶部議奏欽此

從銳營奏請 賞還公費銀兩摺

67 蒙

發下摺件已奉

硃批八件其餘應請

批示漢字摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理健銳營奏請

賞還公費銀兩摺擬請

旨令戶部議奏恭候

命下傳知該部遵照鄧華熙奏懇請

陛見摺擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年正月二十五日奉

旨依議欽此

68 光緒十四年正月二十六日內閣奉

上諭此次京察引見三品以下京堂各官均著照舊

供職欽此

69 蒙

發下摺件已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年正月二十六日奉

旨依議欽此

70 蒙

發下摺件臣等公同商閱應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候
欽定候

硃批

發下後致遵辦理謹

奏

光緒十四年正月二十八日奉

旨依議欽此

71 光緒十四年正月二十九日內閣奉

上諭李秉衡奏已故撫臣戰功卓著遺愛在民請建
專祠一摺前任雲貴總督劉長祐在籍病故業經
降旨賜卹該督於咸豐同治年間兩任廣西巡
撫剿辦賊匪所向克捷殲除伏莽綏靖邊疆其於
地方各事宜興利除弊亦能殫心經理洵屬勤勞
懋著遺愛在民加恩著在廣西省城建立專祠以
彰蓋績該部知道欽此

72 光緒十四年正月二十九日內閣奉

上諭李秉衡奏統兵大員保障邊關懇准建立專祠

一摺貴州安義鎮總兵陳嘉前因傷發病故業經
降旨優卹該總兵忠勇性成前在廣西邊境卓著
戰功以死勤事該處紳民至今感念不忘加恩著
在龍州建立專祠列入祀典由地方官春秋致祭
以彰勞勩而順輿情該部知道欽此

73 光緒十四年正月二十九日內閣奉

上諭李秉衡奏丁憂知州虧短交代銀兩請旨革職
拏問監追一摺前廣西全州知州姚清臣於全州
本任及賀縣臨桂署任內虧短正雜各款銀兩為
數甚鉅疊經勒限嚴追迄未完繳實屬延玩姚清
臣著即行革職拏問監追並提集經手丁書人等
嚴訊是侵是挪分別按律懲辦以重庫款該部知
道欽此

74 光緒十四年正月二十九日內閣奉

上諭李秉衡查明虧短交代各員分別參追一摺
前任廣西容縣知縣文星照荔浦縣知縣吳燾已
革署富川縣知縣丁燾已故鬱林直隸州知州董

寶書陽朔縣知縣趙敏熙署陽朔縣知縣兆慶昭
平縣知縣馬圻義甯縣知縣洪霖署遷江縣知縣
錢湛霖西隆州知州何養恆恭城縣知縣秦霖熙
署柳城縣知縣陳子康北流縣知縣陳贊堯前在
各本任署任內虧欠銀米迭經屢催迄未解繳實
屬玩延文星照吳燾均著摘去頂戴勒限四箇月
如數完解丁燾業經離省著廣東巡撫勒限半年
完繳董寶書趙敏熙兆慶馬圻洪霖錢湛霖何養
恆秦霖熙陳子康陳贊堯各家屬均經回籍著正
白旗漢軍都統直隸陝甘四川各總督江蘇江西
廣東雲南各巡撫提傳嚴追勒限半年完繳以重
庫款餘均照所議辦理該部知道欽此

75 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示清漢摺片單十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年正月二十九日奉

旨依議欽此

76 光緒十四年正月三十日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨順天府奏近因
月餉搭放制錢當十大錢市面未能照常行使一摺
前因規復制錢仍准搭用當十大錢並照戶部擬定
章程通行制錢之時每當十大錢准抵制錢二文官
民商賈均照此行使捐項稅務亦照此折抵搭成交
收是大錢本與制錢相輔而行並不廢棄疊次諭旨
甚為明晰乃據該衙門奏稱近來市面惶惑專挑極
重當十大錢稍輕者即不行使致小民持錢不能購
食等語似此情形皆由奸商有意把持以致愚民疑

慮貽累閭閻殊堪痛恨著步軍統領衙門順天府五城再行一體出示曉諭凡官鑄當十大錢每文重至二錢以上者均飭令一律行用不准稍有挑剔如再有不肖商民藉端勒抑倡為廢棄大錢之說並任意增長物價者立即嚴拏照例懲辦毋稍寬貸欽此

77 光緒十四年正月三十日內閣奉

上諭李秉衡奏已故撫臣功德在民請建專祠並將事蹟宣付史館一摺前雲南巡撫張凱嵩在任病故業經降旨賜卹該故撫於咸豐同治年間由知縣游升廣西巡撫殲除逆匪綏靖邊疆於地方一切事宜均能殫心經畫功績昭然至今輿情愛戴加恩著照所請准於廣西省城建立專祠並將事蹟宣付國史館立傳以彰蓋績該衙門知道欽此

78 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年正月三十日奉

旨依議欽此

79 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 光緒十四

年二月初一日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨昨據順天府奏當十大錢未能照常行使一摺已明降諭旨宣示矣該衙門原奏內稱外間州縣現均禁錢出境請飭天津保定銜途及近畿一帶商民運錢入京者不准攔阻等語錢法貴流通若果各處壅遏何以劑盈虛而資周轉近畿各屬因何禁錢出境著李鴻章詳查現在情形妥籌辦理將此諭令知之欽此遵旨寄信前來

80 光緒十四年二月初一日內閣奉

上諭朕自沖齡入承大統仰蒙

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后垂簾聽政憂勤宵旰

十有餘年中外奠安羣黎被福上年

命朕躬親大政仍

俯鑒孺忱特允訓政之請溯自同治以來前後二十

餘年我

聖母為天下憂勞無微不至而萬幾餘暇不克稍資頤

養撫衷循省實覺寢饋難安因念西苑密通宮庭

聖祖仁皇帝曾經駐蹕殿宇尚多完整稍加修葺可以

養性怡神萬壽山大報恩延壽寺為

高宗純皇帝侍奉

孝聖憲皇后三次祝嘏之所敬踵前規尤微祥洽其清漪

園舊名謹擬改為頤和園殿宇一切亦量加葺治

以備

慈輿臨幸恭逢

大慶之年朕恭率羣臣同伸祝悃稍盡區區尊養微忱

願懇再三幸邀

慈允欽奉

懿旨自垂簾聽政以後夙夜祇懼如臨淵谷今雖寰宇

粗安不遑暇逸之心無時少弛第念

列聖勅幾聽政問民疾苦凡範圍之設蒐狩之舉原非

若前代之肆意遊畋此舉為皇帝孝養所關深宮未

忍過拂况工用所需悉出節省羨餘未動司農正款

亦屬無傷國計但外間傳聞不悉或竟疑同明園工

程亦由此陸續興辦則甚非深宮統惕之本懷蓋以

現在時勢而論固不能如雍正年間之設正朝建公
署即使民康物阜四海乂安其應仰紹

前猷克光令緒者不知凡幾尤當審時度勢擇要而同
深宮隱願所存豈在游觀末節想天下亦應共諒惟
念皇帝春秋鼎盛此後順親之大尤在勤政興學克
己愛民不可因壹意奉親轉開逸游宴樂之漸至中大
小臣工尤宜忠勤共勵力戒因循浮靡積習冀臻上
理庶不負深宮殷殷求治之苦心實所厚望欽此朕
欽承

慈訓惟當祇服懍遵不敢稍涉侈縱諸臣亦應仰體
聖慈諄勉至意各勤職業共贊昇平現在西苑將次告

竣謹擇於四月初十日恭奉

皇太后鑾輿駐蹕其一切值班守衛事宜均照王大臣
等前奏章程敬謹辦理將此通諭知之欽此

81 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片單五件分別繕擬條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年二月初一日奉

旨依議欽此

82 文碩摺片單六件遵擬批條呈進恭候

欽定俟同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

83 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片單十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年二月初二日奉

旨依議欽此

84 光緒十四年二月初三日內閣奉

上諭本年輪應查閱湖北湖南雲南貴州四省營伍

之期湖北即派裕祿湖南即派卞寶第雲南即派

岑毓英貴州即派潘霽遂一查閱認真簡校如有

訓練不精軍實不齊者即將廢弛之將弁據實參

奏毋得視為具文欽此

85 光緒十四年二月初三日內閣奉

上諭衛榮光奏甄別庸劣不職各負一摺浙江試用

知府王恩咸遇事顛頑嗜好甚深東防同知孫熹

居心奸險辦事虛浮西防同知孫晉梓辦公不力利
慾薰心試用同知王綜糊塗昏懦惟利是圖試用
同知莊濟泰工於謀利品行卑汙慈溪縣知縣趙
煦巧於鑽營同知大體永康縣知縣趙德漳信任
家丁玩視民瘼前署東陽縣事候補知縣羅焱才
庸識陋公事模糊候補知縣陳同恩行為卑鄙安
事營求候補知縣余純榮性情狡詐言語荒誕樂
清縣大荆縣丞海瀛才具昏庸聲名甚劣東陽縣
縣丞傅勳性情浮躁不檢細行太平縣典史沈振
海心懷頗側操守平常東陽縣典史王懷清人欠
純正職守亦疏永嘉縣教諭石綸藻人欠安靜士
論不孚太平縣教諭陸錫蕃年老多欲事理不明
候補鹽經歷祝元龍膽大妄為不知檢束均著即
行革職瀘安縣知縣李詩嗜好孔多不能振作台
州府經歷趙祖賢兩耳重聽辦事踟躕台州府教
授陳雲瑞氣體衰弱步履艱難浦江縣訓導李廷
銓存心猥鄙難資表率均著勒令休致縉雲縣知
縣陳泰階性近拘迂懶於聽斷惟係進士出身文
理尚優著以教職歸部銓選以肅官方餘著照所

議辦理該部知道欽此

86 蒙

發下摺件已奉

硃批十四件其餘應請

批示漢字摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年二月初三日奉

旨依議欽此

87 楊昌濬摺片三件張之洞等摺一件衛榮光摺

一件倪文蔚摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

二月初三日

88 光緒十四年二月初四日內閣奉

上諭此次京察一等圈出人負著各該堂官再行出

具切實考語交吏部帶領引見圈出之滿洲蒙古

中書筆帖式等官著歸入理事同知通判內遇有

缺出與舊記名人負一體帶領引見漢軍漢人著

交部以撫民同知通判等官分別選用起居注主

事恩彥太常寺寺丞兼贊禮郎慶連光祿寺署丞

祥蔭署正陳開蕃侍衛處主事色普肯唐古忒學

司業奎鳳順天府治中查光泰宗人府委署主事

宗室恩綸禮部主事職銜彥忠翰林院典簿滋厚通

政使司知事蔡殿森太常寺贊禮郎郭羅清阿德

鳳典簿陳春山園子監助教成慶李湛典簿麟瑞

鴻臚寺鳴贊覺羅寬裕侍衛處委署主事多祥鑾
儀衛鳴贊鞭官覺羅廣福欽天監春官正郭照奎
博士恆安俱著交部照例以應升之缺升用其內
閣侍讀隆文等二百八十一員俱著准其一等加
級欽此

89 本年

京察一等

硃筆圈出人負名單

內閣侍讀隆文

內閣侍讀奎華

內閣侍讀馮鏡仁

內閣侍讀王鵬運

翰林院侍讀志銳

翰林院侍讀朱琛

翰林院侍讀王文錦

詹事府左春坊左中允韓文鈞

詹事府左春坊左贊善貴鐸

翰林院編修王祖光

翰林院編修王貽清

翰林院修撰曹鴻勳

翰林院編修吳樹梅

翰林院編修李培元

翰林院編修高釗中

翰林院編修倪恩齡

翰林院編修江澍昉

翰林院修撰王仁堪

翰林院編修蔣良

奏事處行走內務府員外郎保順

內繕書房行走刑部員外郎恩立

宗人府理事官候補四品京堂宗室祥霖

吏部郎中寶安

吏部郎中呂鍾三

吏部郎中劉子銓

吏部員外郎蔭保

戶部郎中文海

戶部郎中惠昌

戶部郎中榮安

戶部郎中吳澍霖
戶部郎中楊廷傳
戶部員外郎宗室松安
戶部員外郎重煥
戶部員外郎鍾英
戶部員外郎宗室溥頤
戶部員外郎劉齊潯
戶部員外郎胡廷幹
戶部員外郎施典章
戶部員外郎葛寶華
禮部郎中玉恆
禮部郎中康敷
禮部員外郎恆壽
禮部員外郎徐家鼎
兵部郎中誠瑞
兵部郎中福善
兵部郎中党吉新
兵部員外郎恩壽
兵部員外郎曾樹椿

刑部郎中鳳林
刑部郎中阿克敦
刑部郎中長春
刑部郎中燕起烈
刑部郎中孫欽晃
刑部郎中周景曾
刑部員外郎希賢
刑部員外郎餘慶
刑部員外郎象濟
刑部員外郎盧東政
刑部員外郎吳引孫
工部郎中英奎
工部郎中徵厚
工部郎中啟紹
工部郎中景星
工部郎中中衡
工部郎中松壽
工部郎中夏玉瑚
工部員外郎那謙

工部員外郎畢崇

理藩院郎中覺羅存振

理藩院郎中慶秀

理藩院郎中福敏

理藩院員外郎齊普森

戶科掌印給事中文綱

都察院掌京畿道監察御史瑞霖

都察院掌河南道監察御史舒普

都察院掌廣東道監察御史恩燾

都察院掌河南道監察御史謝祖源

都察院掌福建道監察御史黃煦

起居注主事恩彥

太常寺寺丞慶連

光祿寺署正兼贊禮郎祥蔭

光祿寺署正陳開著

太僕寺員外郎常清

侍衛處主事色普肯

步軍統領衙門員外郎成安

倉場坐糧廳監督吏部郎中善承

禮部郎中周芳樸

倉場大通橋監督宗人府理事官宗室祥祺

唐古忒學司業奎鳳

內閣典籍端木垞

內閣典籍薛浚

內閣中書慶春

內閣中書慶壽

內閣中書恆全

內閣中書慶瑞

內閣中書覺羅忠普

內閣中書倭恆額

內閣中書查恩綏

順天府治中查光泰

內繕書房行走翰林院筆帖式文照

上諭處行走戶部銀庫筆帖式錫年

宗人府委署主事宗室恩綸

吏部筆帖式委署主事聯芳

吏部筆帖式委署主事聯錦

吏部筆帖式委署主事英濂

吏部筆帖式聯魁
 吏部筆帖式委署主事覺羅鍾培
 吏部筆帖式委署主事長旰
 戶部筆帖式胡英秀
 戶部筆帖式惠祐
 戶部筆帖式穆圖布
 戶部筆帖式玉衡
 戶部筆帖式隨泰
 戶部筆帖式文貴
 戶部筆帖式覺羅忠潤
 戶部筆帖式和爾賡額
 禮部主事職銜彥忠
 禮部筆帖式達桑阿
 兵部筆帖式裕琦
 兵部筆帖式崇源
 兵部筆帖式岱山
 兵部筆帖式恩良
 刑部筆帖式聯豫
 刑部筆帖式額特赫

刑部筆帖式慶祥
 刑部筆帖式恆榮
 刑部筆帖式玉貴
 刑部筆帖式德隆
 刑部筆帖式文謙
 刑部筆帖式常泰
 工部筆帖式祥霖
 工部筆帖式克昌
 工部筆帖式常存
 工部筆帖式彥秀
 工部筆帖式智齡
 工部筆帖式聯芳
 理藩院筆帖式崇智
 理藩院筆帖式光耀
 理藩院筆帖式景祺
 理藩院筆帖式連厚
 理藩院筆帖式志祿
 理藩院筆帖式豐陞額
 都察院筆帖式瑞璽

都察院筆帖式英志
 都察院筆帖式多托理
 吏科筆帖式德昇
 戶科筆帖式鍾福
 禮科筆帖式奎英
 兵科筆帖式佛爾國春
 刑科筆帖式希陵阿
 工科筆帖式慶安
 翰林院典簿澂厚
 翰林院筆帖式覺羅福匯
 翰林院筆帖式劉維灝
 起居注筆帖式松明
 詹事府筆帖式增全
 通政使司知事蔡殿森
 大理寺筆帖式長壽
 太常寺贊禮郎郭羅清阿
 太常寺贊禮郎德鳳
 太常寺典簿陳春山
 光祿寺筆帖式春溥

太僕寺筆帖式平喜
 國子監助教成慶
 國子監助教李湛
 國子監典簿麟瑞
 鴻臚寺鳴贊覺羅寬裕
 鴻臚寺筆帖式文銓
 中書科中書郭薰之
 侍衛處委署主事多祥
 步軍統領衙門筆帖式繼福
 鑾儀衛鳴贊鞭官覺羅廣福
 倉場衙門筆帖式花尚額
 欽天監春官正郭照奎
 欽天監博士恆安

90 光緒十四年二月初四日內閣奉
 上諭福建按察使裴蔭森著開缺以三品京堂候補督
 辦福建船政事宜欽此

91 光緒十四年二月初四日內閣奉
上諭福建按察使著奎俊補授欽此

92 光緒十四年二月初四日內閣奉

上諭前因御史牟蔭喬奏泰山東煙臺海口防營統領孫金彪營務廢弛縱勇擾民各款當經諭令張曜確查具奏茲據查明覆奏孫金彪既無縱容營勇游蕩搶奪等情即著毋庸置議惟副將李連得於駐營地方聘娶民女究有不合李連得著革職留營以示懲儆該部知道欽此

93 光緒十四年二月初四日內閣奉

上諭潘蔚奏整頓吏治分別舉劾一摺貴州署糧儲道候補道儲裕立署貴西道候補道袁開第奏補貴東道貴陽府知府負鳳林安順府知府蒲蔭枚清平縣知縣趙文源前署貴筑縣知縣截取試用知縣任勝署貞豐州知州試用知縣鄧嘉縝試用知縣呂緝光據潘蔚臚列該負等才識吏治均有可觀為貴州出色之負著潘蔚飭令該負等益加

策勵勉為循良毋得始勤終怠獨山州知州竇耀下江通判姚善澍安化縣知縣鄧善耀辦事竭蹶均著開缺另補普定縣知縣彭億清天柱縣知縣廖鏡伊才具平庸惟均係進士出身文理尚優著以教職歸部銓選委辦白層河釐局候補通判王懋祖善於舞弊惟利是圖著即行革職委辦黃草壩釐局候補知府何湘植任聽巡丁舞弊短收甚鉅且疏懈性成難資表率著以同知降補仍留貴州補用以肅官方餘著照所議辦理該部知道欽此

94 蒙

發下摺報已奉

硃批二十二件其餘應請

批示漢字摺片二十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年二月初四日奉

旨依議欽此

95 光緒十一年二月初四日內閣奉

上諭此次京察一等圈出人負著各該堂官再行出具切實考語交吏部帶領引見圈出之滿洲蒙古中書筆帖式等官著歸入理事同知通判內遇有缺出與舊記名人負一體帶領引見漢軍漢人著交部以撫民同知通判等官分別選用起居注主事考廉太常寺寺丞克們泰光祿寺署正誠慶陳開蕃侍衛處主事穆都哈阿唐古忒學司業奎鳳上諭處委署主事延祚宗人府委署主事宗室經文泰翰林院待詔伊絲泰大理寺司務王儒楷太常寺贊禮郎慶連郭羅清阿讀祝官迪興典簿陳春山園子監典簿麟瑞助教成慶李湛鴻臚寺鳴贊覺羅寬裕侍衛處委署主事多祥鑾儀衛鳴贊報

官覺羅廣福欽天監博士陳壽彭靈臺郎瑞純俱著交部照例以應升之缺升用其內閣侍讀鶴山等二百八十一員俱著准其一等加一級欽此

96 光緒十四年二月初五日內閣奉

上諭慶裕等奏神靈顯應請頒匾額並加封號一摺奉天錦縣大凌河西

龍王神廟夙著靈應上年夏間陰雨連綿河水驟漲田禾被淹經該處民人虔伸祈禱漫水平落年穀有秋實深寅感著南書房翰林恭書匾額一方交慶裕等祇領飭屬敬謹懸掛以答神庥至所請勅加封號之處著禮部議奏欽此

97 光緒十四年二月初五日奉

旨左翼監督著師曾去右翼監督著恩去欽此

98 應放在右翼監督之侍郎名單

吏部左侍郎松澂

右侍郎景善

硃。

戶部右侍郎熙敬

禮部左侍郎敬信 現在才孝

右侍郎續昌 現兼署刑部右侍郎

兵部左侍郎師曾

右侍郎綿宜

刑部左侍郎桂全

工部左侍郎烏拉布

理藩院左侍郎崇禮

右侍郎慶福

99 應放左右翼監督之副都統名單

文秀

致麟

嵩山

恩全

承綬

希郎阿

容貴

連慶

硃。

符珍

明秀

芬車

安興阿

尚昌懋

桂祥

德福

恩善

德隆

色普微額

秀吉

耆齡

惠銘

富森布

福森布

恩佑

花尚阿

吉恆

100 蒙

發下摺件已奉

硃批二十三件其餘應請

批示清漢摺片二十七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理慶裕等奏大凌河

龍王神靈應請

頒匾額摺擬繕明發

諭旨令南書房翰林書匾給領封號令禮部議奏戶

部奏請

簡放左右翼監督摺單一件查照成案分繕侍郎副

都統名單呈進恭候

圈出二頁

發下後繕寫明發

諭旨呈進謹

奏

光緒十四年二月初五日奉

旨依議欽此

101 蒙

發下摺報已奉

硃批九件其餘應請

批示清漢摺片單十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年二月初六日奉

旨依議欽此

102 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理吏部題翰林院侍講缺開列請
簡本擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年二月初七日奉

旨依議欽此

103 據都察院送到文頤咨文奏稿等件恭呈

御覽謹

奏

二月初七日

104 光緒十四年二月初八日內閣奉

上諭福建興泉永道員缺緊要著該督於通省道員
內揀員調補所遺員缺著吳世榮補授欽此

105 光緒十四年二月初八日內閣奉

上諭剛毅奏神靈顯應請頒匾額一摺山西浮山縣
城內

龍神廟素著靈應光緒三四年間饑饉浮臻疊經
該處紳民祈禱獲沛甘霖嗣後偶值旱澇每禱必
應轉歉為豐實深寅感著南書房翰林恭書匾額
一方交剛毅祇領飭屬敬謹懸挂以答
神庥欽此

106 光緒十四年二月初八日內閣奉

上諭剛毅奏特參庸劣不職各員一摺山西靜樂縣
知縣王勳立舉動輕浮難膺民社著以縣丞歸部
銓選絳縣知縣趙德熙年力就衰難期振作著勒
令休致渾源州知州唐元齡公事積滯臨晉縣知
縣李榮和性情拘謹均著開缺另補以肅官方餘
著照所議辦理該部知道欽此

107 光緒十四年二月初八日內閣奉

上諭吏部奏遵旨嚴議處分一摺翰林院侍讀學士

錫鈞著照部議降四級調用不准抵銷欽此

108 光緒十四年二月初八日奉

上諭據都察院奏准駐藏大臣文碩咨送秦陳藏地事宜摺稿電稿並與圖加說等件一摺覽奏殊堪詫異文碩自抵藏後於開導藏番事宜並不慎遵諭旨切實妥辦識見乖謬不顧大局已降旨撤令來京茲復擅將未奉明旨之奏稿密電各件竟行移咨都察院意在聳動言官紛紛瀆奏以遂其忿爭挾制之私殊屬膽大妄為此風斷不可長文碩著即行革職該部知道欽此

另鈔送
醇邸
交部
總理衙門

109 蒙

發下摺件已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年二月初八日奉

旨依議欽此

110 滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

道銜禮部郎中玉恆

侍讀銜刑部郎補主事桂春

四品銜吏部郎補郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾賡額

理藩院郎補郎中志樸

漢頭班章京

前太僕寺卿馮光勳

刑部員外郎吳引孫

刑部員外郎孟繼堧

兵部即補郎中沈恩嘉

戶部主事即補員外郎顧璜

吏部主事即補員外郎王倣

刑部即補員外郎陳邦瑞

四品銜兵部主事即補員外郎胡寶鐸

刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

四品銜通政使司叅議整岫

理藩院員外郎即補郎中奎華

戶部主事即補員外郎孚琦

侍讀銜戶部主事延祉

四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

太僕寺少卿錢應溥

四品銜工部員外郎祝維城

吏部員外郎兼襲騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳芾棠

刑部即補主事易俊

刑部即補主事馮錫仁

員外郎銜吏部候補主事孫朝華

戶部候補主事王頌蔚

光緒十四年二月初九日內閣奉

上諭四川成都府知府負缺緊要著該督於通省知

府內揀負調補所遺負缺著恩壽補授欽此

112 光緒十四年二月初九日內閣奉

上諭此次京察引見年至六十五歲以上之戶部主事玉福太常寺筆帖式慶昌光祿寺典簿榮林順天府訓導溫如春均著以原品休致餘著照舊供職欽此

113 交吏部本日軍機大臣面奉

諭旨惲彥彬奏因病貽誤召對自請議處一摺惲彥彬著交部議處欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交計黏鈔摺一件

二月初九日

114 光緒十四年二月初九日奉

旨長有著賞加二品銜並賞戴花翎欽此

戶部奏粵海關監督長著請獎摺

115 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵理其應行請

旨摺單五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年二月初九日奉

旨依議欽此

116 軍機大臣 字寄

江蘇巡撫崧 光緒十四年二月初十日奉

上諭工部奏要工需用金匱請旨嚴催一摺江蘇承

辦金匱欠解甚鉅現在

天壇工程暨澄懷堂各殿座工程需用孔多上年十月

間經該部奏請飭令該省提前趕解迄今尚未解

到殊屬玩延著嵇駿將應解金靴一萬二千一百塊
趕緊委員於二月內運至通州赴部交納毋稍遲
誤將此由四百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來

鈔交工部

117 光緒十四年二月初十日內閣奉

上諭甘肅鞏昌府知府負缺著丁振鐸補授欽此

118 查甘肅鞏昌府知府係銜繁疲難最要缺謹
奏

119 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片單十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年二月初十日奉

旨依議欽此

120 盧士杰片一件劉銘傳摺一件遵擬批條呈進

恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

二月初十日

121 軍機大臣 字寄

欽差督辦河南鄭州大工事宜禮部尚書李 署河

東河道總督李 河南巡撫倪 光緒十四年

二月十一日奉

上諭前據李鶴年等奏鄭工進占丈尺按半月一次
奏報等語自正月十八日接到李鴻藻等奏報挑
水壩進占情形後迄今已逾半月尚未續據奏到
朝廷以鄭州要工關繫甚鉅刻不容緩現在桃汛
將臨工程緊迫近日進占情形若何著即迅速馳
奏以紓厯系將此由四百里各諭令知之欽此遵
旨寄信前來

122 光緒十四年二月十一日奉

旨依議欽此

兵部奏遵議錫鑄處分摺

123 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示清漢摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年二月十一日奉

旨依議欽此

124 光緒十四年二月十二日奉

旨此次內務府三院等處京察一等圈出人負著該
堂官再行出具切實考語帶領引見圈出之堂主
事文紳堂筆帖式存壽德恆明緒訥木散松蔭善
振達桑阿恆奎莊達柱亨廣儲司筆帖式舒鵬都
虞司筆帖式裕盛桂蔭會計司筆帖式德貴掌儀
司筆帖式繼英文緒慶豐司筆帖式繼昆慎刑司
筆帖式繼昌營造司筆帖式瑞蔭御藥房筆帖式
英敏造辦處筆帖式文和武備院六品庫掌長泰

委署庫掌桂壽筆帖式慶陞奉宸苑筆帖式文武
南苑筆帖式長貴圓明園主事德恆六品苑丞貴
崇景隆頤和園六品苑丞承善靜明園六品苑丞
錫惠靜宜園六品苑丞海齡均著文吏部記名照
例選用所有一等官負筆帖式達他等負均著准
其一等加一級至年已逾歲之會計司負外郎嵩
山等俱著照舊供職欽此

125 本年內務府

京察一等欽奉

硃筆園出人負名單

坐辦堂郎中毓秀

六庫郎中祥豐

六庫郎中英綬

廣儲司郎中英瑞

廣儲司郎中貴存

廣儲司郎中祥煜

都虞司郎中明勳

會計司郎中文珮

掌儀司郎中繼祿

宣壽宮郎中齊克森布

廣儲司負外郎廣森

廣儲司負外郎效曾

廣儲司負外郎恆喜

廣儲司負外郎文德

會計司負外郎世奎

營造司負外郎莊山

造辦處負外郎文林

堂主事文紳

堂筆帖式存壽

堂筆帖式德恆

堂筆帖式明緒

堂筆帖式訥木欽

堂筆帖式松蔭

堂筆帖式善振

堂筆帖式達桑阿

堂筆帖式恆奎

堂筆帖式莊遠

堂筆帖式桂亨

廣儲司筆帖式舒鵬

都虞司筆帖式裕成

都虞司筆帖式桂蔭

會計司筆帖式德貴

掌儀司筆帖式繼英

掌儀司筆帖式文緒

慶豐司筆帖式繼昆

慎刑司筆帖式繼昌

營造司筆帖式瑞蔭

御藥房筆帖式英敏

造辦處筆帖式文和

上駟院負外郎文達

上駟院負外郎慶瑞

武備院郎中徵麟

武備院負外郎慶林

武備院六品庫掌長泰

武備院委署庫掌桂壽

武備院筆帖式慶澄

奉宸苑郎中立山

奉宸苑負外郎富昌

奉宸苑筆帖式文斌

南苑郎中嵩山

南苑筆帖式長貴

長春園負外郎文麟

圓明園主事德恒

圓明園六品苑丞貴崇

圓明園六品苑丞景隆

頤和園負外郎熙曾

頤和園六品苑丞承善

靜明園六品苑丞錫惠

靜宜園六品苑丞海齡

126 蒙

發下摺件已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺一件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理李慎因病奏請開缺摺擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年二月十三日奉

旨依議欽此

127 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示清漢摺片單二十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年二月十四日奉

旨依議欽此

128 光緒十四年二月十五日內閣奉

上諭西甯辦事大臣李慎奏病勢未痊懇請開缺一摺李慎著准其開缺欽此

摺李慎著准其開缺欽此

129 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨御史文郁奏請以當十大錢抵銀報捐封典等

項一摺著戶部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵可也此交計勅鈔摺一件

二月十五日

130 交鑲黃旗滿洲本日引

見青州驍騎校一缺擬陪之前鋒薩勒哈奔奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

二月十五日

硃○ 旨著以主事分部行走

131 候補筆帖式柏年

旨著賞給藍翎侍衛在大門上行走

132 候補筆帖式柏年

硃○ 旨著以主事分部行走

133 候補筆帖式有年

旨著賞給藍翎侍衛在大門上行走

134 候補筆帖式有年

135 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片單四件分別繕擬批條呈進恭候
欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片六件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年二月十五日奉

旨依議欽此

136 李鴻藻等摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

137 光緒十四年二月十六日奉

旨此次京察一等覆帶引見各員內除奎華王鵬運

志銳朱琛王文錦曹鴻勳高釗中王仁垣蔣良劉子銓榮安重燠溥頤胡廷幹葛寶華徐家鼎曾樹椿長春象濟英奎那謙福敏舒普恩燾周芳樸祥祺毋庸記名外宗室祥霖本係補用四品京堂著仍以四品京堂補用宗室松安著仍以五品京堂補用宗室文網著以四五品京堂補用隆文馮鏡仁韓文鈞貴鐸王祖光吳樹梅李培元倪恩齡江樹昉恩立呂鐘三蔭保文海惠昌吳澍霖楊廷傳鍾英劉齊溥施典章王恆康救恆壽誠瑞福善党吉新鳳林阿克敦燕起烈孫欽冕周景曾希賢餘慶盧秉政吳引孫徵厚啟紹景星中衡松壽夏玉瑚畢崇存振慶秀齊普森瑞霖謝祖源黃煦常清成安善承均著交軍機處記名以道府用保順著記名以關差道府用欽此

138 光緒十四年二月十七日奉

旨此次內務府三院等處京察一等覆帶引見各員內除祥豐祥煜恆喜文德世奎文林慶瑞慶林富昌毋庸記名外毓秀英綬英瑞貴存明勳文珮齊

克森布廣森效曾莊山文達徵麟立山嵩山熙曾俱著交軍機處記名欽此

139 光緒十四年二月十七日內閣奉

上諭巡視東城御史本貴等奏遵保拏獲匪徒之官弁紳董暨上年保案改獎各摺片著該部議奏單片併發欽此

140 光緒十四年二月十七日內閣奉

上諭巡視北城御史恩燾等奏拏獲盜犯出力之官弁紳董請獎一摺著該部議奏單片併發欽此

141 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單七件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年二月十七日奉

旨依議欽此

142 蒙

發下德克吉訥摺一件擬批呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理禮部奏

玉牒恭送

盛京請

欽定月分摺吏部題翰林院侍講學士缺請

簡本均擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年二月十八日奉

旨依議欽此

143 光緒十四年二月十九日內閣奉

上諭浙江湖州府知府負缺著錫光補授欽此

144 查浙江湖州府知府係繁疲難要缺謹
奏

145 交禮部

貴部具奏

玉牒恭送

盛京請

欽定月分摺本日軍機大臣面奉

諭旨著於九月內擇吉恭送欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

二月十九日

146 文理藩院本日引

見補放哲里木盟協理台吉三缺擬陪之台吉凌保

齊莫特僧格丹巴扎勒散奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

二月十九日

147 交正白旗滿洲本日引

見補放黑龍江中公中佐領一缺擬陪之驍騎校全都

善奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

二月十九日

148 交正白旗漢軍本日引

見廣州驍騎校一缺擬陪之領催楊文鑑奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

二月十九日

149 交鑲藍旗滿洲本日引

見黑龍江驍騎校一缺擬陪之前鋒莊善奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

二月十九日

150 廕生雙安

硃○旨著賞給藍領侍衛在大門上行走

151 廕生雙安

旨著以主事分部行走

152 黑龍江雲騎尉烏勒希布

硃○旨著回原處

153 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年二月十九日奉

旨依議欽此

154

光緒十四年二月二十日奉

旨著照成案官為經理欽此

內務府奏得親王福晉金福奉安可否官為經理摺

155

光緒十四年二月二十日奉

旨著照成案官為經理欽此

巴克都布奏憲政部王福奉安可否官為經理請旨摺

156 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片單二十一一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年二月二十日奉

旨依議欽此

157

光緒十四年二月二十一日內閣奉

上諭慶裕等奏查勘

福陵

昭陵應修工程請擇吉興修一摺著欽天監於本年三

四月內選擇吉期先行知照即著盛京將軍會同工部侍郎屆期敬謹興修欽此

158 光緒十四年二月二十一日內閣奉

上諭前據劉銘傳奏署恆春營游擊劉全稟控臺灣鎮總兵吳光亮調考軍政有向該負函借索賄等情當將吳光亮撤任交劉銘傳查辦茲據查明覆奏吳光亮雖無向劉全索賄免考軍政情事惟以專閫大員輒向屬負函借銀兩究屬不知檢束吳光亮著交部議處劉全因帶病過考未能得力經吳光亮稟撤調郡即以吳光亮索賄免考等情挾嫌妄控此風斷不可長劉全著革職永不叙用以示懲儆六品頂戴吳卓勳在該鎮署內管帳輒與劉全往來亦屬不安本分著即勒令回籍不准逗留該部知道欽此

159 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨左副都御史徐樹銘奏制錢大錢請權交易之法一摺著戶部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交計結鈔摺一件

二月二十一日

160 光緒十四年二月二十一日奉

旨准免造冊報銷欽此

工部奏善修南運減河片

161 光緒十四年二月二十一日奉

旨賞假一箇月毋庸派署欽此

紹興奏酌量改並請派署清字摺

162 蒙

發下摺報已奉

硃批八件其餘應請

批示漢字摺片二十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片七件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年二月二十一日奉

旨依議欽此

163 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理李鴻章奏德生報捐工賑經費片

吏部題漢沈馬缺開列請

簡本均擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年二月二十二日奉

旨依議欽此

164 光緒十四年二月二十三日內閣奉

上諭譚鈞培奏神靈顯應請頒扁額一摺雲南南甯

縣雙龍潭

龍神曲靖府

城隍神均著靈應上年春夏之交天氣亢旱幾致

成災該官紳等虔詣祈禱甘霖立沛轉歉為豐實

深寅感著南書房翰林恭書扁額各一方交譚鈞

培祇領飭屬分別敬謹懸挂以答

神麻欽此

165 光緒十四年二月二十三日奉

旨准其抵銷欽此

理藩院奏刊印蒙古歷年善舉錄等語奉旨准其抵銷欽此

166 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年二月二十三日奉

旨依議欽此

167 光緒十四年二月二十五日內閣奉

上諭楊昌濬著調補陝甘總督閔浙總督著卞寶第

補授王文韶著補授湖南巡撫欽此

168 光緒十四年二月二十五日內閣奉

上諭譚鍾麟奏病勢增劇懇恩開缺一摺譚鍾麟向

來辦事認真深資倚任前因日疾屢經寬予假期

並賞藥餌以期速愈茲據陳陳病勢日劇萬難任

事情詞迫切未便拂其所請譚鍾麟著准其開缺

回籍安心調理一俟就痊即行來京陛見欽此

169 蒙

發下摺報已奉

硃批十三件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其餘應行請

旨摺單三件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年二月二十六日奉
旨依議欽此

170 光緒十四年二月二十七日奉
旨江南織造著莊山去欽此

171 光緒十四年二月二十七日內閣奉

上諭倪文蔚奏察舉賢吏請旨嘉勉開單呈覽一摺
河南開封府知府孫雲錦陳州府知府吳重憲南
陽府知府濮文暹署河南縣事祥符縣知縣袁鎮
南睢州知州王枚署安陽縣事息縣知縣鄭言紹
據倪文蔚臚列各該員才守政績均有可觀著該
撫飭令該員等益矢慎勤始終奮勉以副朝廷孜
孜求才至意至請將孫雲錦開缺留於河南歸道
員本班補用之處著吏部議奏單併發欽此

172 光緒十四年二月二十七日內閣奉

上諭都察院奏儒臣殉節援案請建專祠據呈具奏
一摺詹事府右中允進贈內閣學士沈炳垣前於

咸豐年間廣西學政任內在梧州府誓死守城殉
難甚烈已於廣西省城建立專祠茲據侍郎徐用
儀等呈稱鄉閭慕義援案請在本籍捐資建祠等
語沈炳垣著准於浙江海鹽縣建立專祠由地方
官春秋致祭以彰忠蓋該部知道欽此

173 六品廕生徐思安

硃○ 旨著以通判用

174 蒙

發下摺件已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年二月二十七日奉

旨依議欽此

175 光緒十四年二月二十八日內閣奉

上諭慶裕等奏神靈顯應請頒扁額並加封號一摺

奉天鳳凰城東關

關帝廟

龍神祠暨城內

城隍廟素著靈應上年夏間雨澤愆期經該官紳

等虔詣祈禱隨即甘澍滂沱民田幸獲有秋實深

寅感著南書房翰林恭書扁額各一方交慶裕等

祇領飭屬敬謹分詣

關帝廟

龍神祠

城隍廟懸挂以答

神庥至所請物如

龍神封號之處著禮部議奏欽此

176 蒙

發下摺報已奉

硃批八件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年二月二十八日奉

旨依議欽此

177 光緒十四年二月二十九日內閣奉

上諭李鶴年奏神靈顯應請頒扁額一摺山東壽東

汎十里堡關上建有

大王廟夙著靈應上年五月間重漕經臨汶源微

翁又因黃水消落不敷運送經在工官負虔詣祈
禱黃河陡漲漕艘得以迅速渡黃實深寅感著南
書房翰林恭書扁額一方交李鶴年祇領飭屬敬謹
懸挂以答
神庥欽此

178 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理李鶴年奏壽東汛十里堡

大王廟靈應請

頒扁額摺擬繕明發

諭旨令南書房書扁額頒發給領是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年二月二十九日奉

旨依議欽此

179 光緒十四年三月初一日奉

旨本日戶部奏議覆御史文郁請以大錢抵銀報捐封典等項一招該部所請常捐及鄭工大捐均准搭交大錢一成每銀一兩折抵大錢十二千文交納之處著依議行惟此次規模復制錢其緊要關鍵總在廣購銅斤多鑄制錢其大錢一項收回之後亦應改鑄制錢使大錢陸續收盡制錢日漸增多中外流通悉歸舊制方為不失本意該部所請官負公費工部匠役工食仍放收大錢此時制錢未充暫准照議辦理他項不得加放如有贏餘仍當發交兩局為添鑄制錢之用其捐生中如有全數交銀者均聽其便不得限定搭交一成致與捐輸有礙至制錢通行之後收回大錢應如何酌定限制仍著該部悉心籌畫隨時察看情形奏明辦理欽此

戶部奏議覆御史文郁奏請大錢抵銀報捐摺

180 蒙

發下摺件已奉
硃批十件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨謹

奏

光緒十四年三月初一日奉

旨依議欽此

181 蒙

發下摺報已奉

硃批十件其餘應請

批示漢字摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年三月初二日奉

旨依議欽此

182 李鴻藻等摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

三月初二日

183 軍機大臣 字寄

湖廣總督裕 湖北巡撫奎 光緒十四年三

月初三日奉

上諭有人奏江陵土費病民暨潛江吳家改口被災

請飭覈減估修一摺湖北江陵隄工土費本係藉

資民力何得任意加派甚至不肖官吏廢弛中飽

潛江吳家改口築壩意在保衛地方豈容奸紳庫

書藉端斂費擾累鄉民若如所奏亟應查明嚴禁

著裕祿奎斌確切查訪應如何覈減修築之處妥

為辦理另片奏湖北漕務請革除冗費等語並著

裕祿等通飭所屬嚴禁勒索如有違例浮收情弊

即行從嚴叅辦原摺片單均著鈔給閱看將此各

諭令知之欽此遵

旨寄信前來

184 吉林雲騎尉保慶

旨著回原處欽此

三月初三日

185 蒙

發下摺件已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年三月初三日奉

旨依議欽此

186 交正紅旗滿洲本日引

見補放

西陵防禦驍騎校各一缺擬陪之驍騎校雅達那領催

有松奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

三月初三日

187 光緒十四年三月初三日內閣奉

上諭陳彝奏衛守備短交銀兩逾限未完請旨拏問

監追查抄一摺已革安徽安慶衛守備調補浙江

杭嚴衛守備武壽齡前在安慶衛任內短交徵存

各項銀兩為數甚鉅除已交外尚短交銀二千九

百三十餘兩疊經勒限追繳迄未完解實屬玩延

武壽齡著即拏問監追提集經手丁書人等嚴究

是侵是挪分別辦理並著直隸總督將該革員原

籍家產嚴密查封備抵一面查明歷過任所寓所

有無資財寄頓一律查抄以重庫款該部知道欽此

188 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年三月初四日奉

旨依議欽此

¹⁸⁹ 光緒十四年三月初五日内閣奉

上諭陳彝奏道員殉難懇准捐建專祠一摺前任江南淮揚道郭沛霖於咸豐九年在安徽定遠縣地方禦賊陣亡死事甚烈既據該處紳民追思感慕懇請捐建專祠著准其於安徽定遠縣建立專祠列入祀典由地方官春秋致祭以彰忠蓋而順輿情該部知道欽此

190 蒙

發下摺件已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片單十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年三月初五日奉

旨依議欽此

¹⁹¹ 光緒十四年三月初六日奉

旨增潤著准其開缺欽此

內務府奏候補三院增潤可否開缺外詳摺摺

192 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定侯

硃批

發下後欽遵辦理吏部題漢鴻臚寺卿缺開列請

簡本擬侯

皇太后

皇上

召見時請

旨謹

奏

光緒十四年三月初七日奉

旨依議欽此

193 軍機大臣 字寄

廣西巡撫沈 光緒十四年三月初八日奉

上諭前據李秉衡奏已故前任廣西巡撫張凱嵩功

德在民據本籍紳士請建專祠並將事蹟宣付史

館當經降旨允准茲據都察院奏廣西京官編修

劉宗標等以故撫貪劣濫叨曠典呈請代奏收回

成命暨御史李士琨奏已故撫臣並無德政請收

回成命各一摺據稱張凱嵩在慶遠府任內失守

城池冒功開復在藩司巡撫任內種種貪黷並有

忌功停餉不發援兵等情官粵數十年既無德政

又無戰功粵民至今怨謗各等語與李秉衡臚陳

該故撫政治戰績並稱輿情愛戴各節大相懸殊

事關褒揚鉅典亟應確切查覈以定是非沈秉成

甫經到任無所用其迴護著將該故撫在粵歷任

事蹟按照前後所奏逐款詳細查明據實具奏毋

稍徇隱原摺呈三件李秉衡摺一件均著鈔給閱

看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

194 光緒十四年三月初八日內閣奉

上諭甯夏將軍維慶由侍衛承襲侯爵歷任副都統

駐藏大臣海升將軍宜力有年恪勤盡職茲聞溘

逝悼惜殊深著加恩照將軍例賜卹任內一切處

分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏賞銀二

千兩由甘肅藩庫給發靈柩回旗時沿途地方官

妥為照料准其入城治喪該將軍子孫幾人著該

旗查明具奏候旨施恩欽此

195 光緒五年十一月十七日內閣奉

上諭杭州將軍承恩公廣科由御前侍衛補授副都統簡放西安將軍調任杭州將軍供職勤慎於旗營事務均能整飭茲聞溘逝悼惜殊深著加恩照將軍例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏賞銀二千兩由浙江藩庫給發靈柩回旗時沿途地方官妥為照料准其入城治喪伊子恩燾著俟百日孝滿後承襲公爵其餘子孫俟及歲時由該旗帶領引見欽此

196 光緒九年十一月十八日內閣奉

上諭西安將軍恆訓老成勤慎由侍衛游升副都統歷任將軍宣力有年克稱厥職茲聞溘逝軫惜殊深著加恩照將軍例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門查例具奏並准其入城治喪伊子盛昆著賞給主事俟及歲時分部行走以示優眷欽此

197 滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

京察一等 記名道府道銜禮部郎中玉恆

侍讀銜刑部郎中補主事桂春

四品銜吏部郎中補郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾賚額

理藩院郎中補郎中志樸

漢頭班章京

前大僕寺卿馮光勳

京察一等 記名道府刑部員外郎吳引孫

刑部郎中孟繼堦

兵部郎中補郎中沈恩嘉

戶部主事郎中補員外郎顧璜

吏部員外郎王儼

刑部員外郎陳邦瑞

四品銜兵部主事郎中補員外郎胡寶鐸

刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

四品銜通政使司參議堃岫

理藩院員外郎即補郎中奎華

戶部主事即補員外郎孚琦

侍讀銜戶部主事延祉

京察一等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊晉森

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

太僕寺少卿錢應溥

四品銜工部員外郎祝維城

吏部郎中兼襲騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳蒂棠

刑部即補主事易俊

刑部即補主事馮錫仁

員外郎銜吏部候補主事孫朝華

戶部候補主事王頌蔚

198 蒙

發下摺報已奉

硃批九件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年三月初九日奉

旨依議欽此

199 光緒十四年三月初十日內閣奉

上諭湖南衡永郴桂道員缺著隆文補授欽此

200 查湖南衡永郴桂道係衝繁難要缺謹
奏

201 光緒十四年三月初十日內閣奉

上諭嵩申奏左翼關稅期滿正額無虧盈餘未能足
額一摺著戶部覈議具奏欽此

202 光緒十四年三月初十日內閣奉

上諭札拉豐阿奏右翼關稅期滿正額無虧盈餘未
能足額一摺著戶部覈議具奏欽此

203 光緒十四年三月初十日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨依議欽此

會詳親王奏宸苑奏築池口圍墻等工請撥銀兩摺

204 光緒十四年三月初十日奉

旨准其支借欽此

理藩院奏各商客員勒借不勒多爾濟請支借休銀摺

205 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年三月初十日奉

旨依議欽此

206 軍機大臣 字寄

順天府 光緒十四年三月十一日奉

上諭錫綸奏知縣攜帶卷宗逗遛京城請暫革查解
等語候選知縣徐桂芬前在金順營中將善後案

卷與收支底簿攜帶北上經錫綸屢飭攜回伊犁該員迄今並未前往殊屬玩延徐桂芬著暫行革職並著順天府將該員嚴查務獲同所帶卷宗底簿一併押解伊犁辦理原片著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

摘鈔交吏部

207 光緒十四年三月十一日內閣奉

上諭啟秀奏假期屆滿病難速痊懇准開缺回旗一摺盛京戶部侍郎啟秀著准其開缺欽此

208 交正黃旗滿洲本日引

見補授成都驍騎校

盛京驍騎校各一缺擬陪之馬甲忠孝領催恩銘奉旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

三月十一日

209 光緒十四年三月十一日奉

旨信恪等著俟百日孝滿後由旗帶領引見欽此

鑲黃滿泰維慶現有子

210 前四川重慶府知府恆齡

旨著以知府用

211 前四川重慶府知府恆齡

旨著以簡缺知府用

212 前四川重慶府知府恆齡

旨著以同知用

213 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示清漢摺片二十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

硃。

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片七件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年三月十一日奉

旨依議欽此

214 杜燾爾安德摺各一件遵擬清漢批條呈遞恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

三月十一日

215 光緒十四年三月十二日內閣奉

上諭盛京戶部侍郎著綿宜調補崇禮著調補兵部

右侍郎理藩院左侍郎著恩崇補授欽此

216 應升

盛京戶部侍郎名單

內閣學士恩崇

文興

寶昌

豐烈

文治

福楸

都察院左副都御史奕年

通政使司志元

通政使司通政使奕林

大理寺卿明桂

詹事府詹事裕德

217 應調

盛京戶部侍郎名單

吏部左侍郎松淮

右侍郎景善

戶部左侍郎嵩中

右侍郎熙敬

禮部左侍郎敬信 現在寧奉

右侍郎續昌 現兼署刑部右侍郎

兵部左侍郎師曾

右侍郎綿宜

刑部左侍郎挂全

右侍郎貴恆 現出學差

工部左侍郎烏拉布

右侍郎清安

理藩院左侍郎崇禮

右侍郎慶福

倉場侍郎興廉

盛京禮部侍郎文暉

兵部侍郎鳳秀

刑部侍郎英煦

工部侍郎阿克丹

218 光緒十四年三月十二日奉

旨均著准其抵銷欽此

兵部奏議處察驗明單及雙全等議分摺

219 光緒十四年三月十二日奉

旨仍照前旨獎勵欽此

步軍統領衙門奏營員雜差出外請仍給獎摺

220 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片十七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年三月十二日奉

旨依議欽此

221 光緒十四年三月十三日內閣奉

上諭古尼音布奏病勢日增籲懇開缺一摺杭州將軍古尼音布著准其開缺欽此

222 光緒十四年三月十三日奉

旨著作為三等侍衛欽此

領侍衛內大臣奏一品嚴生載然作為三四等侍衛請旨摺

223 蒙

發下摺件已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年三月十三日奉

旨依議欽此

224 光緒十四年三月十四日內閣奉

上諭閻敬銘奏病久未痊籲懇開缺一摺閻敬銘著再賞假兩箇月毋庸開缺欽此

225 交鑲黃旗滿洲本日引

見補放密雲縣防禦驍騎校

西陵防禦各一缺擬陪之驍騎校吉安領催興瑞驍騎

校王秀奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

三月十四日

226 蒙

發下摺報已奉

硃批十三件其餘應請

批示漢字摺片二十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年三月十四日奉

旨依議欽此

227 軍機大臣 字寄

湖廣總督裕 湖北巡撫奎 陝西巡撫葉

光緒十四年三月十五日奉

上諭都察院奏陝西監生曹維泗以會匪誘脅劫掠

等詞呈請代表一摺據稱會匪蔓延秦隴楚蜀接

壤地面均有匪徒肆行劫掠該監生移居竹山伊

姪曹尚植由沔縣路過略陽有被會匪迫脅入夥

等情所呈是否屬實著裕祿奎琦葉伯英礪切查

明據實覆奏至所控棍徒何宣等霸佔田莊一案

並著該督撫歸案訊辦原摺呈均著鈔給閱看原

告監生曹維泗著解往湖北備質將此各諭令知

之欽此遵

旨寄信前來

鈔交都察院

228 光緒十四年三月十五日奉

旨陳建侯著照道員例從優議卹欽此

吏部奏查明豫撫奏湖北特用道陳建侯優卹例不符摺

229 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示清漢摺片十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年三月十五日奉

旨依議欽此

230 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理閣敬銘摺擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年三月十六日奉

旨依議欽此

231 光緒十四年三月十七日內閣奉

上諭閣敬銘奏懇恩收回賞假成命仍准開缺一摺

閣敬銘甫逾七旬精力素好雖有肝氣舊疾步履

稍形艱澀並非重症惟當體念時艱勉酬恩遇豈

容遽萌退志閣敬銘仍著賞假兩月調理就愈即

行銷假所請收回成命之處著勿庸議欽此

232 光緒十四年三月十七日內閣奉

上諭熱河副總管著徵麟補授欽此

233 光緒十四年三月十七日內閣奉

上諭雲南糧儲道負缺著松林補授欽此

234 查雲南糧儲道係衝繁疲要缺謹
奏

235 交內務府本日引

見補放

西陵尚膳正

福陵副內管領各一缺擬陪之內管領福順尚茶人連

魁奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

三月十七日

236 光緒十四年三月十七日奉

旨毋庸添派欽此

正紅旗滿洲副都統奏請添補遊武職值班大臣摺

237 蒙

發下摺報已奉

硃批十件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年三月十七日奉

旨依議欽此

238 升泰摺一件遵擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

後同前請

硃批各件一並

發下欽遵辦理謹

奏

239 光緒十四年三月十八日奉
旨准其支借欽此

理藩院奏鄂粵圖魁支借俸銀摺

240 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年三月十八日奉

旨依議欽此

241 劉秉璋摺一件遵擬批條呈進恭候
欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

三月十八日

242 光緒十四年三月十九日內閣奉

上諭本日京察補行引見之光祿寺卿馮爾昌順天

府府丞何桂芳國子監司業多歡均著照舊供職

欽此

243 光緒十四年三月十九日內閣奉

上諭前據劉錦棠錫綸奏貪劣不法各員當經降

旨將知府游春澤等先行革職並諭令將該革員

等貪劣各節澈底嚴查懲辦茲據查明情節分別

定擬具奏已革知府游春澤已革直隸州知州李

永祜前在伊犁軍營充當善後局員浮開捏報照

部咨覈計已不下二十七萬餘兩之多此外尚有虧欠漏列各負之款所犯情節甚重游春澤李永祐應得罪名著刑部定擬具奏並著兩江四川雲貴各總督貴州巡撫將該革負等原籍及寄寓地方財產嚴密查抄充抵並償還虧欠漏列各負款項已革叅將周元慶有恃勢婪贓確據著發往軍臺充當苦差不准納贖已革都司李占奎有婪贓嫁禍之案著俟飭將坎吉巴易欠價繳清後發往軍臺充當苦差已革都司萬銘營利肥私著永不敘用遞解回籍交地方官嚴加管束已革協領和陳泰尚無朋比侵蝕確據已革直隸州知州許文失查廢弛致潰勇得以藉口該二負業經革職均著毋庸置議已革佐領貴慶查無招搖情事著仍留伊犁軍營効力已革道貢王金海查無紊亂餉章封殖情弊惟於營勇變亂時未能即時開導著聞復原叅處分賞還花翎勇號以同知降補已革主簿周炳南前控李永祐尚無不合著註銷原叅處分並聞復原官另片奏請將前叅各負聞復等語已革知府吳炳鑫原叅各節既係游春澤捏辭

朦朧實無虧款已革協領恩祥亦無抗延情事吳炳鑫著註銷原叅監追之案與恩祥均著開復原官銜翎餘著照所議辦理該部知道欽此

244 交鑲藍旗蒙古本日引

見補放太原防禦一缺擬陪之驍騎校鴻瑞奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

三月十九日

245 光緒十四年三月十九日奉

旨均著照例兼銜欽此

吏部奏補授閩浙總督李瀚章等奏請將各員請

246 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片十七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是看有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年三月十九日奉

旨依議欽此

247 軍機大臣 字寄

四川總督劉 安徽巡撫陳 光緒十四年三

月二十日奉

上諭劉錦棠奏前署安西直隸州知州廖溥明欠繳

該軍各項經費銀五千四百兩前安肅道葉毓桐

欠繳轉運經費銀一千三百四兩零該員等現已

回籍迄未繳解等語公款關係緊要豈容日久宕

延著劉秉璋陳彝轉飭各該原籍地方官傳知該

員等迅速如數解繳毋任遷緩原片均著鈔給閱

看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

248 光緒十四年三月二十日奉

旨依議欽此

繕書房奏行走人負請獎摺單

249 光緒十四年三月二十日奉

旨依議欽此

繕書房奏提調等官請獎片

250 光緒十四年三月二十日奉

旨徵麟著毋庸留京當差欽此

武備院奏徵麟可否留京當差摺

251 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年三月二十日奉

旨依議欽此

252 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨片二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年三月二十一日奉

旨依議欽此

253 光緒十四年三月二十二日內閣奉

上諭福建臺灣鎮總兵員缺著萬國本補授欽此

254 查福建臺灣鎮總兵係水兼陸缺謹

奏

255 光緒十四年三月二十二日內閣奉

上諭兵部奏遵議處分一摺福建臺灣鎮總兵吳光

亮著照部議降三級調用欽此

256 光緒十四年三月二十二日內閣奉

上諭本日順天府府丞何桂芳具摺謝恩據稱現患

喉症未遞膳牌等語何桂芳既稱患病何以並不

請假殊屬非是著於二十五日預備召見欽此

257 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片單十九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年三月二十二日奉

旨依議欽此

258

李鴻章摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

三月二十二日

259 光緒十四年三月二十三日奉

旨此案著交張曜督同臬司親提人証卷宗秉公嚴

訊確情按律定擬具奏原告民人孫景一該部照

例解往備質欽此

260 交鑲白旗滿洲本日引

見補放福州防禦吉林驍騎校各一缺擬陪之驍騎

校全誠領催常和奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

三月二十三日

261 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否當伏候

聖裁謹

奏

旨依議欽此

光緒十四年三月二十三日奉

262 軍機大臣 字寄

兩廣總督張 廣東巡撫吳 光緒十四年三

月二十五日奉

上諭廣東鹽運使英啟著張之洞吳大澂悉心察看

如竟不能勝任即行據實奏參毋稍遷就將此各

諭令知之欽此遵

旨寄信前來

263 軍機大臣 字寄

雲貴總督岑 雲南巡撫譚 光緒十四年三

月二十五日奉

上諭雲南澂江府知府彭澤春著岑毓英譚鈞培悉

心察看如竟不能勝任即行據實奏參毋稍遷就

將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

264 軍機大臣 字寄

雲貴總督岑 貴州巡撫潘 光緒十四年三

月二十五日奉

上諭貴州糧儲道黃元善著岑毓英潘蔚悉心察看

如竟不能勝任即行據實奏參毋稍遷就將此各

諭令知之欽此遵

旨寄信前來

265 軍機大臣 字寄

山東巡撫張 光緒十四年三月二十五日奉

上諭山東督糧道鐸洛崙青州府知府裕彬著張曜

悉心察看如竟不能勝任即行據實奏參毋稍遷就將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

266 軍機大臣 字寄

欽差督辦河南鄭州大工事宜禮部尚書李 署河

東河道總督李 河南巡撫倪 光緒十四年

三月二十五日奉

上諭有人奏河南盜風日熾搶案疊出本年二月間已經遣散之工賑營聚而為匪朱仙鎮及臨潁太康等縣所屬地方均有搶劫拒捕傷斃事主之案陳留杞縣一帶甚至白晝行劫等語該省猝遭水患小民流離困苦若如所奏劫盜橫行閭閻被害更恐勾結蔓延釀成巨患著倪文蔚查明被劫各案嚴飭文武員弁認真緝捕獲犯懲辦該管地方官如有逼勒事主諱盜為竊情事即行從嚴參辦毋稍姑容前調嵩武軍馬步三營是否足數彈壓如須添調即著酌量具奏另片奏省城火藥局有賊匪數百人持械突入搶去火藥鉛子數十箱等

語省垣有此重案何以未據該撫具奏著李鴻藻倪文蔚確切查明將失事之員據實參辦至所稱河工發款層層剋扣此等積習牢不可破殊堪痛恨著李鴻藻李鶴年倪文蔚嚴密訪查僅有不肖工員仍蹈前轍立即嚴參治罪不准稍涉瞻徇原摺片均著鈔給閱看將此由四百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

267 光緒十四年三月二十五日內閣奉

上諭江西布政使李嘉樂署陝西布政使李用清均著來京另候簡用欽此

268 光緒十四年三月二十五日內閣奉

上諭河南開歸陳許道鞠捷昌廣東肇陽羅道孔憲毅湖北荆宜施道廣敏廣東雷州府知府成治均著開缺送部引見欽此

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是尚有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年三月二十五日奉

旨依議欽此

270 李鴻章片一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

三月五日

271 軍機大臣 字寄

步軍統領衙門 順天府 五城御史 光緒

十四年三月二十六日奉

上諭有人奏請飭拏棍徒一摺據稱京師安定門外

等處棍徒奎家五虎等招集游勇匪黨肆行搶劫

並有販私拒捕情事著步軍統領衙門順天府五

城御史查明所奏各案將滋事匪犯一體嚴拏務

獲懲辦另片奏順天昌平州屬吉寺村匪徒王洪

裕搶掠婦女王玉昇等販鹽拒捕等語著順天府

查明飭緝究辦原摺片著分別鈔給閱看將此各

諭令知之欽此遵

旨寄信前來

272 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺一件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理御史德蔭奏請嚴拏棍徒摺暨昌

平州屬民情兇悍片擬繕寄信

諭旨今步軍統領衙門順天府五城御史一體拏究

其昌平州搶案等情並令該府尹查明懲辦是

否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年三月二十六日奉

旨依議欽此

273 光緒十四年三月二十七日內閣奉

上諭殺虎口監督世綱奏差滿回京齋交盈餘銀兩

一摺所得盈餘等項銀一萬六千七十兩零均交

廣儲司世綱著毋庸賞給該衙門知道欽此

274 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理世綱奏差滿回京摺查照成案擬

繕明發

諭旨將盈餘等項銀兩交廣儲司吏部題滿少詹事

漢庶子缺開列請

簡本二件均擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年三月二十七日奉

旨依議欽此

275 蒙

發下摺件已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年三月二十八日奉

旨依議欽此

276

軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 山東巡撫

張 光緒十四年三月二十九日奉

上諭鄭工開辦後疊據李鴻藻等會奏進築掃占情

形本日李鶴年奏報桃汛平穩摺內並有鄭工不

日合龍之語事機尚為順手將來合龍後黃水仍

歸北流舊道山東直隸隄防各工極關緊要其山

東挑河經費業經戶工兩部奏撥鉅款直境東明

旨寄信前來

將此由五百里各諭今知之欽此遵

等處河身亦據該督覆奏於春融時擇要趕辦現
距合龍之期不遠該兩省辦理挑淤培隄如何情
形未據該督撫奏報殊深慮系著李鴻章張曜嚴
飭在工負弁剋日修竣毋稍遲誤一面迅速覆奏

277

軍機大臣 字寄

伊犁將軍色 光緒十四年三月二十九日奉

上諭錫綸奏查明帶兵大員實係因傷身故懇恩優

卹一摺據稱已故伊犁鎮總兵劉宏發於光緒十

一年五月營勇譁潰時受傷身故據營務處各員

稟請轉奏等語金順前奏劉宏發因病出缺係據

中軍遊擊段文彬呈報並無受傷之語此次錫綸

所奏該鎮傷故情形段文彬亦列名具稟何以前

後兩歧究竟該總兵是否實係因傷身故事關褒

卹必須確切查明以昭覈實著色楞額按照錫綸

所奏各節迅即確查據實具奏再降諭旨原摺著

鈔給閱看將此由四百里諭今知之欽此遵

旨寄信前來

278 光緒十四年三月二十九日奉

旨著於四月十五日在保和殿考試試差人負欽此

279 光緒十四年三月二十九日內閣奉

上諭江西布政使著蕭韶補授陝西布政使著陶模

補授欽此

280 光緒十四年三月二十九日內閣奉

上諭直隸按察使著周馥補授浙江按察使著王之

春補授欽此

281 直隸布政使松椿 滿洲鎮營軍人
光緒十一年九月補湖南道司副調直隸

江蘇布政使黃彭年 貴州進士
光緒十三年十一月補

江甯布政使許振禕 江西進士
光緒十二年六月補

安徽布政使阿克達春 滿洲正白旗生員
光緒十二年八月補

山東布政使崇保 滿洲鑲黃旗進士
同治八年四月補甘肅道司副調山東

山西布政使張煦 甘肅進士
光緒十一年十一月補廣東藩司副調山西

河南布政使劉瑞祺 江西進士
光緒十二年七月補

甘肅布政使譚繼洵 湖南進士
光緒十年十月補

甘肅新疆布政使魏光燾 湖南人
光緒九年三月補甘肅藩司副調新疆

浙江布政使許應鑾 廣東進士
光緒十年十月補

福建布政使張夢元 直隸舉人
光緒九年九月補廣西藩司副調福建

福建臺灣布政使邵友濂 浙江舉人
光緒十三年二月補

湖北布政使蒯德標 安徽舉人
光緒九年正月補

湖南布政使孫翼謀 福建進士
光緒十二年五月補

廣東布政使高崇基 直隸進士
光緒十一年二月補山西藩司副調廣東

廣西布政使馬丕瑤 河南進士
光緒十三年八月補

四川布政使崧蕃 滿洲正藍旗舉人
光緒十二年九月補

雲南布政使曾紀鳳 湖南生員
光緒十七年六月補貴州藩司副調雲南

貴州布政使史念祖 江蘇監生
光緒十三年十月補

直隸按察使陶模 浙江進士
光緒十一年九月補

江蘇按察使張富年 浙江附貢生
光緒十二年五月補

安徽按察使張岳年 浙江舉人
光緒十二年八月補

山東按察使福潤 蒙古正紅旗附生
光緒十二年八月補湖北臬司副調山東

硃。

282

山西按察使嵩崑 滿洲正白旗監生
光緒十一年二月補

河南按察使賈致恩 山東監生
光緒十三年二月補

陝西按察使曾銖 滿洲正白旗監生
光緒十三年十一月補

甘肅按察使方汝翼 直隸舉人
光緒十二年七月補

浙江按察使蕭韶 湖南舉人
光緒十二年七月補

福建按察使奎俊 滿洲正白旗人
光緒十四年二月補

江西按察使瑞璋 滿洲正紅旗人
光緒十一年十月補

湖北按察使成允 正紅旗監生
光緒十二年二月補山東臬司調湖北

湖南按察使豫山 滿洲正黃旗監生
光緒十二年九月補

廣東按察使王毓藻 湖北進士
光緒十二年九月補

廣西按察使張聯桂 江蘇州生
光緒十二年十一月補

四川按察使游智開 湖南舉人
光緒十一年三月補

雲南按察使鄧華熙 廣東舉人
光緒十三年十月補

貴州按察使廖壽豐 江蘇進士
光緒十三年九月補

283 光緒十四年三月二十九日內閣奉

上諭河南開歸陳許道負缺著蔭保補授湖北荆宜
施道負缺著方恭釗補授欽此

284 查河南開歸陳許道係繁難要缺湖北荆宜施

道係衝繁難要缺謹

奏

285 光緒十四年三月二十九日內閣奉

上諭給事中俊又奏繕譯外班陞用班次請飭覈議

一摺著吏部議奏欽此

286 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示清漢摺片十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年三月二十九日奉

旨依議欽此

287 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年三月三十日奉

旨依議欽此

288 蒙

發下摺件已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年四月初一日奉

旨依議欽此

289

光緒十四年四月初二日內閣奉

上諭廣東督糧道賁缺著韓文鈞補授欽此

290

查廣東督糧道係衝繁疲要缺謹

奏

291

光緒十四年四月初二日內閣奉

上諭閩敬銘奏疆臣劾去大賁私濶自便一摺據稱

江西布政使李嘉樂署陝西布政使李用清為近時藩司之最現經諭令來京另候簡用或係德馨葉伯英年終密考淆亂黑白顛倒是非等語各省司道府等官能否稱職向由該督撫於年終出具密考以備酌量黜陟其有治績平常或人地不宜者藩臬大賁特飭來京候簡原冀掩其未著之愆更策將來之效正朝廷取材宥過之深心即如此次李嘉樂經曾國荃奏稱再加寬宏正大化其褊急方為有用之才德馨奏稱性清喜刻辦事偏執難膺重任李用清經譚鍾麟奏稱性清堅僻用人行政固執已見與同寅未能和衷以致官民交謫上下清睜於此地不甚相宜葉伯英奏稱性清褊急遇事諸多操切必須隨時訓迪方免貽誤各等語是該藩司等考語督撫所奏大略相同封疆大吏係朝廷特簡凡用人行政必須授以事權方資治理至考察屬吏耳目最近聞見非虛若督撫兩人密考不謀而合必出公論豈能僅憑閩敬銘一人之見一似經其保存不進不止他人遂不得更置一詞者此風何可長耶况用舍大權操之自上

一切舉措亦不盡以督撫之言為憑，間敬銘曾在軍機處當差，豈不知悉何此奏私心揣測，竟專指為德馨、葉伯英二人之密考，尤屬非是。原摺著擲，遂欽此。

292 交正白旗滿洲本日引

見補放吉林驍騎校一缺擬陪之領催委官倭什洪

阿奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

四月初二日

293 交鑲白旗滿洲本日引

見補放

盛京驍騎校一缺擬陪之前鋒廣順奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

四月初二日

硃。

294 雲南試用通判謝光燾
旨謝光燾著該部照例給獎

硃。

295 補行引
見黑龍江雲騎尉雙喜
旨著回原處

硃。

296 年已及歲補行引
見熱河雲騎尉常山
旨著回原處

硃。

297 丁憂回旗前江蘇揚州府知府宜霖
旨著回原衙門行走

298 光緒十四年四月初二日奉
旨著停止升殿欽此

鴻臚寺奏請 附殿摺

299 蒙

發下摺報已奉

硃批十件其餘應請

批示漢字摺片二十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年四月初二日奉

旨依議欽此

300 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片單九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年四月初三日奉

旨依議欽此

301 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年四月初四日奉
旨依議欽此

302 光緒十二年五月十五日考試漢廕生論題策題

安士敦仁論

曰肅時雨若策

光緒十二年十月二十五日考試漢廕生論題策題

黃裳元吉論

農用八政策

光緒十三年九月十四日考試漢廕生論題策題

為政以德論

水火金木土投策

303 軍機大臣 字寄

安徽巡撫陳 光緒十四年四月初五日奉

上諭有人奏知縣貪汙酷虐劣跡昭彰請飭查叅一摺據稱前署安徽合肥縣知縣孫葆田浮收丁賦折扣夫馬刑虐無辜輕蔑節烈諱匿命盜徇縱胥隸等語所奏如果屬實亟應從嚴懲辦著陳彝確

切查明據實具奏勿稍徇隱原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此道

旨寄信前來

304 光緒十四年四月初五日內閣奉

上諭前大理寺卿沈源深現已服闋著仍在軍機章京上行走欽此

305 光緒十四年四月初五日內閣奉

上諭吉和奏病難速痊懇准開缺一摺西安將軍吉和著准其開缺欽此

306 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年四月初五日奉

旨依議欽此

307 托倫布等摺一件倪文蔚片二件遵擬批條呈

進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

四月初五日

308 軍機大臣 守寄

直隸兩江閩浙湖廣四川江蘇安徽江西湖北湖南山

東山西各督撫 光緒十四年四月初六日奉

上諭戶部奏請續撥京餉等語近年部庫放款浩繁

疊經戶部續請添撥京餉此次該部體察各省情

形擬撥山東地丁銀五萬兩山西地丁銀五萬兩

湖南地丁銀五萬兩江西地丁銀四萬兩福建稅

釐銀十萬兩兩淮鹽課鹽釐銀八萬兩長蘆榮工

加價銀五萬兩江蘇釐金銀十二萬兩安徽釐金

銀五萬兩湖北鹽釐銀五萬兩四川津貼銀五萬

兩鹽釐銀十萬兩江海關洋稅銀八萬兩九江關

常稅銀十萬兩贛關常稅銀一萬兩蕪湖關常稅

銀一萬兩洋稅銀一萬兩共銀一百萬兩著該督

撫各將所撥餉銀連本年原撥未解京餉均於五

月前解到一半十二月初開如數解齊各該督撫

務當顧全大局依限提前完解倘藉詞諉卸率請

劃抵截留貽誤要需即著該部指名奏參將此由

五里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

鈔交戶部

309 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理戶部奏請續撥京餉片並單一件

擬繕寄信

諭旨令各該省督撫依限如數完解是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年四月初六日奉

旨依議欽此

310 光緒十四年四月初七日奉

旨著准其捐免坐補仍發往原省遇有該省道員缺

出請旨簡放欽此

吏部奏坐補充浙曹濟道善聯可否准其捐免坐補仍開單請簡摺

311 交鑲黃旗滿洲本日引

見德州防禦

盛京佐領各一缺擬陪之藍翎驍騎校亨通雲騎

尉福隆阿奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

四月初七日

312 交鑲紅旗滿洲本日引

見吉林佐領一缺擬陪之防禦兼雲騎尉八十奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

四月初七日

313 交正白旗滿洲本日引

見吉林佐領

東陵防禦各一缺擬陪之防禦毓廉駙騎校明連奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

四月初七日

314 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片十七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年四月初七日奉

旨依議欽此

315 李鴻藻等摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

四月初七日

316 軍機大臣 字寄

山東巡撫張 光緒十四年四月初八日奉

上諭都察院奏山東職婦高王氏遣抱呈控一摺據

稱伊子浙江知縣高鵬飛因地棍挾嫌串通逆僕

子升在浙省寓所將其毒死地方官相驗革率輒

以縊死稟報等語控關僕人謀斃家主情節甚重

虛實至應澈底根究著張曜督同臬司親提人證

卷宗確切研訊務期水落石出以成信讞原呈著

抄給閱看抱告高正德照例解往備質將此諭令

知之欽此遵

旨寄信前來

317 光緒十四年四月初八日奉

旨馬中駁著賞換 賞阿 巴圖魯名號劉洪玉著賞給

捷勇巴圖魯名號汪永著賞給卓勇巴圖魯名號

劉正綱著賞給雄勇巴圖魯名號黃正林著賞給
固勇巴圖魯名號張士遵著賞給勤勇巴圖魯名
號餘依議單二件併發欽此

兵部奏議覆奏統英義和勒英盟力各員請暫留

318 交正黃旗蒙古本日引

見德州駢騎校一缺擬陪之委署駢騎校玉泉奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

四月初八日

319 交正白旗蒙古本日引

見察哈爾駢騎校一缺擬陪之護軍阿巴拉咱達奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

四月初八日

320 交鑲紅旗蒙古本日引

見京口防禦一缺擬陪之駢騎校恩照奉

旨著記名欽此相應傳知
貴旗欽遵可也此交

四月初八日

321 本日兵部帶領引

見請襲騎都尉兼一雲騎尉余晉藩一員擬

旨著准其承襲恭請

硃筆圈出發下謹

奏

322 蒙

發下摺件已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片單十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單七件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年四月初八日奉

旨依議欽此

323 滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

京察一等 記名道府道銜禮部郎中玉恆

侍讀銜刑部郎補主事桂春

四品銜吏部郎補郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾賡額

理藩院郎補郎中志樸

漢頭班章京

前太僕寺卿馮光勳

京察一等 記名道府刑部員外郎吳引孫

刑部郎中孟繼堦

兵部郎補郎中沈恩嘉

戶部員外郎顧璜

吏部員外郎王倣

刑部員外郎陳邦瑞

四品銜兵部主事郎補員外郎胡寶鐸

刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

四品銜通政使司參議堃岫

理藩院員外郎郎補郎中奎華

戶部主事郎補員外郎孚琦

侍讀銜戶部主事延祉

京察一等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部郎補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

前大理寺卿沈源深

太僕寺少卿錢應溥

四品銜工部員外郎祝維城

吏部郎中兼襲騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳芾棠

刑部即補主事易俊

刑部主事馮錫仁

員外郎銜吏部候補主事孫朝華

戶部候補主事王頌蔚

324 光緒十四年四月初九日內閣奉

上諭李鴻章奏永定河漫口合龍請將出力各員給
獎一摺上年六月間永定河南七工西小段四號
漫溢成口經李鴻章派委道員金福曾方濬師督
同員弁並調淮練各軍挑挖引河搶鑲進占業於
本月初四日合龍大溜已由新河直達韓家墅尾
間出口全河復歸故道李鴻章督率有方著交部
議敘在事出力各員尚屬著有微勞自應量予獎

敘候補道金福曾著賞加二品銜永定河道方濬

師著交部從優議敘候補知府石景山同知寶延

馨北岸同知張起鵬均著俟離同知任後以道員

補用署三角淀通判候補通判孫鍾祥著以同知

補用揀發河工知縣孫傳斌著以直隸州知州補

用知州施則敬著賞戴花翎其餘出力員弁准其

擇尤酌保毋許冒濫餘著照所議辦理該部知道

欽此

325 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年四月初九日奉

旨依議欽此

326 李鴻章摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

四月初九日

327 蒙

發下摺報已奉

硃批十三件其餘應請

批示漢字摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片六件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年四月初十日奉

旨依議欽此

328 卞寶第摺片二件陳彝摺一件楊昌濬片一件

奎俊摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

四月初十日

329 蒙

發下摺報 臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年四月十一日奉

旨依議欽此

330 蒙

發下摺件已奉

硃批九件其餘應請

批示漢字摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺四件擬於

召見時請

旨是 否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年四月十二日奉

旨依議欽此

331 陳彝摺一併遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

四月十二日

332 光緒十四年四月十三日內閣奉

上諭德福扎拉豐阿均著管理神機營事務欽此

333 軍機大臣面奉

諭旨現在鄭工需款甚殷著戶部迅速豫籌銀一二

百萬兩聽候撥用欽此

334 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨現在鄭工需款甚殷著戶部迅速豫籌銀一二
百萬兩聽候撥用欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

四月十三日

335 交吏部本日軍機大臣面奉

諭旨四月十五日考試試差人負著自十九日起由

吏部分日帶領引見欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

四月十三日

336 交理藩院本日軍機大臣面奉

諭旨恩承等奏棍噶扎勒參請建寺誦經摺內有經
達賴喇嘛指定在本籍洮州廳地方建立廟宇等
語所建廟宇地方係何年指定何年建立是否
在洮州廳屬內地曾否呈明地方官有案著恩承等
即傳該呼圖克圖詳悉詢明覆奏再降諭旨欽此
相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

四月十三日

337 蒙

發下摺件已奉

硃批七件其餘應請

批示清漢摺片單十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年四月十三日奉

旨依議欽此

338 蒙

發下摺件已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理周韻摺一件擬候

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年四月十四日奉

旨依議欽此

339 光緒五年考試試差四書五經詩題

信而好古

望于山川

賦得進賢興功

得官字五言八韻

光緒八年考試試差四書五經詩題

曾子曰君子以文會友以友輔仁

菁菁者莪在彼中阿既見君子樂且有儀

賦得巖泉滴久石玲瓏

得東字五言八韻

光緒十一年考試試差四書五經詩題

古者言之不出恥躬之不逮也

一曰食二曰貨

賦得華月照芳池

得池字五言八韻

340 光緒十四年四月十五日奉

旨由進士出身之滿漢侍郎內閣學士三品京堂及

四五品京堂內未與考試試差者俱著於本月二

十八日在上書房考試其不願赴考者聽仍向禮

部聲明於開列考官本內扣除欽此

341 光緒十四年四月十五日內閣奉

上諭戶部奏遵議嵩中所交左翼監督盈餘銀兩一

摺所交盈餘銀四千四百三兩零著交廣儲司餘

依議欽此

342 光緒十四年四月十五日內閣奉

上諭戶部奏遵議扎拉豐阿所交右翼監督盈餘銀
兩一摺所交盈餘銀二千三十九兩零著交廣儲
司餘依議欽此

343 蒙

發下摺件已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年四月十五日奉

旨依議欽此

覲

344 道光二十三年行聖公孔繁瀨服閱入

賞件單

御筆福壽字各一張

全史一部

蠟箋二十張

素絹二十張

筆二匣 二十枝

墨二匣 二十錠

硯二方

緙絲蟒袍面一件

繡蟒袍面一件

大卷八絲緞袍褂料二疋

大卷江網袍褂料二疋

春網二疋

絢網二疋

覲

345 同治四年五月初六日行聖公孔祥珂服閱入

賞件單

御筆福壽字各一張

全史一部

蠅箋二十張

素絹二十張

筆二匣 二十枝

墨二匣 二十枚

硯二方

鮮絲蟒袍面一件

繡蟒袍面一件

大卷八絲緞袍褂料二疋 褂料用小卷八絲緞料二疋抵

大卷江綢袍褂料二疋

春綢二疋

縐綢二疋

346 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示清漢摺片單十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理慶裕奏請

派協同管理內務府暨宗室覺羅學各一摺單二件

均擬請

旨因出禮部摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年四月十六日奉

旨依議欽此

347 查此次考試試差閱卷人負除迴避告假及另

有差使不行開列外謹將各衙門開送各負繕

具名單恭候

欽點於十七日清晨

發下傳集各負聽宣查上屆考試試差閱卷欽奉

派出十人謹

奏

- 福銳
- 張之萬
- 錫珍
- 徐桐
- 奎潤
- 烏拉喜崇阿
- 麟書
- 崑岡
- 潘祖蔭
- 景善
- 嵩申
- 孫詒經
- 徐邨
- 童華
- 孫家鼎
- 周德潤
- 烏拉布
- 恩棠

349 軍機大臣 字寄

兩江總督一等威毅伯曾 漕運總督盧 江蘇

巡撫崧 光緒十四年四月十七日奉

上諭前因鄭工漫口全溜注淮諭令曾國荃等豫籌
 宣洩之策嗣據該督等奏稱現就楊莊以下舊黃
 河二百餘里一律挑濬並由張福口至順清河挑
 挖引河以冀上游多分水勢更於裏下河興化一
 帶挑淤挖河分別宣導為下游出海暢行無阻之
 計先後諭令認真舉辦現在已逾數月各工籌辦
 如何情形目前是否竣事殊深慮系鄭工雖逐日
 進占而時促工艱伏汎以前能否合龍尚無把握
 著曾國荃盧士杰崧駁督飭在工各員將上下游
 現辦各工實力趕辦務期剋日完竣不可遲緩一
 面將所辦工程先行奏聞將此由五百里各諭令
 知之欽此遵

旨寄信前來

350 交禮部

貴部奏恭送

玉牒前往

盛京請

欽定日期一摺本日軍機大臣面奉

諭旨著用九月初十日卯時該衙門知道欽此相應

傳知

貴部欽遵辦理至所有一切應行事宜並由

貴部即行知照各衙門敬謹豫備可也此交

四月十七日

351 蒙

發下摺報已奉

硃批九件其餘應請

批示漢字摺片十九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年四月十七日奉

旨依議欽此

352

李鴻章片二件德馨摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

四月十七日

353

臣福錕張之萬楊珍徐桐吳同濬程德全徐郙曹華孫家鼐均跪

奏蒙

發下考試試差卷二百五十四本臣等分閱遵

旨各取八卷謹將擬取者各歸一束其擬不取者亦

各歸一束統行恭呈

御覽謹

奏

354

福銀擬取

一名
 二名
 三名
 四名
 五名
 六名
 七名
 八名
 張之萬擬取

四月十七日

錫珍擬取

七名
 八名
 一名
 二名
 三名
 四名
 五名
 六名
 七名
 八名
 徐桐擬取

崑岡擬取 八名

一名

二名

三名

四名

五名

六名

七名

八名

潘祖蔭擬取

一名

二名

三名

四名

五名

六名

七名

八名

徐郁擬取

一名

二名

三名

四名

五名

六名

七名

八名

童華擬取

一名

二名

三名

四名

五名

六名

七名

八名

孫家鼎擬取

一名

二名

三名

四名

五名

六名

七名

八名

烏拉布擬取

一名

二名

三名

四名

五名

六名

七名

八名

355 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年四月十八日奉

旨依議欽此

356 交理藩院

貴衙門具奏棍噶扎勒參呈請於

恩賞銀內提銀二千兩落成廟宇一摺本日軍機大

臣面奉

諭旨該呼圖克圖建寺誦經具見悃忱加恩著另行

賞銀二千兩由甘肅藩庫給發其前次賞銀五千

兩仍著全數賞給該呼圖克圖作為津貼該徒眾

等川資之用欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

四月十九日

357 光緒十四年四月十九日奉
旨依議欽此

戶部奏遵籌辦工需款銀兩摺

358 光緒十四年四月十九日奉
旨知道了欽此

理藩院奏詢問棍嘴札勒參建廟年月地方摺

359 蒙

發下摺件已奉

硃批九件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年四月十九日奉
旨依議欽此

360 張曜摺一件陳彝片一件遵擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

四月十九日

361 光緒十四年四月二十日內閣奉

上諭京師入夏以來雨澤較少現在節逾小滿農田

待澤方殷允宜虔申祈禱朕於本月二十三日親詣

大高殿拈香

時應宮著派貝勒載澄

昭顯廟著派貝勒載澍

宣仁廟著派貝子奕謨

凝和廟著派輔國公載澤同於是日分詣拈香欽此

光緒十四年四月二十日內閣奉
上諭山東布政使著王毓藻補授欽此

直隸布政使松椿

滿洲鎮藍旗人
光緒十年九月補湖南藩司副調直隸

江蘇布政使黃彭年

貴州進士
光緒十三年十一月補

江甯布政使許振禕

江西進士
光緒十二年六月補

安徽布政使阿克達春

滿洲正白旗生員
光緒十二年八月補

山東布政使崇保

滿洲鎮黃旗進士
同治八年四月補甘肅藩司副調山東

山西布政使張煦

甘肅進士
光緒十一年十一月補廣東藩司副調山西

河南布政使劉瑞祺

江西進士
光緒十二年七月補

陝西布政使陶模

浙江進士
光緒十四年三月補

甘肅布政使譚繼洵

湖南進士
光緒十年十月補

甘肅新疆布政使魏光燾

湖南人
光緒九年正月補甘肅藩司副調新疆

浙江布政使許應鏞

廣東進士
光緒十年十月補

福建布政使張夢元

直隸舉人
光緒九年九月補廣西藩司副調福建

福建臺灣布政使邵友濂

浙江舉人
光緒十三年一月補

江西布政使蕭韶

湖南舉人
光緒十四年三月補

湖北布政使蒯德標

安徽舉人
光緒九年正月補

湖南布政使孫翼謀

福建進士
光緒十二年五月補

廣東布政使高崇基

直隸進士
光緒十年二月補山西藩司副調廣東

廣西布政使馬丕瑤

河南進士
光緒十三年八月補

四川布政使崧蕃

滿洲正藍旗舉人
光緒十二年九月補

雲南布政使曾紀鳳

湖南生員
光緒十年六月補貴州藩司副調雲南

貴州布政使史念祖

江蘇監生
光緒十三年十月補

直隸按察使周馥

安徽監生
光緒十四年三月補

江蘇按察使張富年

浙江附貢生
光緒十二年五月補

安徽按察使張岳年

浙江舉人
光緒十二年八月補

山東按察使福潤

蒙古正紅旗附生
光緒十二年八月補湖北臬司副調山東

山西按察使嵩崑

滿洲鎮紅旗監生
光緒十年二月補

河南按察使賈致恩

山東廩生
光緒十二年二月補

陝西按察使曾鈺

滿洲正白旗監生
光緒十三年十月補

甘肅按察使方汝翼

直隸舉人
光緒十二年七月補

浙江按察使王之春

湖南人
光緒十四年三月補

福建按察使奎俊

滿洲正白旗人
光緒十四年二月補

江西按察使瑞璋

滿洲正紅旗人
光緒十一年十月補

湖北按察使成允

正紅旗監生
光緒十二年二月補山東臬司副調湖北

湖南按察使豫山

滿洲正黃旗監生
光緒十二年九月補

硃。

廣東按察使王毓藻 湖北進士
光緒十二年九月補

廣西按察使張聯桂 江蘇附生
光緒十二年十月補

四川按察使游智開 湖南舉人
光緒十二年三月補

雲南按察使鄧華熙 廣東舉人
光緒十二年十月補

貴州按察使廖壽豐 江蘇進士
光緒十三年九月補

365 光緒十四年四月二十日內閣奉

上諭張曜奏藩司患病懇請開缺一摺山東布政使崇保著准其開缺欽此

366 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示清漢摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年四月二十日奉

旨依議欽此

367 光緒十四年四月二十一日內閣奉

上諭廣東按察使著王之春調補廖壽豐著調補浙江按察使貴州按察使著葉永元補授欽此

368

直隸按察使周馥 安徽監生
光緒十四年三月補

江蘇按察使張富年 浙江附貢生
光緒十二年五月補

安徽按察使張岳年 浙江舉人
光緒十二年八月補

山東按察使福潤 蒙古正紅旗附生
光緒十二年八月補湖北臬司刑調山東

山西按察使嵩崑 滿洲鎮紅旗監生
光緒十一年二月補

河南按察使賈致恩 山東廩生
光緒十三年二月補

陝西按察使曾銖 滿洲正白旗監生
光緒十三年十一月補

甘肅按察使方汝翼 直隸舉人
光緒十二年七月補

浙江按察使王之春 湖南人
光緒十四年三月補

硃。

福建按察使奎俊 滿洲正白旗人
光緒十四年二月補

江西按察使瑞璋 滿洲正紅旗人
光緒十二年十月補

湖北按察使成允 正紅旗監生
光緒十二年二月補山東臬司調湖北

湖南按察使豫山 滿洲正黃旗監生
光緒十二年九月補

廣西按察使張聯桂 江蘇附生
光緒十二年十月補

四川按察使游智開 湖南舉人
光緒十年三月補

雲南按察使鄧華熙 廣東舉人
光緒十二年十月補

貴州按察使康壽豐 江蘇監生
光緒十二年九月補

硃。

369 光緒十四年四月二十一日奉

旨准其支借欽此

理藩院奏巴林郡王額爾濟木巴圖魯請支借欽此

370 光緒十四年四月二十一日奉

旨著准以德生坐補欽此

上諭奏德生坐補欽此

371 光緒十四年四月二十一日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨戶部議奏欽此

海軍衙門奏開拔不敷請由郵部籌撥摺

372 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年四月二十一日奉

旨依議欽此

373 總理各國事務衙門摺一件李鴻藻等摺一件

遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

四月二十一日

374 光緒十四年四月二十二日內閣奉

上諭前因京師入夏以來雨澤較少降旨於本月二

十三日親詣

大高殿拈香並派員勒載灑等分詣

時應宮等處拈香虔申祈禱茲荷

昊慈垂佑前期一日渥沛甘霖慶幸之餘倍深寅感本

月二十三日朕仍親詣

大高殿拈香

時應宮著仍派員勒載灑

昭顯廟著仍派員勒載灑

宣仁廟著仍派員子奕燮

凝和廟著仍派輔國公載澤同於是日分詣拈香

用申報謝仍冀仰邀

鴻貺甘澍頻霑以迓

天庥而慰農望欽此

375 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理恭鐘等摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年四月二十二日奉

旨依議欽此

376 本日由奏事處太監口傳欽奉

懿旨現已得兩於二十三日報謝遵擬明發

諭旨一道恭呈

慈覽謹

奏

四月二十二日

377 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示清漢摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理吏部題滿詹事缺開列請

簡本擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年四月二十三日奉

旨依議欽此

378 光緒十四年四月二十四日內閣奉

上諭廣西左江道負缺著恩立補授欽此

379 查廣西左江道係衝繁難要缺謹

奏

380 光緒十四年四月二十四日內閣奉

上諭陝西西安府知府負缺緊要著該撫於通省知

府內揀負調補所遺負缺著賀爾昌補授欽此

381 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年四月二十四日奉
旨依議欽此

382 李鴻藻等摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

四月二十四日

383 交鑲白旗滿洲本日引

見補放

惠陵防禦擬陪之駝騎校春林又補放寶瓜防禦擬陪

之騎都尉長齡奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

四月二十五日

硃

384 武英殿現存漢文大部書籍六種

四庫全書總目一部 計一百十四本

通史一部 計二十八本

金史一部 計五十一本

元史一部 計八十四本

分類字錦一部 計四十本

朱子全書一部 計二十五本

385 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年四月二十五日奉

旨依議欽此

386 光緒十四年四月二十六日內閣奉

上諭貴州安順府知府貪缺著文海補授欽此

387 查貴州安順府知府係衝繁難要缺謹

奏

388 蒙

發下摺報已奉

硃批十四件其餘應請

批示漢字摺片二十九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年四月二十六日奉

旨依議欽此

389 光緒十四年四月二十七日內閣奉

上諭崧駿奏神靈顯應請加封號並頒扁額一摺江

蘇吳縣光福山寺古銅佛陽山東麓白龍神廟長

洲縣五龍神廟素著靈應上年冬間該處地方亢

旱經崧駿率屬虔禱祥雲立沛麥田霑潤寅感實

深著南書房翰林恭書扁額各一方交崧駿祇領

飭屬敬謹懸挂以答

神庥至所請敕加白龍五龍諸神封號之處著禮

部議奏欽此

390 光緒十四年四月二十七日內閣奉

上諭崧駿奏神靈顯應請加封號並頒扁額一摺江

蘇鎮江府都天廟向祀唐臣張巡疊著靈應上年

夏秋天氣亢旱入冬又復缺雨幾致成災經該地方官虔詣祈禱雨雪應時三農告慶實深寅感著南書房翰林恭書扁額一方交崧駿祇領飭屬敬謹懸掛以答神庥所請敕加封號之處著禮部議奏欽此

391 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理崧駿奏請

敕賜銅佛白龍五龍諸神封號扁額摺又奏請

敕賜唐臣張巡封號扁額摺擬繕明發

諭旨各一道令南書房翰林恭書扁額頒發所請

敕賜封號令禮部議奏恭候

命下遵繕呈進謹

奏

光緒十四年四月二十七日奉
旨依議欽此

392

光緒五年考試試差京堂論題詩題

輔相天地之宜論

賦得葵花開向日

得花字五言八韻

光緒八年考試試差京堂論題詩題

求服其志論

賦得喜雨有志乎民

得民字五言八韻

光緒十一年考試試差京堂論題詩題

信及豚魚論

賦得煙外垂楊綠意多

得多字五言八韻

393

光緒十四年四月二十八日內閣奉

上諭福州將軍善慶老成幹練忠勇性成咸豐同治

年間帶兵勦賊轉戰直隸河南安徽江南湖北山

東等省所向克捷卓著勳勞職繁逆首任桂等厥

功尤偉歷任杭州副都統杭州甯夏江甯將軍旋

補授正紅旗漢軍都統並令管理神機營幫辦海

軍事務均能實心任事克稱厥職上年簡授福州將軍到任以來整頓操防不辭勞瘁方冀克享遐齡長資倚任遽聞溘逝軫惜殊深著照將軍軍營病故例賜卹加恩予謚任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏賞銀一千兩由福建藩庫給發靈柩回旗時沿途地方官妥為照料准其入城治喪其生平戰功事蹟著宣付國史館立傳並於立功省分建立專祠伊子四等侍衛依立佈著賞給二等待衛巴克坦佈多倫佈均著俟及歲時由該旗帶領引見用示篤念蓋臣至意欽此

394 光緒元年二月十一日內閣奉

上諭盛京將軍都興阿老成謹懇懇著勲勞由侍衛海升將軍克稱厥職從前出師江皖陝甘等省辦理軍務均能得力前因患病請假調理方冀漸次就痊長資倚畀茲聞溘逝軫惜殊深著加恩追贈太子太保銜照將軍例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏賞銀一千兩治

喪由盛京戶部給發靈柩回旗時著沿途地方官妥為照料伊子三等待衛卓勒洪額著俟百日孝滿後由該旗帶領引見伊孫尚安泰著俟及歲時由該旗帶領引見用示篤念蓋臣至意欽此

395 光緒十三年十月十六日內閣奉

上諭福州將軍穆圖善老成練達秉性忠誠咸豐同治年間出師直隸安徽江南湖北陝西甘肅等省歷著勲勞海升將軍克稱厥職前年特授欽差大臣辦理東三省練兵事宜馳驅周歷况瘁不辭規畫精詳漸臻成效方冀克享遐齡長資倚畀遽聞溘逝軫惜殊深穆圖善著照將軍軍營病故例賜卹加恩予謚前經得有雲騎尉世職著改為騎都尉世職任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏賞銀一千兩治喪由盛京戶部給發靈柩回旗時沿途地方官妥為照料伊孫那福著俟百日孝滿後由該旗帶領引見伊子恩保承保均著俟及歲時由該旗帶領引見用示篤念蓋臣至意欽此

見

昭陵掌關防一缺

東陵六品千總一缺擬陪之尚膳正融春委署千總長

璧奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

四月二十八日

397 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年四月二十八日奉

旨依議欽此

398 戊子科考試試差京堂

吏部右侍郎景善

兵部左侍郎廖壽恆

刑部右侍郎周德潤

內閣學士寶昌

裕德

錢桂林

李端棻

都察院左副都御史白桓

通政使司通政使黃體芳

詹事府詹事宗室霍穆歡

光祿寺卿馮爾昌

大理寺少卿楊頤

鴻臚寺卿李端遇

正白旗滿洲進士 光緒五年四川鄉試考官

同治九年湖南學政光緒元年廣東鄉試考官五年河南鄉試考官十年江西鄉試考官

正黃旗滿洲進士

光緒六年會試考官

同治七年湖南鄉試考官同治九年會試考官九年廣東鄉試考官九年湖南鄉試考官九年湖南鄉試考官

同治十年會試考官

同治十年會試考官光緒元年會試考官

光緒五年廣東學政十年江南鄉試考官

同治十年會試考官光緒元年會試考官

山東進士

國子監祭酒宗室盛昱 銀白旗進士

通政使司參議胡隆洵 江蘇進士 禮部主事 光緒十年會試考官

鴻臚寺少卿章耀廷 浙江進士 光緒九年會試考官

戊子科不與考試試差京堂

吏部左侍郎許應駁 順天學差

右侍郎許庚身 不願考

戶部左侍郎嵩申 不願考

孫詒經 不願考

禮部左侍郎徐鄰 不願考

右侍郎童華 不願考

兵部右侍郎孫家鼎 不願考

刑部左侍郎薛允升 不願考

工部左侍郎烏拉布 不願考

孫毓汶 不願考

內閣學士文治 不願考

福楙 不願考

洪鈞 出使大臣 差

汪鳴鑾 廣東學差

都察院左副都御史徐樹銘 是日批本不克與考

詹事府詹事陳學棻 福建學差

太常寺卿徐致祥 現在請假

國子監祭酒王先謙 江蘇學差

400 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示清漢摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年四月二十九日奉

旨依議欽此

401 光緒十四年四月三十日內閣奉

上諭聯恩奏病難速痊懇准開缺一摺金州副都統

聯恩著准其開缺欽此

402 擬

賞補用都司葉祖珪林永升補用守備邱寶仁補用

參將劉步蟾等四員勇號

硃 ○ 捷

硃 ○ 禦

硃 ○ 勁

硃 ○ 強

卓

匡

衝

靖

爽

綏

超

克

403 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示清漢摺片二十六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單八件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年四月三十日奉

旨依議欽此

404 李鴻章摺一件希元等摺片二件遵擬批條呈

進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

四月三十日

405 光緒十四年五月初一日內閣奉

上諭張家口監督福惠奏差滿回京齎交盈餘銀兩
並請減成賠繳虧短盈餘銀兩一摺所得盈餘銀
三千一百九十兩零著交廣儲司其所請減成賠
繳之處著戶部覈議具奏欽此

406 光緒十四年五月初一日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨此項折價銀兩
著戶部咨行應解顏料緞疋各省籌解給發欽此

欽此

407 崇

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示清漢摺六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

召見時請

旨是否當有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年五月初一日奉

旨依議欽此

408 光緒十四年五月初二日內閣奉

上諭本日京察補行引見之大理寺少卿楊頤著照
舊供職欽此

409 交吏部本日引

見黑龍江墨爾根城驛站官負缺奉

旨擬陪之筆帖式萬興著記名欽此相傳知

貴部欽遵可也此交

五月初二日

410 交正藍旗滿洲本日引

見補放熱河翼長

西陵驍騎校各一缺擬陪之防禦恆泰領催松全奉
旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

五月初二日

411 交錄藍旗滿洲本日引

見補放黑龍江佐領涼州防禦各一缺擬陪之防禦

富克精額驍騎校榮茂奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

五月初二日

412 蒙

發下摺件已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨片一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年五月初二日奉

旨依議欽此

413 咸豐七年五月二十七日進城三十日下園

咸豐八年五月初九日進城十二日下園

414 光緒十四年五月初三日內閣奉

上諭楊昌濬奏先賢祠宇告成懇賜扁額一摺福建

省城舊有道南祠崇祀宋儒楊時歲久頽廢經該

督捐贊倡修規模齊整堪垂久遠著南書房翰林

恭書扁額一方交楊昌濬祇領懸挂用示重道崇

儒至意欽此

415 蒙

發下摺報已奉

硃批十四件其餘應請

批示清漢摺片單十七件分別繕報批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理楊昌濬奏宋儒楊時祠宇落成請

頒扁額摺擬繕明發

諭旨令南書房翰林書扁頒發是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年五月初三日奉

旨依議欽此

416 光緒十四年五月初二日衍聖公孔令貽入

觀

賞件單

御筆福壽字各一張

全史一部

此書現印在內以庫全書總目
朱子全書概

蠟箋二十張

素絹二十張

筆二匣 二枝

墨二匣 二錠

硯二方

緙絲蟒袍面一件

繡蟒袍面一件

大卷八絲緞袍褂料二疋

大卷江綢袍褂料二疋

春綢二疋

綢綉二疋

417 蒙

發下摺件已奉

硃批十一件其餘應請

批示漢字摺片十一件分別繕報批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理戶部題淮安關監督期滿請

簡負更換本擬俟

皇太后

皇上召見特請

旨謹

奏

光緒十四年五月初四日奉

旨依議欽此

418 蒙

發下摺報已奉

硃批九件其餘應請

批示漢字摺片單十八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年五月初五日奉

旨依議欽此

419 蒙

發下摺報等公同商閱應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年五月初六日奉

旨依議欽此

420 光緒十四年五月初七日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨紹榮著在任以

道負交軍機處遇缺提奏潘鼎新葆亨均著賞還原

銜翎枝延熙著以本部郎中即補岑春榮著發往山

西以道負即用岑春澤著以郎中歸本部即補馮譽

駁著以知縣仍留江蘇即用該部知道欽此

海軍衙門摺片

421 蒙

發下摺件已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片八件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年五月初七日奉

旨依議欽此

422 倪文蔚片三件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

五月初七日

423 光緒十四年五月初八日內閣奉

上諭張曜奏神靈顯應請加封號並頒扁額等語山

東即墨縣城東天井山

龍神廟長清縣五龍潭

五龍神廟素著靈應上年夏間該兩縣亢晴日久

經各該處官紳虔詣祈禱甘露立沛同慶有秋實

深寅感著南書房翰林恭書扁額各一方交張朥

祇領飭屬敬謹懸挂以答

神庥至所請敕加封號之處著禮部議奏欽此

424 交正黃旗滿洲本日引

見補放河南佐領一缺擬陪之防禦文安奉
旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

五月初八日

425 交鑲藍旗滿洲本日引

見補放杭州防禦一缺擬陪之驍騎校多慶奉
旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

五月初八日

426 荆州補行引

見及歲雲騎尉花沙布

旨著回原處

427 蒙

發下摺報已奉

硃批十二件其餘應請

批示漢字摺片十六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年五月初八日奉

旨依議欽此

428 滿頭班

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

京察等 記名道府道銜禮部郎中玉恒

侍讀銜刑部主事桂春

四品銜吏部郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾慶額

理藩院即補郎中志樸

漢頭班

前太僕寺卿馮光勳

京察等 記名道府刑部員外郎吳引孫

刑部郎中孟繼璵

兵部即補郎中沈恩嘉

戶部員外郎顧璜

吏部員外郎王倣

刑部員外郎陳邦瑞

四品銜兵部主事即補員外郎胡寶鐸

刑部員外主事吳魯

戶部員外主事陳熾

滿二班

四品銜內閣侍讀文英

四品銜通政使司參議望岫

理藩院員外郎即補郎中金華

戶部主事即補員外郎李琦

侍讀銜戶部主事延祉

京察等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊普林

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班

前大理寺卿沈源深

太僕寺少卿錢應溥

四品銜工部員外郎祝維城

吏部郎中兼襲騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳華棠

刑部即補主事易俊

刑部主事馮錫仁

員外郎銜吏部候補主事孫朝華

戶部候補主事王頌蔚

429 光緒十四年五月初九日內閣奉

上諭銜榮光奏神靈顯應請加封號並頒扁額一摺

浙江金華縣

城隍神素著靈異保衛地方上年春夏之交該處
亢旱不能播種經地方官等虔詣祈禱甘露立沛
歲獲豐稔實感實深著南書房翰林恭書扁額一
方交衛榮光祇領飭屬敬謹懸挂以答
神庥至所請敕加封號之處著禮部議奏欽此

430 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年五月初九日奉

旨依議欽此

431 李鴻藻等摺一件岐元等片一件遵擬批條呈

進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

五月初九日

432

查原在軍機章京上行走之戶部郎中徐樹
鈞現在服闋臣等公同商酌仍令該員在軍機

處額外行走謹

奏

光緒十四年五月初九日奉

旨知道了欽此

433 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片單十一件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年五月初十日奉

旨依議欽此

434 蒙

發下摺報已奉

硃批十一件其餘應請

批示漢字摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理陳奏摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年五月十一日奉

旨依議欽此

435 光緒十四年五月十二日內閣奉

上諭本日道旁叩關之兵丁誠惠著交刑部嚴行審

訊欽此

鈔文刑部

436 誠惠供現年二十五歲係鑲黃旗蒙古六甲喇

德崇佐領下人現充技勇營兵因伊父護軍博

吉爾圖指伊錢糧挪借賈十錢文不知數目未

經歸還本甲喇辦事官步軍校緒存將伊月餉

徑行給與賈十誠惠共計三月未曾領到屢向

賈十算賬伊不肯算是以情急在五道營叩

關所供是實

437 光緒十四年五月十二日內閣奉

上諭禮部奏道議甘肅提督周達武捐田贍族可否

賞給扁額請旨辦理一摺周達武克承母志捐置

義田養贍宗族洵屬古誼可風著南書房翰林繕

寫扁額一方賞給該提督祇領以示嘉獎欽此

438 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年五月十二日奉

旨依議欽此

439 陳奠摺一件道擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

五月十二日

440 光緒十四年五月十三日內閣奉

上諭京師自上月得雨後迄今又及兩旬尚未泥霽

甘澍農田待澤孔殷允宜虔申祈禱朕於本月十

六日親詣

大高殿拈香

時應宮著派惇親王奕諒

昭顯廟著派貝勒載漪

宣仁廟著派貝勒載滢

凝和廟著派貝勒載澍同於是日分詣拈香欽此

441 光緒十四年五月十三日內閣奉

上諭崧駿奏神靈顯應請加封號並頒扁額一摺江蘇海門廳

城隍神素著靈應上年夏間天氣亢旱經該地方官虔詣祈禱甘霖立沛轉歉為豐實深寅感著南書房翰林恭書扁額一方交崧駿祇領飭屬敬謹懸挂以答

神庥至所請敕加封號之處著禮部議奏欽此

442 交前發統領本日引
護軍統領

見補放鑲白旗察哈爾護軍校一缺擬陪之前鋒額

翰克巴雅爾奉

旨著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

五月十三日

443 蒙

發下摺件已奉

硃批十一件其餘應請

批示漢字摺片二十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片二件擬於

召見時

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年五月十三日奉

旨依議欽此

444 光緒十四年五月十四日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨崇光海緒所捐

銀兩著賞收准其移獎欽此

會詳觀在等奉大臣報飭銀兩可否給獎摺

445 光緒十四年五月十四日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨著於本月十八二十

二十二二十四等日每次呈進銀二十萬兩欽此

黃面紅裏

戶部奏大計用款銀兩分次進支摺

446 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年五月十四日奉

旨依議欽此

447 光緒十四年五月十五日內閣奉

上諭翟鴻機奏在籍道員捐送書籍開單呈覽請旨

嘉獎等語前廣東高廉道陸心源因國子監廣求

書籍選擇家藏舊書一百五十種計二千四百餘

卷附以所刊叢書等三百餘卷願行捐送到監據

稱陸心源自解官後刊校古書潛心著述茲復慨

捐羣籍洵屬稽古尚義伊子康生陸樹藩附生陸

樹屏均著實給國子監學正銜以示嘉獎該衙門知

道單併發欽此

448 光緒十四年五月十五日奉

旨准其抵銷欽此

吏部奏議處洪鈞劉保羅可否准抵銷摺

449 光緒十四年五月十五日奉

旨著准其捐免坐補仍發往原省遇有該省知府缺

出請旨簡放欽此

吏部奏坐補平陽府知府孫紀中可否捐免坐補摺

450 光緒十四年五月十五日奉

旨著再賞假兩月欽此

大學士閣學各處奏病請續假摺

451 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其餘應行請

旨摺片單五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年五月十五日奉

旨依議欽此

452 交鑲藍旗蒙古本日引

見補放察哈爾驍騎校一缺擬陪之護軍那遜奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

五月十六日

453 交吏部本日引

見黑龍江屯官員缺擬陪之八品筆帖式阿爾彬倉奉

旨著記名欽此相應傳知

貴部欽遵可也此交

五月十六日

454 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年五月十六日奉

旨依議欽此

455

瑾 美玉也

理 美玉也

璇 美玉也

璐 美玉也

琮 瑞玉

琛 寶也

珍 寶也

璵 玉光彩

瑛 玉光也

琦 玉名

璣 玉名

璋 玉名

璠 玉名

璩 玉名

琬 玉名

理 玉光

珩 佩玉也

璆 璆璆也

瑤 佩玉聲

璵 玉名

456 蒙

發下摺報已奉

硃批十二件其餘應請

批示漢字摺片十三件分別繕擬批條同冊一件呈

進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

黃大元五月十七日啟

奏

光緒十四年五月十九日奉

旨依議欽此

457 軍機大臣 字寄

直隸兩江江蘇安徽江西河南山東各督撫

傳諭淮安關粵海關各監督 光緒十四年五

月二十日奉

上諭慶裕等奏請飭催本年餉並歷年欠餉開單

呈覽一摺據稱奉天本年的餉前經戶部議撥山

東地丁銀四萬九千餘兩兩淮鹽釐銀八萬兩鹽

課銀三萬兩江西釐金銀一萬兩安徽撥還蕪湖

關常稅銀五萬兩粵海關洋藥稅作為補解近畿

防銀一萬六千餘兩均未報解至各省歷年欠餉

為數甚鉅請飭催解等語奉天支放各款需餉甚

殷亟應迅速撥解以資應用著各該督撫監督等

即將應解奉天本年的餉於六月內批解一半十

月內掃數解清並將欠解歷年專餉分年搭解以

濟要需原單均著欽給閱看將此由四百里諭知

直隸兩江江蘇安徽江西河南山東各督撫並傳

諭淮安關粵海關各監督知之欽此遵

旨寄信前來

458 光緒十四年五月二十日內閣奉

上諭御史趙增榮奏應補部員補缺例文未甚明顯

請飭詳細分晰暨五貢教職發憑後始報事故請

飭查議處各摺片著吏部議奏欽此

459 交禮部 本日軍機大臣而奉

諭旨御史趙增榮奏考差試桌多不整齊請飭修補

另造或即用殿試試桌等語著該衙門會商酌辦

欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

計私存一件
五月二十日

460 交理藩院本日引

見補放熱河額魯特參領一缺擬陪之佐領鄂勒錫

莫林補放黑龍江新巴爾呼鑲白旗驍騎校打

牲正黃旗驍騎校各一缺擬陪之八品監生阿

育什領催徵壽奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

五月二十日

461 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年五月二十日奉

旨依議欽此

462 交戶部本日引

見補放

盛京內倉正監督副監督各一缺擬陪之主事榮

彬員外郎永泰奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴部欽遵可也此交

五月二十日

463 交正紅旗滿洲本日引

見補放福州協領杭州防禦

西陵防禦

東陵驍騎校各一缺擬陪之佐領平慶雲騎尉訥蘇肯

贊禮郎松榮領催明惠奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

五月二十日

464 光緒十四年五月二十二日奉

旨這所參疏防監犯越獄之管獄官山西著靜樂縣

典史王愈著即革職拏問交剛毅提同刑禁人等
嚴訊有無鬆刑賄縱情弊按例懲辦有獄官署靜
樂縣知縣范廷華據稱先期公出是否捏飾著另
行確查辦理仍勒限將逸犯李三娃務獲究辦餘
著照所議辦理該部知道欽此

465 蒙

發下摺件已奉

硃批八件其餘應請

批示漢字摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理剛毅奏疏防監犯越獄摺擬繕明發
諭旨將管獄官王愈革職拏問有獄官范廷華是否
確係公出查明辦理仍勒拏逸犯務獲究辦恭候

命下道繕呈遞謹

奏

光緒十四年五月二十二日奉

旨依議欽此

466 光緒十四年五月二十三日內閣奉

上諭前因京師入夏以來雨澤稀少朕親詣

大高殿拈香並派惇親王奕諒等分詣

時應宮等處拈香現在節近小暑尚未渥沛甘霖

農田待澤尤殷實深焦盼允宜再申祈禱朕於本

月二十六日仍親詣

大高殿拈香

時應宮著仍派惇親王奕諒

昭顯廟著派貝子奕謨

宣仁廟著仍派貝勒載澐

凝和廟著仍派貝勒載澍同於是日分詣拈香欽此

467 光緒十四年五月二十三日內閣奉

上諭湖南鹽法長寶道員缺著紹榮補授欽此

468 查湖南鹽法長寶道係衝繁難要缺謹

奏

469 光緒十四年五月二十三日內閣奉

工諭色楞額奏請調員辦理營務文案等語著新疆迪化府知府疏勒直隸州知州蔣誥甘肅新羅補用知縣陳純治陝西補用知縣甘肅著劉錦棠飭令該員等前赴伊犁行營交色楞額差遣委用該部知道欽此

470 交八旗護軍營本日引

見補放察哈爾鎮黃旗護軍校正藍旗頭排護軍校二排護軍校三排護軍校鑲藍旗護軍校各一缺擬陪之護軍珠克都爾前鋒額爾斯弼里克前鋒伊達木前鋒莫濟克僧額護軍孟克達齊奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴營欽遵可也此交

五月二十三日

471 交正藍旗滿洲本日引

見補放福州協領一缺擬陪之佐領恩鈞奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

五月二十三日

472 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺一件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其餘應行請

旨摺片單三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年五月二十三日奉

旨依議欽此

473 光緒十四年五月二十四日內閣奉

上諭王祖光現出試差國子監司業著馮文蔚署理
欽此

474 應署國子監漢司業名單

殊。

詹事府左贊善馮文蔚

翰林院編修王貽清

檢討李紱藻

編修李岷琛

李肇南

陳夢麟

修撰曹鴻勳

編修唐景崇

吳樹梅

黃國瑾

李培元

高劉中

馮汝騏

王錫蕃

徐致靖

朱善祥

林紹年

馮光適

475 光緒十四年五月二十四日內閣奉

上諭廣東肇慶府知府員缺著吳澍霖補授欽此

476 查廣東肇慶府知府係衝繁疲難最要缺謹

奏

477 交內務府本日引

見補放

西陵內務府副內管領一缺擬陪之委副管領重新熟

河六品苑副一缺擬陪之七品副千總著呂察

喀爾羊學護軍校一缺擬陪之牧長圖黑克鄂

勒遮依奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

五月十四日

478 光緒十四年五月二十四日奉

旨張曜著准其抵銷餘依議欽此

吏部摺

479 蒙

發下摺件臣等公司商閱應請

批示漢字摺片二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年五月二十四日奉

旨依議欽此

480 辦理軍機處為咨行事本日

發下賞雲貴總督岑 六十生辰物件相應開單

由兵部遞交

貴督祇領可也須至咨者

右 咨 計鈔單一紙
外本匣六箇

雲貴總督岑

光緒十四年五月二十四日

481 蒙

發下摺報已奉

硃批九件其餘應請

批示清漢摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年五月二十五日奉
旨依議欽此

482 蒙

發下摺件臣等公同商閱應請

批示漢字摺四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年五月二十六日奉

旨依議欽此

483 光緒十四年五月二十七日奉

旨伊立布著免議欽此

兵部荷荷伊立布是否照職銜摺

484 光緒十四年五月二十七日奉

旨著准其擇尤保獎毋許冒濫欽此

順天府批挖青龍營衙司否請獎片

485 蒙

發下摺報已奉

硃批十一件其餘應請

批示清漢摺片十七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年五月二十七日奉

旨依議欽此

486 蒙

發下摺件臣等公同商閱應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年五月二十八日奉

旨依議欽此

487 蒙

發下戶部摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年五月二十九日奉

旨依議欽此

488 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年六月初一日奉

旨依議欽此

489 光緒十四年六月初二日奉

旨杭州織造著英瑞去欽此

490 光緒十四年六月初二日奉

旨梁俊著以知府選用餘依議欽此

戶部奏遵議請調知府梁俊補缺摺摺附

491 蒙

發下摺件已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片十七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年六月初二日奉

旨依議欽此

492 陳彝摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

六月初二日

493 光緒十四年六月初三日內閣奉

上諭前因京師入夏以來雨澤稀少朕疊次親詣

大高殿拈香並派惇親王奕諒等分詣

時應宮等處拈香虔申祈禱現在節逾小暑仍未

渥沛甘霖農田待澤尤殷彌深焦盼本月初六日

朕仍親詣

大高殿拈香

時應宮著仍派惇親王奕諒

昭顯廟著仍派貝子奕謨

宣仁廟著仍派貝勒載澄

凝和廟著仍派貝勒載澍同於是日分詣拈香欽此

494 光緒十四年六月初三日內閣奉

上諭張曜奏遵旨察看道府據實覆陳一摺山東督

糧道鐸洛崙任用家丁石書田劉惠臣致被參奏

前經該撫飭令驅逐仍留在署管事並有借給幫

官庫款銀兩及收受餽送壽禮等情實屬不知檢

束鐸洛崙著交部議處青州府知府裕彬雖據聲

稱該員心地樸厚尚無別項劣蹟仍著張曜隨時

察看如不知振作即行據實參劾欽此

495 交鑲紅旗滿洲本日引

見補放涼州防禦一缺擬陪之駉騎校托精阿奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

六月初三日

496 四川建昌道黃毓恩

旨著交軍機處存記錄用

硃。

497 四川建昌道黃毓恩

旨著賞加一級回任候升

498 蒙

發下摺報已奉

硃批十二件其餘應請

批示漢字摺片單八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年六月初三日奉

旨依議欽此

499 蒙

發下摺件已奉

硃批十七件其餘應請

批示漢字摺片單十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理戶部摺單各一件吏部題滿太僕

寺卿開列請

簡本一件均擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年六月初四日奉

旨依議欽此

500 蒙

發下摺報已奉

硃批十一件其餘應請

批示漢字摺片單二十三件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年六月初五日奉

旨依議欽此

501 光緒十四年六月初六日內閣奉

上諭戶部奏稽查雲南運銅各負期滿請旨更換一摺雲南辦解八起頭批京銅現據咨報起程此後續辦銅勛次第運解前沿途經理各負期滿該部查照例案將經過之四川湖北江蘇直隸等省藩臬開列名單請旨更換四川著派崧蕃湖北著派蒯德標江蘇著派黃彭年直隸著派松椿即責成各該員嚴飭各道府及沿途地方文武員弁認真稽查催趨護送前進如有無故逗留及盜賣短少等弊詳報該督撫嚴行參辦沿途應需水師照料之處即由派出之員詳咨前途督撫及水師提

督調遣仍著自奉旨之日起以三年為限均責成此次所派之員一體經理遇有升調事故即令接任之員遵辦期滿再行更換欽此

502 交鑲藍旗滿洲本日引

見補放

東陵防禦熱河防禦各一缺擬陪之驍騎校德魁雲騎

尉貝都哩奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

六月初六日

503 蒙

發下摺件已奉

硃批十件其餘應請

批示漢字摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年六月初六日奉

旨依議欽此

504 蒙

發下楊昌濬摺一件倪文蔚片一件都察院摺呈各

一件吏部摺一件均擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年六月初七日奉

旨依議欽此

505 據都察院咨送到雲南廉生何濟清繪呈地圖

一件恭呈

御覽謹

奏

六月初七日

506 光緒十四年六月初八日內閣奉

上諭吏部奏部務繁重請添設司員額缺一摺吏部

文選司事務繁重近年更甚於前據稱該司額缺

本少不足以資分任自係實在情形著照所請准

其添設文選司滿漢郎中員外郎主事各一缺此

外各衙門不得援以為例餘依議欽此

507 交禮部都察院奏順天府府丞何桂芳等呈稱原

任知縣熊存瀚守城殉節援案請在本籍捐建

專祠據呈代奏一摺本日軍機大臣面奉

諭旨著照所請禮部知道欽此相應鈔錄原奏傳知

貴部欽遵辦理可也此交

計粘鈔摺三各一件

六月初八日

508 蒙

發下摺報已奉

硃批十四件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年六月初八日奉

旨依議欽此

509 滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎即補郎中文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

京察一等 記名道府道銜禮部郎中玉恆

侍讀銜刑部主事桂春

四品銜吏部即補郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾慶額

理藩院即補郎中志樸

滿頭班章京

前太僕寺卿馮光勛

京察一等 記名道府刑部員外郎吳引孫

刑部郎中孟繼堦

兵部即補郎中沈恩嘉

戶部郎中徐樹鈞

戶部員外郎顧璜

吏部員外郎王倣

刑部員外郎陳邦瑞

四品銜兵部主事即補員外郎胡寶鐸

刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

四品銜通政使司參議整岫

理藩院員外郎即補郎中奎華

戶部主事即補員外郎孚琦

侍讀銜戶部主事延祉

京察一等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

前大理寺卿沈源深

太僕寺少卿錢應溥

四品銜工部員外郎祝維城

吏部郎中兼襲騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳蒂棠

刑部主事易俊

刑部主事馮錫仁

員外郎銜吏部候補主事孫朝華

戶部候補主事王頌蔚

510 蒙

發下摺報已奉

硃批十一件其餘應請

批示漢字摺片單七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年六月初九日奉

旨依議欽此

511 據楊昌濬咨送到閩省福州廈門海口礮臺全

圖一件恭呈

御覽謹

奏

六月初九日

512 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示清漢摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理本日據李鴻藻等電稱溜勢北趨

引河自行開放口門溜減等語臣等公同商酌

擬請

旨令李鴻藻等乘此機會趕緊進占並將初六日電

問各節即日覆奏恭候

命下遵即繕稿呈進吏部題翰林院侍講缺開列請

簡本擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年六月初十日奉

旨依議欽此

513 遵擬電知李鴻藻等一道繕稿呈

覽恭候

欽定俟

發下後交該衙門辦理謹

奏

六月初十日

514 光緒十四年六月十一日內閣奉

上諭前因京師入夏以來雨澤稀少朕疊次親詣

大高殿拈香並派惇親王奕諒等分詣

時應宮等處拈香虔申祈禱現已疊沛甘霖郊原

霑足仰荷

昊慈垂佑寅感實深謹擇於本月十三日朕親詣

大高殿拈香

時應宮著派惇親王奕諒

昭顯廟著派貝子奕謨

宣仁廟著派貝勒載漪

凝和廟著派貝勒載澍同於是日分詣拈香用申

報謝欽此

515 光緒十四年六月十一日內閣奉

上諭山東督糧道負缺著善聯補授欽此

516 查山東督糧道條繁要缺謹

奏

517 光緒十四年六月十一日內閣奉

上諭前經明降諭旨各直省應行旌表婦女仍照例由該督撫題請或由同鄉京官赴部具呈均由禮部照例覈辦其內外臣工概不得率行瀆請茲據御史莊子楨奏請將節孝婦葛王氏旌表等語葛王氏著禮部行查原籍照例辦理該御史徑行奏請旌表殊屬非是莊子楨著交部察議欽此

518 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示清漢摺片十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年六月十一日奉

旨依議欽此

519 英煦摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

六月十一日

520 光緒十四年六月十二日內閣奉

上諭前廣東試用通判降補府經歷縣丞凌紱曾著

以知縣發往山東補用欽此

521 前廣東試用通判降補府經歷縣丞凌紱曾

522 光緒十四年六月十二日內閣奉

上諭卞寶第奏查明劉長佑子孫遵旨覆陳等語前
雲貴總督劉長佑之子通判劉思謙著加恩以同
知用伊孫光祿寺署正劉繩武著加恩以主事用
欽此

523 崇

發下摺報已奉

硃批十八件其餘應請

批示漢字摺片十九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年六月十二日奉

旨依議欽此

524 卞寶第摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

六月十二日

525 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

六月十二日

526 遵擬電知李鴻藻等一道繕稿呈

覽恭候

欽定候

發下後交該衙門辦理謹

奏

六月十二日

527

治河條陳

知府董毓琦曾條陳二策詳言治河之要務并繪有圖樣今採而存之圖不能錄錄其說一曰固本書所謂本固邦富近特治河積習相沿惟以蘆葦為隄雜以沙土其本根未固每遇大溜冲決成災鑿觀往事伏波之銅柱千秋砥柱之中流萬載故外洋跨海為橋河隄如鑄皆有鐵柱固其本根雖大溜如山千載兀然不動即今福州船政濱海為隄初建時排椿壘石不旋轉為水所圻乃仿外洋鐵坪之法鐵螺成柱入土文餘出土丈餘中絡鐵條名鐵水坪至今十八載如新每遇輪船試車如開濟鏡清震泰三艘

每艘繫柱拉以二千四百匹馬力而柱如故其鐵柱之製入土者尖有螺旋旋轉而下入堅如鑽喫土如膠每柱數節每節鑲螺而上無論洪流急注勢如鰲柱擎天若照舊時蘆葦雜泥昨成而今決東築而西圻費銜石填海之功終無實濟統積年河費鑄金成岸而有餘矧此些須鐵柱大約鄭州決口八百丈每一丈一柱只須用八百柱而隄岸成千載無虞黃溜此一勞永逸之法大約八百丈鄭口不下二百萬金即成鐵岸現船政已有規模不難仿模鑄鐵琦於船政身歷目觀當不河漢斯言若照舊時泥葦虛糜雖千萬金尚無把握此照船政鐵坪成岸遵部議二百萬似可觀成無須開捐籌餉不妨小試鄭河之口如得法擴充餘隄為萬年不拔之基省往日填海之費為我

朝永固金湯一曰清源問渠者究源頭之水翦草者先根本之芟故揚湯止沸不如釜底抽薪黃河之源起於火敦腦兒譯言星宿海及青海匯而為一北極高三十四度偏西十八度處積石

山之南河為川蜀所阻逆流繞積石而北至河套入龍門南抵豫直平康旁無山石易決為災竊以萬水皆東流至青海積石阻於蜀外之山不得已而北逆流千里若於北逆處順其勢而南濬入海則甚便查此處與金沙鴉龍二江相距不遠由偏西十八度處挖百餘里與金沙鴉龍二江合一復由金沙江白那山處挖五十餘里通於瀾滄江而出南海復於瀾滄江白水河處挖三十餘里通於怒江而出緬海三處分黃河之源中土永無水患雖金沙與岷山導江而滄怒二江分其水勢其流必殺豫直江淮永為樂土且金沙源在清海滄怒二江源在前藏所挖之處隸於雲南皆中華自主無須假道於人現新疆駐防各軍無事不妨分撥挖河加以小惠則踴躍從公通河如反掌耳其固本圖說曰法船政鐵坪成岸一勞永逸為萬年不拔之基此後永無河患第在事人工所不憚幸此鐵坪以內尚須蘆泥則在工者隨時修築且千里各堤以次臚舉須數十年後方可撤工其法全在

鐵柱鐵柱入土徑一尺長一丈五尺重二千五百觔螺柱鑽土極深無論堅泥硬土旋鑽而下螺痕與泥鑲合如膠不拔其鐵柱鑲螺徑一尺長一丈五尺重一千五百觔各節俱用螺鑲無論若干高可鑲若干節船政已有模樣在至於清源之圖則即治河管見中所詳各處源流條分縷晰朗若列眉其稟稿中有云星算餘間涉獵中外輿圖盱衡時事竊以黃河為中國漏卮古今鮮治法現鄭州決口

聖上撥款拯黎既優且渥凡食毛踐土者偶有管見不妨條陳一二以紓

宵旰之勞蓋治河積習相沿堆以蘆葦雜泥暫救目前之急過時仍為澤國滄桑管見條陳二策先固其本而清其源為一勞永逸之基千古不磨之計固本者舍蘆葦雜泥之舊效船政鐵柱之坪固其本而千年不拔清源者窮其源於青海開決源流合金沙鴉龍滄怒諸江入於南海分水勢而中溜乾終古永無河患謹將二策條陳並圖說恭呈

御覽伏乞代奏施行再鐵坪成岸固為盡美但鄭口

急欲合龍八百丈大溜每丈一柱亦須八百柱
恐一時難於趕鑄蓋船政尚有船工儻柱模現
成每日鑄柱一節每節一丈五尺儻隄若干高
加柱若干節由此繪圖成式分於上海南京天
津各鐵廠並由商廠分鑄極快亦須半年尚有
鑽孔搬載亦稽時日其工料每柱二三節共長
四五丈口徑一尺者其柱費約二百餘金八百
柱約須十六萬餘金尚有橫條絡鐵人工坪內
土摺其費十餘倍約共二百萬金八百丈鐵岸
成矣但工程在半年以外恐不能搶鄭河之急
口我

皇上億萬斯年當為萬年不朽之功使億載感深開
闢可於平時未雨綢繆預先鑄柱如遇再決頃
刻合龍俟本既固而源既清此後永為樂土河
工稱觀止矣儻由豫直就近多開土壩更為妥
速蓋鐵柱粗物不比機器須用機廠優工惟由
船政繪圖呈式可耳現署船政大臣裴為國宣
猷不分畛域擬自捐廉鑄柱十根每柱二節共

長三丈鄭口如天之福業已合龍幸甚萬一尚
難合龍則捐此十根為中流之砥柱該鄭河照
舊蘆泥能救目前之急而合龍之口若無柱力
以支大溜工不能施此柱一成全隄可為樞紐
裴大臣虛懷若谷擬自捐廉不敢奏請云云儻
得成功則誠不愧為補天手段矣

528 光緒十四年六月十四日內閣奉

上諭景善現出試差吏部右侍郎著烏拉布兼署欽此

529

應兼署滿洲侍郎名單

吏部左侍郎松淮

戶部左侍郎嵩申

右侍郎熙敬

禮部左侍郎敬信

右侍郎續昌

現兼署刑部右侍郎

兵部左侍郎師曾

現在請假

右侍郎崇禮

刑部左侍郎桂全

工部左侍郎烏拉布

右侍郎清安

理藩院左侍郎恩崇

右侍郎慶福

530

應署滿洲侍郎名單

內閣學士文興

寶昌

豐烈

文治

福楫

裕德

都察院左副都御史奕年

志元 現在請假

通政使司通政使奕杖

大理寺卿明桂

詹事府詹事霍穆歡

531 光緒十四年六月十四日奉

旨着仍遵前旨獎勵欽此

兵部通議董軍統領衙門奏請發給

532 交鑲黃旗蒙古本日引

見補放熱河防禦一缺擬陪之驍騎校春瑞奉

旨記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

六月十四日

533 交正黃旗漢軍本日引

見補放廣州防禦一缺擬陪之雲騎尉李端奉

旨着記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

六月十四日

534 交正藍旗滿洲本日引

見補放廣州防禦一缺擬陪之驍騎校恒祥補放

西陵驍騎校一缺擬陪之領催經武訥奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

六月十四日

535 交正蓋旗蒙古本日引

見察哈爾教勒特補放驍騎校二缺擬陪之前鋒齊

莫特哩克錦親軍貢僧扎普又補放京口驍騎

校一缺擬陪之前鋒校延鶴奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

六月十四日

536 黑龍江補行引

見八品蔭監全福

殊。旨著回原處

六月十四日

537 黑龍江補行引

見雲騎尉全陞

殊。旨著回原處

六月十四日

538 蒙

發下摺報已奉

殊批四件其餘應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

殊批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年六月十四日奉

旨依議欽此

539 光緒十四年六月十五日內閣奉

上諭都察院奏已故督臣忠節昭著請援案捐建專祠據呈具奏一摺已故湖廣總督吳文鎔於咸豐四年在黃州府剿賊陣亡大節凜然已於湖北省城建立專祠茲據內閣學士錢桂森等呈稱鄉閭慕義援案請在本籍捐資建祠等語吳文鎔著准其於江蘇揚州府本籍捐建專祠由地方官春秋致祭以彰忠節該部知道欽此

540 光緒十四年六月十五日內閣奉

上諭塔爾巴哈台參贊大臣錫綸於同治年間由郎中補授哈密幫辦大臣堅守危城隨剿回逆卓著勤勞嗣補塔爾巴哈台參贊大臣署理伊犁將軍宣力邊疆勇於任事前因患病賞假調理茲聞溘逝軫惜殊深加恩著照副都統例賜卹任內一切處分悉予開復靈柩回旗時沿途地方官妥為照料應得卹典該衙門察例具奏欽此

541 光緒五年四月十二日內閣奉

上諭庫倫辦事大臣英奎由部屬補授道員擢任按察使上年賞給副都統銜作為庫倫辦事大臣到任以來辦理地方事宜克盡厥職茲聞溘逝軫惜殊深加恩著照副都統例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

542 光緒十三年三月十五日內閣奉

上諭前署塔爾巴哈台參贊大臣明春於咸豐年間由京營出兵從征轉戰安徽河南陝西甘肅等省久歷戎行勤勞懋著前於署塔爾巴哈台參贊任內因病請假准開署缺調理茲聞溘逝軫惜殊深加恩著照副都統例賜卹任內一切處分悉予開復靈柩回旗時沿途地方官妥為照料應得卹典該衙門察例具奏欽此

543 蒙

發下摺報已奉

硃批十五件其餘應請

批示清漢摺片單四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺呈四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年六月十五日奉

旨依議欽此

544 光緒十四年六月十六日內閣奉

上諭本年五月初八日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨大婚典禮著於

明年正月舉行欽此本日據禮部尚書奎潤等奏大

婚禮成謹請加上

皇太后徽號一摺

聖慈諒抑為懷未蒙

允許朕以恪遵

成憲典禮崇隆竭誠懇至於再三始荷

俯如所請所有應行事宜著各該衙門敬謹辦理欽此

黃面紅裏

545 光緒十四年六月十六日奉

旨依議欽此

禮部奏製造冊立皇后冊寶摺

黃面紅裏

546 光緒十四年六月十六日奉

旨依議欽此

禮部奏請飭內閣撰擬恩詔摺

黃面紅裏

547 光緒十四年六月十六日奉

旨依議欽此

禮部奏請飭內閣撰擬表式摺

黃面紅裏

548 光緒十四年六月十六日奉
旨著遵照成案停止呈進欽此

禮部奏再立 皇后內侍各官恩否於 皇后前遊覽度習片

黃面紅東

549 蒙

發下摺報已奉

硃批九件其餘應請

批示清漢摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年六月十六日奉

旨依議欽此

550 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信二件

照錄呈

覽謹

奏

六月十六日

551 遵擬電知張曜一道繕稿呈

覽恭候

欽定候

發下後交該衙門辦理謹

奏

六月十六日

552 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年六月十七日奉

旨依議欽此

553 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

六月十七日

554 遵擬

懿旨一道繕稿呈

覽俟

發下後臣等即帶交醇親王閱看謹

奏

六月十七日

555 蒙

發下摺件已奉

硃批十四件其餘應請

批示漢字摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨片一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年六月十八日奉

旨依議欽此

556 光緒十四年六月十九日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨前因皇帝甫經

親政決疑定策不能不遇事提撕勉允臣工之請訓

政數年兩年以來皇帝幾餘典學益臻精進於軍國

大小事務均能隨時剖決措置合宜深宮甚為欣慰
明年正月大婚禮成應即親裁大政以慰天下臣民
之望著欽天監於明年二月內敬謹選擇歸政吉期
具奏欽此

黃面紅裏大斤

557 光緒十四年六月十九日內閣奉

上諭朕自沖齡踐阼仰蒙

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后垂簾聽政豐功偉烈

震古鑠今宵旰勤劬數十年如一日迨十二年六月

令朕親裁大政猶復曲垂

慈愛

特允訓政之請勞心庶務又及兩年茲奉

懿旨於明年二月歸政朕仰體

慈躬敬慎謙抑之本懷並敬念三十年來我

聖母為天下憂勞况瘁幾無晷刻可以稍資休息撫衷

循省感悚交深茲復

特沛溫綸重申前命朕敢不祇遵

慈訓於一切幾務兢兢業業盡心經理以冀仰酬我

聖母撫育教誨有加無己之深恩惟念現在時事孔艱
嗣後仔肩益重爾中外大小臣工尤當體朕夙夜
祇懼之誠各矢公忠共襄治理朕實有厚望焉所
有歸政屆期一切應行典禮事宜著各該衙門敬
謹酌議具奏欽此

黃面紅裏大斤

558 軍機大臣 字寄

倉場侍郎興 游 光緒十四年六月十九日奉

上諭稽察北新倉給事中洪良品奏北新倉現放正

白旗甲米本月十七日該倉內有數十人似是市

僧門外停車數十輛據花戶稱係兵丁領米並未

持票請飭查辦等語著興廉游百川確切查明如

該倉花戶有偷售夾帶情弊即著送交刑部嚴訊

懲辦並著諭令各倉監督常川駐倉以符定例另

片奏查驗該倉殿座不無虧短情弊著該侍郎等

督飭各監督認真辦理以杜弊端原摺片均著鈔

給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

559 交正白旗滿洲本日引

見補放西安防禦擬陪之駙騎校奎明奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

六月十九日

560 交鑲紅旗滿洲本日引

見補放荊州佐領駙騎校各一缺擬陪之防禦薩刺

蘇領催玉成奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

六月十九日

561 咸安宮官學年滿繙譯教習全泰

顯聰

旨均著照例選用

硃。

562 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示清漢摺三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四六月十九日奉

旨依議欽此

563 光緒十四年六月二十一日奉

旨依議欽此

禮部會奏鑄造

金寶擬鑄樣板摺

黃面紅裏

564 光緒十四年六月二十一日奉

旨依議欽此

禮部會奏鑄造

金寶文須金兩掛

黃面紅裏

565 蒙

發下摺報已奉

硃批九件其餘應請

批示清漢摺片單八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年六月二十一日奉

旨依議欽此

566 光緒十四年六月二十二日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨欽天監奏遵旨

選擇吉期恭候欽定一摺著於明年二月初三日歸

政欽此

黃面紅裏大片

567 光緒十四年六月二十二日奉

旨仍著潘祖蔭承修欽此

工部奏續修欽定曆等摺

568 交正白旗漢軍本日引

見補放

盛京駙騎校一缺擬陪之領催周武剛奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

六月二十日

569 丁憂回旗百日服滿前雲南迤東道明保

硃。旨回原衙門行走

硃○ 570 六品廕生張光照
旨著以通判用

硃○ 571 黑龍江補行引
見雲騎尉常福
旨著回原處

硃○ 572 年老十總房高仰
旨著准其留任

573 年老十總房高仰
旨著原品休致

574 蒙
發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示清漢摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟
硃批

發下後欽遵辦理彭玉麟摺一件擬俟
皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年六月二十三日奉

旨依議欽此

575 光緒十四年六月二十四日內閣奉

上諭彭玉麟奏痼疾難痊懇請開缺並開去差使回籍調理一摺彭玉麟巡閱長江勲勤卓著連年以來因病屢請開缺未經允准茲復據奏病勢增重情詞懇切不得不勉如所請以示體恤兵部尚書彭玉麟著准其開缺回籍安心調理其長江水師巡閱差使毋庸開去即責成李成謀認真經理彭玉麟不必拘定假期一俟病體稍愈仍著照舊任事以副朝廷倚畀至意欽此

576 光緒十四年六月二十四日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨該衙門覈給獎
敘欽此

海軍衙門奏即中增崇捐銀請獎片

577 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨片一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年六月二十四日奉

旨依議欽此

578 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示清漢摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年六月二十六日奉

旨依議欽此

579 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

六月十六日

580 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年六月二十七日奉

旨依議欽此

581 遵擬電知李鴻藻等一道繕稿呈

覽恭候

欽定俟

發下後交該衙門辦理謹

奏

六月三十日

582 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

六月三十日

583 本日李鴻藻等電奏暫請停工等語擬請電

旨令李鴻藻等固守已成之工仍將挑溜沓淤等事

認真辦理不可停止恭候

命下繕稿呈

覽謹

奏

光緒十四年六月三十日奉

旨依議欽此

584 蒙

發下摺件已奉

硃批三件王之春請

覲摺擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年七月初一日奉

旨依議欽此

585 光緒十四年七月初二日內閣奉
上諭兵部尚書著許庚身補授欽此

586 應調漢尚書名單

協辦大學士刑部尚書張之萬

吏部尚書徐桐

戶部尚書翁同龢

禮部尚書李鴻藻 現在出差

工部尚書潘祖蔭

587 應升漢尚書名單

都察院左都御史祁世長 現署禮部尚書

吏部左侍郎許應駿 現出學差

右侍郎許庚身 現署兵部尚書

戶部左侍郎孫詒經

右侍郎曾紀澤

禮部左侍郎徐鄰 現兼署吏部左侍郎

右侍郎童華

兵部左侍郎廖壽恆

右侍郎孫家鼐

刑部左侍郎薛允升

右侍郎周德潤

工部左侍郎孫毓汶

右侍郎徐用儀

倉場侍郎游百川 現在請假

588 光緒十四年七月初二日內閣奉

上諭孫毓汶著調補吏部右侍郎工部左侍郎著徐

用儀轉補工部右侍郎兼管錢法堂事務著汪鳴鑾補授未到任以前著董華兼署欽此

589 應調漢侍郎名單

吏部左侍郎許應駿 現出學差

右侍郎許庚身 現署兵部尚書

戶部左侍郎孫詒經

右侍郎曾紀澤

禮部左侍郎徐邨 現兼署吏部左侍郎

右侍郎董華

兵部左侍郎廖壽恆

右侍郎孫家鼐

刑部左侍郎薛允升

右侍郎周德潤

工部左侍郎孫毓汶

右侍郎徐用儀

倉場侍郎游百川 現在請假

590 應升漢侍郎名單

內閣學士錢桂森 現出試差

汪鳴鑾 現出學差

洪鈞 現在出差

李端棻

都察院左副都御史白桓

徐樹銘

宗人府府丞薛福辰

通政使司通政使黃體芳 現出試差

大理寺卿劉瑞棻 現在出差

詹事府詹事陳學棻 現出學差

591 光緒十四年七月初二日內閣奉

上諭曾國荃等奏官軍勦辦土匪立時撲滅一摺安徽合肥縣西鄉匪首劉文弼聚眾械鬥肆行搶掠並勾結教會各匪圖佔城池經曾國荃陳彝分派總兵郭寶昌副將徐士衡等會同壽春鎮總兵任祖文馳往查辦該匪復敢負嵎抗拒傷斃勇丁實屬昏不畏法旋經官軍分路進剿攻破匪圩當將

該逆首擒獲正法並生擒匪黨多名全股撲滅辦理尚為迅速在事出力各員弁著准其擇尤酌保毋許冒濫餘著照所議辦理該部知道欽此

592 光緒十四年七月初二日奉
旨准其抵銷欽此

吏部奏議御史莊子慎請二級留任可否准抵銷

593 交吏部本日引

見補放

盛京開原倉官一缺擬陪之筆帖式烏勒得科奉旨著記名欽此相應傳知
貴部欽遵可也此交

七月初二日

594 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

七月初二日

595 蒙

發下摺報已奉

硃批十件其餘應請

批示漢字摺片單八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年七月初二日奉

旨依議欽此

596 光緒十四年七月初三日內閣奉

上諭四川北道員缺著恩佑補授欽此

597 查四川川北道係衝繁中缺謹
奏

598 蒙

發下摺報已奉

硃批十五件其餘應請

批示清漢摺片二十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年七月初三日奉

旨依議欽此

599 色楞額摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

七月初三日

600 軍機大臣 字寄

湖廣總督裕 湖北巡撫奎 光緒十四年七

月初四日奉

上諭有人奏請將湖北提督仍駐穀城並抽撥省城
防軍分劄楚豫交界一摺據稱湖北提督原駐穀
城自咸豐年間移駐襄陽穀城為盜匪出沒之區
宜有重臣彈壓請仍移回駐紮以資控制暨襄陽
等處為楚北門戶現存防軍不敷分布請於省城
防軍抽撥數營分劄巡緝各節著裕祿奎斌體察
情形妥籌具奏另片奏光化縣老河口鎮文武各
衙門每交冬令勒令合鎮致送銀錢等語地方各

官藉端科歛民財大干例禁著該督撫等確切查明嚴行禁止原摺片均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

601 軍機大臣 字寄

湖廣總督裕 湖南巡撫升任閩浙總督卞

安徽巡撫陳 江西巡撫德 湖北巡撫奎

湖南巡撫王 光緒十四年七月初四日奉

上諭有人奏各省茶莊多招婦女入廠揀茶案情百出請飭嚴禁等語各省茶廠多藉女功若如所奏旅居露宿奸徒引誘每釀事端於風俗人心大有關繫著裕祿卞寶第陳彝德馨奎斌王文韶嚴飭所屬於各茶廠認真稽查彈壓僅有前項情弊即著從嚴懲辦原片均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

602 光緒十四年七月初四日內閣奉

上諭陳彝奏神靈顯應請頒扁額並加封號一摺安

徽桐城舒城定遠三縣

城隍神廟桐城縣華巖山

龍神廟唐邑丞張孚卿祠暨涇縣承流山神廟均

著靈應同治光緒年間桐城等處水旱兵災經各

該官紳虔誠祈禱均能禦災捍患保衛地方實深

寅感著南書房翰林恭書扁額各一方交陳彝祇

領飭屬分詣敬謹懸挂以答

神庥至所請敕加桐城舒城定遠三縣

城隍神桐城縣華巖山

龍神唐邑丞張孚卿封號之處著禮部議奏欽此

603 光緒十四年七月初四日奉

旨此案著交駱駿督同臬司親提人證卷宗秉公嚴訊確情按律定擬具奏原告供事徐譜筌該部照例解往備質欽此

604 蒙

發下摺件已奉

硃批二十一件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片十一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年七月初四日奉

旨依議欽此

605 李鴻章等片二件陳彝片一件遵擬批條呈進

恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

606 蒙

發下摺件已奉

硃批八件其餘應請

批示漢字摺三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年七月初五日奉

旨依議欽此

607 軍機大臣 字寄

步軍統領衙門 順天府 五城御史 光緒

十四年七月初七日奉

七月初四日

上諭譚鈞培奏革負虧款潛逃請飭查拏等語雲南
 已革鹽大使王席珍虧短課釐等項並私銷井鹽
 為數甚鉅經鹽法道稟揭勒追復敢扶嫌証訐並
 聲稱赴京呈控迨經該撫飭拏業已潛逃難保不
 私行來京著步軍統領衙門順天府五城御史一
 體查拏務獲解赴雲南監追究辦原片均著鈔給
 閱看將此各諭令知之欽此遵
 旨寄信前來

608 交理藩院本日引

見補放歸化城土默特左翼駝騎校三缺右翼駝騎
 校二缺左翼前鋒校二缺右翼前鋒校二缺擬
 陪之前鋒齊旺多爾濟筆帖式兼前鋒錫林前
 鋒福成前鋒綽克錦前鋒德克吉珂前鋒富明
 額前鋒圖敏領催國仁前鋒圖們奉
 旨均著記名欽此相應傳知
 貴衙門欽遵可也此交

七月初七日

609 蒙

發下摺報已奉
 硃批十八件其餘應請
 批示漢字摺片十三件分別繕擬批條呈進恭候
 欽定俟
 硃批
 發下後欽遵辦理其應行請
 旨摺片二件擬於
 召見時請
 旨是否有當伏候
 聖裁謹
 奏
 光緒十四年七月初七日奉
 旨依議欽此

610

光緒十二年十月二十五日考試漢廩生論題策題
 黃裳元吉論
 農用八政策
 光緒十三年九月十四日考試漢廩生論題策題

為政以德論

水火金木土穀策

光緒十四年四月初五考試漢廕生論題策題

自天祐之論

無偏無陂策

611 光緒十四年七月初八日內閣奉

上諭劉銘傳奏臺灣啟徵新賦請將尤為出力人負
先行獎勵一摺臺灣各屬地畝舉辦清丈事屬創
始經劉銘傳督率官紳核實大量改定賦則全臺
衰延千餘里未及兩年一律丈竣升科田糧計逾
舊額不下四十萬兩民樂輸將新賦現已啟徵辦
理甚為妥速在事出力各負責屬著有微勞自應
量予獎敘臺灣布政使邵友濂著賞加頭品頂戴
開復布政使沈應奎臺灣道唐景崧均著交部從
優議敘道員陳鳴志著賞給三代一品封典臺灣
府知府程起鶚臺北府知府雷其達均著以道員
在任候補並加鹽運使銜署埔裏社通判候補知府
吳本杰著俟補知府後以道員在任候補署彰化

縣知縣候補通判李嘉棠著以同知直隸州知州

留於福建歸候補班前補用臺灣縣知縣在任候

補同知沈受謙著開缺以同知直隸州知州留於

福建補用補用知府淡水縣知縣汪興禕著俟歸

知府班後加鹽運使銜並先換知府頂戴埔裏社

通判方祖蔭著以同知直隸州知州在任候補試

用布經歷管元善著以通判仍留福建補用並加

同知銜餘著照所議辦理另片奏三品卿銜太常

寺少卿林維源於清丈升科事宜倡首襄助不避

嫌怨民間稱便克竟厥功請旨獎勵等語林維源

著賞給二品頂戴該部知道欽此

612 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年七月初八日奉

旨依議欽此

613 滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎即補郎中文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

京察一等 記名道府道銜禮部郎中王恆

侍讀銜刑部主事桂春

四品銜吏部即補郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾慶額

四品銜理藩院員外郎多壽

理藩院即補郎中志樸

漢頭班章京

前太僕寺卿馮光勳

京察一等 記名道府刑部員外郎吳引孫

刑部郎中孟繼堦

兵部即補郎中沈恩嘉

俸滿截取 記名繁缺知府戶部郎中徐樹鈞

戶部員外郎顧璜

吏部員外郎王傲

刑部員外郎陳邦瑞

四品銜兵部主事即補員外郎胡寶鐸

刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

四品銜通政使司參議墊岫

理藩院員外郎即補郎中奎華

戶部員外郎孚琦

侍讀銜戶部主事延祉

京察一等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊普存

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

前大理寺卿沈源深

太僕寺少卿錢應溥

四品銜工部郎中祝維城

吏部郎中兼襲騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳芾棠

刑部主事易俊

刑部主事馮錫仁

員外郎銜吏部候補主事孫朝華

戶部候補主事王頌蔚

614 蒙

發下摺件臣等公同商閱應請

批示漢字摺一件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年七月初九日奉

旨依議欽此

615 據戶部咨送到員外郎顧璜編纂錢法備考二函

恭呈

御覽謹

奏

616 光緒十四年七月初十日內閣奉

上諭盛昱現出試差國子監祭酒著鳳鳴署理欽此

硃

617

應署滿洲祭酒人負名單

翰林院侍讀學士鳳鳴

侍講學士良弼

詹事府左春坊左庶子志銳

右春坊右庶子溥良

翰林院侍讀長麟

繙譯進士

壽耆

侍講薩廉

準良

詹事府司經局洗馬綿文

國子監司業崇文

618 光緒十四年七月初十日內閣奉

上諭吳大澂著署理河東河道總督速赴新任毋庸

來京請訓廣東巡撫著張之洞兼署欽此

619 光緒十四年七月初十日內閣奉

上諭江西撫州府知府負缺著顏鍾驥補授欽此

620 查江西撫州府知府係繁疲難要缺謹

奏

621 光緒十四年七月初十日內閣奉

上諭本日據李鴻藻等奏伏秋汛至請停緩大工俟

秋汛稍平接辦一摺覽奏殊深憤懣自上年八月

鄭工漫口疊諭該河督等迅籌堵築先後發給工

需銀九百萬兩明旨電諭三令五申朝廷軫念民

生籌措不遺餘力乃該河督等遷延觀望節經嚴

旨催辦至歲杪始行開工幸自春徂夏水勢極平

為向來所未有前據奏報僅餘六占未進不日可

望合龍滿冀早歲全功俾數百萬災黎同登衽席

詎自上月二十一日西壩捆鑲船失事阻礙不能

進占又不先期放河引溜以致口門淘刷日深秋

汛已臨不克堵合該尚書等辦理不善咎無可逭

但據奏種種棘手情形若仍令勉強趕辦終歸無

濟著准其暫行停緩一面固守已成之工一面添

集料物俟秋汛稍平迅速接辦李鶴年身任河督

責無旁貸陛辭之日自詡剋日就功詎到任奏報

詞氣全涉推諉嗣後並不竭力催辦一味敷衍取巧以致功墮垂成誤工糜帑與成孚厥罪維均縱令留工難期後效李鶴年著革去銜翎與成孚均發往軍臺効力贖罪李鴻藻係督辦之負倪文蔚係兼轄會辦之負督率無方主見不定亦難辭咎李鴻藻倪文蔚均著革職留任降為三品頂戴現已簡派吳大澂署理河督未到任以前著李鴻藻暫署俟吳大澂到任再行來京紹誠潘駿文分任東西壩進占不能如法以致墊陷誤工厥咎亦重均著革職留工効力儘再不能竭力保護新工定當重治其罪現已飭戶部迅籌鉅款接濟工需著李鴻藻等將如何挑溜完淤及添集料物各事宜認真速辦詳晰覆奏至兩壩失事之文武負弁並著李鴻藻倪文蔚查明嚴參具奏勿稍瞻徇欽此

622 道光二十四年二月十三日內閣奉

上諭前派麟魁廖鴻荃督辦中牟大工連日據奏將次合龍方深殷盼乃本日復據奏稱於初七初九等日連次墊失五占自請從重治罪並請揀派熟

諳河務之大臣來工督辦等語覽奏念懣之至從前若能趕緊辦理於正月內合龍則春水未旺焉有此失總係麟魁等辦事顛預遷延所致罪無可寬惟遽予罷斥另派大臣接辦伊等轉得置身事外諉過他人麟魁廖鴻荃均著革職給予七品頂戴仍留河工督率儘能竭力挽回尚可量從寬典鍾祥任事未久著革職給予七品頂戴暫留河督之任鄂順安係兼管河工著革職留任降為三品頂戴所有全工事宜仍著責成麟魁廖鴻荃鍾祥鄂順安督率在工文武負弁趕緊設法相機妥辦設若仍前玩泄必皆重治其罪所有應行陳奏事件仍著照舊列銜會奏此次失事之文武掌壩各負弁著麟魁等查明嚴參具奏欽此

623 軍機大臣 字寄

欽差麟 廖 河東河道總督鍾 河南巡撫鄂

道光二十四年二月十九日奉

上諭前因麟魁等奏墊失埽占自請治罪當經降旨將麟魁等分別懲處仍責令趕緊挽回以觀後效

茲據奏稱料物夫工估費不少且購料又需時日已逾桃汛黃水漲發恐難抵禦添發帑金合龍究無把握等語麟魁等辦理不善虛糜國帑貽誤要工朕不遽加嚴譴僅予薄懲宜如何激發天良竭力補救以贖前愆現既仍令督辦若能相機鑲築即稍寬時日仍獲蔽工尚可量加寬貸即或情形險要一時未克施工亦當竭力保護新工將已成埽占擇要加鍊守護僕徒以事勢萬難束手無策以致新工埽段再有疏虞自問當得何罪現在如何修守新工如何保護料物是否趕辦濟用原估銀兩之外計餘銀一百餘萬現存何處此時添給銀兩究竟合龍有無把握著麟魁廖鴻荃鍾祥鄂順安體察情形酌量緩急迅即據實具奏毋得游移推諉致誤要工又另摺奏遵旨查明工負尚無弊竇等情覽奏已悉著毋庸議將此由四百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來

624 道光二十四年二月二十二日內閣奉

上諭前因麟魁等奏大工墊失埽占自請治罪當經降旨將麟魁等分別懲處仍責令趕緊挽回以圖後效本日復據奏稱所需料物近處無可籌買分投購運愈遲愈遲斷非一二月內所能備齊水勢日增補築萬難措手且時方耕作人夫多已歸農一時難以招集請援照儀封等工成案展緩辦理所稱種種棘手自係實在情形若仍令勉強趕辦終歸無濟著准其將現在壩工暫行緩辦麟魁廖鴻荃係特派督辦之負遷延不力咎無可辭前已有旨革職著將所給七品頂戴一併革去即行來京聽候諭旨鍾祥現留河督之任鄂順安係兼管河務所有全工事宜著即會同悉心籌畫將來興舉大工即著鍾祥鄂順安督辦以專責成此時惟有嚴飭工負將兩壩埽占設法保護遇大汛經臨尤須竭力防守庶將來補築尚易為功至被災處所居民失業朕心憫惻實深著該撫加意撫綏務令安輯現在工次人夫半歸耕種其無業貧民並著妥籌設法安插毋令一夫失所鍾祥鄂順安於

河工修防地方撫輯事宜均屬責無旁貸務須實心經理和衷共濟不得游移推諉以重前愆麟慶慧成牛鑑均著留工即交鍾祥鄂順安酌量差遣委用欽此

625 道光二十五年正月初三日內閣奉

上諭本日據鍾祥等馳奏中牟大工合龍日期一摺此次興辦大工責成鍾祥鄂順安專心督辦節據該河督等將辦理情形隨時奏報至上年十二月十八日啟放引河黃流東注甚為暢順茲據奏稱於二十四日兩壩同時挂攬料土並進追壓至底復因水勢湧激間有刷墊竭兩晝夜之力趕飭搶辦所築埽占一律高整穩實大工合龍金門斷流全溜悉歸故道暢達東趨順軌安瀾此皆仰賴

天

神加佑俾於春前一律蒞工朕慶幸之餘倍深寅感發去大藏香十炷著鍾祥虔赴工次各處

河神廟代朕敬謹祀謝以答

神麻鍾祥鄂順安經理得宜迅速蒞事洵為不負委

任均著加恩賞還二品頂戴並賞戴花翎其從前

革職處分即予開復仍各賞加二級准其隨帶慧

成等在工差委各著勤勞慧成著加恩以六部員

外郎用麟慶著以四品京堂用牛鑑著賞給七品

頂戴其餘在工出力負弁並著該河督等覈實保

奏候朕施恩勿許冒濫現在大工甫經告成善後

各工俱關緊要仍著鍾祥等督飭各負弁妥協辦

理務須慎益加慎以期全工穩固永慶安瀾慧成

麟慶著俟善後各工全竣再行來京牛鑑俟經手

事件完竣後再行來京餘均照所議辦理該部知

道欽此

626 查出道光二十四年二十五年中牟大工

諭旨四道恭錄呈

覽謹

奏

627 光緒十四年七月初十日內閣奉

上諭剛毅奏請將虧短交代各員分別革追查抄一

摺山西暫革左雲縣知縣榮安等各在本任內虧短正雜各款銀兩為數甚鉅疊經勒限追繳迄未完解實屬玩延榮安著即行革職同已革和林格爾通判慶啟一併監追查抄已故孝義縣知縣祿綱奇嵐州知州玉良平遙縣知縣馬兆科屯留縣知縣張士靈平定州知州賴昌期均著即行革職與另案參革已故永濟縣知縣洪貞頤一併將寓所資財先行查抄提集各案吏胥人等照例訊辦並著鑲黃旗滿洲正黃旗滿洲鑲黃旗蒙古正藍旗漢軍各都統順天府府尹浙江湖南安徽各巡撫將各該負原籍家產一律查抄備抵以重庫款該部知道欽此

628 軍機大臣面奉

諭旨李鴻藻等奏請續撥鄭工銀二百萬兩等語著戶部速議具奏欽此

七月初十日

629 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨李鴻藻等奏請續撥鄭工銀二百萬兩等語著

戶部速議具奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

計給鈔摺一件

七月初十日

630 蒙

發下摺報已奉

硃批二十四件其餘應請

批示漢字摺片十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年七月初十日奉

旨依議欽此

631 遵擬電知吳大澂一道繕稿呈

覽恭候

欽定候

發下後交該衙門辦理謹
奏

七月初十日

632 蒙

發下摺件已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片二件擬候

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年七月十一日奉

旨依議欽此

633 光緒十四年七月十二日內閣奉

上諭游百川奏假期屆滿病仍未痊懇請開缺一摺

游百川著賞假兩箇月調理毋庸開缺欽此

634 蒙

發下摺報已奉

硃批十三件其餘應請

批示漢字摺片單十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年七月十二日奉
旨依議欽此

635 蒙

發下摺報已奉

硃批三十七件其餘應請

批示漢字摺片單二十九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨片二件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年七月十三日奉

旨依議欽此

636 光緒十四年七月十四日內閣奉

上諭禮親王世鐸等奏請加上

徽號以光鉅典一摺朕沖齡踐阼仰荷

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后垂簾訓政宵旰勤劬

盛業

鴻功超越千古前於光緒十二年經王大臣等兩次恭

請加上

徽號未蒙

慈旨允行茲復欽奉

恩綸令朕於明年二月親裁大政自應恪遵

列聖成憲恭上

徽號以繼隆規乃

聖德謙沖猶存撫抑經朕竭誠籲懇始荷

聖慈俯鑒羣情勉從所請所有一切應行典禮著各該

衙門敬謹辦理欽此

黃西紅表

637 光緒十四年七月十四日內閣奉

上諭希元等奏神靈顯應請頒扁額並加封號一摺

吉林省城

關帝

城隍

龍王

江神暨尼什哈山龍潭

龍神三姓

江神均著靈應每遇水旱風濤經該官紳等虔誠祈禱雨暘時若轉危為安實深寅感著南書房翰林恭書扁額各一方交該將軍等祇領飭屬分詣敬謹懸挂以答

神麻至所請敕加松花江

江神尼什哈山龍潭

龍神封號之處著禮部議奏欽此

638 光緒十四年七月十四日內閣奉

上諭張曜奏神靈顯應請頒扁額一摺山東

泰山神素著靈應本年四五月間該省日久亢旱經泰安府知府全志等登山祈禱渥沛甘霖各州縣一律霽足可望有秋實深寅感著南書房翰林

恭書扁額一方交張曜飭屬敬謹懸挂以答

神麻欽此

639 光緒十四年七月十四日內閣奉

上諭李鴻章奏永定河隄工漫口分別叅辦並自請議處摺本年入秋以後大雨連綿永定河水勢盛漲疊出險工七月初六日蘆溝汛南岸三號石隄及南二工十七號北上汛十二號等處大隄均被漫溢刷寬口門四五丈不等該管各員疏於防範實屬咎無可辭著永定河道金福曾南岸同知鄭煥均著革職留任武清縣縣丞張善壯著革職留工石景山同知竇延馨署良鄉縣縣丞試用主簿趙福濟均著摘去頂戴李鴻章著交部議處該督務當督飭在工員弁將漫口趕緊盤築裹頭並飭派出之負勦等堵築事宜認真防護不得再有疏虞所有被災村戶並著該督查明妥籌撫恤毋令失所該部知道欽此

640 交正紅旗蒙古本日引

見京口駝騎校一缺擬陪之前鋒銅章奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

七月十四日

641 交正藍旗漢軍本日引

見廣州駝騎校一缺擬陪之馬甲孔慶登奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

七月十四日

642 光緒十四年七月十四日奉

旨仍遵前旨給獎毋庸刪減欽此

吏部奏議慶李鴻章奏保薛蔭任需快船出外各員請飭發給照

643 道員張汝梅

○ 旨著仍交軍機處記名遇有各省道員缺出請旨簡放

644 黑龍江補行引

見雲騎尉雙祿

○ 旨著回原處

645 蒙

發下摺報已奉

硃批八件其餘應請

批示漢字摺片十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年七月十四日奉

旨依議欽此

646 張仁黼片一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

七月十四日

647 蒙

發下摺件已奉

硃批十一件其餘應請

批示漢字摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單六件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年七月十五日奉

旨依議欽此

648 光緒十四年七月十六日內閣奉

上諭閣敬銘奏病勢日增懇准開缺一摺閣敬銘前

因患病疊次賞假調理嗣以病久未愈屢請開缺

未經允准茲復懇陳病狀懇准開缺留京調理情

詞迫切不得不勉如所請閣敬銘著准其開缺在

京安心調理該大學士向來辦事認真不避嫌怨

近年整頓部務日有起色朝廷倚任方深一俟病

體就痊即行具摺請安以慰眷注而資簡畀欽此

649 光緒十四年七月十六日內閣奉

上諭沈秉成奏察舉賢吏請旨嘉勉開單呈覽一摺

廣西太平府知府李世椿署慶遠府知府陳如奎

署平樂府知府黃仁濟候補知府袁思釋百色直

隸同知夏敬頤龍州同知任玉森候補通判謝開

成署永甯州知州柳籤署武緣縣知縣張崇蔭著

貴縣知縣左秉璜署灌陽縣知縣褚興周署柳城

縣知縣謝保年岑溪縣知縣何壽萱據沈秉成臚列該員等才守政績皆有可觀殊堪嘉尚著沈秉成飭令該員等始終勤奮勉為循良以副朝廷策勵人才至意欽此

650 光緒十四年七月十六日內閣奉

上諭內閣學士文治昨日召見未到本日據奏因病未能進內自請議處並請賞假一摺文治著交部議處賞假十日欽此

651 光緒十四年七月十六日奉

旨依議欽此

戶部奏撥部工銀兩摺

652 光緒十四年七月十六日奉

旨潘祖蔭著交部議敘欽此

順天府奏破水急書賑撫摺

653 前直隸保定府理事同知定泰

硃○旨著交吏部照例辦理

七月十六日

654 蒙

發下摺件已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片單八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單五件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年七月十六日奉

旨依議欽此

655 沈秉成片一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

656 軍機大臣 字寄

福州將軍 直隸兩江閩浙湖廣兩廣四川江
蘇浙江安徽江西福建湖北湖南廣東河南山
東山西各督撫 傳諭粵海關監督 光緒十
四年七月十七日奉

上諭戶部總理各國事務衙門奏請催解東北邊防
經費一摺據稱各省關本年應解東北邊防經費
截至六月底止除解到及報解起程外尚欠解銀
一百三十萬兩零請飭迅解並補解歷年積欠銀
兩等語此項經費關繫緊要自應迅速籌解以濟
要需著該將軍督撫監督將欠解銀兩趕緊籌解
儘再遲延即著戶部照貽誤京餉例指名嚴叅原
單均著鈔給閱看將此由五百里諭知福州將軍
直隸兩江閩浙湖廣兩廣四川江蘇浙江安徽江
西福建湖北湖南廣東河南山東山西各督撫並
傳諭粵海關監督知之欽此遵

旨寄信前來

鈔交戶部

657 蒙

發下摺報已奉

硃批九件其餘應請

批示清漢摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理戶部會奏請催解東北邊防經費

摺單一件擬繕寄信

諭旨令各省關迅速籌解是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年七月十七日奉

旨依議欽此

658 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件吏部題滿侍講學士開列請

簡本均擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年七月十八日奉

旨依議欽此

659 光緒十四年七月十九日內閣奉

上諭湖南綏靖鎮總兵員缺著鍾開蘭補授欽此

660 查湖南綏靖鎮總兵係陸路缺謹

奏

661 光緒十四年七月十九日奉

旨書留覽欽此

七月十九日戶部奏自外郎顧煥瑞等法備三管摺

662 光緒十四年七月十九日奉

旨知道了欽此

七月六日倉場奏批通糧不敷數進倉摺

663 交戶部倉場侍郎興廉等奏請

飭各省遇有賑撫不得遽請截漕並江蘇來年全漕

併歸海運等語本日軍機大臣面奉

諭旨著戶部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵可也此交 計抄片一件

七月十九日

664 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年七月十九日奉

旨依議欽此

665 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年七月二十日奉

旨依議欽此

666 光緒十四年七月二十一日內閣奉

上諭都察院奏順天民婦韓石氏以棍徒霸佔地畝

刀傷人命問官斷銀勒結等詞赴該衙門呈訴著

刑部提集人證卷宗嚴訊確情按律定擬具奏欽此

667 光緒十四年七月二十一日奉

旨沈庚在著仍遵前旨給獎毋庸更正欽此

吏部奏沈庚在著與定章不符摺

668 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片單十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨片二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年七月二十一日奉

旨依議欽此

669 蒙

發下摺報已奉

硃批八件其餘應請

批示漢字摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年七月二十二日奉

旨依議欽此

670 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信二件

龔照璠電信一件照錄呈

覽謹

奏

七月二十二日

671 蒙

發下卞寶第片一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年七月二十三日奉

旨依議欽此

672 光緒八年七月二十一日補考選拔生四書題詩題

言顧行行顧言

賦得倚樹聽流泉 得泉字五言八韻

光緒八年十月二十日補考選拔生四書題詩題

既富矣又何加焉曰教之

賦得中峰統瑞煙 得煙字五言八韻

光緒十二年七月十六日補考選拔生四書題詩題

雨露之所潤

賦得月映清淮流 得沈字五言八韻

673 奏

發下摺報已奉

硃批十一件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年七月二十四日奉

旨依議欽此

674 光緒十四年七月二十四日奉

旨准其抵銷欽此

吏部奏遵議李鴻章處分公罪可否准其抵摺

675 軍機大臣 字寄

福州將軍 直隸兩江湖廣閩浙四川兩廣各

督撫 江蘇安徽江西福建浙江湖北湖南河

南山東山西廣東各巡撫 傳諭粵海關監督

光緒十四年七月二十五日奉

上諭 補鈔字 戶部奏請旨催解京餉一摺本年京餉原撥續

撥共銀八百萬兩截至五月底止除截留到撥已

解及報解起程外尚欠解銀五百十三萬兩零現

在部庫支絀應放各款均關緊要所有各省關欠

解京餉並應全數報解以應要需著該將軍督撫
監督等各將欠解銀兩趕緊陸續提前解部統於
年內掃數解齊儘敢諉卸拖欠即由戶部照章參
奏其解不及半及絲毫未解等處經此次嚴催後
儘仍不完解著戶部隨時指名嚴參至劉撥截留
之款並著將報解開支數目詳細報部以憑覈辦
另片奏十一十二兩年各省關應解京餉籌邊軍
餉等款欠解尚多查明奏參等語所有應行議處
之福建浙江各督撫藩司兩淮鹽政運司著吏部
查取職名照例議處仍著各省關迅將欠解展緩
分年帶解各款提前籌解限年內掃數解清儘仍
延不籌解並著戶部指名嚴參原單二件均著摘
鈔給與閱看將此由五百里諭知該將軍督撫並
傳諭粵海關監督知之欽此遵

旨寄信前來

鈔交戶部
摘鈔交吏部

676 軍機大臣 字寄

福州將軍 兩江閩浙湖廣兩廣江蘇安徽江
西福建浙江湖北廣東各督撫 傳諭粵海關

監督 光緒十四年七月二十五日奉

上諭戶部奏本年籌邊軍餉截至五月底止除截留
報解外其餘欠解尚多開單請飭催解等語籌邊
軍餉關繫緊要著該將軍督撫監督等按照單開
欠解銀數於十月前迅速解清以濟要需如再延
不清解即著戶部照案奏參原單均著鈔給閱看
將此由五百里諭知各該將軍督撫並傳諭粵海
關監督知之欽此遵

旨寄信前來

鈔交戶部

677 光緒十四年七月二十五日奉

旨崇文門正監督著福銳去劉監督著崇光去欽此

678 謹呈名單五件請

旨圈出崇文門正監督一員副監督一員

679 大學士恩承

協辦大學士戶部尚書福銳

硃
。

禮部尚書奎潤
兵部尚書烏拉喜崇阿
刑部尚書麟書
工部尚書崑岡
理藩院尚書紹祺
都察院左都御史松森

680

都統

惇親王

德福

奕綱

載漪

伯彥訥謨祜

定安 現在三有 欽差大臣
果勒敦著

豫親王本格

克勤郡王晉祺

禮親王世鐸

怡親王載敦 做

奕謨

681

戶部左侍郎嵩申 做

右侍郎熙敬

禮部左侍郎敬信

右侍郎續昌 現兼署刑部右侍郎

兵部左侍郎師曾 現任左翼監督

右侍郎崇禮

刑部左侍郎桂全

工部左侍郎烏拉布 現兼署吏部右侍郎

右侍郎清安

理藩院左侍郎恩索

右侍郎慶福

內閣學士文興

寶昌

豐烈

文治

慶郡王奕劻 做
榮祿
肅親王隆懃

福楸
裕德

682

前鋒統領

扎拉豐阿

恩全 現任石黃旗管
做

護軍統領

惠銘

德隆

桂祥

豐陞阿 三省海防差
小叟著

芬車

倭恆額 三省海防差
恩普著

謙光 做

副都統

文秀

致麟

嵩山

承綬

珠

希郎阿

希隆阿

容貴

特爾慶阿 三省海防差
致麟著

連慶

符珍 做

明秀

長春

安興阿

尚昌懋

溥侯 三省海防差
烏拉布著

恩普

色普徵額

崇光

秀吉

耆齡

富森布

福森布

恩佑

花尚阿
吉恆

散秩大臣

果勒敏

椿壽

委散秩大臣

恩慶

繼動

定昌

玉山
俊

成端

鍾秀

銘劬

恩輝

德壽

慶麟

豫隨

立瑞

誠端

英俊

啟泰

錫光

承蔭

廷楨

兆珏

長有

黃永安

宗佑

良沐

684 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理戶部奏請更換崇文門正監督摺

單一件內務府奏請更換崇文門副監督摺單

御覽候
一件謹將應行開列各負繕單五件恭呈

圍出發下遵繕明發

諭旨戶部奏請催解京餉並歷年欠餉暨欠解壽邊

軍餉摺片單六件擬繕寄信

諭旨二道令各省關迅速籌解是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年七月二十五日奉

旨依議欽此

685 同治十一年二月十五日欽奉

懿旨飲天監奏選擇大婚納采大徵吉期各摺皇帝大

婚典禮著於本年九月十五日舉行七月二十六日

納采八月十七日大徵所有應行事宜著各該衙門

敬謹辦理餘依議欽此

黃而紅裏

686 遵查同治十一年二月十五日欽奉

懿旨一道恭錄呈

覽謹

奏

黃而紅裏

七月二十六日

687 臣等查本年屆更換學政之期謹將已滿三年

順天江蘇安徽江西浙江福建湖北湖南河南

山西陝西甘肅廣西雲南貴州十五省各學政

及未滿三年辦過歲考之山東四川廣東三省

各學政未滿三年未辦歲考之奉天學政分繕

名單呈

覽恭候

欽定候

發下後臣等再擬寫

諭旨進

呈頒發謹

奏

七月二十六日

已滿三年各學政名單

- 順天學政許應騫
- 江蘇學政王先謙
- 安徽學政貴恆
- 江西學政梁仲衡
- 浙江學政瞿鴻禨
- 福建學政陳學棻
- 湖北學政張仁勳
- 湖南學政陸寶忠
- 河南學政華金壽
- 山西學政高燾曾
- 陝西學政林啟
- 甘肅學政秦澍春
- 廣西學政李殿林
- 雲南學政戴鴻慈
- 貴州學政楊文瑩

未滿三年已辦歲考各學政名單

山東學政梁耀樞 光緒二十二年十二月二十三日改

四川學政高春恩 光緒二十三年四月初四日改

廣東學政汪鳴鑾 光緒二十二年五月二十一日改

690 未滿三年未辦歲考學政名單

奉天府府丞兼學政延茂 光緒二十二年正月二十九日改

691 考過試差應行扣除人員名單

趙廣麟

692 查奉天府府丞一缺例應以對品京堂對調

將進士出身之正四品京堂人員開列名單進

呈恭候

欽定謹

奏

693 正四品京堂進士出身人員名單

大理寺少卿楊頤

鴻臚寺卿李端遇

順天府府丞何桂芳

軍機大臣 手寄

署河東河道總督廣東巡撫吳 光緒十四年

七月二十七日奉

上諭河南鄭州大工因在事人員辦理不善日久未
 歲推究貽誤之由因辦料遲延開工太晚而今
 年自春徂夏河水迄未見長正天時絕好機會乃
 該大臣等意見參差並不認真趨辦以致功敗垂
 成其先後奏報一味含糊敷衍即如西壩相前船
 之失由於進占之不如法引河遲遲不放迨自行
 撞開後不能掣分大溜由於開挖之平淺其咎失
 皆明顯易見尚復何容掩飾乃該大臣等停工摺
 內於辦工人員之不得力始終不肯參劾一語亦
 並未自請處分至引河關繫最要僅開挖不如法
 必須及早陳明並圖補救而伊等此次奏報但云
 引河頭水深文餘以下或深或淺究竟現在此水
 是流是止及高下通塞形勢若何以後應如何設
 法妥辦亦不切實敘述前降旨令其將失事人員
 查參至今尚未奏報種種模稜遮飾深堪詫異本
 擬俟吳大澂到任嚴諭詳查昨復有人奏倪文蔚

以辦料委之州縣多方抑勒遂至購辦無從復委
 道員歐陽霖總辦稱料該道貪污性成紳民交惡
 批它引河一事該撫以銀百二十萬兩包與總兵
 崔廷桂辦理該總兵意圖自肥草率從事以致放
 溜之後全行淤墊此次發款九百萬到工不過數
 成大臣薪水銀每月千兩委負每月二百兩投效
 者至數百員之多又有人奏該工委負不下千餘
 人成子並有曹哈委劄之事紹誠匪銀四十萬來
 京各等語所言雖未必盡實而虛糜侵蝕玩誤情
 形亦可概見吳大澂甫經到任無所用其迴護著
 將兩壩及引河究竟因何貽誤實在情形並前參
 各款逐一確查據實具奏其辦理兩壩引河人員
 如察看難明後效立予撤換不可稍涉將就至該
 工去年決口咎有專歸業將成乎嚴懲其捨險不
 力之著開歸陳許道李正榮僅予摘頂降調不足
 蔽辜著與上年失事廳汛各員一併查明嚴參毋
 稍寬貸現在該工口門究竟尚有若干丈已成工
 段如何情形引河上下如何情形應如何設法挑
 挖以期合龍後一律深通並著吳大澂迅速查勘

具奏一而裁汰冗負刪除一切糜費將集料興工等事妥速籌辦總之決口一日不堵胡廷庫緊一日不釋俟秋汛稍平著即趕緊進占務期及早竣工以副委任原摺二件著分別摘鈔給與閱看將此由五百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來

695 光緒十四年七月二十七日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨皇帝大婚典禮著於光緒十五年正月二十七日舉行本年十一月初二日納采十二月初四日大徵所有應行事宜著各該衙門迅速敬謹辦理欽此

黃西紅案

696 交鑲藍旗蒙古本日引

見西安防禦一缺擬陪之曉晴校恩榮奉

旨着記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

七月二十七日

697 盛京補行引

見雲騎尉福恩

硃。旨著回原處

698 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片單十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年七月二十八日奉

旨依議欽此

699 交刑部本日軍機大臣而奉

諭旨巡視南城給事中隆恩等奏拏獲逆倫重犯一

摺韓世功著交刑部嚴行審訊按律懲辦欽此相

應傳知

貴衙門欽遵可也此交計部鈔摺一件

七月二十九日

700 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理給事中隆恩等奏拏獲逆倫重犯

摺擬請

旨將韓世功交刑部嚴訊懲治恭候

命下遵即傳知該衙門遵照其餘應行請

旨摺片四件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年七月二十九日奉

旨依議欽此

701 光緒十四年八月初一日內閣奉

上諭本年值更換學政之期除奉天府府丞兼學政
延茂毋庸更換外順天學政著周德潤去江蘇學
政著楊頤去安徽學政著錢桂森去江西學政著
龍湛霖去浙江學政著潘衍桐去福建學政著烏
拉布去湖北學政著趙尚輔去湖南學政著張亨
嘉去河南學政著陳瑋瑩去山東學政著裕德去
山西學政著管廷鶚去陝西學政著柯達時去甘
肅學政著胡景桂去四川學政著朱善祥去廣東
學政著樊恭煦去廣西學政著黃煦去雲南學政
著王丕堃去貴州學政著陳榮昌去以上各負有
現出試差者著即赴新任毋庸來京請訓欽此

702 順天學政周德潤

江蘇學政楊頤

安徽學政錢桂森

江西學政龍湛霖

浙江學政潘衍桐

福建學政烏拉布

湖北學政趙尚輔

湖南學政張亨嘉

河南學政陳瑋瑩

山東學政裕德

山西學政管廷鶚

陝西學政柯達時

甘肅學政胡景桂

四川學政朱善祥

廣東學政樊恭煦

廣西學政黃煦

雲南學政王丕堃

貴州學政陳榮昌

奉天府府丞兼學政延茂

空名單先期遞上本日

錄筆填名發下

703 光緒十四年八月初一日內閣奉

上諭劉秉璋奏察看屬吏分別叅劾一摺四川漢州
知州黃華瑀聽斷顛預萬縣知縣路朝霖才疏氣

威雲陽縣知縣葉慶梓偏私任情均著開缺以無
字簡缺另補試用道林壽鼎前充官運局差有內
公漁利情事著以鹽運同歸部銓選試用同知張
興書辦公疏忽周煒行為不謹候補同知趙茂林
漫視公事候補知州威越聲名平常候補知縣曾
邦萊操守難信均著以府經歷歸部銓選候補知
縣鮑夢松情性貪鄙著即行革職候補知縣羅炤
行同無賴著革職永不敘用另片奏參四川候補
道丁士彬貪鄙巧滑不堪造就等語丁士彬著即
行革職餘著照所議辦理該部知道欽此

704 軍機大臣面奉

諭旨此次簡放學政各負著自本月十一日起分日
遞摺謝恩豫備召見如遇出宮行禮拈香及外膳
等日期是日應行召見之負即改於次日豫備其
餘各負以次遞推欽此

八月初一日

705 交內閣本日軍機大臣面奉

諭旨此次簡放學政各負著自本月十一日起分日
遞摺謝恩豫備召見如遇出宮行禮拈香及外膳
等日期是日應行召見之負即改於次日豫備其
餘各負以次遞推欽此相應傳知

貴衙門迅即轉傳各負按照單開日期遞摺謝
恩豫備

召見此交

計結單一併

八月初一日

706 謹擬新

放各省學政分日豫備

召見名單

十一日

順天學政周德潤

江蘇學政楊頤

十二日

江西學政龍湛霖

浙江學政潘行桐

十三日

福建學政烏拉布

湖北學政趙尚輔

十四日

湖南學政張亨嘉

河南學政陳瑋瑩

十五日

山東學政裕德

山西學政管廷鶚

十六日

陝西學政柯逢時

甘肅學政胡景桂

十七日

四川學政朱善祥

廣東學政樊恭煦

十八日

廣西學政黃煦

雲南學政王丕聲

貴州學政陳榮昌

707 光緒十四年八月初一日奉

旨依議著禮部劄行欽天監於明年二月初五日以

後選擇吉期欽此

禮部內務府奏為奏上

微疏均請於

歸後敬辦等語

黃面紅衷

708 光緒十四年八月初一日奉

旨依議欽此

理藩院奏

大興縣縣令 御前乾清門行走蒙古公年胡賢等摺

黃面紅衷

709 蒙

發下摺件已奉

硃批十件其餘應請

批示漢字摺片十六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺四件擬於

召見時請

旨是 否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年八月初一日奉

旨依議欽此

710 劉秉璋片一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

八月初一日

711 光緒十四年八月初二日內閣奉

上諭周德潤現出學差刑部右侍郎著徐用儀兼署

欽此

712 應兼署漢侍郎名單

吏部右侍郎孫毓汶

戶部左侍郎孫詒經 現在請假

右侍郎曾紀澤

禮部左侍郎徐郁 現兼署吏部左侍郎

右侍郎童華 現兼署工部右侍郎現在請假

兵部左侍郎廖壽恆 現在請假

右侍郎孫家鼎

刑部左侍郎薛允升

工部左侍郎徐用儀

硃

713 應署漢侍郎名單

內閣學士李端棻

都察院左副都御史白桓

徐樹銘

宗人府府丞薛福辰

714 光緒十四年八月初二日內閣奉

上諭烏拉布現出學差工部左侍郎著崇禮兼署其所署吏部右侍郎著敬信兼署欽此

715 應兼署滿洲侍郎名單

吏部左侍郎松莊

戶部左侍郎嵩申

右侍郎熙敬

禮部左侍郎敬信

右侍郎續昌

現兼署刑部右侍郎
現在請假

兵部左侍郎師曾

右侍郎崇禮

刑部左侍郎桂全

工部右侍郎清安

理藩院左侍郎恩棠

右侍郎慶福

716 應署滿洲侍郎名單

內閣學士文興

寶昌

豐烈

文治

福懋 現在請假

都察院左副都御史志元

奕年

通政使司通政使奕秋

大理寺卿明桂

現在請假

詹事府詹事霍穆歡

717 光緒十四年八月初二日內閣奉

上諭龍湛霖現出學差其所署國子監祭酒著張英

麟署理欽此

718 應署國子監漢祭酒名單

硃

○ 詹事府左春坊左庶子張英麟

右春坊右庶子朱琛 現在請假

翰林院侍讀王文錦

丁立幹

侍講黃卓元

崔國因

詹事府司經局洗馬吳講

719 光緒十四年八月初二日內閣奉

上諭順天府奏請加添盧溝橋粥廠米石一摺盧溝橋向設粥廠每年賞給粟米四百石按時散放此次順天府山等處水災甚重貧民就食維艱加恩著照所請於向賞四百石外再行加賞粟米四百石一併發給以惠災黎餘依議該部知道欽此

720 欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨明年正月皇帝大婚禮成著於二月初二日行朝見禮初四日行慶賀禮升殿頒詔初五日賜宴所有應行事宜著該衙門敬謹查明具奏欽此

黃面紅裏

八月初一日

721 交 禮部 欽奉 大婚禮儀處 本日軍機大臣欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨明年正月皇帝大婚禮成著於二月初二日行朝見禮初四日行慶賀禮升殿頒詔初五日賜宴所有應行事宜著該衙門敬謹查明具奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

八月初二日

722 欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨皇帝大婚禮成後坤寧宮祈福著欽天監敬謹選擇吉期具奏欽此

黃面紅裏

八月初一日

723 交欽天監本日軍機大臣欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨皇帝大婚禮成後坤寧宮祈福著欽天監敬謹選擇吉期具奏欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

八月初二日

724 欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨明年正月皇帝大婚禮成著於二十四日坤寧宮移請神杆欽此

黃面紅裏

八月初二日

725 交內務府本日軍機大臣欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨明年正月皇帝大

婚典禮著於二十四日坤寧宮移請

神杆欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

八月初二日

726 交禮部本日軍機大臣而奉

諭旨順天府奏紳士徐致靖等呈請於宣武門外為

前府尹周家楣捐建專祠等語著禮部議奏欽此

相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

八月初二日

727 交吏部本日引

見吉林右翼助教一缺擬陪之無品級筆帖式慶雲奉

旨著記名欽此相應傳知

貴部欽遵可也此交

八月初二日

728 交鑲藍旗漢軍本日引

見福州陽禦一缺擬陪之晚騎校張朝銘奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

八月初二日

729 兵部郎中熙明

硃○旨著照舊供職

730 兵部郎中熙明

旨著原品休致

731 工部郎中喜忠

旨著照舊供職

見本朝
見兩學士同錄自引
發下歸編

732 工部郎中喜忠

旨著原品休致

見本朝
見兩學士同錄自引
發下歸編

件

733 黑龍江八品監生德陞

○旨著回原處

734 蒙

發下摺報已奉

硃批十件其餘應請

批示漢字摺片單十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年八月初二日奉

旨依議欽此

735 慶裕等摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

八月初二日

736 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

八月初二日

737 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示清漢摺片單八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年八月初三日奉

旨依議欽此

738 光緒十四年八月初四日內閣奉

上諭劉銘傳奏神靈顯應請頒扁額等語臺灣新竹

縣城內

城隍廟

龍神廟暨南門外

觀音廟夙著靈應上年六月天氣久旱經該地方

官虔詣祈雨如響斯應年穀有秋實深寅感著南

書房翰林恭書扁額各一方交劉銘傳祇領飭屬

分詣敬謹懸挂以答

神庥欽此

739 交步軍統領衙門
五城御史 本日軍機大臣面奉

諭旨御史崇齡奏京師匪徒肆行搶劫請飭嚴拏等

語著步軍統領衙門五城御史一體飭屬嚴拏如

有諱盜不報者即著據實奏處欽此相應傳知

貴衙門一體欽遵可也此交 計粘鈔片二件

八月初四日

740 光緒十四年八月初四日奉

旨著賞假四箇月欽此

編修蔣良楨有規摺

741 順天鄉試同考官單內告假人員名單

詹事府右庶子朱琛

翰林院編修蔣良

吏部員外郎沈錫晉

742 蒙

發下摺報已奉

硃批十二件其餘應請

批示漢字摺片十九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片九件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年八月初四日奉

旨依議欽此

743 劉銘傳摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

744 蒙

發下摺件已奉

硃批九件其餘應請

批示漢字摺二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年八月初五日奉

旨依議欽此

745 光緒十四年八月初六日奉

旨這所奏疏防監犯越獄之管獄官山西襄垣縣典

史馬壽昌若革職拿問交剛毅提同刑禁人等嚴

訊有無鬆刑賄縱情弊按例懲辦有獄官襄垣縣

知縣沈士錄若革職留任仍勒限將逸犯王三等

務獲究辦餘著照所議辦理該部知道欽此

746 蒙

發下摺件已奉

硃批十件其餘應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理剛毅奏疏防監犯越獄摺擬繕

明發

諭旨將典史馬壽昌革職拏問知縣沈士鐸革職留
任仍勒拏逸犯王三等務獲究辦是否有當伏候
聖裁謹

奏

光緒十四年八月初六日奉

旨依議欽此

747 軍機大臣 字寄

步軍統領衙門 順天府 五城御史 光緒

十四年八月初七日奉

上諭有人奏匪棍聚眾白晝搶劫請飭嚴拏一摺據
稱京城御河橋地面有匪棍數十人各持器械施
放洋槍肆行搶奪該廳汛官兵莫敢近前訪聞匪
首方二即方占元等七名均係交拏在逃之犯請

飭拏辦等語著步軍統領衙門順天府五城御史
一體迅速查拏務獲究辦該地面廳汛各員有無
縱容匿報情事並著查明懲處原摺均著鈔給閱
看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

748 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 兼管順天

府府尹潘 府尹高 光緒十四年八月初七

日奉

上諭有人奏京東通州燕郊夏店三河一帶向多私
鑄匪徒近聞聚眾搶劫行旅被害等語著李鴻章
潘祖蔭高萬鵬迅派幹員會同嚴密查拏懲辦以
靖地方原片均著鈔給閱看將此各諭令知之欽
此遵

旨寄信前來

749 光緒十四年八月初七日內閣奉

上諭福錕現在八閩步軍統領著恩承著理欽此

750 應署步軍統領名單

大學士額勒和布

恩承

吏部尚書錫珍

禮部尚書奎潤

兵部尚書烏拉喜崇阿

刑部尚書麟書 現在請假

工部尚書崑岡

理藩院尚書紹祺 現在請假

都察院左都御史松森

751 都統

惇親王

德福

載漪

伯彥訥謨祜

克勤郡王晉祺

禮親王世鐸

奕譞

榮祿

752 光緒十四年八月初七日內閣奉

上諭福錕現在入關戶部尚書著崑岡兼署欽此

753 應兼署滿洲尚書名單

吏部尚書錫珍

禮部尚書奎潤

兵部尚書烏拉喜崇阿

刑部尚書麟書 現在請假

工部尚書崑岡

理藩院尚書紹祺 現在請假

都察院左都御史松森

754 應署滿洲尚書名單

吏部左侍郎松澂

戶部左侍郎嵩申

右侍郎熙敬

禮部左侍郎敬信 現兼署吏部右侍郎

右侍郎續昌 現兼署刑部右侍郎

兵部左侍郎師曾

右侍郎宗禮 現兼著工部左侍郎

刑部左侍郎桂全

工部右侍郎清安 現在請假

理藩院右侍郎慶福

755 光緒十四年八月初七日内閣奉

上諭翁同龢現在入閣戶部尚書著潘祖蔭兼署欽此

756 光緒十四年八月初七日内閣奉

上諭許庚身現在入閣兵部尚書著祁世長署理欽此

757 應兼署漢尚書名單

協辦大學士刑部尚書張之萬

吏部尚書徐桐

工部尚書潘祖蔭 兼管順天府府尹

都察院左都御史祁世長 現兼署禮部尚書

758 應署漢尚書名單

吏部左侍郎許應駁

右侍郎孫毓汶

戶部左侍郎孫詒經 現在請假

右侍郎曾紀澤

禮部左侍郎徐鄰

右侍郎童華 現兼著工部右侍郎現在請假

兵部左侍郎廖壽恆 現在請假

右侍郎孫家鼐

工部左侍郎徐用儀 現兼署刑部右侍郎

759 光緒十四年八月初七日内閣奉

上諭恩崇現在入閣理藩院左侍郎著嵩申兼署欽此

760 應兼署滿洲侍郎名單

吏部左侍郎松莊

戶部左侍郎嵩申

右侍郎熙敬

禮部左侍郎敬信 現兼著吏部右侍郎

右侍郎續昌 現兼著刑部右侍郎

兵部左侍郎師曾

右侍郎崇禮 現兼著工部左侍郎

刑部左侍郎桂全

工部右侍郎清安 現在請假

理藩院右侍郎慶福

761 應署滿洲侍郎名單

內閣學士文興

寶昌

豐烈

文治

福楸 現在請假

都察院左副都御史志元

奕年

通政使司通政使奕林

大理寺卿明桂 現在請假

詹事府詹事霍穆歡

762 光緒十四年八月初七日內閣奉

上諭薛允升現在入閣刑部左侍郎著徐郁兼署欽此

763 應兼署漢侍郎名單

吏部左侍郎許應駁

右侍郎孫毓汶

戶部左侍郎孫詒經 現在請假

右侍郎曾紀澤

禮部左侍郎徐郁

右侍郎童華 現兼著工部右侍郎現在請假

兵部左侍郎廖壽恆 現在請假

右侍郎孫家鼐

工部左侍郎徐用儀 現兼著刑部右侍郎

764 應署漢侍郎名單

內閣學士李端棻

都察院左副都御史白桓

徐樹銘

宗人府府丞薛福辰

765 本屆戊子科順天文鄉試恭請

欽命頭場四書題三道詩題一道宗室鄉試恭請

欽命四書題一道詩題一道均於初八日早一併封固
發下交順天府祇領謹
奏

八月初七日

766 鄉試題目

大學

論語

孟子

767 鄉試題目

論語

中庸

孟子

768 光緒五年順天鄉試四書題詩題

子貢曰如有博施於民而能濟衆何如可謂仁

乎子曰何事於仁必也聖乎

德為聖人尊為天子富有四海之內

孔子聖之時者也

賦得郊原遠帶新晴色 得晴字五言八韻

光緒八年順天鄉試四書題詩題

子曰雍之言然

日省月試既稟稱事所以勸百工也

伯夷聖之清者也伊尹聖之任者也柳下惠聖

之和者也

賦得松風含古姿 得松字五言八韻

光緒十一年順天鄉試四書題詩題

寔能容之以能保我子孫黎民尚亦有利哉

子華使於齊冉子為其母請粟子曰與之釜請

益曰與之庾冉子與之粟五秉子曰亦之適

齊也乘肥馬衣輕裘吾聞之也君子周急不

繼富原思為之宰與之粟九百辭子曰毋以

與爾鄰里鄉黨乎

孔子嘗為委吏矣曰會計當而已矣嘗為乘田

矣曰牛羊茁壯長而已矣

賦得畫鼓冰輪萬丈光 得光字五言八韻

光緒六年會試四書題詩題

子曰吾與回言終日不違如愚退而省其私亦

足以發回也不愚

系遠人則四方歸之懷諸侯則天下畏之

又尚論古之人頌其詩讀其書不知其人可乎

是以論其世也

賦得靜對琴書百慮清得清字五言八韻

光緒九年會試四書題詩題

知其說者之於天下也其如示諸斯乎

文理密察足以有別也

其事則齊桓晉文其文則史

賦得花開鳥鳴晨得晨字五言八韻

光緒十二年會試四書題詩題

子張問行子曰言忠信行篤敬雖蠻貊之邦行

矣言不忠信行不篤敬雖州里行乎哉立則見

其參於前也在與則見其倚於衡也夫然後

行子張書諸紳

中庸不可能也

取諸人以為善是與人為善者也故君子莫大

乎與人為善

賦得報雨早霞生得生字五言八韻

769 光緒五年宗室鄉試四書題詩題

知者不失人亦不失言

賦得霜高初染一林丹得丹字五言八韻

光緒八年宗室鄉試四書題詩題

上好禮則民莫敢不敬

賦得蒼崖半入雲濤堆得山字五言八韻

光緒十一年宗室鄉試四書題詩題

序事所以辨賢也

賦得印沙鷗迹自成行得沙字五言八韻

光緒六年宗室會試四書題詩題

作之君作之師

賦得詩成客見書牆和得牆字五言八韻

光緒九年宗室會試四書題詩題

東里子產潤色之

賦得新樹葉成陰得陰字五言八韻

光緒十二年宗室會試四書題詩題

行不由徑非公事未嘗至於僮之室也

賦得松色入門遠 得松字五五八韻

770 光緒十四年八月初七日內閣奉

上諭本日御史端良陳奏事件摺內所稱八月二十三日顯有錯誤暨匿報字樣誤書應報殊屬疏忽端良著交部察議欽此

771 交內 恭辦 大婚禮儀處 本日軍機大臣欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨欽天監奏選擇吉期一摺明年皇帝大婚禮成後坤宜宮祈福著用二月初八日辰時欽此相應傳知
貴衙門欽遵可也此交 卦帖鈔摺件

八月初七日

772 欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨欽天監奏選擇吉期一摺明年皇帝大婚禮成後坤宜宮祈福著用二月初八日辰時欽此

黃面紅裏大斤

773 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件
照錄呈

覽謹 奏

八月初七日

774 光緒十四年八月初八日內閣奉

上諭楊昌濬奏副都統假滿病劇懇請開缺據情代奏一摺福州副都統多鑾布著准其開缺欽此

775 光緒十四年八月初八日奉

旨額勒和布等奏崇文門徵收稅課盈餘未能足額著戶部議奏餘依議摺二件片一件單三件併發欽此

崇文門監督頭 等奏開滿稅數等摺片

776 光緒十四年八月初八日奉

旨著交內務府欽此

崇文門監督頭 等奏估變抄產價銀數摺

滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎即補郎中文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

京察一等 記名道府道銜禮部郎中玉恆

侍讀銜刑部主事桂春

四品銜吏部即補郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾賚額

四品銜理藩院員外郎多壽

理藩院即補郎中志樸

漢頭班章京

前太僕寺卿馮光勛

京察一等 記名道府刑部員外郎吳引孫

刑部郎中孟繼堦

兵部即補郎中沈恩嘉

俸滿截取 記名繁缺知府戶部郎中徐樹鈞

戶部員外郎顧璜

吏部員外郎王傲

刑部員外郎陳邦瑞

四品銜兵部主事即補員外郎胡寶瑛

刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

四品銜通政使司叅議董岫

理藩院員外郎即補郎中奎華

戶部員外郎孚琦

侍讀銜戶部主事廷祉

京察一等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

前大理寺卿沈源深

太僕寺少卿錢應溥

四品銜工部郎中祝維城

吏部郎中兼襲騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳蒂棠

刑部主事易俊

刑部主事馮錫仁

員外郎銜吏部候補主事孫朝華

戶部候補主事王碩蔚

778 慶裕等摺片二件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

八月初八日

779 蒙

發下摺件已奉

硃批二十二件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十件擬於

召見時請

旨是富有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年八月初八日奉

旨依議欽此

780 蒙

發下摺件已奉

硃批三十四件其餘應請

批示清漢摺片二十一件分別繕擬批呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年八月初九日奉

旨依議欽此

781 光緒十四年八月初十日內閣奉
上諭江蘇按察使著陳欽銘補授欽此

782

- 直隸按察使周馥 安徽臨淮 光緒十四年三月補
- 安徽按察使張岳年 浙江樂人 光緒十三年八月補
- 山東按察使福潤 蒙古正北旗附生 光緒十三年八月補
- 山西按察使萬崑 滿洲正白旗附生 光緒十三年二月補
- 河南按察使賈致恩 山東臨沂 光緒十三年二月補
- 陝西按察使曾鈺 滿洲正白旗附生 光緒十三年十一月補
- 甘肅按察使方汝翼 直隸樂人 光緒十三年七月補
- 浙江按察使廖壽豐 江蘇連雲 光緒十三年九月補
- 福建按察使奎俊 滿洲正白旗人 光緒十四年二月補
- 江西按察使瑞璋 滿洲正白旗人 光緒十三年十月補
- 湖北按察使成允 正紅旗附生 光緒十三年二月補
- 湖南按察使豫山 滿洲正黃旗附生 光緒十二年九月補
- 廣東按察使王之春 湖南人 光緒十四年三月補

廣西按察使張聯桂 江蘇附生 光緒十三年十月補

四川按察使游智開 湖南樂人 光緒十三年三月補

雲南按察使鄧華熙 廣東樂人 光緒十三年十月補

貴州按察使葉永元 廣東附生 光緒十四年四月補

783 光緒十四年八月初十日內閣奉

上諭御史何福莖奏刑部監禁人犯太多請飭迅速清理並各省管押案犯嚴飭詳報榜示各摺片京外問刑各衙門審理案件必須迅速斷結方不致拖累無辜若如所奏羈押累累懸莫結殊不足以昭欽恤著刑部堂官督飭司員將未結各案迅即清釐其現審案件務須遵照例限隨時審結毋任積壓並著各直省督撫嚴飭各屬遇有訟案隨到隨審毋得藉口要犯在逃監候待質等詞濫行羈禁其在押各犯按月詳報榜示以杜弊端並由該督撫隨時認真稽查僅有私押情弊即行據實叅辦欽此

784 蒙

發下摺報已奉

硃批二十三件其餘應請

批示漢字摺片十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十八件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年八月初十日奉

旨依議欽此

785 陳彝摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

八月初十日

786 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 兼管順天

府尹潘 府尹高 光緒十四年八月十二

日奉

上諭都察院奏薊州民人楊天增呈稱伊家於本年

正月十一日夜間被盜闖入伊父楊榮被洋槍傷

斃搶去錢物等件報驗迄未獲賊並稱上倉鎮等

地方劫案甚多亦未緝獲均因捕役通賊等語迺

來京畿地面捕務甚屬廢弛亟應認真整頓著李

鴻章潘祖蔭高萬鵬飭屬嚴拏賊務獲懲辦至

捕役通賊大干法紀並著查明從嚴懲治毋稍寬

貸原摺呈均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

787 光緒十四年八月十二日內閣奉

上諭謙禧奏神靈顯應請頒扁額一摺熱河平泉州

龍神廟夙著靈應本年入夏以來雨澤愆期田禾

枯槁經該處官紳虔詣祈禱立沛甘霖轉歉為豐

實深寅感著南書房翰林恭書扁額一方交謙禧

祇領飭屬敬謹懸挂以答

神庥餘著照所議辦理該部知道欽此

788 蒙

發下摺報已奉

硃批二十四件其餘應請

批示漢字摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謙禧奏

龍神顯應請

頒扁額摺擬繕明發

諭旨令南書房翰林書扁額發都察院奏順天民人

楊天增呈控匪徒明火殺命摺擬繕寄信

諭旨令李鴻章潘祖蔭高萬鵬嚴拿盜匪訊明懲辦

是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年八月十二日奉

旨依議欽此

789 光緒十四年八月十三日內閣奉

上諭江蘇常鎮通道負缺著楊儒補授欽此

790 查江蘇常鎮通道係衝繁難要缺謹

奏

791 光緒十四年八月十三日奉

旨粵海關監督仍著長有接管欽此

792 交正黃旗滿洲本日引

見補放荊州駝騎校

西陵防禦驍騎校各一缺擬陪之前鋒常謙贊禮郎呈

麟領催德魁奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

八月十三日

793 交正白旗蒙古本日引

見補放西安防禦一缺擬陪之驍騎校奎斌奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

八月十三日

794 工部郎中喜忠

硃。旨著原品休致

795 工部郎中喜忠

旨著照舊供職

796 兵部筆帖式豐山

硃。旨著照舊供職

797 兵部筆帖式豐山

旨著原品休致

798 蒙

發下摺件已奉

硃批十八件其餘應請

批示漢字摺片單六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年八月十三日奉

旨依議欽此

799 光緒十四年八月十四日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨准其保獎欽此

奉 硃批 旨著照舊供職 欽此

800 蒙

發下摺件已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺一件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時謹

旨謹

奏

光緒十四年八月十五日奉

旨依議欽此

801 光緒十四年八月十六日奉

上諭恭鈺等奏副都統患病懇請開缺回旗據情代

奏一摺呼倫貝爾副都統薩克慎著准其開缺欽此

802 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年八月十六日奉

旨依議欽此

803 蒙

發下摺件已奉

硃批十二件其餘應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年八月十七日奉

旨依議欽此

804 光緒十四年八月十八日內閣奉

上諭怡親王載敦奏病尚未痊續請賞假並請派著

都統一摺載敦著再賞假一月鑲紅旗蒙古都統

著奎潤兼署欽此

805 光緒十四年八月十八日內閣奉

上諭稽察南新倉御史德本奏拏獲結夥持械盜未

人犯請飭審辦一摺所有拏獲之方魁升黃湛坡

李秋祁慶玉均著交刑部嚴行審訊按例懲辦未

獲之石會章石七二名著步軍統領衙門順天府

五城御史一體嚴拏務獲歸案審辦餘依議該部

知道欽此

806 交鑲藍旗滿洲本日引

見補放

西陵防禦一缺擬陪之駝騎校德濟訥奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

八月十八日

807 交鑲黃旗滿洲本日引

見補放吉林防禦駝騎校各一缺江甯駝騎校一缺

擬陪之駝騎校全亮領催常福前鋒培善奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

八月十八日

808 光緒十四年八月十九日奉

旨著照例具題欽此

吏部禮部刑部學士等謹

809 光緒十四年八月二十一日內閣奉

上諭本年安徽鳳陽潁州泗州暨濱臨淮河各屬被水江蘇揚州鎮江徐州江甯及安徽廬州滁州並安慶以下各處山田被旱各該地方荒歉情形殊堪憫惻聯屆冬令小民覓食維艱朝廷軫念災區無時稍釋亟應豫籌賑撫以拯民命著將本屆江北應行河運漕米並水腳運費等款一併截留為江蘇安徽兩省各災區賑撫之用即著曾國荃崧駿陳彝督同司道勘明被災處所酌量分撥嚴飭印委各負確查戶口覈實散放並將以工代賑各事宜認真經理總期實惠及民毋得稍有弊混用副加惠災黎至意欽此

810 光緒十四年八月二十一日奉

旨經筵典禮仍候特旨舉行餘依議欽此

811 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單五件擬於

召見時請

旨是富有富伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年八月二十一日奉

旨依議欽此

禮部會奏酌議
部政事宜詳
百摺

黃面紅裏

812 蒙

發下摺報已奉

硃批二十九件其餘應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年八月二十二日奉

旨依議欽此

813 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信三件

照錄呈

覽謹

奏

八月二十二日

814 光緒十四年八月二十三日內閣奉

上諭李鴻章奏神靈顯應請頒扁額等語直隸遵化州

關帝廟延慶州龍安大佛寺黃龍潭龍神廟甯津縣

城隍廟龍神廟南皮縣興化大佛寺皆夙著靈應
近年春夏之間遵化等處雨澤愆期該官紳虔
誠祈禱均即渥沛甘霖轉歎為豐實深寅感著南
書房翰林恭書扁額各一方交李鴻章祇領飭屬
敬謹懸挂以答
神庥欽此

815 蒙

發下摺件已奉

硃批三十二件其餘應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理李鴻章奏神靈顯應請

頒扁額片擬繕明發

諭旨令南書房翰林書扁額發是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年八月二十三日奉

旨依議欽此

816 光緒十四年八月二十四日內閣奉

上諭前因河南鄭州大工日久未成在事人員辦理不善並據御史劉綸稟燕起烈奏參糜帑誤工各款當經諭令吳大澂於到任後確查具奏並將該工情形速勘妥籌茲據查明覆奏倪文蔚以辦料委之州縣係援照祥工成案辦理該撫目擊河工待用情形趨催未免過急書差擾累並無確據總兵崔廷桂挑挖引河用款造冊開報不及七十萬並無以一百二十萬包辦之事引河上下均有船隻往來亦未全行淤墊在工人負薪水係照歷辦成案支銷投効並無數百負之多成孚責扎紹誠匯銀均無其事即著毋庸置議道負歐陽霖委辦稽料查無實在劣跡惟人言藉藉著撤去總辦差使咨回江蘇試用紹誠於應辦工程師心自用委任伊戚蔣文海不知遠嫌著撤去掌壩差使俟經手事竣再行回旗知縣蔣文海聲名甚劣迹近招搖著即行革職降調留工前署開歸陳許道李正榮革職留工上南廳同知余潢上年搶險不力均著交部嚴加議處餘著照所議辦理另片奏請飭

部添撥的款一百萬兩等語著戶部速議具奏此次大工前後撥帑已及一千餘萬該署督惟當嚴飭在工員弁處處覈實不可稍涉浮冒所有築壩挖河等工即著認真辦理一俟霜清以後趕緊進占總期剋日合龍以慰廛系摺二片片二片併發該部知道欽此

817 交正黃旗滿洲本日引

見補放吉林防禦一缺擬陪之駝騎校文和奉旨著記名欽此相應傳知
貴旗欽遵可也此交

八月二十四日

818 交值年旗本日引

見補放
盛京幫辦協領一缺擬陪之佐領佟茂蔭奉旨著記名欽此相應傳知
貴旗欽遵可也此交

八月二十四日

819 交

上駟院本日引

見商都牧羣護軍校大凌河牧羣牧長各一缺擬陪

之牧長巴彥都凌副牧長永祥奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

八月二十四日

820 蒙

發下摺報已奉

硃批十五件其餘應請

批示漢字摺一件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年八月二十四日奉

旨依議欽此

821 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 兩江總督

一等威毅伯曾 光緒十四年八月二十五日奉

上諭廣東按察使王之春奏敬陳管見一摺其兼備

商輪一條據稱擬准中國商民自造輪船議定旗

照租費及照納稅鈔章程等語購置機器一條據

稱以煉鐵與織布兩種為最要擬仿招商局電報

局之例寬籌官本期在必成等語所奏係為收回

利權起見著李鴻章曾國荃悉心妥議具奏原摺

均著摘鈔給與閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

822 光緒十四年八月二十五日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨周綬著遇有道

負缺出請旨簡放楊宗濂著開復道員發往直隸補

用王詩正著開復原官翎頂仍以道負歸江蘇即補謝元福著仍以道負歸江蘇即用朱丙壽著賞給二品頂戴曾熙鈞著以知府仍歸浙江補用陳本著以知縣發往直隸補用鳳昌著開復原官翎支朱其煊著以道負交軍機處存記欽此

海軍衙門奏道員開復等報項張兩項給發欽此

823 光緒十四年八月二十五日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨依議單三件併發欽此

會詳親王御前大臣朱家范奏遵保在工出力人員

824 光緒十四年八月二十五日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨立山著賞給花翎二品頂戴以三院卿補用欽此

會詳親王御前大臣朱家范奏保中立山請發獎片

825 光緒十四年八月二十五日奉

旨黎庶昌著准以二品頂戴仍留出使日本大臣之

任欽此

總理衙門奏黎庶昌現降補可著准其頂戴仍留使任

826 交鑲白旗滿洲本日引

見補授荆州驍騎校一缺擬陪之炳昆奉旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

八月二十五日

827 丁憂回旗前湖南鹽法長寶道普津

硃。旨著回原衙門行走

828 郭人凱

硃。旨著以主事用

829 郭人凱

旨著以光祿寺署正用

830 郭人凱

旨著以通判用

831 蒙

發下摺報已奉

硃批八件其餘應請

批示漢字片二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理醇親王奏摺件擬於

召見時恭請

總旨其餘摺件請

旨辦理謹

奏

光緒十四年八月二十五日奉

旨依議欽此

832 本日兵部帶領引

見奏補遊擊黃本瀛等三員擬

旨均著照例准其補授恭請

硃筆圈出發下謹

奏

八月二十五日

833 光緒十四年八月二十六日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨醇親王奕譞奏

海軍章程已定病仍未痊歸政有期懇恩開去差使

一摺醇親王體國公忠經猷宏遠數年來創辦海軍

盡力籌維悉臻妥善上年抱恙久未痊愈猶復力疾

綜核孜孜不倦現在章程已定詳加披閱鉅細畢駁

有條不紊洵為經國要圖核據奏病久體弱懇請開

去海軍衙門神機營差使在深宮繫念之情本不忍

責以政事致多勞動惟念海軍關繫重大迥非尋常

庶政可比目前規模粗定嗣後應辦之事正多非特

宮廷軫念時艱冀歸盡善即醇親王休戚相關之意

諒亦未能忍置數月以來疊次視疾見王眠食精神

漸臻康復所有海軍衙門一切事宜仍著醇親王照

常經理庶會辦幫辦諸臣有所稟承足以竟全功而

垂久遠其神機營事務並著照舊管理明年歸政後該衙門具奏事件毋庸列銜俟海軍著有成效由王斟酌情形奏達深宮再行降旨王務以國事為重勉肩鉅任不必推辭一面善自珍攝俾氣體日就強固用副委任眷注之至意欽此

834 光緒十四年八月二十六日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨依議單留覽欽此

禮部會奏 大樽禮節尋呈覽摺

黃面紅箋

835 光緒十四年八月二十六日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨依議欽此

禮部會奏 大樽前日 閣視冊實禮節片

黃面紅箋

836 光緒十四年八月二十六日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨著照例移取內閣大學士學士並開列禮部堂官各職名請派餘依

議欽此

禮部會奏 大樽奉此正副使應如何移取請 欽定片

黃面紅箋

837 光緒十四年八月二十六日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨依議欽此

禮部會奏 大樽分進各禮節片

黃面紅箋

838 蒙

發下摺報已奉

硃批十七件其餘應請

批示清字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片二件擬於

召見時請

旨謹

奏

光緒十四年八月二十六日奉

旨依議欽此

839

安德等摺一件楊昌濬片一件遵擬批條呈進
恭候

欽定俟

硃批從同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

840

光緒五年宗室舉人覆試四書題詩題

工師得大本

賦得風竹玉相戛得字五言八韻

光緒八年宗室舉人覆試四書題詩題

揖讓而升下而飲

賦得露下銀河雁度頻得字五言八韻

光緒十一年宗室舉人覆試四書題詩題

君子哉若人尚德哉若人

賦得其仁如天得字五言八韻

841 光緒十四年八月二十七日內閣奉

上諭順天府奏請賞給普濟堂等處暨廣仁堂米石

各一摺近畿地方連年間有灾歉本年京西山水

為患貧民生計維艱所有普濟堂功德林兩處恩

賞小米三百石加賞小米五百石及廣仁堂恩賞

小米三百石均著照例賞給仍照案先期一月開

放另片奏請賞給資善堂煖廠米石等語加恩著

照所請賞給粟米三百石以惠窮黎餘依議欽此

842 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年八月二十七日奉

旨依議欽此

843 光緒十四年八月二十七日奉

旨著於九月初二日在畫舫齋閱視步箭欽此

御前大臣奉批取侍衛請 欽此特旨

844 查宗室鄉試舉人覆試應請

簡派閱卷大臣謹繕名單進

呈恭請

硃筆圈出於二十八日清晨

發下再查上屆宗室鄉試覆試閱卷大臣欽奉

派出三人謹

奏

硃

845 張之萬

錫珍

徐桐

麟書

崑岡

潘祖蔭

紹祺

松森

嵩申

廖壽恆

寶昌

文治

徐樹銘

846 軍機大臣 字寄

福州將軍 兩江湖廣四川江蘇安徽江西湖

北湖南河南山西陝西各督撫 光緒十四年

八月二十八日奉

上諭戶部奏籌撥甘肅新餉一摺甘肅關內外各軍

餉銀關繫緊要現經該部將光緒十五年新餉指撥山西省銀八十四萬兩河東道銀五十二萬兩河南省銀六十一萬兩陝西省銀二十萬兩湖北省銀三十三萬兩湖南省銀十六萬兩江蘇省銀二十萬兩兩淮銀二十萬兩安徽省銀二十萬兩江西省銀三十六萬兩四川省銀九十八萬兩閩海關銀二十萬兩共銀四百八十萬兩請飭依限報解著該將軍督撫等嚴飭各該司道按照部撥數目於本年十二月底止趕解三成至來年四月底止再解三成其餘四成統限九月底止掃數解清各該省如能依限完解即由陝甘總督奏請獎敘儻仍前延欠即著戶部照案奏將此由五百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

鈔交戶部

847 光緒十四年八月二十八日內閣奉

上諭巡視中城給事中文敬等奏援案酌保練勇局

出力負弁開單請獎並請將副指揮李金章等改獎各摺片著該部議奏單併發欽此

848 光緒十四年八月二十八日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨依議欽此

海軍衙門奏擬定章程摺

849 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺一件繕擬批條呈進恭候

欽定候

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年八月二十九日奉

旨依議欽此

850 光緒十四年九月初一日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨醇親王奕譞奏

現居

賜邸為皇帝發祥之所敬稽

成憲應否恭繳請旨遵行等語醇親王府第為皇帝潛

邸應恪遵雍正二年

成憲及乾隆五十九年

諭旨升為宮殿著准其恭繳貝子毓楠府第著賞給醇

親王居住並賞銀十萬兩由王自行修理俟修竣後

再行移居西直門內半壁街空間府第一所賞給毓

楠居住並賞銀一萬兩修理所賞銀兩均由戶部給

發欽此

黃面紅裏

851 謹錄雍正二年三年

實錄二條乾隆五十九年十月

諭旨二道恭呈

慈覽謹

奏

852 雍正二年十二月己丑禮部疏奏請將

皇上潛邸升為宮殿交與工部會同內務府繪圖呈

覽敬謹營造內閣翰林院撰擬嘉名恭候

皇上欽定從之

853 雍正三年六月己卯大學士奏請

皇上潛邸升為宮殿撰擬嘉名恭候欽定

上欽命曰雍和宮

854 乾隆五十九年十月初四日內閣奉

上諭雍和宮為

皇考世宗憲皇帝肇封潛邸

皇考踐祚後命曰雍和宮迨朕紹承大統以

神爽憑依之地理應祇肅潔蠲爰即舊時宮殿供佛莊

嚴每歲朕親詣拈香瞻禮藉抒永慕之忱用昭崇

奉之義因憶乾隆初年鄂爾泰曾提奏其意欲將

雍和宮賞給和親王居住朕未之允也和親王乃

朕之弟俾居此處雖無不可但究係

皇考肇迹之區若令列邸分藩者居此發祥之地不特

鄰於襲越並恐無福祇承況和親王分府之後曾遭回祿使當日遂允鄂爾泰所請則此潛邸舊地或值不戒於火更成何事體即或斯地曾為

皇考臨御百神呵護不致有意外之灾但自和親王而後襲爵業經四次本應遞減今當襲貝子朕格外加恩兩次襲封親王郡王今綿猶仍恩襲郡王而所居王府已不能修葺整齊至飾椽題漸就剝落設以雍和宮為和親王藩府豈能如今日之紺宇梵宮輪奐長新為萬世所瞻仰乎然茲雍和宮內朕未經敬安

神御者蓋因

皇考升祔

太廟丞嘗禘祫拊饗昭虔揆諸古制原無別安

神御之禮況宮中有

奉先殿景山有

壽皇殿圓明園有

安佑宮歲時瞻拜已足伸懷聞後見之思故雍和宮供

奉三寶不復敬安

神御參稽禮意實為至當更思寧壽宮乃朕稱太上皇

後頤養之所地在禁垣之左日後必不應照雍和宮之改為佛宇其後之淨室佛樓今即有之亦不必廢也其宮殿永當依今之制不可更改若我大清億萬斯年我子孫仰膺

昊眷亦能如朕之享國日久壽屆期頤則寧壽宮仍作

太上皇之居祥衍無疆更屬盡美盡善吉祥盛事

本日朕因親詣雍和宮拈香景仰

前徹思垂奕禩用是特頒訓諭著繕錄兩通一交尚書

房一交內閣存記俾我子孫知所憲章勿得輕為

改作用垂法守欽此

855 乾隆五十九年十月二十二日內閣奉

上諭前因雍和宮為

皇考世宗憲皇帝潛邸乾隆初年鄂爾泰曾請賞給和

親王居住殊屬非是朕未之允業經降旨交尚書

房內閣存記本日恭閱

世宗憲皇帝實錄雍正二年禮部奏請將

皇考潛邸升為宮殿交工部會同內務府敬謹營造翰

林院撰擬嘉名當蒙

降旨允從敬維

皇考之意亦以潛邸舊地應升為宮殿俾為萬世景仰

以肅觀瞻朕前降之旨適與

聖意相合夫以

發祥肇迹之區自應潔謁祇肅況已升為宮殿若復令

分藩列邸者居此降為王府有是理乎鄂爾泰在

雍正年間即為大學士軍機大臣迨恭纂

實錄時伊復充總裁官

皇考諭旨鄂爾泰盜未之知乃復為此奏其意不在見

好於和親王乃在得時譽耳大臣居心豈宜若是

現在鄂爾泰子孫式微不能克家未必不由於此

是雍和宮必當改為佛宇斷不可作為王府將來

我子孫內有由藩邸紹承大統者並應永遠欽承

用昭法守此旨亦著繕錄二道分交尚書房內閣

同前旨一併存記欽此

856 光緒十四年九月初一日內閣奉

上諭左念謙著加恩以四五品京堂候補欽此

857 蒙

發下摺件已奉

硃批十四件其餘應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

旨依議欽此

858 光緒十四年九月初二日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨依議交軍機處

存案欽此

醇親王奏用人行政敬陳管見摺

859 交正白旗滿洲本日引

見補放江甯防禦一缺擬陪之驍騎校德海奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

九月初二日

860 蒙

發下摺件已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年九月初三日奉

旨依議欽此

861 交內務府本日引

見打牲烏拉驍騎校一缺擬陪之七品委章京來慶奉

旨著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

九月初四日

862 蒙

發下吏部題大學士缺開列請

簡本擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年九月初四日奉

旨依議欽此

863 光緒十四年九月初五日內閣奉

上諭昨日召見之四川候補道劉麒祥著交軍機處

存記欽此

864 光緒十四年九月初五日内閣奉
上諭給事中俊乂奏外任實缺官員終養丁憂服滿
請准分發原省補用一摺著吏部議奏欽此

865 光緒十四年九月初六日内閣奉
上諭奎潤現在出差禮部尚書著紹祺兼署欽此

866 光緒十四年九月初六日内閣奉
上諭崑岡現在出差工部尚書著麟書兼署欽此

867

應署^{禮部}滿洲尚書名單

吏部尚書錫珍

兵部尚書烏拉喜崇阿

刑部尚書麟書

理藩院尚書紹祺

都察院左都御史松森

吏部左侍郎松桂

戶部左侍郎嵩申

禮部左侍郎敬信

現兼署吏部右侍郎

兵部左侍郎師曾

右侍郎崇禮 現兼署工部左侍郎

刑部左侍郎桂全

工部右侍郎清安

理藩院右侍郎慶福

868 光緒十四年九月初六日内閣奉

上諭續昌現在出差禮部右侍郎著清安兼署其所
署刑部右侍郎著松桂暫行兼署欽此

869

應署^{禮部}滿洲右侍郎名單

吏部左侍郎松桂

戶部左侍郎嵩申 現兼署理藩院左侍郎

禮部左侍郎敬信 現兼署吏部右侍郎

兵部左侍郎師曾

右侍郎崇禮 現兼署工部左侍郎

刑部左侍郎桂全

工部右侍郎清安

理藩院右侍郎慶福

內閣學士文興

寶昌

豐烈

文治

福楸

都察院左副都御史志元

奕年

通政使司通政使奕秋

大理寺卿明桂

詹事府詹事霍穆歡

870 光緒十四年九月初六日內閣奉

上諭徐用儀現在出差工部左侍郎著廖壽恆兼著其所署刑部右侍郎著曾紀澤暫行兼著欽此

871 應署 刑部漢右侍郎
工部漢左侍郎 名單

吏部左侍郎許應駁 現在請假

右侍郎孫毓汶 現在請假

戶部左侍郎孫詒經 現在請假

硃。

右侍郎曾紀澤

禮部左侍郎徐郁 現兼署刑部左侍郎

右侍郎童華 現兼署工部右侍郎
現在請假

兵部左侍郎廖壽恆

右侍郎孫家鼎

內閣學士李端棻 現在請假

都察院左副都御史白桓

徐樹銘

宗人府府丞薛福辰

872 光緒十四年九月初六日內閣奉

上諭陝西巡撫著張煦補授欽此

873 直隸布政使松椿 滿州人
光緒十一年九月補湖南藩司嗣調直隸

江蘇布政使黃彭年 貴州進士
光緒十一年十一月補

江甯布政使許振祥 江西進士
光緒十一年六月補

安徽布政使阿克達春 滿洲正白旗生員
光緒十一年八月補

山東布政使王毓藻 湖北進士
光緒十四年四月補

山西布政使張煦 甘肅進士
光緒十一年七月補廣東藩司嗣調山西

硃。

河南布政使劉瑞祺 江西進士 光緒十二年七月補

陝西布政使陶樸 浙江進士 光緒十四年三月補

甘肅布政使譚繼洵 湖南進士 光緒十年十月補

甘肅新疆布政使魏光燾 湖南人 光緒九年三月補 官高藩司 嗣調新疆

浙江布政使許應鑾 廣東進士 光緒十年十月補

福建布政使張夢元 直隸舉人 光緒九年九月補 廣西藩司 嗣調福建

福建臺灣布政使邵友濂 浙江舉人 光緒十三年二月補

江西布政使蕭韶 湖南舉人 光緒十四年三月補

湖北布政使蒯德標 安徽舉人 光緒九年正月補

湖南布政使孫翼謀 福建進士 光緒十二年五月補

廣東布政使高崇基 直隸進士 光緒十二年二月補 山西藩司 嗣調廣東

廣西布政使馬丕瑤 河南進士 光緒十三年八月補

四川布政使崧蕃 滿洲正藍旗舉人 光緒十二年九月補

雲南布政使曾紀鳳 湖南進士 光緒十一年六月補 貴州藩司 嗣調雲南

貴州布政使史念祖 江蘇進士 光緒十二年十月補

874 光緒十四年九月初六日內閣奉

上諭山西布政使著豫山補授薛福成著補授湖南

按察使欽此

875

直隸按察使周馥 安徽監生 光緒十四年三月補

江蘇按察使陳欽銘 福建進士 光緒十四年八月補

安徽按察使張岳年 浙江舉人 光緒十二年八月補

山東按察使福潤 榮吉正紅旗附生 光緒十二年八月補 湖北臬司 嗣調山東

山西按察使嵩崑 滿洲紅旗監生 光緒十一年二月補

河南按察使賈致恩 山東廩生 光緒十三年二月補

陝西按察使曾銖 滿洲正白旗監生 光緒十一年十月補

甘肅按察使方汝翼 直隸舉人 光緒十二年七月補

浙江按察使廖壽豐 江蘇進士 光緒十二年九月補 貴州臬司 嗣調浙江

福建按察使奎俊 滿洲正白旗人 光緒十一年十月補

江西按察使瑞璋 滿洲正紅旗人 光緒十二年十月補

湖北按察使成允 正紅旗監生 光緒十二年二月補 山東臬司 嗣調湖北

湖南按察使豫山 滿洲正黃旗監生 光緒十二年九月補

廣東按察使王之春 湖南人 光緒十三年三月補 浙江臬司 嗣調廣東

廣西按察使張聯桂 江蘇監生 光緒十二年十月補

四川按察使游智開 湖南舉人 光緒十一年三月補

雲南按察使鄧華熙 廣東舉人 光緒十二年十月補

貴州按察使葉永元 廣東附貢生 光緒十四年四月補

硃

876 光緒十四年九月初六日內閣奉

上諭陝西巡撫葉伯英由道員洊擢封圻簡任以來克勤厥職茲聞溘逝軫惜殊深加恩著照巡撫例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

877 光緒十一年十月二十三日內閣奉

上諭湖北巡撫彭祖賢由部屬洊擢京卿外任封圻宣力有年克勤厥職前因患病賞假調理茲聞溘逝軫惜殊深加恩著照巡撫例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

878 光緒十二年十一月初十日內閣奉

上諭雲南巡撫張凱嵩由知縣洊擢封圻自簡任雲南以來於吏治軍餉諸務均能實心籌辦克稱厥職茲聞溘逝悼惜殊深張凱嵩著照巡撫例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

879 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年九月初七日奉

旨依議欽此

880 蒙

發下摺報已奉

硃批二十件其餘應請

批示漢字摺片單八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單五件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年九月初八日奉

旨依議欽此

881 滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎即補郎中文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

京察一等 記名道府道銜禮部郎中王恆

侍讀銜刑部主事桂春

四品銜吏部郎補郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾慶額

四品銜理藩院員外郎多壽

理藩院郎補郎中志樸

漢頭班章京

前太僕寺卿馮光勳

京察一等 記名道府刑部員外郎吳引孫

刑部郎中孟繼堦

兵部郎補郎中沈恩嘉

俸滿截取 記名繁缺知府戶部郎中徐樹鈞

戶部員外郎顧璜

吏部員外郎王傲

刑部員外郎陳邦瑞

四品銜兵部主事即補員外郎胡寶鐸

刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳懺

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

四品銜通政使司參議堃岫

理藩院員外郎即補郎中奎華

戶部員外郎孚琦

侍讀銜戶部主事延祉

京察一等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部郎補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

前大理寺卿沈源深

太僕寺少卿錢應溥

俸滿截取 記名繁缺知府四品銜工部郎中祝維城

吏部郎中兼襲駙都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳蒂棠

刑部主事易俊

刑部主事馮錫仁

貢外郎銜吏部候補主事孫朝華

戶部候補主事王頌蔚

882 軍機大臣 字寄

總理各國事務衙門 光緒十四年九月初九

日奉

上諭有人奏前出使大臣徐承祖貪劣侵欺列款糾
參請飭查辦一摺據稱徐承祖採購日本銅斤浮

冒侵漁長崎一案辦理失體並浮銷經費擅刻功

牌索賄把持奏調私人狡詐取巧保舉欺罔各節

如果屬實亟應嚴行懲辦著總理各國事務衙門

王大臣將所參各款詳細確查其應在日本查訊

各節密咨黎庶昌逐一查明據實聲覆不准稍涉

含混俟查覆到日由該衙門一併具奏原摺單二

件均著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

883 光緒十四年九月初九日內閣奉

上諭浙江甯紹台道貪缺著吳引孫補授欽此

884 查浙江甯紹台道係銜難中缺謹

奏

885 交欽天監本日軍機大臣欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨欽天監奏選擇
納采朝見各禮節摺單四件均著留中欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

九月初九日

黃雨紅裏

886 交總理各國事務衙門本日軍機大臣面奉

諭旨御史趙增榮奏請慎選使臣等語著該衙門議
奏欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

九月初九日

887 交鑲藍旗滿洲本日引

見補放

東陵驍騎校一缺擬陪之領催恆山奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

九月初九日

888 交正白旗漢軍本日引

見補放福州防禦一缺擬陪之驍騎校陳懋官奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

九月初九日

硃

889 六品廕生艾廷棟

旨著以通判用

890 劉錦棠摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

九月初九日

891 本日兵部帶領引

見豫保遊擊張開武一頁擬

旨著准其豫保註冊回任照例用恭請

硃筆圈出發下謹

奏

892 光緒十四年九月初十日內閣奉

上諭前據李秉衡奏已故前任廣西巡撫張凱嵩功
德在民據本籍紳士請建專祠並將事蹟宣付史

館當經降旨允准嗣經都察院據廣西京官劉宗標等呈請代奏並御史李士琨奏臚列該故撫貪劣各款請收回成命當交沈秉成逐款詳查茲據奏稱查明各款均無確據惟張凱嵩果係品誼純粹功德入人自必羣情悅服何至毀譽參半衆論不符等語張凱嵩既非政蹟昭著輿論胥洽所有建立專祠之處著即撤銷該部知道欽此

893 蒙

發下摺報已奉

硃批二十件其餘應請

批示漢字摺片十九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年九月初十日奉

旨伏議欽此

894 同治十一年二月初三日欽奉

懿旨皇帝沖齡踐祚於今十有一年允宜擇賢作配正位中宮以輔君德而襄內治茲選得翰林院侍講崇綺之女阿魯忒氏淑慎端莊著立為皇后特諭

黃西紅稟

895 同治十一年二月初三日欽奉

懿旨負外郎鳳秀之女富察氏著封為慧妃知府崇齡之女赫舍哩氏著封為瑜嬪前任副都統賽尚阿之女阿魯忒氏著封為珣嬪欽此

黃西紅稟

896 蒙

發下摺件已奉

硃批九件其餘應請

批示漢字摺一件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年九月十二日奉

旨依議欽此

897 查軍機章京刑部員外郎吳引孫現在蒙

恩簡放浙江甯紹台道所遺章京一缺應以領班上

行走之前太僕寺卿馮光勳充補謹

奏

光緒十四年九月十二日奉

旨知道了欽此

898 軍機大臣 字寄

伊犁將軍色 前陝甘總督譚 甘肅新疆巡

撫劉 光緒十四年九月十三日奉

上諭前據色楞額奏遣撤伊犁勇隊的發餉項川資

請飭撥解銀十五萬兩應用當令戶部速議具奏

旋據該部奏准由譚鍾麟先行如數墊發解交劉

錦棠設法妥辦迅速清結茲據劉錦棠奏該處營

勇驕蹇成習此次發款清理後請覈實挑留餘悉

妥為遣撤等語伊犁防軍動輒藉餉滋鬧實屬不

成事體亟應妥籌整理以靖邊陲著譚鍾麟遵照

部議毋論何款迅即墊撥銀十五萬兩解交應用

毋稍延緩並著劉錦棠會同色楞額妥速清釐將

該處勇丁覈實挑留其餘妥為裁遣並將營制餉

章認真整頓務期邊軍日久相安是為至要此次

滋事勇丁並著色楞額查明為首之人照例懲辦

以肅軍律餘著照所議辦理將此由五百里各諭

令知之欽此遵

旨寄信前來

899 光緒十四年九月十三日內閣奉

上諭陝西按察使著裕祥補授欽此

- 直隸按察使周馥 安徽壽州人 光緒十四年三月補
- 江蘇按察使陳欽銘 福建進士 光緒十四年八月補
- 安徽按察使張岳年 浙江舉人 光緒十二年八月補
- 山東按察使福潤 蒙古正紅旗副都統 光緒十二年八月補 湖北臬司 調山東
- 山西按察使嵩崑 滿洲鎮紅旗監生 光緒十二年二月補
- 河南按察使賈致恩 山東廩生 光緒十三年七月補
- 陝西按察使曾銖 滿洲正白旗監生 光緒十三年十月補 現在丁憂
- 甘肅按察使方汝翼 直隸舉人 光緒十二年七月補
- 浙江按察使廖壽豐 江蘇進士 光緒十三年九月補 貴州臬司 調浙江
- 福建按察使奎俊 滿洲正白旗人 光緒十二年三月補
- 江西按察使瑞璋 滿洲正紅旗人 光緒十二年十月補
- 湖北按察使成允 正紅旗監生 光緒十二年二月補 山東臬司 調湖北
- 湖南按察使薛福成 江蘇副貢生 光緒十四年九月補
- 廣東按察使王之春 湖南人 光緒十四年三月補 浙江臬司 調廣東
- 廣西按察使張聯桂 江蘇附生 光緒十三年十月補
- 四川按察使游智開 湖南舉人 光緒十三年三月補
- 雲南按察使鄧華熙 廣東舉人 光緒十三年十月補
- 貴州按察使葉永元 廣東附貢生 光緒十四年四月補

諭旨十六道光緒元年至四年

諭旨七道

- 勦辦陝甘新疆回匪 奉同治二年至十二年
- 攻克王閭村羌白鎮 同治二年二月初七日
- 肅清同州等處 同治二年四月初七日
- 攻勦渭河兩岸賊壘 同治二年七月二十日
- 克復平涼府城 同治三年五月初八日
- 攻克寶豐縣城 同治三年八月初三日
- 攻克高家堡 同治四年正月初一日
- 攻克固原州城 同治四年二月初七日
- 克復鹽茶廳城 同治四年四月初五日
- 克復鄜州 同治七年三月初七日
- 克復狄道州城 同治七年四月十六日
- 蕩平董志原 同治八年四月初七日
- 攻克王家疇賊巢 同治十年正月初二日
- 攻克金積堡 同治十年二月初二日
- 攻拔通貴兩寨 同治十年三月初三日
- 克復巴燕戎城 同治十二年三月初一日
- 克復肅州 同治十二年十月二十四日

肅清河州 光緒元年二月十四日

克復烏魯木齊等城 光緒二年八月十六日

攻克瑪納斯南城 光緒二年十一月二十五日

攻克吐魯番等城 光緒三年五月初十日

克復喀喇沙爾庫車 光緒三年十月二十九日

克復阿克蘇烏什 光緒三年十一月二十日

克復南路西四城 光緒四年二月十六日

902 勦辦雲貴回匪歷奉同治三年至十二年

諭旨十二道

克復興義府城 同治三年十一月二十三日

克復楚雄景東等處 同治四年一月二十六日

逆東肅清 同治四年二月二十六日

克復鎮雄 同治六年正月二十六日

克復澂江府城 同治七年十二月十四日

克復江那土城 同治十年三月初六日

克復興義府城 同治十一年七月初一日

攻克趙州蒙化廳城及大理府上下兩關 同治十一年九月初三日

黔省上游肅清 同治十二年正月十五日

克復大理府城 同治十二年正月二十日

攻克順甯府城 同治十二年二月二十九日

雲南全省肅清 同治十二年閏六月初十日

903 光緒十四年九月十四日內閣奉

上諭廣西右江道員缺著張汝梅補授欽此

904 查廣西右江道係衝難中缺謹

905 光緒十四年九月十四日奉

旨著准其抵銷欽此 吏部奏議處河南巡撫倪文蔚保舉未敘候選刑

906 光緒十四年九月十四日奉

旨著准其抵銷欽此 吏部奏議處河南巡撫倪文蔚保舉未敘候選刑

907 蒙

發下摺報已奉

硃批二十一其餘應請

批示漢字摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年九月十四日奉

旨依議欽此

908 光緒十四年九月十六日內閣奉

上諭巡視中城給事中文敬等奏援案請賞外城粥

廠粟米開單呈覽一摺現在節交寒令貧民生計

維艱所有中城之朝陽閣東城之卧佛寺育嬰堂

南城之打磨廠西城之長椿寺觀音塔觀音北城之

圓通觀梁家園各粥廠每月共需要米三百三十

石加恩照數賞給自十月初一日起由各該城咨

明戶部劄倉給發該給事中等務當督同紳士妥

為散放毋任侵漁單併發餘依議另片奏請賞給

崇善堂等處米石各等語崇善堂等處各廠收養

貧民人數衆多米石不敷支放加恩著照所請所

有清化寺街之崇善堂梁家園之百善堂太清觀

之公善堂三處煖廠各賞給小米三百石教子衙

衙禮拜寺賞給小米三百石朝陽門外南海會寺

崇文門外玉清觀各粥廠並岡子上興善煖廠各

賞給小米一百五十石東便門外三忠祠粥廠賞

給小米一百五十石以濟窮黎該部知道欽此

909 蒙

發下摺件已奉

硃批三十二件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理給事中文敬等奏請

賞外城各粥廠粟米摺單各一件片一件擬繕明發

諭旨一道照數發給恭候

命下遵繕呈進李鴻章摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年九月十六日奉

旨依議欽此

910 蒙

發下摺報已奉

硃批十九件其餘應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年九月十七日奉

旨依議欽此

911 李鴻章摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

九月十七日

912 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年九月十八日奉

旨依議欽此

913 奉

旨除周續漢業經病故外浚海係僧人犯姦刃斃人命情節甚重惟死者以無干之人張揚姦情亦屬多事該犯嚇戩究止一傷稍有可原南小許係逞忿故殺例實惟死者先將犯父毆傷成廢復捏傷登門訛詐與棍徒擾害無異稍有可原俱著免勾餘均照所擬欽此

九月初九日

見面帶上六日

發下由 堂交內閣

914 奉

旨除周續漢業經病故外浚海係僧人犯姦刃斃人命情節甚重南小許係逞忿故殺例實俱著予勾

餘均照所擬欽此

九月初九日

見面帶上十八日

拆破

發下歸地

915 奉

旨浚海係僧人犯姦刃斃人命情節甚重惟死者以無干之人張揚姦情亦屬多事該犯嚇戩究止一傷稍有可原南小許係逞忿故殺例實惟死者先將犯父毆傷成廢復捏傷登門訛詐與棍徒擾害無異稍有可原俱著免勾餘均照所擬欽此

九月初四日同雲南等省黃冊遞上未

發下

916 奉

旨浚海係僧人犯姦刃斃人命情節甚重南小許係逞忿故殺例實俱著予勾餘均照所擬欽此

九月初四日同雲南等省黃冊遞上未

發下

917 光緒十四年雲南省秋審常犯情實十一起人

犯共十三名口內除舊事常犯情實沈恭孫采

淋二起二名業於六年及十三年

免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實趙錕等九

起十一名口

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯趙錕

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯羅劉匠

因姦謀斃縱姦本夫淫兇難寬是以勾決

一起斬犯趙其位

姦匪逞忿故殺姦婦淫兇難寬是以勾決

一起斬犯陸汶味

姦匪拒殺捕人復另拒斃一命淫兇難寬是以勾決

一起斬犯黃老三

姦匪妬姦謀斃姦匪淫兇難寬是以勾決

一起絞

犯楊發春
楊發春
楊發春

楊發春藥添佑均聽從謀命下手加功楊氏因姦

致夫被殺事後仍與姦夫姦宿均法無可寬是以
俱勾決

一起斬犯屠炳南

火器殺人法無可寬是以勾決

一起絞犯陳尚倫

姦匪聽從謀命下手加功淫兇難寬是以勾決

一起斬犯葉小萇

搶奪拒捕刃傷事主情殊兇暴法無可寬是以勾決

光緒十四年貴州省秋審常犯情實一起人犯

一名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯羅阿排

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

光緒十四年廣東省秋審常犯情實共二起人

犯三名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯謝方古

因姦聽從姦婦謀斃縱姦本夫淫兇難寬是以勾決

一起絞犯徐亞傳
陳事寬

聽從夥搶室女過船俱幫同架拉均法無可寬是以俱勾決

光緒十四年廣西省秋審常犯情實一起人犯

一名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯朱亞九

火器殺人法無可寬是以勾決

光緒十四年福建省秋審常犯情實共三起人

犯三名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯鍾細細

逞忿故殺老人法無可寬是以勾決

一起斬犯吳存汰

火器殺人法無可寬是以勾決

一起絞犯陳增增

糾眾搶奪過客銀兩逾貫為言行旅法無可寬是

以勾決

光緒十四年奉天省秋審服制情實共六起人

犯六名內除舊事服制情實于得薪一起一名

業於上年

免勾時開列榜示外謹將新事服制情實喬振菁等

五起五名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯喬振菁

與胞兄喬議菁無嫌喬議菁先與閔氏通姦後因

閔氏復與高澱清時家亮姦好常向吵嚷經其母

樂氏查知屢訓不聽嗣喬議菁向樂氏索錢樂氏

不給喬議菁嚷鬧並將樂氏推倒樂氏氣忿將該

犯找回告知情由令將喬議菁捆縛送官並令邀

人幫助該犯央求不允假意答應走出旋即回家

捏稱外人均不肯來樂氏不信憶及高澱清等與

喬議菁不睦可以幫助令該犯往邀至家樂氏聲

稱欲將喬議菁送官商允高澱清等幫同捆縛該

犯攔勸樂氏不依帶同高澗清等闖進閻氏屋內高澗清用刀砍傷喬議著右眼胞左右手指左肩甲右膝樂氏揪抓喬議著用脚亂踢一併牽罵樂氏喝令該犯代毆該犯跪地求饒樂氏即以如此違逆定欲尋死之言向嚇該犯被逼無奈拾掇刀毆砍傷其左右脚面左脚跟時家亮用刀砍傷其右膝胸連腿肚左腰眼高澗清用刀砍傷其左肱肘脊背倒炕次日殞命除其毆下手傷重罪應擬絞之高澗清等緝獲另結外死者罪犯應死傷由迫於母命尚非無故逞兇干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯劉士江

與胞兄劉士海無嫌有馮春生因地內高粱被竊至該犯家查我無獲走回該犯聞知氣忿邀同劉士海之子劉發同往評理適與馮春生路遇該犯斥說不應誣竊摻賊彼此爭毆馮春生用洋鎗將劉發放傷該犯情急幫護用洋鎗向馮春生嚇放馮春生閃避不期劉士海趨至拉勸致誤轟傷其脊背穿透胸膛倒地移時殞命火器致斃胞兄業因傷由誤中與有心干犯不同免其寸磔法難再

寬是以勾決

一起斬犯劉瀆鈺

因大功兄劉瀆鈺素性兇橫不務正業將家產變賣花盡嗣復欲將該犯住房變賣該犯理論劉瀆鈺不依將伊燭灶砸壞經人勸散嗣劉瀆鈺飲醉又往該犯家尋鬧並稱如不允其賣房定行將伊殺害該犯畏懼央求劉瀆鈺用鐵鋤撞毆傷伊左太陽該犯起身奪鎗逃走劉瀆鈺取木棒趕毆該犯被石磨阻擋逃不出門情急用籬架格希圖逃避不期劉瀆鈺趕來勢猛收手不及適傷其左額角倒地逾時殞命傷由被毆抵格尚非有心干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯李芽

因大功兄李經在場打麥該犯之父李士全往看因地潮溼令其鋪蓆李經不聽以致麥均黏地李士全村斥李經頂撞李士全生氣趕毆李經揪住李士全髮辮揜按倒地騎坐背上用拳毆傷左腮朕並揪落髮辮一縷李士全喊救該犯聽聞上前勸解李經不理李士全被壓面紅氣喘不能出聲

該犯情急救護取木义嚇毆適傷其顛門倒地越十一日殞命毆由救父情切尚非無故逞兇干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯王淋

因小功兄王泳受雇在伊家傭工先支錢文旋即因病辭工嗣王泳病愈往向清算工帳應還長支工錢向該犯央緩該犯許諾伊弟王洛八不允逼討致向爭鬧王泳用錘把撲毆王洛八奪把毆傷其右腋肌該犯向勸王洛八棄把與王泳揪扭該犯斥說王洛八無禮用木棒向毆王洛八閃避該犯失手致誤傷王泳顛門倒地移時殞命傷由誤中死出不虞尚非有心干犯情稍可原是以未勾

光緒十四年奉天省秋審常犯情實共四十四起人犯四十七名口內除舊事常犯情實張銀等十八起十八名口業於八年及十二年十三年免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實淀海等二

十六起二十九名口

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞犯淀海

僧人犯姦刃斃人命情節甚重惟死者以無干之人張揚姦情亦屬多事該犯嚇戩完止一傷稍有可原是以未勾

一起斬犯劉荏儒

火器殺人法無可寬是以勾決

一起斬犯傅泳澧

致斃一家二命傅泳澧起意謀殺一命彭汰聽從

謀殺二命俱下手加功均法無可寬是以俱勾決

一起斬犯張恆足

聽從聚眾共毆致斃彼造十二命該犯火器致斃

一命法無可寬是以勾決

一起斬犯駱起山

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯卜瀾官

挾恨謀命圖詐法無可寬是以勾決

一起斬犯吳得亮

姦匪逞忿故殺本夫淫兇難寬是以勾決

一起斬犯張砭碌

竊盜臨時盜所護夥拒捕刃傷事主法無可寬是以勾決

一起斬犯鄭荃

姦匪妬姦逞忿故殺姦匪淫兇難寬是以勾決

一起絞犯李瀾滌即李得仔

先犯鬪殺擬絞減流配逃後復致斃人命怙惡難寬是以勾決

一起絞犯劉海注
汪得吟即王兒

聽從發塚開棺見屍俱幫同下手均法無可寬是以勾決

一起斬犯蘇馨生即蘇汰胖仔

火器致斃弟妻法無可寬是以勾決

一起斬犯王升

因姦謀斃縱姦本夫淫兇難寬是以勾決

一起斬犯袁鳳淋

因姦謀殺大功弟淫兇難寬是以勾決

一起絞犯胡萌得

謀殺人傷而未死其謀已行法無可寬是以勾決

一起斬犯劉薜

逞忿故殺外姻總兄法無可寬是以勾決

一起絞犯初振有

異端法術醫人致死法無可寬是以勾決

一起斬犯孫玲即孫汝玲

圖產謀斃大功弟妻情殊兇慘法無可寬是以勾決

一起絞犯李吟即李洛七

誣竊捆縛拷打逼斃無辜法無可寬是以勾決

一起絞犯楊得代

因姦謀殺本夫傷而未死復另傷一人法無可寬是以勾決

一起絞犯宋氏

一起絞犯景怡

宋氏聽從姦夫謀命下手加功景幅收留姦婦在

家因被妻罵稱欲控謀斃其命均淫兇難寬是以

俱勾決

一起絞犯烏添萍即吳添萍

金刃傷多且重情兇近故法無可寬是以勾決

一起絞犯趙幗梁

營兵藉差黃夜入室妄擊致斃無辜婦女法無可

寬是以勾決

一起絞犯牛學林

火器致斃總麻表弟情殊兇慘法無可寬是以勾決

一起絞婦申氏

因姦致夫被謀殺事後復隨姦夫逃走淫惡難寬是以勾決

一起斬犯張聞名

假差嚇詐拷打斃命法無可寬是以勾決

光緒十四年陝西省秋審服制情實共二起人

犯二名內除舊事服制情實王連潰一起一名

業於上年

免勾時開列榜示外謹將新事服制情實馬文有

一起一名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯馬文有

與胞兄馬崑禮無嫌該犯素患瘋病時發時愈嗣

該犯瘋病復發持刀在院跳舞馬崑禮由外回歸

瞥見攔向奪刀該犯用刀砍傷其腦後連偏右割

傷項頸倒地越五日殞命該犯到案驗係瘋迷覆

審供吐明晰砍由瘋發無知尚非有心干犯情稍

可原是以未勾

光緒十四年陝西省秋審常犯情實共十七起

人犯十九名內除舊事常犯情實甘在寅一起

一名業於上年

免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實馬添茂等

十六起十八名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯馬添茂

回民行竊拒捕鎗斃巡役法無可寬是以勾決

一起絞犯柴自有

因欲變賣祭田被胞弟斥阻逞忿故殺其命理曲

情條法無可寬是以勾決

一起斬犯康先材即康老三

賭匪逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯門風海即門老八

糾夥持械搶奪拒傷事主二人情殊兇暴法無可

寬是以勾決

一起斬犯王鼠虎
絞犯薛西林

王鼠虎姦匪挾恨謀斃本夫符西林聽從下手加功均法無可寬是以俱勾決

一起斬犯南小許

逞忿故殺例實惟死者先將犯父毆傷成廢復捏傷登門訛詐與棍徒擾害無異稍有可原是以未勾

一起絞犯黃狗娃

謀殺父子一家四命該犯等各聽從謀斃一命下手加功均法無可寬是以俱勾決

一起斬犯師盛得

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯傅二情

強姦幼女已成淫惡難寬是以勾決

一起絞犯余老公

貪賄聽從姦匪謀斃本夫下手加功法無可寬是以勾決

一起絞犯李青山

解審絞犯中途脫逃被獲藐法難寬是以勾決

一起斬犯羅通深

犯罪被獲自行糾眾打奪已至十人以上藐法難

寬是以勾決

一起斬犯破提伴的

番民挾恨謀命法無可寬是以勾決

一起斬犯馮一不拉

回民行竊臨時盜所獲賊拒捕刃傷事主法無可寬是以勾決

一起絞犯王葛慶

致斃近七妻祖母鐵器傷重並毆傷妻父致令氣忿自盡情傷均重法無可寬是以勾決

一起絞犯周鈺梁

刃傷要害奇重法無可寬是以勾決

918 軍機大臣 字寄

廣州將軍繼 副都統興 伊 光緒十四年

九月十九日奉

上諭有人奏近來廣東旗營兵丁刁風日甚動亂滋事不服管束等語駐防旗營本為鎮守地方如果玩視營規不知安分守法尚復成何事體著

繼格等振刷精神嚴加整頓於一切營務秉公辦理遇有兵丁滋事立即從嚴懲辦不准稍涉寬縱務期營規嚴肅以靖地方該將軍等統轄全營責任綦重毋得日久因循致負委任將此各諭令知之欽此遵
旨寄信前來

919 蒙

發下摺報已奉

硃批十件其餘應請

批示清漢摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年九月十九日奉
旨依議欽此

920 奉

旨唐伍什係火器殺人例實惟係救親事在危急著免勾餘均照所擬欽此

九月初八日同四川等省黃冊遞上

十九日

發下由 堂交內閣

921 奉

旨唐伍什係火器殺人例實著于勾餘均照所擬欽此

九月初八日同四川等省黃冊遞上

十九日

撕破

發下歸卷

922 光緒十四年四川省秋審服制情實共十五起

人犯十五名內除舊事服制情實苟濛照等九

起九名業於上年

免勾時開列榜示外謹將新事服制情實王幗怔等

六起六名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯王恇怔

因胞兄王恇至素不務正時將伊父王恇菑衣物竊賣嗣王恇至復竊取王恇菑衣服跑走王恇菑瞥見奪回衣包揪住王恇至毆打王恇至拔刀欲圖割解跑逃致劃傷王恇菑左手指該犯攏勸王恇至用刀戳傷伊左腿王恇菑奪刀戳傷王恇至左肩甲王恇至回奪王恇菑將刀遞給該犯自將王恇至兩手捏住稱欲捆送王恇至不服頂撞並向碰頭拚命王恇菑氣忿憶及王恇至屢次行竊忤逆不孝喝令該犯代戳該犯跪地求饒王恇菑不依聲稱如不代戳即自尋死將頭向門枋亂碰該犯被逼無奈用刀嚇戳適傷王恇至左脇倒地移時殞命死者罪犯應死戳由迫於父命尚非無故逞忿干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯歐陽稜沅

與胞兄歐陽稜險無嫌嗣該犯夜間聽聞堂房樓

梯上有脚步行走聲响疑係竊賊趕攏梯邊用木

棒向毆其人聲喊坐在梯上該犯聽係歐陽稜險

聲音上前扶住喊同兄妻點燈攏視見歐陽稜險

右膝肋已被毆傷查問歐陽稜險稱係因腹痛思

欲出恭上樓取紙致被該犯疑賊誤傷屬實越三

十二日殞命傷由疑賊誤毆尚非有心干犯情稍

可原是以未勾

一起斬犯康升滌

侍父康世蕪孝順康世蕪素患瘋病時發時愈嗣康世蕪瘋病復發脫去衣褲赤身將該犯之母李氏抓住亂毆李氏喊叫該犯持削尖竹片攏看見康世蕪將李氏揪按急忙攙扶不期康世蕪身重勢猛誤碰在竹片尖上致戳傷右肩甲該犯將康世蕪拉開穿好衣褲詎康世蕪因脫衣受寒週身發熱醫治罔效越十三日因病身死傷由自行誤碰並非有心干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯盧潮菁

與小功叔盧仔靜無嫌該犯在地內看守高粱夜間聽聞犬吠知係有賊攜刀出捕黑暗中見一賊

人正在竊取高梁因未經看清面貌用刀嚇截其人聲喊倒地該犯聽係盧仔靜聲音當即住手喊同鄰人點燈攏看見盧仔靜左膀已被戳傷逾時殞命傷由捕賊誤戳尚非有心干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯李任潰

與胞兄李任沅無嫌該犯夜間聽聞犬吠知係有賊開門出捕黑暗中見一人影用石向擲其人聲喊倒地該犯聽係李任沅聲音喊同伊兄妻並伊母點燈查看見李任沅臍肚已被擲傷越四日殞命傷由疑賊誤擲尚非有心干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯藍映奎

與胞兄藍映相無嫌該犯素患瘋病時發時愈嗣該犯瘋病復發執刀跳舞藍映相瞥見攏奪該犯用刀亂戳致傷其右肋右後肋倒地逾時殞命該犯到案驗係瘋迷覆審供吐明晰砍由瘋發無知尚非有心干犯情稍可原是以未勾

光緒十四年四川省秋審常犯情實共五十起人犯五十名口內除舊事常犯情實周長疴等三起三名業於八年並十二年免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實邱雙沅等四十七起四十七名口

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯邱雙沅

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯蔣亦耗

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯唐老五即唐幗椿

竊盜拒斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯蔡導著即蔡新帽頂

刁徒平空詭詐主使拷打致斃無辜法無可寬是以勾決

以勾決

一起斬犯陳睜仔

竊匪逞忿故殺竊匪法無可寬是以勾決

一起斬犯周馬兒即周叫化

丐匪逞忿故殺幼孩法無可寬是以勾決

一起斬犯李七娃

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯王掌娃

火器殺人法無可寬是以勾決

一起斬犯李老十即李漢椿

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯楊二娃

竊匪故殺幼女滅口法無可寬是以勾決

一起斬犯管五

逞忿故殺婦女法無可寬是以勾決

一起斬犯尹石灰

竊匪拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯唐伍什

火器殺人例實惟係救親事在危急稍有可原是以未勾

以未勾

一起斬犯戴紅幪

姦匪妬姦故殺姦匪淫兇難寬是以勾決

一起斬犯李老佺

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯任酉蠻

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起絞犯丁舜

假差嚇詐致斃無辜法無可寬是以勾決

一起絞犯冉東詳

貪賄聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起絞犯順燈棚

刃斃婦女要害傷重法無可寬是以勾決

一起斬犯王麻仔

竊盜臨時盜所拒捕刃傷事主復另傷事主之妻

法無可寬是以勾決

一起斬犯盧潮銀

姦匪拒捕刃斃捕人二命淫兇難寬是以勾決

一起斬犯陳遇才

火器誤殺旁人法無可寬是以勾決

一起斬犯蔡麻仔

挾恨謀命法無可寬是以勾決

一起斬犯石萬懶

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯陳煥發

假差嚇詐誣竊拷打致斃無辜法無可寬是以勾決

一起斬犯濟木匠即濟萬菱

姦匪逞忿故殺姦匪淫兇難寬是以勾決

一起斬犯鄭庚

逞忿故殺婦女法無可寬是以勾決

一起斬犯郭代柄

謀斃年幼患病弟妻向人圖賴情殊慘忍法無可寬是以勾決

寬是以勾決

一起斬犯曹雙變即曹占澗

假差誣竊拷打致斃無辜婦女法無可寬是以勾決

一起斬犯羅娃

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯羅滿娃

姦匪拒捕刃斃捕人淫兇難寬是以勾決

一起斬犯殷喬叫

調姦未成刃斃本夫淫兇難寬是以勾決

一起絞犯楊憤發

假差嚇詐逼斃無辜法無可寬是以勾決

一起斬犯辜老當

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯陳六葆

竊匪拒捕刃斃捕人法無可寬是以勾決

一起斬犯林荃葆

竊盜護影拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯譚寅椿

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯張三兒

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起絞犯周仕蒿

連斃應抵二命法無可寬是以勾決

一起斬犯李老二即劉海蠻

竊盜護影拒捕刃斃事主復另傷事主雇工法無可寬是以勾決

可寬是以勾決

一起斬犯譚家銀

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起絞犯楊添憤即楊有漢

添棟站立不穩撲跌倒地被石塊墊傷胸膈次日
殞命傷由跌墊死出不虞尚非有心干犯情稍可
原是以未勾

一起絞犯譚怔怔

因小功兄譚甚生欲借用宗祠公管祭費餘銀該
犯不允譚甚生斥罵小器該犯分辯譚甚生用木
担撲戳該犯站立牆邊無可退讓接担求饒譚甚
生用力拉奪該犯鬆手不期譚甚生奪回勢猛致
担尾回戳適傷其石乳倒地越三十三日殞命傷
由奪担自戳死在正餘限外情稍可原是以未勾

光緒十四年湖廣省秋審常犯情實共二十三
起人犯二十八名內除舊事常犯情實梁潮受
等二起二名業於十二年並上年

免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實蘇連三即
蘇其沅等二十一一起二十六名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯蘇連三即蘇其沅

因姦謀斃縱姦本夫淫兇難寬是以勾決

一起絞犯周大椿

貪賄聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起斬犯楊照汶

因姦謀斃縱姦本夫淫兇難寬是以勾決

一起絞犯張發萌

貪賄聽從姦夫謀斃本夫下手加功法無可寬是
以勾決

一起斬犯馮招得

姦匪拒捕刃斃本夫淫兇難寬是以勾決

一起絞犯向老有

絞犯越獄脫逃被獲斃法難寬是以勾決

一起斬犯覃甚坦

火器轟斃總兄法無可寬是以勾決

一起斬犯羅神苟

火器致斃幼孩法無可寬是以勾決

一起斬犯楊老三

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起絞犯向悞庭即向瞎仔

挾嫌聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起絞犯郭癩仔

姦匪刃斃幼孩復另傷姦婦淫兇難寬是以勾決

一起斬犯李秀偶

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯宋大言

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯黃婪仔

竊盜拒捕刃斃事主復另傷其妻法無可寬是以

勾決

一起絞犯

致斃彼造九命該犯等各下手致斃一命均法無

可寬是以俱勾決

一起斬犯席克勤

逞忿故殺弟妻法無可寬是以勾決

一起絞犯吳二

竊盜拒捕刃斃事主該犯幫毆刃傷法無可寬是

以勾決

一起絞犯楊淙詞

致斃彼造堂叔姪一家二命該犯致斃一命金刃

傷重法無可寬是以勾決

一起絞犯羅在汝

姦匪續姦不遂刃斃姦婦淫兇難寬是以勾決

一起絞犯黃楚訓

刃傷要害奇重法無可寬是以勾決

一起絞犯蔣仕椿

致斃彼造父子一家二命該犯刃斃護子逾七老

人情傷均重法無可寬是以勾決

923 光緒十四年九月二十日內閣奉

上諭江蘇蘇松糧儲道負缺著景星補授欽此

奏

924 查江蘇蘇松糧儲道係銜繁疲要缺謹

925 光緒十四年九月二十日內閣奉

上諭豐紳奏副都統年老患病懇請開缺一摺江甯

副都統姚田著准其開缺回旗欽此

刁徒誣竊訛詐被詐之人自盡法無可寬是以勾決

一起絞犯吳受娃即瞎仔

挾嫌聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起斬婦張未僕

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯趙開煌

逞忿故殺復另傷一人法無可寬是以勾決

一起絞犯劉萇娃

因借貸不遂刃斃人命傷多且重法無可寬是以勾決

勾決

一起絞犯馮碑娃

糾夥跟踪行竊統計賊數已逾五百兩法無可寬

是以勾決

光緒十四年湖廣省秋審服制情實共十一起

人犯十一名口內除舊事服制情實范氏等三

起三名口業於上年

免勾時開列榜示外謹將新事服制情實鮑作銀等

八起八名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯鮑作銀

與胞兄鮑作荃分居無嫌嗣該犯之母王氏在門外晒穀鮑作荃路過踐踏王氏斥罵鮑作荃頂撞王氏扭住鮑作荃欲毆鮑作荃將王氏推倒拔刀拚命王氏喊救該犯聞聲攏勸接刀過手將王氏扶起王氏哭罵鮑作荃舉拳復向王氏撲毆該犯恐母受傷情急用刀抵格不期鮑作荃撲攏勢猛該犯收手不及致刀尖戳傷鮑作荃右肋倒地逾時殞命死者罪犯應死傷由救母情切尚非無故逞兇干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯劉懷立

因大功兄劉經澆地畝在伊母戴氏膳田之下向借戴氏塘水灌蔭嗣戴氏因田內需水同該犯往將塘口堵塞劉經澆瞥見斥阻戴氏不服致相爭鬧劉經澆將戴氏推倒該犯攏勸劉經澆斥護舉鋤向毆該犯跑避劉經澆追至塘邊回鋤背向毆該犯無可退避情急用手抵格不期將鋤口格轉適傷其顛門連頂心骨微損倒地越四十三日抽

風殞命傷由被毆抵格尚非有心干犯情稍可原
是以未勾

一起斬犯蔣恕詳

與胞兄蔣茂詳分居無嫌該犯將牛擱賣與蔣茂
詳欠錢未給嗣該犯向蔣茂詳催索蔣茂詳斥逼
該犯分辯蔣茂詳氣忿用刀砍傷伊偏左跌倒地
上該犯負痛哭喊蔣茂詳用刀背毆傷伊右脚面
該犯站立不起無處躲避情急舉左脚搪格不期
將刀格回刀口向上適傷其左肋倒地逾時殞命
傷由被毆搪格尚非有心干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯陽維圭

因小功兄陽維球向族人索欠口角該犯同父陽
運應走至陽運應斥說陽維球不應追逼致相爭
鬧陽維球拾刀向砍該犯攔勸陽維球斥護向毆
該犯跑避陽維球尾追該犯跑至牆邊跪地求饒
陽維球用刀背亂毆該犯情急舉手搪格不期將
刀格轉刀尖向上適傷其左乳倒地越二十日殞
命傷由被毆抵格尚非有心干犯情稍可原是以
未勾

一起斬犯蔣遠勸

與期親叔母伍氏閑談該犯聲言伍氏出嫁之女
不守婦道伍氏斥說多管該犯分辯致相爭鬧伍
氏撞頭拚命該犯跑走伍氏頭觸門上磕傷頂心
愈加氣忿取木凳追毆該犯跑至牆角無可退避
轉身求饒伍氏舉凳亂毆該犯情急用手搪格不
期凳脚向內致被格回適傷其心坎倒地越三日
殞命傷由被毆抵格尚非有心干犯情稍可原是以
未勾

一起絞犯蔣鈺常

因小功叔蔣遠培家牛隻嚼食伊屋簷稻草該犯
瞥見不知係蔣遠培牛隻當即喊罵驅逐蔣遠培
踵至聞罵不依攜木担撲毆該犯逃避蔣遠培尾
追該犯跑至山凹無可退讓蔣遠培舉担亂毆該
犯情急用手搪格不期將担格回適傷其頂心越
一百十四日抽風殞命傷由搪格死在正餘限外
情稍可原是以未勾

一起斬犯李東仔

因向小功叔李添葆索欠李添葆斥逼該犯分辯
李添葆扭住伊衣於拳毆該犯情急掙脫跑走李

926 光緒十四年九月二十日奉

旨著仍照原擬給獎片併發欽此

光緒十四年九月二十日奉
吏部奏以禮部督奏勅學各員請獎摺並督辦勸學各員請獎摺片

927 光緒十四年九月二十日奉

旨著不准抵銷欽此

吏部奏議處署伊塔道陳善修二級留任可否抵銷摺

928 光緒十四年九月二十日奉

旨著取中九名欽此

禮部奏編修鄉試中額請 欽定摺

929 交吏部本日引

見吉林助教一缺擬陪之無品級筆帖式全琳奉

旨著記名欽此相應傳知

貴部欽遵可也此交

九月二十日

硃○

930 交鑲白旗滿洲本日引

見補放密雲協領一缺擬陪之佐領穆騰額奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此文

九月二十日

931 前雲南迪東道崇繕

旨著以道員選用

932 前雲南迪東道崇繕

旨著以知府選用

933 蒙

發下摺報已奉

硃批十七件其餘應請

批示漢字摺一件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單九件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年九月二十日奉

旨依議欽此

934 慶裕等摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批摺件一併

發下欽遵辦理謹

奏

935 奉

旨邵七妮陳銀拾仔均係語言調戲致本婦羞忿自
盡例實惟尚無手足勾引重情俱著免勾餘均照
所擬欽此

九月十二日同浙江等省黃冊

見函帶上二十日
發下由 堂交內閣

936 奉

旨邵七妮陳銀拾仔均係語言調戲致本婦羞忿自
盡例實俱著子勾餘均照所擬欽此

九月十三日同浙江等省黃冊

見函帶上二十日

摺款

發下歸稿

937 光緒十四年浙江省秋審常犯情實九起人犯

共十二名口內除舊事常犯情實言氏一起一

口業於八年

免勾時開列榜示外謹將新事情實周今潮等八起

十一名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞犯周今潮

竊盜得贓已逾五百兩法無可寬是以勾決

一起斬犯吳利角

挾恨謀命法無可寬是以勾決

一起斬犯郭今受

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯方四梅

聽從謀殺一家二命該犯下手加功致斃一命法無可寬是以勾決

聽從聚眾共毆致斃彼造十六命房偉壯火器致斃一命復刃斃一命王繼佑蔣泳三各刃斃一命應押三致斃一命復刃斃傷四人均法無可寬是以俱勾決

一起斬犯張時做

致斃徒手總兄全刀傷多法無可寬是以勾決

一起絞犯崔來巖

圖財搶賣孀居堂姨表姊致令忿迫自盡法無可寬是以勾決

一起絞犯李押標

致斃彼造三命內有兄弟一家二命該犯刃斃一

命情傷均重法無可寬是以勾決

光緒十四年江西省秋審服制情實一起人犯一名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯李幅有

因小功兄李幅吉在伊家魚塘挑水該犯之父李

達瑞同姪李幅高赴塘看魚瞥見因恐將水挑完

魚不能養上前阻止李幅吉不服斥罵李幅高分

辯致相爭鬧李幅吉用刀向砍李幅高奪刀劃傷

其右乳棄刀逃跑李幅吉追趕李達瑞攔勸李幅

吉斥護扭住李達瑞胸衣推靠牆邊用手捺住咽

喉聲言要將李達瑞搥死該犯路過斃見拉勸李

幅吉仍不釋放該犯見父被搥氣閉情切救護拾

刀戳傷其心坎劃傷左乳倒地移時殞命戮由救

父情切尚非無故逞兇干犯情稍可原是以未勾

光緒十四年江西省秋審常犯情實共十起人

犯二十二名口內除舊事常犯情實周氏一起

一口業於八年

免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實余秋憮即

蕞矮仔等九起二十一名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起新犯余秋憮即蕞矮仔
絞犯朱增信即有寬

致斃彼造五命余秋憮即蕞矮仔朱蒂沅各火器

轟斃一命余日漬朱增信即有寬各下手刃斃一

命均法無可寬是以俱勾決

一起絞犯

致斃彼造二十餘命該犯等各下手致斃一命情

近械鬪均法無可是以俱勾決

一起斬犯朱茂仔

因姦聽從姦婦謀斃縱姦本夫淫兇難寬是以勾決

一起斬犯王滌得即合首

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯鄧蕃淋

挾嫌謀命圖詐法無可寬是以勾決

一起絞犯熊科青

貪賄聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起斬犯張生憾

姦匪逞忿故殺縱姦本夫淫兇難寬是以勾決

一起絞犯陳隨信

竊盜臨時盜所拒捕致斃事主一家二命內一命

該犯幫毆刃傷情殊兇暴法無可寬是以勾決

一起絞犯劉占得

致斃彼造三命內有弟兄一家二命該犯下手刃

斃一命情傷俱重法無可寬是以勾決

光緒十四年安徽省秋審常犯情實共十一起

人犯十四名口內除舊事常犯情實曾咬即曾

繼杜一起一名業於九年

免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實李長蕾等

十起十三名口

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯李長蕾

因姦聽從姦婦謀殺本夫淫兇難寬是以勾決

一起斬犯吳其淋

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯李家生
絞婦張氏

因姦謀命李家生造意張氏聽從加功均淫兇難寬是以俱勾決

一起斬犯楊汰眼

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯王得潰即王鰲又名小王

因姦謀殺縱姦本夫淫兇難寬是以勾決

一起斬犯尹得紹

因姦聽從姦婦謀殺本夫淫兇難寬是以勾決

一起絞犯張四
張球即楊心法

聽從夥搶婦女雖素室架拉惟首犯拒捕殺人情節較重均法無可寬是以俱勾決

一起斬犯王妮即王鈺科

逞忿故殺幼孩法無可寬是以勾決

一起斬犯龐占沅即吳澗沅

聽從行劫入室擄贓業因供獲夥盜免其立法

難再寬是以勾決

一起絞犯魏稀典

先犯關殺擬絞減流配逃後復刃斃人命怙惡難

寬是以勾決

光緒十四年江蘇省秋審服制情實卜醬即卜

學古一起人犯一名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯卜醬即卜學古

與胞兄卜學淋無嫌該犯用車拉運豆禾誤將長

兄卜學立場地軋壞卜學立向斥該犯分辯卜學

立之子卜書潤在旁幫斥該犯斥說周顧尊卑卜

書潤不服頂撞該犯氣忿拾鐵槍戳適卜學淋

走至趕攔拉勸該犯收手不及致誤戳傷其左腿

倒地移時殞命傷由誤中死出不虞尚非有心干

犯情稍可原是以未勾

光緒十四年江蘇省秋審常犯情實李灑濛等

二十二起人犯二十三名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞犯李灑濛

聽從夥搶婦女入室幫同架拉事後復行姦污法

無可寬是以勾決

一起絞犯毛四

刁徒誣姦訛詐致被詐之婦女羞忿自盡法無可寬是以勾決

一起絞犯王小坂

聽從夥搶婦女幫同架拉法無可寬是以勾決

一起斬犯朱瀾澤

姦匪因姦謀斃姦匪淫兇難寬是以勾決

一起斬犯李城即李池

姦匪逞忿故殺淫兇難寬是以勾決

一起斬犯陳阿土

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯楊得藤

姦姦謀命法無可寬是以勾決

一起斬犯張澤汶即屠仔薺又名段標

犯罪拒捕刃斃巡勇復另傷一人法無可寬是以

勾決

一起斬犯周銀淮即劉荏清

逼婿退婚將女另嫁復慮被控受虧致死滅口情殊慘忍法無可寬是以勾決

一起絞犯姚廣佑

誘拐室女逼勒姦污法無可寬是以勾決

一起斬犯劉網兒

火器傷人法無可寬是以勾決

一起斬犯張鈺澄

竊盜拒捕刃斃事主復謀殺一命法無可寬是以

勾決

一起斬犯陳四

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯陳銀環

火器誤斃老人法無可寬是以勾決

一起斬犯陳汰源

挾恨謀命法無可寬是以勾決

一起斬犯王三即王海淋

調姦未成致斃本婦滅口法無可寬是以勾決

一起絞犯黃益餘

聽從發塚開棺見屍俱幫同下手均法無可寬是

以俱勾決

一起斬犯楊克誌

造意謀命法無可寬是以勾決

一起絞犯宋東禾

聽從搶奪婦女幫同持械嚇唬且案關首犯拒捕
殺人情節較重法無可寬是以勾決

一起絞犯陳百均

聽從夥搶婦女雖未入室架拉惟案關火器拒傷事
主並將財物攫取情節較重法無可寬是以勾決

一起絞犯黃槩泉即黃汰隴

賭匪共毆致斃賭匪金刀傷多且重法無可寬是
以勾決

一起絞犯王居繕

聽糾斃命金刀致命穿透傷重法無可寬是以勾決

光緒十四年河南省秋審常犯情實共十六起

人犯十六名口內除舊事常犯情實楚氏一起

一口業於七年

免勾時間列榜示外謹將新事常犯情實丁旺等十

五起十五名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞犯丁旺

刃傷要害奇重情兇近故法無可寬是以勾決

一起絞犯呂大志

挾嫌聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起斬犯李汶沈即李懌郎

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯楊泳深

姦匪聽從謀命下手加功淫兇難寬是以勾決

一起絞犯邵七妮

語言調戲致本婦羞忿自盡尚無手足勾引重情

稍有可原是以未勾

一起斬犯孟益哉

因向大功兄妻續姦不遂逞忿故殺其命淫兇難

寬是以勾決

一起絞犯薛葆即薛懌中

語言調戲致本婦羞忿自盡逃後復犯聽從聚眾

持械搶奪得贓怙惡難寬是以勾決

一起絞犯張戊辰

因逼令未婚妻賣姦不從聽從謀斃其命下手加功法無可寬是以勾決

一起斬犯王小

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯鐵爭越

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯范雙集即李娃

圖財謀命傷人未死業已得財法無可寬是以勾決

一起斬犯張汝冲

挾嫌謀斃小功兄妻法無可寬是以勾決

一起絞犯席幅沅

竊盜拒捕刃傷事主情殊兇暴法無可寬是以勾決

一起絞犯徐幅沅

聽從夥搶婦女雖未入室架拉惟紫闌夥犯拒捕

殺人情節較重法無可寬是以勾決

一起絞犯鄭葆汰

聽從夥搶婦女二人雖未入室架拉惟案關首犯拒

捕殺人情節較重法無可寬是以勾決

光緒十四年山西省秋審常犯情實共十六起

人犯十六名內除舊事常犯情實劉暮陽等二

起二名業於五年並下三年

免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實高雙兒即

閻雙兒等十四起十四名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯高雙兒即閻雙兒

因姦謀斃縱姦本夫淫兇難寬是以勾決

一起絞犯曹汝

聽從搶奪拒殺事主該犯幫毆刃傷情殊兇暴法

無可寬是以勾決

一起斬犯王四板仔

逞忿故殺幼孩法無可寬是以勾決

一起絞犯鄭悟忍

圖產謀殺胞弟情殊慘忍法無可寬是以勾決

一起絞犯陳銀捨仔

語言調戲致本婦羞忿自盡尚無手足勾引重情

稍有可原是以未勾

一起絞犯張套仔

先犯關殺擬絞減流配逃後復致斃人命怙惡不

悛法無可寬是以勾決

一起斬犯白爭綉

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯劉二娃

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯李自沅

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯李禧城

盡殺詐賊致被詐之人自盡藐法難寬是以勾決

一起斬犯馬二毛驢

逞忿故殺復另斃一命法無可寬是以勾決

一起絞犯劉扣小仔

刃斃人命傷多且重法無可寬是以勾決

一起絞犯姚雙應仔

巧匪斃命事後復將衣物攜走情近圖財拒捕法

無可寬是以勾決

一起絞犯劉二銀仔

疑姦故殺並無大過之妻情殊殘忍法無可寬是
以勾決

938 軍機大臣 字寄

兩江總督一等威毅伯曾 光緒十四年九月

二十一日奉

上諭曾國荃奏災區待賑甚亟前請截留江蘇漕米
十萬石仰懇恩諭一併留作賑需等語前據倉場
衙門奏請飭各省遇有賑撫不得遽請截漕經戶
部議奏嗣後除特恩撥給米石外不准率請截留
以重倉儲已依議行京倉關繫緊要俸餉等項全
賴南漕支放前因該督奏稱江蘇安徽被災甚重
朝廷軫念民艱是以特降恩諭准其截留江河北
運漕米藉資賑濟已屬格外恩施前降諭旨指明
江北並無蘇漕字樣何得意為揣測謂括於江
北之內殊屬非是所請將蘇漕十萬石一併留辦之
處著毋庸議將此由四百里諭令知之欽此道
旨寄信前來

939 蒙

發下摺件已奉

硃批十六件其餘應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年九月二十一日奉

旨依議欽此

940 蒙

發下吏部題漢少詹事缺開列請

簡本擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年九月二十二日奉

旨依議欽此

941 蒙

發下摺報已奉

硃批二十七件其餘應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片二件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年九月二十三日奉

旨依議欽此

942 光緒十四年九月二十四日內閣奉

上諭廣東瓊州鎮總兵員缺著姜桂題補授欽此

943 查廣東瓊州鎮總兵係水師缺謹
奏

944 蒙

發下摺報已奉

硃批二十六件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年九月二十四日奉

旨依議欽此

945 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

九月二十四日

946 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年九月二十五日奉

旨依議欽此

947 據禮部知照本月二十六日順天鄉試覆試應請
欽命四書題一道詩題一道於二十六日清晨
發下交監試王大臣傳示謹
奏

948 光緒五年順天鄉試四書題詩題

子貢曰如有博施於民而能濟眾何如可謂仁

乎子曰何事於仁必也聖乎

德為聖人尊為天子富有四海之內

孔子聖之時者也

賦得郊原遠帶新晴色

得晴字五言八韻

光緒八年順天鄉試四書題詩題

子曰雍之言然

日省月試既稟稱事所以勸百工也

伯夷聖之清者也伊尹聖之任者也柳下惠聖

之和者也

賦得松風含古姿

得松字五言八韻

光緒十一年順天鄉試四書題詩題

寔能容之以能保我子孫黎民尚亦有利哉

子華使於齊冉子為其母請粟子曰與之釜請
益曰與之庾冉子與之粟五秉子曰赤之適
齊也乘肥馬衣輕裘吾聞之也君子周急不
繼富原思為之宰與之粟九百辭子曰毋以
與爾鄰里鄉黨乎

孔子嘗為委吏矣曰會計當而已矣嘗為乘田
矣曰牛羊茁壯長而已矣

賦得盡放冰輪萬丈光

得光字五言八韻

光緒十四年順天鄉試四書題詩題

是以大學始教必使學者即凡天下之物莫不

因其已知之理而益窮之以求至乎其極

齊一變至於魯魯一變至於道

始條理者智之事也終條理者聖之事也

賦得楊柳讀書堂

得書字五言八韻

949 光緒五年順天鄉試中式舉人覆試四書題詩題

宰我子貢善為說辭

賦得播厥百穀

得函字五言八韻

光緒六年順天等省舉人補行覆試四書題詩題

里仁為美

賦得昨日山水遊 得遊字五言八韻

光緒八年順天鄉試中式舉人履試四書題詩題

君子懷德

賦得窗中雲嶺寬 得中字五言八韻

光緒九年順天等省舉人補行履試四書題詩題

惟仁者為能以大事小

賦得月傍九霄多 得多字五言八韻

光緒十一年順天鄉試中式舉人履試四書題詩題

王天下有三重焉其寡過矣乎

賦得校理秘文 得文字五言八韻

光緒十二年順天等省舉人補行履試四書題詩題

故有物必有則

賦得晨色奏景風 得晨字五言八韻

950 光緒十四年九月二十六日內閣奉

上諭漕運總督著李瀚章補授未到任以前著徐文

達暫行護理欽此

951 光緒十四年九月二十六日內閣奉

上諭劉銘傳奏官軍攻克番社迭次獲勝請將出力

人負獎勵一摺福建臺灣南廳呂家望社叛番

勾結大莊等處番匪膽敢抗拒官軍傷斃弁勇並

圍攻廳治實屬腎不畏法經劉銘傳檄飭將弁分

路攻擊復調派輪船運兵協勦當將呂家望番社

攻克殲斃兇番數百名並將大莊等處番匪先後

擊散斬馘甚多辦理尚為得手在事出力人負自

應量予獎勵總兵丁汝昌吳宏洛均著賞加頭品

頂戴萬國本張兆連均著以提督記名簡放張兆

連並賞給勝勇巴圖魯名號提督李定明著賞穿

黃馬褂副將鄧世昌著以總兵記名簡放並加提

督銜遊擊葉祖圭著以參將儘先補用並加副將

銜副將李萬有著以總兵記名簡放參將龍斌槩

等均著以副將儘先補用並加總兵銜都司林文

和著免補遊擊以參將在任候補並加副將銜劉

思盛等均著以遊擊儘先補用並加副將銜縣丞

孫溼著免選本班以知縣不論雙單月前先選用

外委畢寶印著免補千總把總以守備儘先補用

已革副將鄧炳南著開復原官其餘出力各員弁並著彙案覈實請獎毋許冒濫陣亡將弁勇丁准其查明請卹仍著該撫督飭各軍將大莊各社分別勦撫以靖地方餘著照所議辦理該部知道欽此

952 光緒十四年九月二十六日內閣奉

上諭劉銘傳奏特參貽誤要公各員請旨懲辦一摺福建臺灣署嘉義縣知縣試用知府羅建祥勘丈田畝朦混欺飾並膜視民命廢弛公事著即行革職聽候查辦代理鳳山縣知縣候補通判吳元韜承辦清丈敷衍粉飾著暫行革職仍責令隨同勘丈以觀後效該二員均有虛糜經費情事著分別勒令賠繳毋任延欠餘著照所議辦理該部知道欽此

953 光緒十四年九月二十六日內閣奉

上諭劉銘傳奏參代理同知昏貪貽誤等語代理埤南同知福建候補布庫大使陳燦不恤番情挪用口糧並有擅離職守苛派學費情事實屬昏庸貪

鄙陳燦著即行革職聽候查辦該部知道欽此

954 光緒十四年九月二十六日內閣奉

上諭漕運總督盧士杰由翰林御史簡放外任洵升漕運總督克勤厥職茲聞溘逝軫惜殊深加恩著照漕運總督例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

955 光緒六年六月十三日內閣奉

上諭漕運總督文彬老成練達才識優長由部員洵升漕督於治河挽漕籌防辦賑諸事宜宣力有年正資倚畀遽聞溘逝軫惜殊深文彬著加恩追贈太子少保銜照漕運總督例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏其靈柩回旗時著沿途地方官妥為照料伊長子延煜著俟百日孝滿後由該旗帶領引見用示篤念蓋臣至意欽此

956 光緒八年八月初九日內閣奉

上諭卡賓第奏在籍大貧病故代遞遺摺並將事實開單呈覽一摺原任江蘇巡撫黎培敬前在貴州藩司巡撫任內籌兵籌餉克復城池平定苗匪著有勞勩歷任四川臬司漕運總督亦均克稱厥職前因患病開缺調理茲聞溢逝軫惜殊深黎培敬著加恩照巡撫例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏並著將該故員生平事實宣付國史館以彰政蹟單併發欽此

957 光緒十四年九月初六日內閣奉

上諭陝西巡撫葉伯英由道員洊擢封圻簡任以來克勤厥職茲聞溢逝軫惜殊深加恩著照巡撫例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

958 蒙

發下摺報已奉
硃批三件其餘應請

批示漢字摺一件繕擬批條呈進恭候
欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年九月二十六日奉

旨依議欽此

959 吳大澂片一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批摺件一併

發下欽遵辦理謹

奏

960 查覆試順天鄉試舉人應請

簡派閱卷大臣謹繕名單進

呈伏候

欽點於二十七日清晨

發下傳集各貢聽候宣

旨再查上屆順天鄉試覆試閱卷大臣欽奉

派出八人謹

奏

961

張之萬

徐桐

烏拉喜崇阿

麟書

潘祖蔭

紹祺

松森

孫詒經

徐邨

廖壽恆

962

直隸布政使松椿 滿洲正藍旗人
光緒十四年三月補

江蘇布政使黃彭年 滿洲正藍旗人
光緒十四年七月補

江甯布政使許振禕 滿洲正藍旗人
光緒十四年六月補

安徽布政使阿克達春 滿洲正藍旗人
光緒十二年八月補

山東布政使王毓藻 湖廣人
光緒十四年四月補

山西布政使豫山 滿洲正藍旗人
光緒十四年五月補

河南布政使劉瑞祺 江西人
光緒十二年八月補

陝西布政使陶模 浙江人
光緒十四年二月補

甘肅布政使譚繼洵 湖南人
光緒十四年十月補

甘肅新疆布政使魏光燾 湖南人
光緒九年三月補
甘肅藩司副調補

浙江布政使許應鏞 廣東人
光緒十年十月補

福建布政使張夢元 直隸人
光緒九年九月補
廣西藩司副調補

福建臺灣布政使邵友濂 浙江人
光緒十二年二月補

江西布政使蕭韶 湖南人
光緒十四年三月補

湖北布政使蒯德標 安徽人
光緒九年正月補

湖南布政使孫翼謀 福建人
光緒十二年五月補

廣東布政使高崇基 直隸人
光緒十年三月補
福建藩司副調補

廣西布政使馬丕瑤 河南人
光緒十三年八月補

四川布政使崧蕃 滿洲正藍旗人
光緒十二年八月補

雲南布政使曾紀鳳

湖南人

光緒十一年六月補貴州藩司嗣調雲南

貴州布政使史念祖

江蘇人

光緒十二年十月補

963 光緒十四年九月二十七日內閣奉

上諭童華奏假期屆滿病尚未痊懇恩開缺一摺童華著賞假一箇月毋庸開缺欽此

964 光緒十四年九月二十七日奉

旨所有朝陽等門外三廠著准其賞給每廠粟米四百石由該衙門咨領散放餘依議欽此

順天府奏朝陽等門外粥廠懇賞米石片

965 光緒十四年九月二十七日奉

旨派潘祖蔭入閣監臨欽此

順天府奏請派武閣監臨摺

966 光緒十四年九月二十七日奉

旨唐仁廉吳育仁施則敬袁遂章鈞均著交部從優議敘其餘出力官紳著該部議奏單片併發欽此

順天府奏批覽龍灣河出力官紳請獎摺片

967

奏蒙

臣張之洞徐桐馬其昌等奏請將潘祖蔭等原奏查核

發下覆試卷共一百一十七本_臣等公同詳閱分別

等第名次擬一等三十二名二等四十八名三

等三十七名均於卷面黏貼黃籤恭呈

御覽伏候

欽定俟

發下後再行拆閱彌封另繕名單謹

奏

968

_臣等查對另頁詩句人名均屬相符並將中式各原卷磨對筆蹟亦屬相符謹

奏

九月二十七日

969 一等三十二名

豫泰

徐仁鑄

查雙綏

唐繼勛
王保奭
葉佩瑤
孫傳亮
郭恩賡
陳昌曇
葛嗣滌
吳聲倅
程祖福
王儀鄭
雷補同
王重慶
張殿士
馬昌榮
曾光岷
蕭端澍
徐廣恩
福懋
彭聚星
李長青

王邛
徐中銓
段陞瀛
張學鴻
陳新佐
宋壽崑
周岸
張允言
袁玉錫
二等四十八名
孫鼎烈
王慶祓
成昌
劉龍霖
孫進
高掄元
吳魯
韓杜
姚炳熊

梅萸 景山 高欽 慶隆 張良弼 余堃 曾鎬 張祖望 傅增湘 榮麟 錢德澂 王澤桐 陳慶榮 羅崇齡 丁中立 許葉芬 馬輔原 湯銘勳 如麟

張煥 廖聖清 周本一 楊士燮 蔭昌 王蘭 溫仲和 春隆 楊世祚 吳丕新 吳筠孫 杜瀛川 牟彥魯 連印 傅世珍 李雲慶 阿瀛 牛桂榮 紹昌

趙錫榕

三等三十七名

馮鼎新

張雷

恩霖

楊世芬

崇興

王景星

文鈞

名鎬

啟泰

何其仁

孫榕

廣麟

王光昭

鄭文治

高凌雲

王以謙

楊肇曾

高聯墀

王光棣

顧英

黎啟瑞

趙鈞

阿聯

良杰

馬純良

劉錫桐

李墨林

恩勳

葉培勳

鳳山

松山

陳其旭

任鳳池

吳毓福

胡惠麟

史恩培

王文臣

970 光緒十四年九月二十八日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨皇帝大婚典禮前經明降懿旨一切遵照會典辦理嗣據禮部單開皇帝大婚前期遣官祭告

天地

太廟後殿

奉先殿禮節請照案前期二日舉行當經查照會典改為前期一日黏籤宣示該部宜如何敬謹遵行以昭慎重乃昨據繕奏清單仍開列大婚前二日祭告殊堪詫異此次該部於具奏典禮摺件漫不經心屢有舛錯均未加究責茲竟於祭告大典籤改日期並不細心照繕律以有心貽誤答復何辭所有禮部堂官及承辦司員均著交部嚴加議處以示懲儆其餘所奏各事宜著依議行欽此

黃而紅稟

971 光緒十四年九月二十八日內閣奉

上諭此次覆試順天鄉試舉人列入一等之豫泰等

三十二名列入二等之孫鼎烈等四十八名列入三等之馮鼎新等三十七名俱著准其一體會試欽此

972 蒙

發下摺報已奉

硃批二十二件其餘應請

批示漢字摺片單二十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年九月二十八日奉

旨依議欽此

973 岑毓英翟鴻機摺各一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

974 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

九月二十八日

975 光緒十四年九月二十九日內閣奉

上諭李鴻章奏永定河漫口大工合龍一摺本年七月間永定河南二工十七號北上汛十二號大隄漫溢成口經李鴻章派委道員金福曾督同員弁挑挖引河築壩進占業據奏報北上汛十二號隄工於七月十一日合龍茲復據奏南二工十七號

大隄已於本月二十三日合龍全河復歸故道辦理尚為妥速在事出力各員自應量予獎敘署永定河道金福曾南岸同知鄭煥均著開復革職留任處分武清縣縣丞張善壯著開復革職留工處分仍以原官歸原班補用署良鄉縣縣丞試用主簿趙福濟著開復頂戴其單開之知府阮士彬等均著照所請獎勵該部知道單併發欽此

976 光緒十四年九月二十九日奉
旨准其支借欽此

理藩院奏科爾沁郡王烏泰呈請支借俸銀摺

977 蒙

發下摺報已奉

硃批十七件其餘應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年九月二十九日奉

旨依議欽此

978 衛榮光摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

979 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年九月三十日奉

旨依議欽此

980 光緒十四年十月初一日內閣奉

上諭慶裕等奏神靈顯應請頒給封號扁額一摺奉

天省城

都城隍廟

關帝廟

龍王神廟並廣甯縣

北鎮醫巫閭山神廟夙著靈應本年入夏以來兩月

不雨七月後大雨連隸河水暴漲經該將軍等率

屬虔禱均邀庇佑農田得獲有秋實深寅感著南

書房翰林恭書扁額一方交慶裕等祇領虔詣

關帝神廟懸挂以答

神庥其所請加

都城隍神

龍王神

北鎮醫巫閭山神封號之處著禮部議奏欽此

981 蒙

發下摺報已奉

硃批十件其餘應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理慶裕等奏請頒

關帝廟扁額並加

城隍等神封號摺擬繕明發

諭旨令南書房翰林書扁給領應加封號令禮部議

奏是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十月初一日奉

旨依議欽此

982 光緒十四年十月初二日內閣奉

上諭江西布政使著方汝翼補授甘肅按察使著唐

樹楠補授欽此

983

直隸布政使松椿

滿洲鑲藍旗人

光緒十一年九月補湖南藩司嗣調直隸

江蘇布政使黃彭年

貴州進士

光緒十二年七月補

江甯布政使許振禕 江西進士 光緒十二年六月補
 安徽布政使阿克達春 滿洲正白旗人 光緒十二年八月補
 山東布政使王毓藻 湖北進士 光緒十四年四月補
 山西布政使孫山 滿洲正黃旗監生 光緒十四年九月補
 河南布政使劉瑞祺 江西進士 光緒十二年七月補
 陝西布政使陶模 浙江進士 光緒十四年三月補
 甘肅布政使譚繼洵 湖南進士 光緒十年十月補
 甘肅新疆布政使魏光燾 湖南人 光緒九年三月補 光緒十四年三月補
 浙江布政使許應鑾 廣東進士 光緒十年十月補
 福建布政使張夢元 直隸舉人 光緒九年九月補 光緒十四年三月補
 福建臺灣布政使邵友濂 浙江舉人 光緒十二年二月補
 江西布政使蕭韶 湖南舉人 光緒四年三月補 現在出缺
 湖北布政使蒯德標 安徽舉人 光緒九年正月補
 湖南布政使孫翼謀 福建進士 光緒十年五月補
 廣東布政使高崇基 直隸進士 光緒五年三月補 光緒十四年三月補 光緒十四年三月補
 廣西布政使馬丕瑤 河南進士 光緒十二年八月補
 四川布政使崧蕃 滿洲正藍旗舉人 光緒十二年九月補
 雲南布政使曾紀鳳 湖南去員 光緒十二年六月補 貴州藩司嗣調雲南
 貴州布政使史念祖 江蘇監生 光緒十三年十月補

硃

984

直隸按察使周馥 安徽監生 光緒五年正月補
 江蘇按察使陳欽銘 福建進士 光緒十四年八月補
 安徽按察使張岳年 浙江舉人 光緒十二年八月補
 山東按察使福潤 蒙古正紅旗副將 光緒十二年八月補 湖南舉人嗣調山東
 山西按察使嵩崑 滿洲正紅旗監生 光緒十二年正月補
 河南按察使賈致恩 山東舉人 光緒十二年正月補
 陝西按察使裕祥 滿洲鑲白旗進士 光緒十四年九月補
 甘肅按察使方汝翼 直隸舉人 光緒十年七月補
 浙江按察使廖壽豐 江蘇進士 光緒十年九月補 貴州舉人嗣調浙江
 福建按察使奎俊 滿洲正白旗人 光緒十四年二月補
 江西按察使瑞璋 滿洲正紅旗人 光緒十年十月補
 湖北按察使成允 正紅旗監生 光緒十二年二月補 山東舉人嗣調湖北
 湖南按察使薛福成 江蘇副貢生 光緒十年九月補
 廣東按察使王之春 湖南人 光緒十四年三月補 浙江舉人嗣調廣東
 廣西按察使張聯桂 江蘇附生 光緒十二年正月補
 四川按察使游智開 湖南舉人 光緒十二年正月補
 雲南按察使鄧華熙 廣東舉人 光緒十二年十月補
 貴州按察使葉永元 廣東附生 光緒十四年四月補

985 光緒十四年十月初二日內閣奉

上諭高燮曾奏保薦教職一摺山西各屬教職經高燮曾悉心查覈擇尤保舉自應量予獎勵蒲州府教授郝登雲著賞加國子監博士銜吉州學正郭世選著賞加五品銜興縣訓導常毓珍長治縣教諭徐清瀾介休縣教諭梁永春鳳臺縣訓導杜子葉河曲縣訓導梁豫均著賞加國子監學正銜該部知道欽此

986 光緒十四年十月初二日內閣奉

上諭本日安徽學正錢桂森謝恩摺件由驛馳遞殊屬非是著交部察議欽此

987 光緒十四年十月初二日內閣奉

上諭御史文郁奏八旗包衣屯居應試文章請飭覈實送考一摺據稱八旗包衣例由佐領管領出具圖結歸京旗應考近來生齒日繁屯居遠在四鄉易滋弊混等語八旗包衣屯居應考自應恪遵例章覈實辦理著總管內務府大臣暨五旗王公於

包衣屯居報考時嚴飭該管官認真詳查冊檔覈對確實方准歸入京旗一體考試以杜弊端欽此

988 光緒十四年十月初二日內閣奉

上諭御史文郁奏近聞直隸安肅縣涿州唐縣地方有冒充王府職官王福泰等隨從多人沿戶催租並私設公案擅用非刑等語奸徒假冒職官騷擾平民大干法紀著李鴻章飭屬確切查明如有冒充等項情事即行嚴拿懲辦欽此

989 光緒十四年十月初二日奉

旨著兼兵部侍郎銜欽此

吏部奏新授候補張照應否兼銜摺

990 光緒十四年十月初二日奉
旨均著准其抵銷欽此

吏部奏遺缺臺官缺奉旨准其抵銷摺

991 光緒十四年十月初二日奉

旨依議欽此

禮部奏天壇禮成崇上徽疏開單請旨摺

992 蒙

發下摺報已奉

硃批十一件其餘應請

批示清漢摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽道辦理其應行請

旨摺片單十二件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十月初二日奉

旨依議欽此

993 譚鍾麟摺楊昌濬升泰摺各一件遵擬批條呈

進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽道辦理謹

奏

十月初二日

994 軍機大臣 字寄

盛京將軍 直隸兩江閩浙湖廣四川兩廣陝甘

雲貴各總督 江蘇安徽江西浙江福建臺灣

湖北湖南河南山東山西陝西甘肅新疆廣東

廣西雲南貴州各巡撫 光緒十四年十月初

三日奉

上諭本年順天直隸各屬窪區積水未消民情困苦

順天賞撥京倉米三萬石直隸賞撥江蘇海運漕

米十萬石並由李鴻章在直隸藩庫添提銀五萬

兩辦理春賑順天房山等處被水加賞盧溝橋粥

廠米石江蘇安徽水旱為灾特諭曾國荃等將本年江北河運米石及水脚運費等款一併截留俾資賑濟順天固安等縣被水奉天鳳凰等廳州縣被水安徽潁州等府被水安慶等府被旱被水江西瑞昌等廳縣被水被旱福建連江等縣被風河南祥符等州縣被水山東臨朐等縣被水陝西咸甯等縣被水被電藍屋等縣被水甘肅皋蘭等廳州縣被電廣東惠州等府被水四會等州縣被水肇慶等府被水廣西融縣被火武宣縣被水蒼梧等州縣被水均經該將軍督撫等查勘撫恤小民諒可不至失所惟念來春青黃不接之時民力未免拮据著傳諭該將軍督撫等體察情形如有應行接濟之處即查明據實覆奏務於封印以前奏到候朕於新正降旨加恩再江西豐城等縣被水浙江富陽等縣被水餘杭等縣被水被旱歸安等縣被風被蟲被旱湖南華容等縣被水安鄉等州縣被水被旱武陵縣被旱陝西醴泉等縣被電甘肅新疆鎮西廳屬被旱被鼠均經該督撫等委員查勘即著迅速辦理並將來春應否接濟之處一

併查明於封印前奏到此外各省有無被災地方應行調劑撫恤之處著該將軍督撫等一併查奏候旨施恩將此各諭令知之欽此遵
旨寄信前來

995 查本年順天直隸各屬灾區疊經

加恩賞撥京倉米石直隸並撥江蘇漕米添提藩庫銀兩江蘇安徽亦經截留江北河運米石及水脚運費等款賑撫其順天奉天安徽江西福建河南山東陝西甘肅廣東廣西被水被旱被風被電被火之處均經各該督撫查勘撫恤明春應否量為接濟且等謹照向例繕寫詢問該督撫等

諭旨俟覆奏到日再行繕寫新正

加恩諭旨呈進再江西浙江湖南陝西甘肅新疆被水被旱被風被蟲被電被鼠之處該督撫等均已奏明查勘應否接濟現俱未經奏到此外各省有無被災地方應行調劑撫恤之處一併詢問該將軍督撫等迅速查奏彙辦謹

奏

光緒十四年十月初三日奉

旨依議欽此

966 光緒十四年十月初三日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨吏部都察院奏遵旨嚴議禮部堂司各官處分一摺此次禮部堂司各官具奏典禮摺件於籤改宣示日期並不照繕經吏部等衙門分別議以降調私罪本屬咎有應得惟念事關慶典量予從寬署禮部尚書紹祺尚書李鴻藻左侍郎敬信徐郁署右侍郎清安右侍郎童華應得降四級調用處分暨承辦司員郎中桂斌員外郎徐家鼎應得降五級調用處分均著加恩改為革職留任李鴻藻原有革職留任處分並著加恩免其革任至尚書奎潤等承辦典禮事件漫不經心屢有舛錯前次單擬祭告日期並不遵奉前旨查照會典辨理已難辭咎不能因其出差却署概免置議尚書奎潤前署尚書祁世長右侍郎續昌均著降四級留任此係格外加恩嗣後該部辦理典禮事宜務當恪遵

諭旨敬謹將事僕再有貽誤決不寬貸懍之欽此

黃面紅裏

997 光緒十四年十月初三日內閣奉

上諭陝西陝安道員缺著呂鐘三補授欽此

998 查陝西陝安道係衝繁疲難要缺謹

奏

999 光緒十四年十月初三日內閣奉

上諭廷楨奏因病懇請開去差使一摺廷楨著准其開去委散秩大臣差使欽此

1000 光緒十四年十月初三日奉

旨這所參疏防監犯越獄之管獄官山東茌平縣典史閻恩方著即革職拏問交張曜提同刑禁人等嚴訊有無鬆刑賄縱情弊按例究辦有獄官茌平縣知縣倉爾爽據奏實係先期公出准其免議仍勒限緝拏逃犯曲二務獲嚴究俟限滿有無弋獲再行覈辦餘著照所議辦理該部知道欽此

1001 蒙

發下摺件已奉

硃批十件其餘應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十月初三日奉

旨依議欽此

1002 光緒十四年十月初四日內閣奉

上諭浙江杭州府知府負缺緊要著該撫於通省知

府內揀負調補所遺負缺著鶴山補授欽此

1003 交鑲紅旗滿洲本日引

見補放河南防禦一缺擬陪之驍騎校倭什納補放

保定府驍騎校一缺擬陪之委驍騎校喀郎額奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十月初四日

1004 交鑲藍旗滿洲本日引

見補放

西陵驍騎校一缺擬陪之領催常存補放吉林防禦一

缺擬陪之雲騎尉倭什布奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十月初四日

1005 蒙

發下摺報已奉

硃批十四件其餘應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十月初四日奉

旨依議欽此

1006 吳大澂摺片四件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

1007 光緒十四年十月初五日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨皇帝寅紹丕基

春秋日富允宜擇賢作配佐理宮闈以協坤儀而輔

君德茲選得副都統桂祥之女葉琳那拉氏端莊賢

淑著立為皇后特諭

黃面紅裏

1008 光緒十四年十月初五日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨原任侍郎長敘

之十五歲女他他喇氏著封為

理 嬪原任侍郎

長敘之十三歲女他他喇氏著封為

珍 嬪欽此

黃面紅裏

1009 蒙

發下摺件已奉

硃批十一件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年十月初六日奉

旨依議欽此

1010 蒙

發下摺報已奉

硃批十三件其餘應請

批示漢字摺片單九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年十月初七日奉

旨依議欽此

1011 蒙

發下摺報臣等公同商酌應請

批示漢字摺單四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年十月初八日奉

旨依議欽此

1012 滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎即補郎中文明

五品銜內閣侍讀德充吉訥

京察一等 記名道府道銜禮部郎中王恆

侍讀銜刑部主事桂春

四品銜吏部即補郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾慶額

四品銜理藩院員外郎多壽

理藩院即補郎中志模

漢頭班章京

前太僕寺卿馮光勳

刑部郎中孟繼璵

兵部即補郎中沈恩嘉

俸滿截取 記名繁缺知府戶部郎中徐樹鈞

戶部員外郎顧璜

吏部員外郎王倣

刑部員外郎陳邦瑞

四品銜兵部主事即補員外郎胡寶鐸

刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

四品銜通政使司叅議整岫

理藩院員外郎即補郎中奎華

戶部員外郎孚琦

侍讀銜戶部主事廷祉

京察一等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

前大理寺卿沈源深

太僕寺少卿錢應溥

俸滿截取 記名繁缺知府四品銜工部郎中祝維城

吏部郎中兼襲騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳蒂棠

刑部主事易俊

刑部主事馮錫仁

員外郎銜吏部候補主事孫朝華

戶部候補主事王頌蔚

1013 光緒十四年十月初九日奉

旨著停止升殿欽此

鴻臚寺奏應行謝 恩之滿官後案請 升殿摺

1014 蒙

發下吏部摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年十月十一日奉

旨依議欽此

1015 光緒十四年十月十二日內閣奉

上諭理藩院尚書紹祺總管內務府大臣崇光均著

加恩在紫禁城內騎馬欽此

1016 一品大員未經

賞馬名單

吏部尚書錫珍 現在請假

禮部尚書奎潤 現在出差

工部尚書崑岡 現在出差

○ 理藩院尚書紹祺

都察院左都御史松森
鑲黃旗蒙古都統德福

1017 二品大員年屆六十以上未經

賞馬名單

吏部右侍郎景善 年六十一歲
現出差

刑部左侍郎薛允升 年六十五歲

工部左侍郎徐用儀 年六十三歲
現在出差

右侍郎清安 年六十四歲

理藩院左侍郎恩崇 年六十二歲

總管內務府大臣崇光 年六十四歲

內閣學士豐烈 年六十四歲

鑲黃旗蒙古副都統致麟 年六十二歲

漢軍副都統嵩山 年六十七歲

正黃旗滿洲副都統恩全 年六十三歲

蒙古副都統承綬 年六十二歲

正紅旗漢軍副都統安興阿 年七十二歲

尚昌懋 年六十一歲

正藍旗蒙古副都統耆齡 年六十歲

漢軍副都統富森布 年六十三歲

鑲藍旗漢軍副都統花尚阿 年六十八歲

吉恆 年六十一歲

1018 光緒十四年十月十二日奉

旨著於納采以前具題欽此

黃面紅裏

吏部內務府奏 皇太后家推封本官何特具題請 旨摺

1019 光緒十四年十月十二日奉

旨著兼兵部尚書銜欽此

吏部奏潛賢李瀚章如何兼銜請 旨摺

1020 蒙

發下摺報臣等公同商酌應請

批示漢字片一件繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十月十二日奉

旨依議欽此

1021 光緒十四年十月十四日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨沈永泉著遇有道員缺出請旨簡放姚寶勳著以道員發往河南即用並賞還銜翎沈守謙著開缺以道員發往江蘇即用陸學源著以本部郎中即補朱桐著以同知發往南河儘先即用陳忠偉著以知縣發往奉天補用倪逢吉著以知縣仍留原省即用王友桂著以知縣發往江蘇即用解茂椿著以知縣發往直隸即用鄭毓華著以知縣發往山東即用鄭德立著以知縣仍留山東即用朱作霖著以鹽大使發往兩淮即用徐宗澄著以直隸州知州發往安徽補用李樹聲著以知縣即選該部知道欽此

海軍衙門奏沈永泉等報敘銀兩片

1022 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片二件擬於

召見時請

旨是各有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十月十四日奉

旨依議欽此

1023 光緒十四年十月十五日內閣奉

上諭潘祖蔭高萬鵬奏順屬被水情形懇恩賞撥京

倉漕米以資冬撫一摺本年七月間連次大雨河

隄漫溢山水暴漲房山縣及宛平西北境內被灾

最重業經潘祖蔭等籌款先行撫恤仍應籌辦冬

撫以資接濟其通州等各州縣同時被水民情困

苦並應一律賑撫如恩著照所請賞撥京倉漕米

二萬石以備順屬冬撫之用即著倉場侍郎照數

發給由潘祖蔭等查明被災處所分撥散放務使

實惠及民毋任稍有弊混用副軫念民艱至意餘

依議該部知道欽此

1024 光緒十四年十月十五日奉

旨仍照原辦成案序補毋庸扣限片併發欽此

吏部奉旨仍照原辦成案序補毋庸扣限片併發欽此

欽此

1025 光緒十四年十月十五日奉

旨均著准其抵銷欽此

吏部奉旨均著准其抵銷欽此

欽此

旨摺

1026 光緒十四年十月十五日奉

旨此項工程係地方應辦之事在事出力官紳著傳

旨獎勵毋庸列保欽此

順天府奉天府奉天府等處同知疏小官紳可為保獎請
旨片

1027 前任湖北荆宜施道廣敏

旨著以道員選用

1028 前任湖北荆宜施道廣敏

旨著以知府選用

1029 前任湖北荆宜施道廣敏

旨著以簡缺知府選用

1030 蒙

發下摺報已奉

硃批二十九件其餘應請

批示漢字摺片十六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片九件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十月十五日奉

旨依議欽此

1031 光緒十四年十月十六日內閣奉

上諭湖南提督著馮南斌補授衛汝貴著補授甘肅

甯夏鎮總兵欽此

1032 查湖南提督係陸兼水缺謹

奏

1033 光緒十四年十月十六日內閣奉

上諭現在天氣漸寒京師兵丁當差勤苦殊深軫念

所有八旗及綠步各營官兵均著加恩賞給半月

錢糧以示體恤欽此

1034 光緒十四年十月十六日內閣奉

上諭現在天氣漸寒所有食餉之間散宗室覺羅人等生計維艱殊深軫念著加恩賞給一月錢糧其宗室覺羅孤寡除有恩賞錢糧外著再加賞半月錢糧以示體恤欽此

1035 光緒十四年十月十六日內閣奉

上諭李鴻章奏統兵大負積勞傷發在營病故臚陳事蹟請旨優卹一摺湖南提督周盛波歷隨李鴻章軍營剿辦髮捻各逆轉戰數省疊克名城戰功卓著嗣經駐軍天津訓練精勤克盡厥職茲聞溘逝軫惜殊深周盛波著照提督軍營病故例從優議卹平日戰功事蹟著宣付國史館立傳並著加恩予諡在安徽原籍及立功省分建立專祠以彰忠蓋欽此

1036 光緒十年六月初五日內閣奉

上諭李鴻章奏統兵大負積勞在營病故臚陳事蹟請旨優卹一摺廣東水師提督吳長慶前因痛父

殉難矢志剿賊隨同李鴻章轉戰江蘇浙江山東直隸河南等省疊克名城嘉興之役戰績尤多該軍駐紮江南辦理水利江防百廢具舉光緒八年率營馳赴朝鮮戡定亂民勞動卓著前因在防患病疊經賞假調理茲聞溘逝軫惜殊深著照提督軍營病故例從優議卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏該提督戰功事蹟著宣付國史館立傳加恩予諡並准於立功地方建立專祠伊子吳保初著賞給主事俟服闋後分部學習行走用示眷念勲臣至意欽此

1037 光緒十一年七月初八日內閣奉

上諭李鴻章奏統兵大負奔喪回籍後傷發病故臚陳事蹟請旨優卹一摺署理湖南提督周盛傳歷隨李鴻章各軍剿辦髮捻各匪轉戰數省卓著戰功嗣經駐軍天津約束軍士講求操防克勤厥職前因丁憂賞假百日回籍治喪遽因傷發病故實深憫惻周盛傳著照提督軍營病故例從優議卹平日戰功事蹟著宣付國史館立傳並著加恩予

謚在安徽原籍及立功省分建立專祠以彰忠蓋

欽此

1038 光緒十四年十月十六日內閣奉

上諭李鴻章奏查明開州等州縣災歉請分別蠲緩
糧賦一摺直隸開州東明長垣三州縣濱臨黃河
村莊本年秋禾被水災歉若將應徵糧賦照常徵
收民力實有未逮加恩著照所請所有開州劉柳
村等五十七村成災七分西孫密城等一百二十
村歉收四分東明縣穆莊等三十五村成災九分
羅寨等四十村成災八分馬集等二十六村成災
五分賈文村等十四村歉收四分後成家等五村
歉收三分長垣縣喬寨等三十一村成災九分韓
寨等四十八村成災八分李油房等七十六村成
災七分蘭通集等三十六村成災五分蘆寨等十
二村歉收四分王子揚寨等二百八十三村歉收
三分著將成災五分村莊本年錢糧蠲免十分之
一成災七分村莊本年錢糧蠲免十分之二成災
八分村莊本年錢糧蠲免十分之四成災九分村

莊本年錢糧蠲免十分之六成災五七分村莊蠲
緩錢糧緩至光緒十五年秋後起分作二年帶徵
成災八九分村莊蠲緩錢糧緩至光緒十五年秋
後起分作三年帶徵如有未被災以前花戶長完
銀兩准抵下年正賦又各災村應完節年錢糧並
歉收四分村莊應完本節年錢糧歉收三分村莊
應完節年錢糧均著緩至光緒十五年秋後啟徵
其有出借倉穀等項一體緩徵並分別減免差徭
以紓民力餘著照所議辦理該督即刊刻謄黃編
行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念
災區至意該部知道欽此

1039 光緒十四年十月十六日內閣奉

上諭李鴻章奏查明秋禾被災較重州縣懇恩豁免
糧租酌予撫恤一摺本年順直各屬入夏亢旱秋
後雨水過多窪區被淹及被雹被蟲各州縣秋禾
歉收若將應徵糧租照常徵收民力實有未逮加
恩著照所請所有宛平縣千軍臺等十二村成災
九分東王平等十四村成災八分白道子等十三

村成災七分長安城一村成災六分趙村等七村
成災五分羅青營等九村歉收四分房山縣蘇村
等十八村成災七分黎園等三村成災六分蘆村
等五村成災五分馬各莊等十一村歉收四分瓜
市等十三村歉收三分該二縣災歉在六分以上
者情形甚重若僅照例蠲緩糧租不足以示體恤
著照近年成案將成災六七八九分村莊應徵本
年下忙地丁錢糧各項旗租一律豁免凡有應徵
屯米穀豆草束竈課學租旗產錢糧及海防經費
河道錢糧儲備軍餉廣恩庫租通津二幫屯租向
照民地蠲豁者均著一併豁免如有被災以前花
戶長完銀兩准抵下年正賦其本年上半年尾欠及
節年未完正雜糧租向不蠲豁之本節年兵部馬
館租鑾儀衛租永濟庫租代徵租暨出借倉穀籽
種口糧牛具等項均著緩至光緒十五年秋後起
徵成災五分村莊應徵本年地丁錢糧仍照定例
蠲免十分之一蠲贖之項自光緒十五年秋後起
分作二年帶徵其未完節年地丁錢糧各項旗租
暨例無蠲免之本年各項旗租並歉收四分村莊

應徵本節年地丁錢糧各項旗租歉收三分村莊
應徵節年地丁錢糧各項旗租均著緩至光緒十
五年秋後啟徵凡有應徵屯米穀豆草束竈課學
租旗產錢糧及海防經費河道錢糧儲備軍餉廣
恩庫租通津二幫屯租均照民地之例分別蠲緩
帶徵其兵部馬館租鑾儀衛租永濟庫租代徵租
及出借倉穀籽種口糧牛具等項一併緩至光緒
十五年秋季後啟徵並分別減免差徭歉收三分村
莊應徵本年糧租仍照常徵收武清縣西柳行等
二十七村成災五分小梁莊等二十一村歉收四
分大磨姑屯等二十一村歉收三分霸州吳家臺
等十二村成災五分趙家務等四十八村歉收四
分金各莊等三村歉收三分保定縣崔家莊等三
村成災八分文安縣王里東莊等九十六村成災
八分趙家莊等二十三村成災六分孔家務等七
村成災五分岳村等四村歉收四分麻各莊等二
十七村歉收三分大城縣馬郎等十二村成災五
分苦水務等八村歉收四分九間房等二十八村
歉收三分固安縣西玉等五十村成災六分官莊

等四十村成災五分白村等四十一村歛收四分
太子壽等十四村歛收三分良鄉縣琉璃河等八
村成災六分平各莊等三村成災五分租村等三
村歛收四分莊頭等二村歛收三分涿州南荅村
等十三村成災六分美合前莊等五村成災五分
渠洛村等二十一村歛收四分涿全村等四村歛
收三分安州同口等十四村成災七分三關等二
十村成災六分磁白等十二村成災五分北馬等
四十九村歛收四分小營等七十八村歛收三分
天津縣程林莊等七村成災六分貫兒莊等五村
成災五分楊五莊等六村歛收四分鹽山縣大黃
莊等十六村成災五分高廟等五十村歛收四分
苗家莊等十六村歛收三分慶雲縣慶三里大淀
等二十九村成災五分歸二里紀家鋪等五十村
歛收四分欽四里東柳行張等三十六村歛收三
分深澤縣張村等四村成災五分河噎村等二村
歛收四分以上十三州縣著將成災五六分村莊
應做本年地丁錢糧蠲免十分之一成災七分村
莊應做本年地丁錢糧蠲免十分之二各項旗租

蠲免十分之一成災八分村莊應做本年地丁錢
糧蠲免十分之四各項旗租蠲免十分之二如有
未被災以前花戶長完銀兩准抵下年正賦被災
五六七分村莊蠲贖地丁錢糧同被災七分村莊
蠲贖各項旗租均自光緒十五年秋後起分作二
年帶做被災八分村莊蠲贖地丁錢糧各項旗租
均自光緒十五年秋後起分作三年帶做未完節
平地丁錢糧各項旗租同成災五六分村莊例不
蠲免之本年各項旗租並歛收四分村莊應做本
節平地丁錢糧各項旗租歛收三分村莊應做節
平地丁錢糧各項旗租均著緩至光緒十五年秋
後起做凡有應徵屯米穀豆草米寬課學租旗產
錢糧及海防經費河道錢糧儲備軍餉廣恩庫租
通津二幫屯租均照民地之例分別蠲緩帶做其
有兵部馬館租鑿儀衛租永濟庫租代徵租及出
借倉穀籽種口糧牛具等項一併緩至光緒十五
年秋後起做並分別減免差徭歛收三分村莊本
年糧租仍照常徵收通州大東各莊等七村歛收
四分劉各莊等十二村歛收三分甯河縣大從莊

等二十一村歛收四分大於莊等二十四村歛收三分永清縣西留等五村歛收四分張沈堂沙于今等六村歛收三分東安縣揚官屯等八村歛收四分東太平莊等十九村歛收三分安肅縣東奎山等十五村歛收四分新城縣十里鋪等十六村歛收三分蠡縣化家莊等三十五村歛收四分潘營等二村歛收三分雄縣王家房一村歛收四分陳家臺等二十二村歛收三分高陽縣馬果莊等十五村歛收四分西田果莊等四村歛收三分河間縣龍華橋等五村歛收三分獻縣陳家莊等三十二村歛收四分張張村等二十七村歛收三分青縣大王莊等十村歛收四分薛官屯等十二村歛收三分靜海縣東河頭等八村歛收四分東西賈口等十五村歛收三分滄州王大本等七十村歛收四分劉起莊等十四村歛收三分南皮縣年滂窪等十二村歛收四分谷家莊等二十六村歛收三分邢臺縣西洋河等二村歛收四分談化等十二村歛收三分成安縣吳家疇等七村歛收四分趙三村等四十一村歛收三分廣平縣呂家莊

等四十村歛收四分賀家莊等七十六村歛收三分隆平縣邢家營等八村歛收四分棗院村等七村歛收三分安平縣野營等六村歛收四分何家店等五村歛收三分以上二十州縣共歛收四分村莊應徵本節年地丁錢糧各項旗租及歛收三分村莊應徵節年地丁錢糧各項旗租並屯米穀豆草束窰課學租旗產錢糧及海防經費河道錢糧儲備軍餉廣恩庫租通津二幫屯租兵部馬館租鑾儀衛租代徵租並出借倉穀籽種口糧牛具等項均著緩至光緒十五年麥後起徵並減免差徭以紓民力餘著照所議辦理該督即刊刻謄黃偏行曉諭務使實惠均霑毋任支胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1040 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是各有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十月十六日奉

旨依議欽此

1041

光緒十四年十月十七日內閣奉

上諭衛榮光著調補山西巡撫浙江巡撫著崧駿調

補剛毅著調補江蘇巡撫欽此

1042

光緒十四年十月十七日內閣奉

上諭安徽巡撫陳彝著開缺來京以三品京堂候補

沈秉成著調補安徽巡撫廣西巡撫著高崇基補

授欽此

1043 光緒十四年十月十七日內閣奉

上諭劉銘傳奏彰化土匪搶劫鹽館圍攻城池先後

剿平一摺本年八月鹿港鹽館被土匪搶劫並圍

攻彰化縣城經劉銘傳派令朱煥明林朝棟等分

路進剿斬獲多名立解城圍並連破竹圍二十一

處脅從全行解散地方安謐如常辦理尚為迅速

候選道林朝棟著賞穿黃馬褂其餘出力官紳將

弁著棠入呂家望番社案內擇尤請獎陣亡之記

名提督朱煥明力戰捐軀深堪憫惻著照陣亡例

從優議卹並加恩准於彰化縣城建立專祠以彰

忠蓋著彰化縣知縣李嘉棠辦事草率不協輿情

著撤銷清賦保案仍交劉銘傳認真查辦逸匪施

九段王煥等仍著派出各軍嚴拏務獲毋任漏網

以靖地方餘著照所議辦理該部知道欽此

1044 軍機大臣 字寄

吉林將軍長 光緒十四年十月十七日奉

上諭有人奏吉林時務各條請飭確查等語所陳黑

頂子兵屯朝鮮分界處所添設稅局及甯古塔等

處礮臺機器局製造火藥銅帽鎗子輪艘等物寶
吉局鑄錢經費各節辦理諸多未協如果屬實亟
應認真整頓長順甫經到任無所用其迴護著即
逐款查明據實具奏毋稍徇隱但自來每換一任
凡前任失意之屬貪或好事之幕友輒取悅逞才
妄詆舊政此弊亦不可不防該將軍查辦此事務
須秉公覈實躬親勘驗勿受下僚蒙蔽徒亂章法至
朝鮮界務一條現在尚未議定究應如何分割之
處並著查明奏覆原單著鈔給閱看將此諭令知
之欽此遵

旨寄信前來

鈔送醇邸

1045 照錄醇親王信函一件並吉林寄陳時務條款

一件恭錄呈

覽謹

奏

十月十七日

1046 軍機大臣面奉

諭旨此次欽天監呈進時憲書首頁內

孝貞顯皇后忌辰漏未刊刻殊屬疏忽所有承辦之
負著文部議處欽此

1047 交吏部本日軍機大臣面奉

諭旨此次欽天監呈進時憲書首頁內

孝貞顯皇后忌辰漏未刊刻殊屬疏忽所有承辦之

負著文部議處欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

十月十七日

1048 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十月十七日奉

旨依議欽此

1049 光緒十四年十月十八日內閣奉

上諭廣東布政使著游智開補授四川按察使著何

樞補授欽此

1050 直隸布政使松椿 滿洲鎮鎮人
光緒十一年九月補湖南藩司嗣調直隸

江蘇布政使黃彭年 貴州進士
光緒十三年十一月補

江甯布政使許振禕 江西進士
光緒十二年六月補

安徽布政使阿克達春 滿洲正白旗進士
光緒十二年八月補

山東布政使王毓藻 湖北進士
光緒十四年四月補

山西布政使豫山 滿洲正黃旗進士
光緒十四年九月補

河南布政使劉瑞祺 江西進士
光緒十二年七月補

陝西布政使陶模 浙江進士
光緒十四年三月補

甘肅布政使譚繼洵 湖南進士
光緒十一年十月補

甘肅新疆布政使魏光燾 湖南人
光緒九年三月補甘肅藩司嗣調新任

浙江布政使許應鏞 廣東進士
光緒十年十月補
迴避本籍

福建布政使張夢元 直隸舉人
光緒九年九月補廣西藩司嗣調福建

福建臺灣布政使邵友濂 浙江舉人
光緒十三年二月補

江西布政使方汝翼 直隸舉人
光緒十四年十月補

湖北布政使蒯德標 安徽舉人
光緒九年五月補

湖南布政使孫翼謀 福建進士
光緒十二年五月補

廣西布政使馬丕瑤 河南進士
光緒十二年八月補

四川布政使崧蕃 滿洲正藍旗舉人
光緒十二年九月補

雲南布政使曾紀鳳 湖南進士
光緒十二年六月補貴州藩司嗣調雲南

貴州布政使史念祖 江蘇進士
光緒十三年十月補

1051 直隸按察使周馥 安徽進士
光緒十四年三月補

江蘇按察使陳欽銘 福建進士
光緒十四年八月補

安徽按察使張岳年 浙江舉人
光緒十二年八月補

山東按察使福潤 蒙古正紅旗附生
光緒十二年八月補湖廣藩司嗣調山東

山西按察使嵩崑 滿洲鎮鎮人
光緒十一年正月補

河南按察使賈致恩 山東廩生 光緒二十二年二月補

陝西按察使裕祥 滿洲鎮白旗進士 光緒二十四年九月補

甘肅按察使唐樹楠 湖南舉人 光緒二十四年十月補

浙江按察使廖壽豐 江蘇進士 光緒二十三年九月補 貴州臬司調浙江

福建按察使奎俊 滿洲正白旗人 光緒二十四年二月補

江西按察使瑞璋 滿洲正紅旗人 光緒二十一年十月補

湖北按察使成允 正紅旗監生 光緒二十二年二月補 山東臬司調湖北

湖南按察使薛福成 江蘇附貢生 光緒十四年九月補

廣東按察使王之春 湖南人 光緒十四年三月補 浙江臬司調廣東

廣西按察使張聯桂 江蘇附生 光緒二十二年十月補

四川按察使游智開 湖南舉人 光緒二十二年三月補

雲南按察使鄧華熙 廣東舉人 光緒二十三年十月補 迎迓本籍

貴州按察使葉永元 廣東附貢生 光緒二十四年四月補 迎迓本籍

1052 交理藩院本日引

見黑龍江打牲正紅旗驍騎校一缺擬陪之領催雙

成奉

旨著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

十月十八日

1053 交鑲藍旗滿洲本日引

見廣州驍騎校一缺擬陪之領催福祿堪奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十月十八日

1054 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是富有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十月十八日奉

旨依議欽此

1055 光緒十四年十月十九日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨著於冊立皇后
後冊封瑾嬪珍嬪即著欽天監選擇吉期具奏欽此

禮部會奏冊封瑾嬪珍嬪應否與冊立皇后同日舉行請旨

黃而紅象

1056 交正紅旗滿洲本日引

見補放吉林防禦一缺擬陪之驍騎校德明阿奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十月十九日

1057 交正紅旗蒙古本日引

見補放西安佐領保定府驍騎校各一缺擬陪之防

禦惠慶筆帖式榮喜奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十月十九日

1058 江蘇候補知縣金元娘

硃○旨著以知縣儘先即補

1059 黑龍江補行引

見雲騎尉那丹保

硃○旨著回原處

1060 蒙

發下摺件已奉

硃批十九件其餘應請

批示漢字摺片二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十月十九日奉
旨依議欽此

1061 蒙

發下摺件已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年十月二十日奉

旨依議欽此

1062 蒙

發下禮部摺一件並鈔錄朝鮮國王原咨一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年十月二十一日奉

旨依議欽此

1063 光緒十四年十月二十二日內閣奉

上諭興廉游百川奏全漕告竣請將出力員弁獎勵

及改獎人員各摺片本年江蘇等省海運河運漕

白糧米豆石先後抵通經興廉等督率坐糧廳等

驗收完竣辦理均無貽誤興廉游百川均著交部

議敘所保出力及改獎各員著該部議奏單三件

片一件併發欽此

1064 光緒十四年十月二十二日內閣奉

上諭倉場衙門順天府奏請撥通州粥廠賑米一摺

通州地方連年歉收現屆冬令貧民餬口維艱所

有王恕園等處粥廠著加恩賞給粟米八百石即

由通倉支給分撥散放以恤窮黎餘著照所議辦

理該部知道欽此

1065 軍機大臣面奉

諭旨禮部奏朝鮮國王懇恩免徵紅淺釐稅據咨轉奏一摺朝鮮土產稅課半賴紅淺前因高情苦累格外施恩將此項釐稅減為值百抽十茲復據奏淺枝滯銷懇恩概予免徵等語朝廷體念藩封有加無已既據該國王陳情籲懇著即將紅淺釐稅一項全行寬免以示恩恤該部即將該國王並行知北洋大臣盛京將軍道照辦理欽此

1066 交禮部本日軍機大臣面奉

諭旨禮部奏朝鮮國王懇恩免徵紅淺釐稅據咨轉奏一摺朝鮮土產稅課半賴紅淺前因高情苦累格外施恩將此項釐稅減為值百抽十茲復據奏淺枝滯銷懇恩概予免徵等語朝廷體念藩封有加無已既據該國王陳情籲懇著即將紅淺釐稅一項全行寬免以示恩恤該部即將該國王並行知北洋大臣盛京將軍道照辦理欽此相應傳知貴部欽遵辦理可也此交

十月二十二日

鈔文總理衙門

1067 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨御史唐椿森奏請將鄭工指例展限一摺著戶部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交計黏鈔摺一件

十月二十二日

1068 交禮部本日軍機大臣面奉

諭旨御史慶祥奏文場監試請仿照武場監試迴避章程辦理一摺著禮部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵可也此交計黏鈔摺二件

十月二十二日

1069 交順天府五日軍機大臣面奉

諭旨御史托佛歡奏東直門內北新橋一帶地方有匪徒小軍師玉三坐地虎田逢春小鬼劉六白面虎李大黑太歲馬三賽判官張三獨爪龍刁大等擾害地方請飭查拏一摺著步軍統領衙門順天府五城御史一體嚴密查拏認真究辦欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

十月二十二日

1070 交兩翼八旗本日引

見補放正白旗護軍營察哈爾護軍校一缺擬陪之

護軍索特那木色爾札普奉

旨著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

十月二十二日

1071 交正白旗滿洲本日引

見補放廣州馳騎校一缺擬陪之委前鋒校善良奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十月二十二日

1072 交鑲黃旗蒙古本日引

見補放黑龍江呼倫貝爾額魯特佐領一缺擬陪之

護軍校阿拉坦咱那奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十月二十二日

1073 蒙

發下摺報已奉

硃批十一件其餘應請

批示漢字摺片二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十八件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十月二十二日奉

旨依議欽此

1074 道擬電知吳大澂一道繕稿呈

覽恭候

欽定候

發下後交該衙門辦理謹
奏

十月二十二日

1075 順治八年恭上

皇太后徽號

恩詔條款

順治十一年恭上

皇太后徽號

恩詔條款

道光十四年加上

皇太后徽號

恩詔條款

同治元年恭上

皇太后尊號

恩詔條款

同治十一年加上

皇太后徽號

恩詔條款

道光十四年

冊立

皇后

恩詔條款

咸豐二年

冊立

皇后

恩詔條款

同治十一年

大婚禮

恩詔條款

1076 順治八年恭上

皇太后徽號

恩詔條款

硃。一親王以下宗室三等輔國將軍以上應加恩賜

○ 一外藩諸王各加恩賜

○ 一內外自公主以下至格格各加恩賜

一滿洲及在內蒙古舊漢軍公爵以下拖沙喇哈番以上並年幼襲職隨朝各官以上應各升一級先經頒給誥命各官今遇恩詔升授者於誥命內准增撰世襲罔替舊漢軍阿達哈哈番滿洲拜他喇布勒哈番今遇恩詔亦准撰給誥命茲詔以後已領誥命者如再膺實職不載入誥命之內另行撰給勅書

○ 一內外滿漢官貢一品至九品已奉恩詔議給誥勅外其未逢恩詔各官一體通行俱依現授職銜照例給與應得誥勅京官三品以上仍各廕一字入監讀書

○ 一在京六品官貢以上不與加級者各加恩賜
一官吏民人等有犯除謀反叛逆子孫謀殺祖父母父母內亂妻妾殺夫告夫奴婢殺家長殺一家非死罪三人採生折割人謀殺故殺真正人命盡毒魔魅毒藥殺人強盜妖言十惡等真正死罪不赦又隱匿滿洲逃人照例

治罪貪官赦前已發覺罪應至死者不赦外其餘自順治八年八月二十日昧爽以前已發覺未發覺已結正未結正咸赦除之有以赦前事相告訐者以其罪罪之

○ 一凡貪官罪不至死者免罪追贓革職永不敘用
○ 一現在議革議降議罰及戴罪住俸各官俱免議
一滿洲蒙古漢軍隨征披甲兵丁出力攻戰三十餘年常有得功牌三四次因少一二功牌不得論升者今天下一統不事征戰恐終其身不得敘升該部於旗下察明有如此類者准議升授

○ 一自順治元年以來曾經任用已革職官除大計貪贓及居官不職以致失守城池外若有事係冤枉被革果有才力堪用者在京聽該衙門在外聽該督撫按察明詳聞緣由保奏
一滿洲兵丁各處征剿對陣傷損殘廢未經給賞者該部照例速行賞卹

○ 一在內滿洲蒙古漢軍或有窮兵無力備馬者該部察明購給

一天下驛遞苦累凡乘傳負役恣行騷擾者前
有諭旨著該督撫飛章奏未見遵行除已
往不究外以後各該督撫巡按如仍前容隱
即以悖旨論罪

一山陝海隅尚在梗化者果能革心投誠悉赦
前罪如以兵馬城池來歸仍察其功之大小
准與分別升賞

一各處上寇有脅從悔禍縛獻渠魁及賊首翻
然而化率眾求撫者罪均行赦免仍與論功
一凡土賊投順該督撫即與安插遣之歸農其
豪強姦民甘冒賊名投順徑同已撫真賊爭
占產業多端誣害有司礙不敢問除從前濫
為收用者免究外以後該督撫按嚴查糾參
毋得諉卸務期良民獲安

一地方人材果有品行著聞及才學優長者著
該督撫按覈實具奏仍聽吏部考覈酌用
一順治五年以前民間拖欠錢糧悉與豁免
一倉庫錢糧或因交盤短少現在追賠家產罄
盡不能賠補者察實豁免

一各處解運錢糧途次遇賊劫奪者察實豁免
一大小武官不許擅受民詞及縱令兵丁強買
市物該督撫按須嚴行察參以慰小民

一各直省先加城工錢糧准抵八年正額如恩
詔未到以前八年正額已做在官者俱各照
數退還仍取花戶領狀繳撫按考察其有已
解各部寺者並發該司府給領不得重累小民
一臨清燒造苦累小民並漕船帶運已行停止
其造過坯片已費工本並民船長短載帶執
納價俱准一體豁免

一江南浙江福建江西山東等處題派綾紗又
三色榜紙龍漚紙價姑念地方初定通免三
分之一仍分三運起解

一漕船缺額已准動輕齋銀兩責令運官自雇
不得重派地畝又孥民船以慰苦累

一凡應追贓私察果家產盡絕力不能完者概
與豁免毋得株連親族

一凡失落之物及被盜贓物如本主認明原物
給主免究收盜之罪

○ 一京城內外有鰥寡孤獨窮苦無依者該部院

著五城御史兵馬司宛大二縣實察名數酌

量周卹其順天八府及各省府州縣衛所舊

有養濟院皆有額設米糧該部通行設立給

養該道府官從實稽察俾露實惠

一國子監監生免坐監兩月已撥歷者免歷事

兩月

一各直省儒學貧生該地方官覈實申詳學政

於學田內動支銀米賑給

○ 一在京各衙門官在任年久父母年老未得歸

省者許堂印官據實具奏給假省親仍來供職

一滿洲蒙古漢軍舉人於明年會試原額取六

十名今加額二十五名

1077 順治十一年恭上

皇太后徽號

恩詔條款

一和碩親王以下奉恩將軍以上俱加恩賜

一公主以下固山格格以上俱加恩賜其無俸

宗女酌加恩賜

一在外藩王以下公以上俱加恩賜

一在京滿洲蒙古漢軍異姓公以下七品官以

上俱加恩賜

一在京文武漢官五品以上俱加恩賜

○ 一山林隱逸果有懷才抱德通達治體者該督

撫覈實舉薦朕親加試用

一自順治十一年六月二十二日昧爽以前凡

官吏兵民人等有犯除謀反叛逆子孫謀殺

祖父母父母內亂妻妾殺夫告夫奴婢殺家

長殺一家非死罪三人採生折割人謀殺故

殺盡毒魔魁毒藥殺人強盜妖言十惡等真

正死罪不赦外其隱匿滿洲逃人及貪官衙

蠹受贓監守自盜領運官役侵盜漕糧併順

治九年十一月二十三日在衡州府擊賊有

罪諸人亦在不赦其餘罪無大小已發覺未

發覺已結正未結正咸赦除之有以赦前事

告許者以其罪罪之

一内外文武官貪除大計處分城池失守外有

因公事註誤革職降級罰俸戴罪任俸等項併現在議革議降議罰者各該衙門悉與奏明寬宥

○ 一順治六七兩年地畝人丁本折錢糧果係拖欠在民悉與豁免其已徵在官者不得借口民欠侵隱

一順治七年分歷日祭祀牛羊藥材本折錢糧其已徵在官者照數起解其拖欠在民者悉行蠲免

一會典舊制各府州縣俱有豫備四倉及義倉社倉等法每處積貯多者萬餘石少者數千石各省倉儲俱數百萬計故民有所恃荒歉無虞今責成各地方該道專管稽察舊積料理新儲應行事宜聽呈督撫具奏每年二次造冊報部該部察積穀多寡分別議奏以定該道功罪

一大軍經過地方馬匹所需供應草豆運價等項以後俱准作正項錢糧銷算如官胥通同勒捐侵冒該督撫即行糾叅隱循者一體重處

一滿洲蒙古漢軍兵丁酌量給賞

○ 一貧民失業流離各地方官有能賑恤全活五百人以上者核實紀錄千人以上者即與題請加級其有鄉紳富民尚義出粟全活貧民百人以上者該地方官核實具奏分別旌勸

一東南財賦之地素稱沃壤連年水旱為災民生重困皆因失修水利致誤農工該督撫責成地方官悉心講求疏通水道修築隄防以時蓄洩俾水旱無虞民安樂利

○ 一頻年治河旋塞旋決夫役掃料民累不堪或地方有司借端加派或濫用委官侵冒詐索該督撫監司嚴加清釐禁戢仍須講求長策剋期竣工勿得延緩滋害

一近來司府州縣徵收錢糧天平法馬太重多加火耗民受困苦若該督撫司道等官嚴飭有司務遵較定法馬不許私自增加仍不時密察違者指名叅奏併上司差役催提橫加需索凌逼下屬著嚴行禁戢督撫各官不自覺察者一併治罪

○

一 各地方徭役繁重有豪紳劣衿衙胥積蓄或本身田連阡陌濫免差徭或包攬他人田地徭丁代為規避偏累窮民莫此為甚該督撫行各地方官秉公嚴察如有此等情弊重加懲處

一直隸及各省徵收錢糧俱照萬曆年間則例久已通行如州縣官有將天啟崇禎年間濫加錢糧仍行徵派者該督撫糾參重處

一 白糧民解累民官解仍以累民今後於該省漕糧船分帶以甦官民之累應行事宜該督撫作速議奏

一 漕船缺額已准動輕齋銀兩責令運官自雇如有重派地畝擅拏民船者有司運官俱聽該督撫糾參重處

一 關稅已經定額奉差官負不許分外科索擾害商民其地方民事一概不許干預違者併治
一 錢糧私派欺隱等弊俱由積惡吏書串通衙內幕客誘官作姦害民盡國今後該督撫糾參有司錢糧款件必將經承吏書姦惡幕客

列名並劾如款內不及吏書幕客者該督撫以徇縱論各布政使仍將司府州縣一應經承錢糧吏書每年二次造冊報部若冊內無名濫管錢糧者許諸人告發司府州縣一體重治

一 饑民有願赴遼東就食耕種者山海關章京不得攔阻所在章京及府州縣官隨民願往處所撥與田地酌給種糧安插撫養毋致失所仍將收過人數詳開報部奏聞

一 兵火之後田土荒蕪須令民間盡力開墾不許豪強占隱以致窮民失業違者重懲有司不行覺察以溺職論

一 運糧官丁行月糧各地方本折不等多有偏枯之弊著漕督通查確酌具奏務期本折均平以贍窮丁

一 順治十一年鄉試中額順天加舉人十名大省加舉人七名中有加舉人五名小省加舉人三名滿洲漢軍各加舉人十名蒙古加舉人五名十二年會試中額直省共加進士五

十名滿洲漢軍各加進士十名蒙古加進士五名

一鄉試中式武舉額大省加六名中省加四名小省加二名會試武進士額共加二十名

一直隸各省儒學每學俱於廩生內通行考試慎加選擇務取經書策論學問兼優者拔取

一名充貢送部廷試

一國子監監生現今坐監者免坐監一箇月

一滿洲兵丁披甲隨征多年効力被傷不能披

甲及年老有疾退役者酌給恩賞

一滿洲兵丁各處征剿對陣傷損未經給賞者

速給

一鑾儀衛旗尉象軍服役有年酌加賞賚

一土賊嘯聚或因饑饉所迫或因貪官虐害殊

為可憫果能改悔前愆自行投首者悉免其罪

一有從賊官民人等厭苦賊患慕義來歸者地方官即行優養務令得所來歸官負奏聞酌用

○ 一各省設兵處所錢糧務要以時支放不許有

司歷欠本管將領侵剋如有此等情弊該督

撫即行糾參

一省會設兵處所有等姦民假冒投充濶入營

內夥告夥證拖累小民甚有借通賊為名抄

掠殷實尤為大害該固山額真督撫鎮將嚴

行約束務絕害端如有隱徇不究一併從重

處治

一設兵原以衛民近來各省兵丁肆害無窮或

放馬傷稼砍伐桑柘折毀廬舍甚至城市劫

掠公為大盜各弁毫無約束故縱分肥大千

法紀該督撫申飭管兵官務嚴紀律毋得再

蹈前轍如有徇庇容隱不行糾參事發一併

究罪

一凡應追入官錢糧如果家產盡絕該督撫查

確題請豁免不許株連親族

一有因叛逆干連者該督撫審明實係冤枉即

為具題釋放

○ 一各省有城垣傾圮橋梁毀壞地方官能設法

修葺不致累民者該督撫具題即與敘錄

○ 一黃河神金龍四大王運河神分水龍王應遣

官致祭

一 詔內各款該地方各官俱要實心奉行務使
恩澤及民方不負朕憫念元元至意如沿習
舊套徒以虛文塞責該督撫不能覺察奏
著部院科道一併糾叅重處

1078 道光十四年加上

皇太后徽號

恩詔條款

一 內外公主以下縣君以上俱加恩賜
一 從前尚過公主格格之額駙等照伊等品級
著加恩賜

一 滿漢孝子順孫義夫節婦該管官細加諮訪
確具事實奏聞禮部據實以憑旌表

一 貢生監生在監肄業者免坐監一月

一 各省橋梁間有損壞行人勞苦交與地方官
查明驗看該督撫奏明隨時修理

一 各省民人有孤貧殘疾無人養贍者該地方
官加意撫恤如無空廬棲處該地方官酌設
棲流所以便棲處

1079 道光十四年

冊立

皇后

恩詔條款

一 岳鎮四瀆廟宇該地方官查有棟椽傾圮藻
飾未完者奏明修葺以致誠敬

一 親王福晉以下至奉恩將軍妻室等俱加恩賜

一 民公侯伯以下二品大臣以上命婦俱加恩賜

一 從前恩詔後官負有升職改任及加級改銜

者照其職銜給與封典

一 八旗滿洲蒙古漢軍婦人年七十以上者照

例分別賞賚

一 內務府三旗婦人年七十以上者照例分別

賞賚

一 各省老婦有孤貧殘疾無人養贍者該地方

官加意撫恤毋令失所

一 除十惡及謀殺故殺不赦外犯法婦人盡與

赦免

1080 咸豐二年

冊立

皇后

恩詔條款

- 一親王福晉以下至奉恩將軍妻室等俱加恩賜
- 一民公侯伯以下二品大臣以上命婦俱加恩賜
- 一從前恩詔後官負有升職改任及加級改銜者照其職銜給與封典
- 一八旗滿洲蒙古漢軍婦人年七十以上者照例分別賞賚
- 一內務府三旗婦人年七十以上者照例分別賞賚
- 一各省老婦有孤貧殘疾無人養贍者該地方官加意撫恤毋令失所
- 一除十惡及謀殺故殺不赦外犯法婦人盡與赦免

1081 同治元年恭上

皇太后尊號

恩詔條款

- 一在內親王之福晉以下公之妻以上者加恩賜
- 一外藩蒙古諸王之福晉以下公之妻以上者加恩賜
- 一民公侯伯以下二品大臣以上命婦著加恩賜
- 一從前尚過公主格格之額駙等照伊等品級著加恩賜
- 一從前恩詔後陞職加銜補官者悉照現在職銜給與封典
- 一在京文官四品以上武官三品以上著各加一級
- 一在京王公文武官負任內有降級罰俸任俸者咸與開復又在京官負現在議降議罰者悉予豁免
- 一外藩蒙古王公以下台吉以上有罰俸任俸者咸與開復其現在議罰者悉予豁免
- 一除十惡不赦外犯法婦人盡行赦免
- 一太監等著賞給一月錢糧
- 一上三旗辛者庫當差婦人著酌議賞賜

- 一 罰贖積穀原以備賑冬月嚴寒鰥寡孤獨貧民無以為生著直省各督撫令有司務將積穀酌量賑濟毋令奸民假冒支領
- 一 各處効力贖罪人負向無定限多致苦累殊堪矜憫著各該管官查係已滿三年者聲明犯罪緣由奏請酌量寬免

1082 同治十一年

大婚禮

恩詔條款

- 一 親王福晉以下至奉恩將軍妻室等俱加恩賜
- 一 民公侯伯以下二品大臣以上命婦俱加恩賜
- 一 各直省民欠錢糧由戶部酌覈奏請蠲免
- 一 八旗綠營兵丁賞給一月錢糧
- 一 文武會試中額俟該部臨期奏明人數請旨酌量加廣文武鄉試由該部分別大中小省分並滿蒙漢字號奏請加額
- 一 各直省儒學無論府州縣衛俱於本年以正貢作恩貢次貢作歲貢

- 一 八旗滿洲蒙古漢軍婦人年七十以上者照例分別賞賚

- 一 內務府三旗婦人年七十以上者照例分別賞賚

- 一 各省老婦有孤貧殘疾無人養贍者該地方官加意撫恤毋令失所

- 一 除十惡及謀殺故殺不赦外犯法婦人盡予赦免

1083 同治十一年加上

皇太后徽號

恩詔條款

- 一 在內親王之福晉以下公之妻以上著加恩賜
- 一 外藩蒙古諸王之福晉以下公之妻以上俱加恩賜
- 一 民公侯伯以下二品大臣以上命婦著加恩賜
- 一 從前高過公主格格之額駙等照伊等品級著加恩賜
- 一 從前恩詔後陞職加銜補官者悉照現在職

銜給與封典

一在京文官四品以上武官三品以上著各加一級

一在京王公文武官負任內有降級罰俸住俸者咸與開復又在京官負現在議降議罰者悉予豁免

一外藩蒙古王公以下台吉以上有罰俸住俸者咸與開復其現在議罰者悉予豁免

一除十惡不赦外犯法婦人盡行赦免

一太監等著賞給一月錢糧

一上三旗辛者庫當差婦人著酌議賞賜

一罰贖積穀原以備賑冬月嚴寒鰥寡孤獨貧

民無以為生著直省各督撫令有司務將積

穀酌量賑濟毋令奸民假冒支領

一各處効力贖罪人自向無定限多致苦累殊

堪於閏著各該管官查條已滿三年者聲明

犯罪緣由奏請酌量寬免

1084 光緒十四年十月二十三日奉

旨這所參疏防監犯越獄之管獄官山西翼城縣典史蘇俊魁著即革職拏問交剛毅提同刑禁人等嚴訊有無鬆刑賄縱情弊按例究辦有獄官翼城縣知縣陳燕昌雖先期公出究不能先事預防著即撤任留於該地方勒限緝拏逃犯曹浚務獲嚴究俟限滿有無弋獲再行覈辦餘著照所議辦理該部知道欽此

1085 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨領侍衛內大臣奏侍衛清苦請賞還馬乾銀兩

一摺著戶部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交計結鈔摺一件

十月二十三日

1086 光緒十四年十月二十三日奉

旨著准其抵銷欽此

吏部奏察議與政錢桂森處分可否 准抵摺

1087 蒙

發下摺件已奉

硃批十件其餘應請

批示漢字摺片單七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十月二十三日奉

旨依議欽此

1088 光緒十四年十月二十五日內閣奉

上諭陸寶忠奏保薦教職生員請旨鼓勵等語湖南

各屬教職生員經陸寶忠悉心查覈擇尤保舉自

應量予獎敘長沙府教授祝松雲岳州府教授陳

佑啟均著交部議敘長沙縣訓導何維棟華容縣

訓導陸承宗桑植縣訓導唐濬源均著賞加內閣

中書銜衡陽縣廩生湯誠航著以教職選用該部

知道欽此

1089 光緒十四年十月二十五日奉

旨該衙門知道片併發欽此

大常寺奏奧國親王塔印 天壇摺片

1090 蒙

發下摺報已奉

硃批二十三件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片七件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十月二十五日奉

旨依議欽此

1091 蒙

發下摺報且等公同商閱應請

批示漢字摺片單九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年十月二十六日奉

旨依議欽此

1092 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

十月二十六日

1093 遵擬電知吳大澂一道繕稿呈

覽恭候

欽定俟

發下後交該衙門辦理謹

奏

十月二十六日

1094 軍機大臣 字寄

福州將軍 直隸兩江湖廣閩浙四川兩廣各

總督 江蘇安徽江西福建浙江湖北湖南山

東廣東各巡撫 傳諭粵海關監督 光緒十

四年十月二十七日奉

上諭戶部奏請催解京餉一摺本年京餉原撥續撥

共銀八百萬兩截至九月底止除劃撥截留解到

及報解起程外尚欠解銀二百五十二萬三千餘

兩現在部庫存項無多一切放款為數甚鉅所有

各省關欠解京餉亟應全數報解以應要需著各

該將軍督撫監督等各將欠解銀兩迅即照數依

限解部統於年內埽數解齊儻敢諉卸拖欠即由

戶部指名嚴參原單著分別摘鈔給與閱看將此由五百里諭知福州將軍直隸兩江湖廣閩浙四川兩廣各總督江蘇安徽江西福建浙江湖北湖南山東廣東各巡撫並傳諭粵海關監督知之欽此道
旨寄信前來

鈔交戶部

1095 軍機大臣 字寄

兩江總督一等威毅伯曾 調任浙江巡撫江蘇巡撫崧 光緒十四年十月二十七日奉

上諭有人奏現任吳縣知縣夏宗彝選授湖北糧道傳聞該員係屬冒頂難廢曾被人在江蘇控告有案官聲亦極平常參罰之案尚多等語著曾國荃崧駿確切查明據實具奏毋稍徇隱將此各諭令知之欽此道

旨寄信前來

1096 光緒十四年十月二十七日內閣奉

上諭童華奏假期屆滿病仍未痊懇請開缺一摺童華著再賞假一月毋庸開缺欽此

1097 光緒十四年十月二十七日內閣奉

上諭吏部奏道議處分一摺本年順天武鄉試宿字閱監試御史成斌填寫卷面並不詳細查對所填箭枝數目弓刀石斤重不符甚多考試大典該御史竟漫不經心致多舛誤實屬荒謬成試著照部議即行革職以示懲儆欽此

1098 光緒十四年十月二十七日內閣奉

上諭巡視南城給事中隆恩等奏遵保拏獲鄰境盜犯出力各員並改請獎勵賞還頂戴各摺片著吏部議奏單一件片二件併發欽此

1099 光緒十四年十月二十七日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨依議欽此

總理海軍事務衙門奏津沽鐵路告成接連通州鐵路摺

1100 光緒十四年十月二十七日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨楊鴻典著准其開復原銜該部知道欽此

海軍衙門奏年通楊鴻典報效銀兩請開復原銜片

1101 光緒十四年十月二十七日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨著准其抵銷欽此

吏部奏遵議欽交軍機處以備議以罰休年公罪可否准抵銷 旨指

1102 交兩翼前鋒統領
八旗護軍統領本日軍機大臣面奉

諭旨御史張廷燦奏近日長安門闕門干門等處閑雜人等任意出入毫無攔阻夜間值班兵丁更屬寥寥請飭該管管整頓等語禁門重地理宜嚴肅若如所奏殊屬不成事體著前鋒統領護軍統領隨時稽查認真整頓勿得稍形疏懈欽此相應傳知貴營欽遵辦理可也此交

十月二十七日

1103 交正藍旗滿洲本日引

見廣州駝騎校

福陵防禦各一缺擬陪之領催錫樂恩閑散六索奉旨均著記名欽此相應傳知貴旗欽遵可也此交

十月二十七日

1104 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年十月二十八日奉

旨依議欽此

1105 光緒十四年十月二十九日內閣奉

上諭慶裕等奏神靈顯應請頒扁額並加封號一摺奉天遼陽州

關帝廟

龍神廟義州

關帝廟

龍神廟

城隍廟並威遠堡邊門

關帝廟

龍神祠夙著靈應本年春夏之間各該處暘雨愆期義州地方七月間復因雨水過多凌河陡發經各官紳虔誠祈禱均邀靈佑轉歉為豐實深寅感若南書房翰林恭書扁額各一方交慶裕等祇領飭屬分詣遼陽州

關帝廟義州

關帝廟威遠堡邊門

關帝廟敬謹懸挂以答

神庥其所請加遼陽州

龍神義州

龍神

城隍神威遠堡邊門

龍神封號之處著禮部議奏欽此

1106 光緒十四年十月二十九日內閣奉

上諭童華現在賞假禮部右侍郎著庚壽恆兼署其所署工部右侍郎兼管錢法堂事務著徐樹銘署理欽此

1107 應兼署漢侍郎名單

吏部左侍郎許應駁

右侍郎孫毓汶

戶部左侍郎孫詒經

右侍郎曾紀澤

禮部左侍郎徐郁

兵部左侍郎廖壽恆

右侍郎孫家鼐

刑部左侍郎薛允升現在請假

工部左侍郎徐用儀現署刑部右侍郎

應署漢侍郎名單

內閣學士李端棻

都察院左副都御史白桓

1108

硃

○

硃○

宗人府府丞薛福辰

徐樹銘

1109 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十月二十九日奉

旨依議欽此

硃○

1110 交鑲黃旗滿洲本日引

見補放荆州及密雲縣防禦各一缺吉林綏遠城

盛京驍騎校各一缺擬陪之佛海烏勒新泰常喜

松俊伊興阿熙春奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十月二十九日

1111 一品廕生那福

旨著以六部員外郎用

十月二十九日

1112 一品廕生那福

旨著賞給三等侍衛在大門上行走

十月二十九日

1113 光緒十四年十一月初一日內閣奉

上諭托倫布奏軍臺廢負由配脫逃請旨飭緝究辦一摺已革遊擊田福志膽敢由配脫逃該都統已咨行鄰境緝拏難保不私回原籍或潛行來京著廣西巡撫步軍統領衙門順天府五城御史一體嚴拏務獲究辦欽此

1114 蒙

發下摺件已奉

硃批二十八件其餘應請

批示漢字摺二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理托倫布奏廢負田福志在配脫逃

摺擬繕明發

諭旨令廣西巡撫步軍統領衙門順天府五城御史

一體嚴拏務獲究辦恭候

命下遵繕呈進謹

奏

光緒十四年十一月初一日奉

旨依議欽此

1115 光緒十四年十一月初二日內閣奉

上諭汪鳴鑾奏敬舉績學者儒艮恩施一摺廣東在籍紳士知府銜陝西補用直隸州知州張其朝國子監監丞銜舉人金錫齡增貢生劉昌齡砥行通經品端學贍均堪矜式士林張其朝加恩著賞給四品卿銜金錫齡著賞給光祿寺署正銜劉昌齡著賞給翰林院待詔銜另片奏薦舉篤實廉勤之教職等語韶州府教授潘履端潮州府教授黃寅階石城縣訓導嚴其琛均著賞給國子監助教銜以示獎勵該部知道欽此

1116 交工部本日軍機大臣面奉

諭旨御史何玉福奏京師護城河工程請歸入溝渠河道歲修案內隨時修築等語著工部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

計點鈔片一件
十一月初二日

1117 蒙

發下摺報已奉

硃批四十二件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十一月初二日奉

旨依議欽此

1118 光緒十四年十一月初三日內閣奉

上諭謙禧奏神靈顯應請頒扁額一摺熱河灤平縣

鞍匠屯街

龍神廟夙著靈應本年夏間雨澤愆期經該官紳

虔詣祈禱甘霖溥霑歲獲有秋實深寅感著南書
房翰林恭書扁額一方交謙禧祇領飭屬敬謹懸
挂以答

神庥欽此

1119 交正藍旗漢軍本日引

見補放廣州佐領一缺擬陪之防禦賈潤洗奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十月初三日

1120 蒙

發下摺報已奉

硃批二十七件其餘應請

批示漢字摺片單十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十一月初三日奉

旨依議欽此

1121 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

十月初二日

1122 恭擬

皇上大婚禮

恩詔條款

- 一 親王福晉以下至奉恩將軍妻室等俱加恩賜
- 一 民公侯伯以下二品大臣以上命婦俱加恩賜

一 各直省民欠錢糧由戶部酌覈奏請蠲免

一 八旗綠營兵丁賞給一月錢糧

一 文武會試中額俟該部臨期奏明人數請旨

酌量加廣文武鄉試由該部分別大中小省

分並滿蒙漢字號奏請加額

一 各直省儒學無論府州縣衛俱於本年以正

貢作恩貢次貢作歲貢

一 八旗滿洲蒙古漢軍婦人年七十以上者照

例分別賞賚

一 內務府三旗婦人年七十以上者照例分別

賞賚

一 各省老婦有孤貧殘疾無人養贍者該地方

官加意撫恤毋令失所

一 除十惡及謀殺故殺不赦外犯法婦人

盡予赦免

1123 恭擬

皇上大婚禮崇上

皇太后徽號

恩詔條款

- 一 在內親王之福晉以下公之妻以上著加恩賜
- 一 外藩蒙古諸王之福晉以下公之妻以上俱加恩賜
- 一 民公侯伯以下二品大臣以上命婦著加恩賜
- 一 從前尚過公主格格之額駙等照伊等品級著加恩賜
- 一 從前恩詔後陞職加銜補官者悉照現在職銜給與封典
- 一 在京文官四品以上武官三品以上著各加一級
- 一 在京王公文武官員任內有降級罰俸住俸者咸與開復又在京官員現在議降議罰者悉予豁免
- 一 外藩蒙古王公以下台吉以上有罰俸住俸者咸與開復其現在議罰者悉予豁免
- 一 除十惡不赦外犯法婦人盡行赦免
- 一 太監等賞給一月錢糧
- 一 上三旗卒者庫當差婦人著的議賞賜

一 罰贖積穀原以備賑冬月屢寒緣寡孤獨貧

民無以為生著直省各督撫令有司務將積

穀酌量賑濟毋令奸民假冒支領

一 各處効力贖罪人員向無定限多致苦累殊

堪矜憫著各該管官查係已滿三年者聲明

犯罪緣由奏請酌量寬免

1124 恭擬

皇太后歸政崇上

徽號

恩詔條款

- 一 親王以下宗室三等輔國將軍以上應加恩賜
- 一 外藩諸王各加恩賜
- 一 內外自公主以下至格格各加恩賜
- 一 在內親王之福晉以下公之妻以上著加恩賜
- 一 外藩蒙古諸王之福晉以下公之妻以上俱加恩賜
- 一 民公侯伯以下二品大臣以上命婦著加恩賜
- 一 從前尚過公主格格之額駙等照伊等品級

著加恩賜

一從前恩詔後升職加銜補官者悉照現在職銜給予封典京官文職三品以上武職二品以上各廢一子入監讀書

一王公並内外文武官員任内有革留降留罰俸住俸者咸與開復其現議降革留任罰俸住俸者悉予豁免

一外藩蒙古王公以下台吉以上有罰俸住俸者咸與開復其現在議罰者悉予豁免

一京外大小文武官員著各賞加一級

一閒散宗室覺羅等著賞給一月錢糧

一京師旗綠兵丁著賞給半月錢糧

一太監等著賞給一月錢糧

一上三旗辛者庫當差婦人著的議賞賜

一支借官項扣俸扣甲永無底止殊多苦累著

自光緒十五年正月以前所有王公大臣及世職官員支借俸銀暨呈借內務府等處官項已扣足原借之數各員概予免扣其未扣足者並准停利歸本

一各直省地丁錢糧著戶部查明實係積欠在民酌議年分豁免其已徵在官者不得借口民欠侵隱

一京城内外有鰥寡孤獨窮苦無依者各該衙門查察各數酌量周恤各直省府州縣衙所舊有養濟院額設米糧該部通行各該督撫確切稽查不得有名無實

一罰贖積穀原以備賑冬月嚴寒貧民無以為生著直省各督撫令有司務將積穀酌量賑濟毋令奸民假冒支領

一失業流民各地方官有能賑恤全活五百人以上者覈實紀錄千人以上者題請加級其有鄉紳富民尚義出粟全活貧民百人以上者該地方官覈實具奏分別旌勸

一各直省借資民力向有差徭全在有司各官持平勻派僅有豪紳劣衿蠹胥猾吏或設法倖免或包攬規避偏累窮民其此為甚著該督撫嚴飭查察如有此等情弊從重懲辦

一各省額設兵丁及留防各營應得錢糧務須

覈實支放不准壓火使瀆如有此等情弊該管官即行糾參

一各省有城垣傾圮橋梁毀壞地方官能設法修葺不致累民者該督撫具題即與議敘

一官吏民人等有犯除謀反叛逆子孫謀殺祖父母父母內亂妻妾殺夫奴婢殺家長殺一家非死罪三人採生折割人謀殺故殺真正人命盡毒魔魅毒藥殺人強盜妖言十惡等真正死罪不赦又貪官赦前已發覺罪應至死者不赦外其餘自光緒十五年三月十六日以前已發覺未發覺已結未結無論男婦咸赦除之有以赦前事告訐者以其罪罪之

一刑例從嚴定擬人犯除游勇土匪馬賊就地正法外其餘盜案及盜墓各犯新章從嚴者有可改歸舊例之處著刑部酌議議奏

一貪官罪不致死者繳清贓款革職免罪

一凡應追贓私查明實係家產盡絕力不能完者概與豁免毋得株連親族

一自同治元以來曾經任用現已革職官員

除大計貪賊及居官不職以致失守城池各員外若有事係冤枉被革果有才力堪用者在京聽該衙門在外聽該督撫查明詳開緣由奏明請旨

一滿漢兵勇從前征剿各處臨陣傷損殘廢未經給賞者該部查明速行賞恤

一各處効力贖罪人員向無定限多致苦累殊堪矜憫著各該管官查係已滿三年者聲明犯罪緣由奏請酌量寬免

一黃運等河堵築疏濬所用夫役掃料難免累民或地方官借端加派或委員侵冒詐索該督撫嚴加清釐禁戢仍須認真修防力求鞏固以衛民生

一列入祀典之黃河神運河神暨天津大沽口新建海神廟均違官致祭

一山林隱逸果有懷才抱德通達治體者該督撫覈實舉荐聽候錄用

一各省設局抽釐原屬不得已之舉嗣後內外諸臣務當通籌出入設法撙節俟度支充裕

逐漸停減與民休息各該督撫其慎選賢員
覈實經理如有私立名目藉端苛索擾累商
民者從嚴叅辦勿稍徇縱

1125 光緒十四年十一月初四日内閣奉

上諭山西太原鎮總兵負缺著林成興補授欽此

1126 查山西太原鎮總兵係陸路缺謹

奏

1127 光緒十四年十一月初四日内閣奉

上諭剛毅奏特叅專閫大負貪劣多端難資統率一
摺山西太原鎮總兵何鳴高辦事任性信用私人
兼有扣餉曠糧情事實屬貪利營私難膺閫寄何
鳴高著即行革職欽此

1128 光緒十四年十一月初四日内閣奉

上諭剛毅奏請飭催總兵赴任等語山西大同鎮總
兵張樹屏前經賞假回籍就醫早經假滿著安徽

巡撫傳知該總兵迅速赴任以重職守欽此

1129 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 光緒十四
年十一月初四日奉

上諭有人奏知縣貪劣昭著違例徵收請飭查辦一
摺據稱直隸安肅縣知縣葉常芳信任私人盜賣
官地並扣留書院膏火南樂縣知縣恭寅倚任書
吏於差徭之外另立公費名目並荒歉不准蠲緩
各等語所奏如果屬實亟應從嚴叅辦著李鴻章
按照所叅各節確切查明據實具奏毋稍徇隱原
摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵
旨寄信前來

1130 交正黃旗滿洲本日引

見補放吉林佐領二缺擬陪之防禦兼雲騎尉英順

訥蘇肯奉

旨均著記名欽此相應傳知
貴旗欽遵可也此文

十一月初四日

1131 交正紅旗滿洲本日引

見補放西安驍騎校一缺擬陪之前鋒全貴奉旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十一月初四日

1132 蒙

發下摺報已奉

硃批十八件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十一月初四日奉

旨依議欽此

1133 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 兩江總督

一等威毅伯曾 暫署福州將軍閩浙總督兼

管福建巡撫下 調任浙江巡撫江蘇巡撫崧

前安徽巡撫候補三品京堂陳 江西巡撫德

山東巡撫張 河南巡撫倪 傳諭淮安關監

督效曾 光緒十四年十一月初五日奉

上諭慶裕等奏請飭撥東三省來年的餉並請催欠

餉一摺東三省已丑年的餉應撥奉天銀二十六

萬兩吉林銀七萬九千二百兩打牲烏拉銀三萬

三千六百八十兩零黑龍江銀十七萬七千一百

九十二兩零著戶部照數指撥令各該省督撫等

如數籌解毋許遲延並於報解之時分晰奉天吉

林打牲烏拉黑龍江各款目以免牽混至直隸等

省欠解東三省本年的餉暨歷年欠餉著李鴻章

曾國荃卞寶第崧駿陳夔德馨張曜倪文蔚效曾

按照單開數目趕緊籌措務於年內解清以濟要
需原單均着鈔給閱看將此由五百里諭知李鴻
章曾國荃卞寶第岑毓英陳彝德馨張曜倪文蔚並
傳諭致曾知之欽此遵
旨寄信前來

鈔交戶部

1134 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示清漢摺片九件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理慶裕等奏請撥己丑年東三省的

餉並催歷年欠餉摺單一件擬繕寄信

諭旨令各該督撫監督照數籌解恭候

命下遵繕呈進謹

奏

光緒十四年十一月初五日奉

旨依議欽此

1135 光緒十四年十一月初六日內閣奉

上諭御史何福堃奏漢司負班次壅滯酌擬條款設
法疏通一摺著吏部議奏欽此

1136 光緒十四年十一月初六日奉

旨德陞著即革職發往軍臺效力贖罪欽此

旨摺
兵部奏嚴議黑龍江補領德陞處分恩如何從重請

1137 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十一月初六日奉

旨依議欽此

1138 奉

旨除曲二現經越獄脫逃外岳萇香係火器殺人例
實惟死者因將伊姊捏作寡媳誑出價賣復向伊
持槍趕毆實屬理曲逞兇該犯將其致斃與尋常
火器斃命之案不同稍有可原楊泳禾係火器誤
殺旁人例實惟因追捕販私罪人起衅俱著免勾
餘均照所擬欽此

十月二十七日
見面帶上十月初六日
發下由 堂交內閣

1139 奉

旨除曲二現經越獄脫逃外岳萇香係火器殺人楊
泳禾係火器誤殺旁人俱著予勾餘均照所擬欽此

十月二十七日
見面帶上十月初六日
搗破
發下歸籍

1140 奉

旨岳萇香係火器殺人例實惟死者因將伊姊捏作
寡媳誑出價賣復向伊持槍趕毆實屬理曲逞兇
該犯將其致斃與尋常火器斃命之案不同稍有
可原楊泳禾係火器誤殺旁人例實惟因追捕販
私罪人起衅俱著免勾餘均照所擬欽此

九月二十日同山東等省黃冊
見面帶上未
發下

1141 奉

旨岳萇香係火器殺人楊泳禾係火器誤殺旁人俱

著子勾餘均照所擬欽此

九月二十一日同山東等省黃冊
見而帶上未
發下

1142 光緒十四年直隸省秋審常犯情實共四十六

起人犯五十名口內除舊事常犯情實趙懶莽

等三起三名口業於九年並十二年

免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實四十三起

四十七名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞犯張萌虎

因霸砍總麻姪秦樹致被攔阻逞忿故殺其命理

曲情慘法無可寬是以勾決

一起斬犯錢三即錢得山

火器殺人法無可寬是以勾決

一起斬犯陳桂杜仔

因竊拒捕陳桂杜仔刃斃事主郝萌月幫毆刀傷

情殊兇暴均法無可寬是以俱勾決

一起斬犯楊泳禾

火器誤殺旁人惟因追捕販私罪人起釁稍有可

原是以未勾

一起斬犯張秀

挾嫌尋毆點火熏逼燒斃人命法無可寬是以勾決

一起斬犯焦姐乎

火器殺人法無可寬是以勾決

一起絞犯陳三

竊盜拒捕刃傷事主四人情殊兇暴法無可寬是

以勾決

一起絞犯鄭翠

聽從放火燒毀房屋復各下手致斃一命均法無

可寬是以俱勾決

一起斬犯馬鵬灑即馬倉兒

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯張包仔

先犯闖殺擬絞減流累減釋回後復毆斃人命估

惡難寬是以勾決

一起斬犯張澧山

搶奪拒捕刃傷事主情殊兇暴法無可寬是以勾決

一起絞犯鹿洛傑

聚眾奪犯傷差藐法難寬是以勾決

一起斬犯馮二

竊盜臨時護賊拒捕刃傷事主二人情殊兇暴法無可寬是以勾決

一起絞犯秦當

竊盜拒捕鎗傷事主情殊兇暴法無可寬是以勾決

一起斬犯楊二

畧賣婦女未成逞忿故殺其命事後復移屍圍害

法無可寬是以勾決

一起斬犯耿四效

聽從圍財害命雖未加功業已得財法無可寬是

以勾決

一起斬犯劉蘭仔

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯于恆

賭匪逞忿故殺婦女法無可寬是以勾決

一起斬犯黃狗廝

姦匪挾恨謀命淫兇難寬是以勾決

一起斬犯李克勤

逞忿故殺法無可寬是以勾決

光緒十四年山東省秋審服制情實共八起人

犯八名口內除舊服制情實倪若漢等三起三

名口業於上年

免勾時開列榜示外謹將新事服制情實紀青藻等

五起五名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯紀青藻

因見大功兄紀青夏飲醉在街喊罵恐其滋事勸

令回家紀青夏斥罵多管該犯分辯紀青夏扭住

伊衣襟拾石毆傷左額角該犯掙不脫身紀青夏

舉石復毆該犯情急用手抵格不期將石格同致

挫傷其額門連左額角倒地次日殞命傷由抵格

致挫尚非有心干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯劉家虛

因大功兄劉家風之父病故無錢棺殮求伊幫助該犯允給錢文劉家風嫌少索添該犯不允劉家風斥說薄情該犯分辯劉家風聲言將其父屍抬至伊家停放該犯畏兇走進院內關門躲避劉家風上前推擁進院致門扇脫落撞傷其顛門劉家風進院取槍用桿向伊亂毆該犯站在牆角無處躲避接住槍桿央求歇手劉家風持槍桿上截猛力一拉該犯力弱鬆手致槍頭扎傷其左肋倒地移時殞命傷由奪槍自扎尚非有心干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯方百純

因與小功兄方百占地畝毘連被方百占侵種該犯之父方瑞亭屢向索退未還嗣方瑞亭在地栽菜方百占將菜鋤毀方瑞亭查知找向理斥方百占用言頂撞方瑞亭斥罵方百占取木棍毆傷方瑞亭腦後倒地復騎坐身上用棍毆傷頂心該犯走至瞥見情切救護奪棍嚇毆適傷其偏左連額角倒地次日殞命毆由救父情切尚非無故逞兇干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯韓皆書

與胞兄韓潤書無嫌韓潤書素不務正將分得家產蕩盡經其母李氏屢訓不悛嗣韓潤書偷割伊母李氏養贍地內麥禾李氏查知不依韓潤書出言頂撞李氏氣忿用刀扎傷其右脇韓潤書奪刀捺棄將李氏推倒騎壓身上欲毆李氏喊救韓潤書用手搭住李氏咽喉該犯聞鬧趨至拉勸韓潤書堅不鬆放該犯見李氏面紅氣塞恐被搭死情切救護拾刀嚇扎適傷其右後肋倒地移時殞命死者罪犯應死扎由救母情切尚非無故逞兇干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯劉小氣即劉成年

與小功伯母劉氏並郭大田均無嫌郭大田係該犯之母郭氏族弟該犯素患瘋病時發時愈嗣郭氏患病劉氏暨郭大田前往探望在彼留住伴守至夜該犯瘋病復發聲言有鬼持劍刀進屋砍傷郭大田右太陽連耳輪耳根左腮朕連項頸左肱肘倒地劉氏喊救該犯用刀砍傷其左肱肘右臂膊倒地郭大田移時身死劉氏越十一日抽風殞

命該犯到案驗係瘋迷復審供吐明晰以該犯致
斃郭大田罪止擬絞從重照致斃劉氏定擬砍由
瘋發無知尚非有心干犯情稍可原是以未勾
光緒十四年山東省秋審常犯情實馬崑蘭等
共十八起人犯十八名口謹將
勾到時所奉

諭旨恭錄於後

- 一起斬犯馬崑蘭
- 竊匪挾恨謀命脫逃三年後就獲業經免其立法難再寬是以勾決
- 一起斬犯謝泉仔
- 因姦謀斃縱姦本夫淫兇難寬是以勾決
- 一起斬犯宋昆淋
- 挾恨謀命法無可寬是以勾決
- 一起斬犯蘇憬科
- 因姦謀斃縱姦本夫淫兇難寬是以勾決
- 一起斬犯王泳亮即王亮
- 因姦謀斃縱姦本夫淫兇難寬是以勾決
- 一起斬犯王沈萇

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯趙陞

竊盜拒捕鎗斃捕人法無可寬是以勾決

一起斬犯閻在禾

逞忿故殺幼孩法無可寬是以勾決

一起斬犯李青淋即張運仔

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯蔣體仁

挾恨謀命誤斃幼孩法無可寬是以勾決

一起絞犯畢小晚

因瘋連斃平人非一家三命法無可寬是以勾決

一起絞犯蔣鈺海

聽從夥搶室女幫同架拉法無可寬是以勾決

一起絞犯苑憬荏

聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起絞犯郭得即王二

竊盜拒捕鎗傷事主情殊兇暴法無可寬是以勾決

一起絞犯柳氏

威暑連次燙發致斃婦女情殊兇慘法無可寬是

以勾決

一起絞犯薛水仔

刃斃徒手傷多且重法無可寬是以勾決

一起絞犯孟廣修

刃傷要害奇重法無可寬是以勾決

一起斬犯岳長香

火器殺人惟死者將伊姊捏作寡媳誣出價賣復

向伊持鎗趕毆實屬理曲逞兇該犯將其致斃與

尋常火器斃命之案不同稍有可原是以未勾

一起斬犯刁致田

竊盜護贓拒捕刃傷事主在工情殊兇暴法無可寬是以勾決

一起絞犯李孤扒

竊盜拒捕鎗傷事主情殊兇暴法無可寬是以勾決

一起斬犯趙鈺田

圖財害命雖未殺人業已得財法無可寬是以勾決

一起斬犯姜鈺周

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯張泳科

竊盜拒斃事主法無可寬是以勾決

一起絞犯王三楷
喬立楷

聽從聚眾共毆致斃一家二命該犯等各下手致

斃一命均法無可寬是以俱勾決

一起斬犯李得勝

致斃妻父刃物傷多且重複聽從結夥越獄脫逃

法無可寬是以勾決

一起斬犯羅九仔

火器殺人復另傷其堂弟法無可寬是以勾決

一起斬犯張洛五即黑小洛五

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起絞犯真興

僧人聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起絞犯張萌仔

聽從發掘僧塔剝出殮屍骨在外瞭望多次法

無可寬是以勾決

一起斬犯姚廣發

竊盜臨時護贓拒捕鎗傷事主情殊兇暴法無可

寬是以勾決

一起斬犯曹洪勛

火器殺人法無可寬是以勾決

一起絞犯許印廩

聽從發塚開棺見屍在外瞭望三次法無可寬是以勾決

一起絞犯張潤

一起斬犯張潤

圖拐人妻謀斃本夫法無可寬是以勾決

一起斬犯張群旺即張大小

因姦聽從姦婦謀斃本夫淫兇難寬是以勾決

一起絞犯杜海

調姦室女用手拉住將其抓傷致令羞忿自盡淫

兇難寬是以勾決

一起絞犯劉二

共毆斃命倒後刃物傷多且重法無可寬是以勾決

一起斬犯高汝浚

因姦威逼本夫自盡淫兇難寬是以勾決

一起絞犯李會來

聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起絞犯康洛

錫匪聽糾攢斃命情傷俱重法無可寬是以勾決

一起絞犯何老
劉汰

聽從發塚開棺見屍均法無可寬是以俱勾決

一起絞犯李三兒

竊盜拒捕鎗傷事主情殊兇暴法無可寬是以勾決

光緒十四年熱河秋審常犯情實共七起人犯

八名口內除舊事常犯情實滿倉等二起三名

業於十二年並十三年

免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實馮氏等五

起五名口

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯馮氏

逞忿故殺幼孩法無可寬是以勾決

一起斬犯喬汶碌

火器殺人法無可寬是以勾決

一起斬犯帥盡亮

火器殺人法無可寬是以勾決

一起絞犯劉廣幅

聽從謀命下手加功事後復移屍圖詐法無可寬

是以勾決

一起絞犯宋發

致斃雇主巨刃頭面致命傷重法無可寬是以勾決

1143 光緒十四年十一月初八日內閣奉

上諭李鴻章奏神靈顯應請頒扁額等語直隸寶坻縣

關帝廟

龍王廟

城隍廟夙著靈應本年夏間雨澤愆期伏秋後河隄險工疊出經該官紳虔誠祈禱均邀默佑隄工平穩轉歉為豐實深寅感著南書房翰林恭書扁額各一方交李鴻章祇領飭屬分詣敬謹懸挂以答神庥欽此

1144 光緒十四年十一月初八日內閣奉

上諭曾國荃奏總兵病難速痊據情代奏懇請開缺一摺山西大同鎮總兵張樹屏著准其開缺欽此

1145 軍機大臣欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨御史屠仁守奏報劾一途急宜停止一摺所稱報劾萬金其營謀關通常三數千金不等而副都統恩佑乾沒獨多等語是否屬實著總理海軍事務衙門王大臣確查具奏原摺鈔給閱看欽此

1146 交總理海軍事務衙門本日軍機大臣欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨御史屠仁守奏報劾一途急宜停止一摺所稱報劾萬金其營謀關通常三數千金不等而副都統恩佑乾沒獨多等語是否屬實著總理海軍事務衙門王大臣確查具奏原摺鈔給閱看欽此相應密封傳知

貴衙門欽遵可也此交計黏鈔摺一件

十一月初八日

1147 蒙

發下摺報已奉

硃批二十一摺其餘應請

批示清漢摺片二十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十一月初八日奉

旨依議欽此

1148 李鴻章片一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

1149 奉

旨劉常法即劉浴城係因瘋連斃非一家三命著予

勾餘均照所擬欽此

十月二十七日同
朝審黃冊

見而帶上
十一月初八日

發下由 堂交內閣

1150 奉

旨劉常法即劉浴城係因瘋連斃非一家三命例實

惟該犯之祖充當勇丁打仗陣亡著免勾餘均照

所擬欽此

十月二十七日同
朝審黃冊

見而帶上
十一月初八日

撕破
發下歸檔

1151 光緒十四年

朝審服制情實一起人犯一名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

計開

一起絞犯王連才

因期親叔母倪氏憑媒王大慶將女王秋頭許與馬得舜為妻該犯聞知因馬得舜年紀過大不甚相當勸倪氏將定禮送還倪氏不允斥罵多管該犯生氣聲稱如與馬得舜作親不令倪氏在村居住當即走回該犯弟妻全氏查知亦向倪氏勸阻被斥全氏氣忿即以倪氏與馬得舜年歲相當不如嫁給之言吵嚷走散倪氏因該犯等不願作親往找王大慶索回庚帖並將定禮退還王大慶推辭不管倪氏令子王大保送還定禮馬得舜不依聲言如果退婚定行呈控王大保回向倪氏告述倪氏愁急莫釋用紅誓與王大保王秋頭並子王大秋王小保一齊吞服同赴該犯家拚命倪氏王大秋王小保王秋頭均於日毒發身死王大保越七日殞命以該犯逼斃倪氏一命擬抵衅起口角死由服毒自盡尚無實在逼迫重情稍有可原是以未勾

光緒十四年

朝審常犯情實共九起人犯九名口內除舊事常

犯情實張二狗即汶洪等五起五名口業於四年並六年八年九年及十三年

免勾時間列榜示外謹將常犯情實杜一等四起四名勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯杜一

聽從行劫入室搜贓業因供獲夥盜免其立法

難再寬是以勾決

一起絞犯趙汶萇即趙二

遣犯越獄脫逃復糾竊計贓逾貫並另犯夥竊多

次係屬兩犯死罪統法怙惡難以寬免是以勾決

一起絞犯同民劉常汰即劉浴城

因瘋連斃非一家三命法無可寬是以勾決

一起絞犯王供城

故殺瘋病之妻事後復將屍身支解情殊殘忍法

無可寬是以勾決

滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎即補郎中文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

京察一等 記名道府選銜禮部郎中玉恒

侍讀銜刑部主事桂春

四品銜吏部郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾賚額

四品銜理藩院員外郎多壽

理藩院即補郎中志樸

漢頭班章京

前太僕寺卿馮光勛

刑部郎中孟繼燠

兵部即補郎中沈恩嘉

俸滿截取 記名繁缺知府戶部郎中徐樹鈞

戶部員外郎顧璜

吏部員外郎王倣

刑部員外郎陳邦瑞

四品銜兵部主事即補員外郎胡寶鐸

刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

四品銜通政使司叅議堃岫

理藩院員外郎即補郎中奎華

戶部員外郎孚琦

侍讀銜戶部主事延祉

京察一等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部郎中補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

前大理寺卿沈源深

太僕寺少卿錢應溥

俸滿截取 記名繁缺知府四品銜工部郎中祝維城

吏部郎中兼襲騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳蒂棠

刑部主事易俊

刑部主事馮錫仁

負外郎銜吏部候補主事孫朝華

戶部候補主事王頌蔚

1153 光緒十四年十一月初九日內閣奉

上諭山西大同鎮總兵負缺著黃金志補授欽此

1154 查山西大同鎮總兵係陸路缺謹

奏

1155 光緒十四年十一月初九日內閣奉

上諭衛榮光奏神靈顯應請頒扁額一摺浙江天台縣關帝廟於潛縣章馱神均著靈應上年夏秋之交該

處地方疫癘流行天氣亢旱經該官紳等虔詣祈

禱時疫漸消甘霖立沛實深寅感著南書房翰林

恭書扁額各一方交衛榮光祇領飭屬敬謹分詣

懸挂以答

神庥欽此

1156 光緒十四年十一月初九日內閣奉

上諭倪文蔚奏神靈顯應請加封號並頒扁額等語

河南魯山縣

城隍神風著靈異咸豐年間捻匪竄擾疊邀護佑

轉危為安該處地方每值暘雨愆期祈禱輒應實

深寅感著南書房翰林恭書扁額一方交倪文蔚

祇領飭屬敬謹懸挂以答

神庥至所請救加封號之處著禮部議奏欽此

1157 光緒十四年十一月初九日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨著改用太監宣

讀欽此

禮部奏冊封謹備珍攝冊文是否改用太監宣讀片

黃西紅裏

1158 蒙

發下摺件已奉

硃批十一件其餘應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十一月初九日奉

旨依議欽此

1159

剛毅摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

1160 光緒十四年十一月初十日奉

旨仍著暫照現在章程辦理欽此

刑部奏 歸政後朝審司到歸復舊制摺

1161 蒙

發下摺報已奉

硃批二十五件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十一月初十日奉

旨依議欽此

1162 黎庶昌摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

十一月初十日

1163 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

十一月初十日

1164

奏為請

旨事伏查光緒十三年正月

皇上親政

臣世鐸等和布張之洞等伏在宮中跪

皇太后訓政所有一切應行事宜或酌復舊制或變通

辦理或暫緩舉行由臣等公同參覈於十二年

十月十七日開列條款具奏二十日欽奉

懿旨依議在案明年二月恭逢

歸政大典除業經歸復舊制各事無庸另議外現在應辦之

事有應歸復舊制者有仍應暫為變通者臣等悉心

商酌並與醇親王面商意見相同謹擬條目恭候

欽定

一

臨雍

經筵典禮

御門辦事仍恭候

特旨舉行

一中外臣工奏摺應恭書

皇上聖鑒至呈遞請

安摺仍應於

皇太后

皇上前各遞一分

一各衙門引

見人負

皇上閱看後擬請仍照現章於

召見日等時請

旨遵行

一鄉會試及各項考試恭請

欽命題目其應進四書五經者由臣等分別呈進至

各項繙譯題仍由南書房翰林辦理考試蒙古

中書等項仍由臣等照例恭擬繙譯題呈遞

一內外臣工摺奏已奉

硃批之件欽遵辦理如有

發下未經

批示之件由臣等分別繕擬批條呈進恭候

欽定其應請

旨辦理者俟

召見時請

旨

一在京各衙門每日具奏摺件擬請查照醇親王

條奏

皇上披閱傳

旨後發交臣等另繕清單恭呈

皇太后慈覽至內閣進呈本章及空名等本擬請暫照

現章辦理

一每日外省摺報

硃批發下後查照醇親王條奏由臣等摘錄事由及

所奉

批旨另繕清單恭呈

皇太后慈覽

一

簡放各缺擬請於

召見時請

旨後由臣等照例繕寫

諭旨呈進其

簡放大員及各項要差擬請查照醇親王條奏由臣

等請

旨裁定後

皇上奏明

皇太后次日再降

諭旨

一滿漢尚書侍郎缺出應升應署及各省藩臬
缺出擬請暫照現章由臣等開單進呈恭候
簡用

一武

殿試向由兵部奏請

皇上親閱考試擬請歸復舊制辦理

一兵部奏派查齊大臣向係分繕清字大牌紅

頭綠頭名籤恭候

欽派八旗吹演海螺向係恭繕清字大牌奏

聞擬請歸復舊制辦理

一

勾到事宜擬請暫照現章辦理

一每年各省年終密考摺片單向不

發下應請循照舊制

留中備覽

一遇有清字

諭旨向來不用漢字夾片其應用清字奏片及呈換

新疆大臣名單應放副都統名單向係不繕漢

文擬請歸復舊制辦理

一遇有寄信

諭旨擬請查照舊制請

旨酌定里數或馬上飛遞臣等欽遵辦理

一西北兩路將軍大臣等報匣擬照舊制恭請

硃筆押封

以上各條恭候

皇太后

皇上聖鑒訓示臣等敬謹遵行其有應行知照京外

各衙門者分別辦理謹

奏

光緒十四年十一月初十日

光緒十四年十一月十五日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨依議欽此

1165 謹將光緒十二年十月十七日臣等具奏

親政事宜各條恭錄呈

覽

一本年

皇上恭詣

東陵

大祀

團丘均奉

特旨

親詣行禮嗣後

臨雍

耕藉

經筵典禮

御門辦事均擬請恭候

特旨舉行

一中祀羣祀應分別

親詣恭代之處擬照舊制由該衙門按時題請

一恭遇

皇太后

皇上萬壽聖節及元旦長至傳臚諸大典一切行禮

受賀筵宴各事宜請循照舊制由禮部會同各

衙門題請

一凡遇

召見引

見

皇太后升座訓政擬照禮臣會議暫設紗屏為幃

一中外臣工呈遞

皇太后

皇上安摺應請恭照現式豫備奏摺亦恭照現式書寫

一近年各衙門改歸驗放驗看開單請

旨及暫停引

見人員擬請循照舊制一律帶領引

見仍恭候

總旨遵行排單照現章豫備

一鄉會試及各項考試題目向例恭候

欽命者擬請循照舊制由臣等進書恭候

慈覽擇定篇頁請

皇上欽命題目仍進呈

慈覽發下毋庸奏請派員擬題至各項繕譯場題仍由南

書房翰林辦理考試蒙古中書等項仍由臣等

照例恭擬繕譯題呈遞

一內外臣工摺奏應行

批示者擬照舊制均請

硃筆批示恭呈

慈覽發下

一在京各衙門每日具奏摺件擬請暫照現章
由臣等繕單請

旨其內閣每日進呈本章及空名等本擬請暫照現
章辦理

一滿漢各缺遇有應請

旨簡放者擬照舊制分別繕寫清漢字空名

諭旨恭候

懿旨簡放

硃筆填寫如

召見時業經承

旨簡放有人即由臣等照例繕寫

諭旨呈遞

一滿漢尚書侍郎缺出應升應署及各省藩臬

缺出應請

旨簡放向來均不進單恭候

特簡今擬請暫照現章仍由臣等開單進呈請

旨簡用

一

武殿試舊例由兵部奏請

皇上親閱考試今擬俟屆期請

旨

一兵部奏派查齊大臣舊制分繕清字大牌紅

頭綠頭名籤進呈恭候

欽派八旗吹演海螺舊制恭繕清字大牌奏聞今擬

請暫照現章辦理

一

勾到事宜擬請暫照現章辦理

一各衙門引

見

特旨錄用人員向不擬

旨均係候

旨酌用今擬請暫照現章辦理

一每年各省密考摺片單向不發下今擬請暫

照現章辦理

一遇有清字

諭旨舊制不用漢字夾片其應用清字奏片及呈換

新疆大臣名單應放副都統名單舊制不繕漢

文今擬請暫照現章辦理

一遇有寄信

諭旨舊制請

旨酌定里數今擬請暫照現章辦理

一西北兩路將軍大臣等報匣舊制請

硃筆押封今擬請暫照現章辦理

一巴圖魯名號應照舊制仍繕寫滿蒙漢三體

字開單呈進恭候

硃筆圈出再由臣等填寫

一臣等遇有應交內奏事處呈遞之奏片請照

舊制仍由內奏事處隨時呈遞

1166 謹將醇親王函擬各條照鈔恭呈

慈覽

一

臨雍

經筵現雖候

旨舉行然但展年限若不習之有素將來終屬生疏

請於

毓慶宮時加練習日久嫻熟即可照例舉行以重

成憲

御門辦事較易請由軍機大臣侍習數月即可舉行

至副都統頭二等侍衛有補授內閣學士之例

題本向不開列應出自

特簡

一

歸政後若即復引

見舊制仍慮

降旨或誤請暫於

閱看引見後

召見軍機大臣按排單定安傳

旨並請隨時由

御前大臣軍機大臣將應如何

面諭清語舊制詳加奏請練習計一年後即可照例

辦理如引

見人員內或另行簡用或格外

施恩等事仍可留俟

召見軍機大臣時定擬

一

歸政後中外臣工奏摺自應照舊例不書

皇太后聖鑒字樣至於請

安摺件應於

皇太后

皇帝前各遞一分

一

簡放人員開列缺單較

特旨自為周備然量才器使不次擢用之負亦不可

為缺單所拘是在責處以人事

君之忱未敢妄贊者也

一武

殿試

親閱弓刀石馬步箭優劣易辨請照舊例舉行

一兵部奏

派查齋及八旗吹演海螺請照舊例辦理

一

勾到闈繫極重每次業情又復不同雖練習亦恐有

誤似宜照現在變通章程多辦數年為妥

一清字

諭旨舊制不用漢字夾片又清字奏片並呈換新疆

大臣名單應致副都統各單舊制均不應漢文

皇帝清文已熟請循舊制辦理

1167 軍機大臣 字寄

福建臺灣巡撫劉 光緒十四年十一月十一

日奉

上諭有人奏疆臣不勝職任據實糾參一摺據稱劉

銘傳於撫番清丈徒事鋪張致有埤南激變之事

並任用非人漫視民瘼以致奸民土匪乘機作亂

官激民變確有明徵用人辦事顛頑竭廢各節又

片奏彰化各處因科派單費一鄉盡逃臺南尤甚

及投効函招各員委署鳳山等缺變通補署未免

偏私各等語劉銘傳自簡任臺灣巡撫以來辦事

尚為得力惟恐操之過急任用或不得人措置不

無失當以致民心未協激成近日番變參摺所陳

均不為無因著即鈔給劉銘傳閱看該撫當仰體

朝廷開誠訓戒示以謗書之意於摺內所陳平心
省察據實覆奏一面清釐正賦禁革規費並嚴查
貪吏從重懲辦勿稍瞻徇至片奏臺省缺員應請
揀發一節並著該撫酌覈具奏將此諭令知之欽

此遵

旨寄信前來

1168 光緒十四年十一月十一日內閣奉

上諭理藩院尚書著嵩申補授欽此

1169 應調滿洲尚書名單

協辦大學士戶部尚書福錕

吏部尚書錫珍

禮部尚書奎潤

兵部尚書烏拉喜崇阿

刑部尚書麟書

工部尚書崑岡

1170 應升滿洲尚書名單

都察院左都御史松森 現在請假

吏部左侍郎松淮

右侍郎景善 現在請假

硃○ 戶部左侍郎嵩申

右侍郎熙敬

禮部左侍郎敬信

右侍郎續昌 現兼署刑部右侍郎

兵部左侍郎師曾

右侍郎崇禮 現兼署工部左侍郎
現在請假

刑部左侍郎桂全

右侍郎貴恆 現出學差

工部左侍郎烏拉布 現出學差

右侍郎清安

理藩院左侍郎恩崇

右侍郎慶福

盛京戶部侍郎綿宜

禮部侍郎文暉

兵部侍郎鳳秀

刑部侍郎英煦

工部侍郎阿克丹

1171 鑲藍旗蒙古都統前工部尚書榮祿

1172 光緒十四年十一月十一日內閣奉

上諭理藩院尚書紹祺練達勤慎學問優長由翰林
洵陟卿貳外任都統旋授尚書宣力有年克稱厥
職茲聞溘逝軫惜殊深加恩賞給陀羅經被派奉
恩輔周公載澤帶領侍衛十員即日前往奠醊照
尚書例賜卹並著賞銀五百兩由廣儲司給發經
理喪事任內一切處分悉予開復應得卹典該衙
門察例具奏伊子候選員外郎世培著俟服闋後
以員外郎即選用示篤念蓋臣至意欽此

1173 光緒四年十一月二十日內閣奉

上諭前任戶部尚書魁齡老成練達辦事慎勤由卿
貳洵升工部尚書調補戶部尚書並補授總管內
務府大臣宣力有年克慎厥職前因患病准予開
缺方冀調理就痊長承恩眷茲聞溘逝軫惜殊深

加恩賞給陀羅經被派貝勒載澂帶領侍衛十員
即日前往奠醊照尚書例賜卹並著賞銀五百兩
由廣儲司給發經理喪事任內一切處分悉予開
復應得卹典該衙門察例具奏伊子福緒著賞給
主事俟及歲時分部學習行走用示篤念耆臣至
意欽此

1174 光緒十三年二月三十日內閣奉

上諭禮部尚書廷煦練達勤慎學問優長由翰林洵
陟卿貳外任都統旋補左都御史擢授尚書宣力
有年克稱厥職前因患病疊次賞假方期調理就
痊長資侍畀茲聞溘逝軫惜殊深加恩賞給陀羅
經被派貝勒載澂帶領侍衛十員即日前往奠醊
照尚書例賜卹並著賞銀五百兩由廣儲司給發
經理喪事任內一切處分悉予開復應得卹典該
衙門察例具奏伊孫容溶著賞給主事分部學習
行走用示篤念蓋臣至意欽此

1175 蒙

發下摺報已奉

硃批十件其餘應請

批示漢字片一件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十一月十一日奉

旨依議欽此

1176 照錄醇親王信函一件恭呈

慈覽謹

奏

十一月十一日

1177 蒙

發下托倫布等摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年十一月十二日奉

旨依議欽此

1178 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年十一月十三日奉

旨依議欽此

1179 蒙

發下摺件已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年十一月十四日奉

旨依議欽此

1180 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

十一月十三日

1181 光緒十四年十一月十五日內閣奉

上諭戶部左侍郎兼管三庫事務著熙敬轉補敬信

著調補戶部右侍郎兼管錢法堂事務禮部左侍

郎著續昌轉補文興著補授禮部右侍郎欽此

1182 應調滿洲侍郎名單

吏部左侍郎松桂

右侍郎景善 現在請假

戶部右侍郎熙敬

禮部左侍郎敬信

右侍郎續昌 現兼署刑部右侍郎

兵部左侍郎師曾

右侍郎崇禮 現兼署工部左侍郎
現在請假

刑部左侍郎桂全

右侍郎貴恆 現出學差

工部左侍郎烏拉布 現出學差

右侍郎清安

理藩院左侍郎恩棠

右侍郎慶福

倉場侍郎興廉

盛京戶部侍郎綿宜

禮部侍郎文暉

兵部侍郎鳳秀

刑部侍郎英煦

工部侍郎阿克丹

應升滿洲侍郎名單

內閣學士文興

寶昌

豐烈

文治

福楸

裕德 現出學差

都察院左副都御史志元 現在請假

奕年

通政使司通政使奕林

大理寺卿明桂 現在請假

詹事府詹事霍穆敬

殊。

1183

1184 光緒十四年十一月十五日內閣奉

上諭北洋海軍提督著丁汝昌補授北洋海軍左翼總兵著林泰曾補授北洋海軍右翼總兵著劉步蟾補授欽此

1185 光緒十四年十一月十五日內閣奉

上諭護理漕運總督淮揚海道徐文達奏湖河各工防守平穩一摺本年伏秋大汛沂泗壘長黃淮繼至經該督撫等督飭在事人員設法疏消隨時搶護仰賴

神靈庇佑工程一律平穩裏下河收成豐稔寅感實深著發去大藏香十五枝交該護督祇領前詣河神廟敬謹祀謝以答神庥餘著照所議辦理欽此

1186 光緒十四年十一月十五日內閣奉

上諭護理漕運總督淮揚海道徐文達奏神靈顯應請頒扁額等語江蘇清江城隍神夙著靈應本年夏秋之交雨澤稀少經該

道等虔誠祈禱立沛甘霖得以及時播種實深寅感著南書房翰林恭書扁額一方交徐文達祇領敬謹懸挂以答神庥欽此

1187 光緒十四年十一月十五日內閣奉

上諭本年各直省辦理秋審人犯經刑部由緩決改情實者湖南山東均多至六起該撫並臬司於秋讞重犯未能詳審覈議著交部查明分別議處嗣後各將軍府尹督撫等務當督同所屬遵照定例酌覈案情悉心究擬固不可失之刻覈亦不可惑於救生不救死之說故從輕減總期執法持平無枉無縱用副明慎用刑至意將此通諭知之欽此

1188 本年秋審各省由緩改實起數單

- 四川省二起
- 福建省一起
- 奉天省四起
- 吉林省二起

- 甘肅省二起
- 湖南省六起
- 湖北省一起
- 浙江省四起
- 江西省一起
- 安徽省三起
- 江蘇省三起
- 河南省一起
- 山東省六起
- 山西省三起
- 熱河一起

1189 光緒十四年十一月十五日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨依議欽此

海軍衙門奏報銷章程摺

1190 恭擬

歸政
恩詔條款

恩詔條款

一 歷代帝王陵寢先師孔子闕里應遣官致祭
著察例舉行

一 岳鎮四瀆廟宇該地方官查有棟椽傾損葺
飾不完者隨時修葺以昭誠敬

一 滿漢孝子順孫義夫節婦該管官細加諮訪
確具事實奏聞禮部照例旌表

一 京外大小文武官員著賞加一級

一 在京文武官員現在議降議罰及以前有革
職留任及降級罰俸之案悉予豁免

一 各省民人有孤貧殘疾無人養贍者該地方
官加意撫恤如無室廬棲處該地方官酌設
棲流所以便棲處

一 軍民年七十以上者許一丁侍養免其雜派
差役

一 各省要路橋梁間有損壞行人勞苦該督撫
查明飭令地方官隨時修理

一 各省民人有孤貧殘疾無人養贍者該地方
官加意撫恤如無室廬棲處該地方官酌設
棲流所以便棲處

一 軍民年七十以上者許一丁侍養免其雜派
差役

一 各省要路橋梁間有損壞行人勞苦該督撫
查明飭令地方官隨時修理

一 各省民人有孤貧殘疾無人養贍者該地方
官加意撫恤如無室廬棲處該地方官酌設
棲流所以便棲處

一 軍民年七十以上者許一丁侍養免其雜派
差役

一 各省要路橋梁間有損壞行人勞苦該督撫
查明飭令地方官隨時修理

一 各省民人有孤貧殘疾無人養贍者該地方
官加意撫恤如無室廬棲處該地方官酌設
棲流所以便棲處

一 軍民年七十以上者許一丁侍養免其雜派
差役

一 各省要路橋梁間有損壞行人勞苦該督撫
查明飭令地方官隨時修理

皇上親政

1191 光緒十三年

1192 蒙

發下摺報已奉

硃批二十八件其餘應請

批示漢字摺片單三十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單八件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十一月十五日奉

旨依議欽此

1193 蒙

發下摺件已奉

硃批二十五件其餘應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件單一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年十一月十六日奉

旨依議欽此

1194 蒙

發下摺件已奉

硃批八件其餘應行請

旨摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年十一月十七日奉

旨依議欽此

1195 蒙

發下摺件已奉

硃批十八件其餘應請

批示漢字摺一件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年十一月十九日奉

旨依議欽此

1196 光緒十四年十一月二十日內閣奉

上諭陳夔奏查明各屬秋禾歉收分別輕重情形酌擬蠲緩錢糧一摺本年安徽潁州等府州屬因黃流下注被水淹沒廬州等府州屬暨天長縣自夏徂秋亢旱異常其餘各屬並有被水被旱被風被災之處秋成歉薄若將應徵錢糧照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有被水極重之大和潁上二縣業經蠲免本年上忙各保田地同受旱極重之全椒縣並滁州衛顆粒無收各保田畝應徵本年下忙民衛各款錢糧銀米著悉予蠲免其餘各保田地同被水被旱較重之壽州鳳臺懷遠鳳陽並臨淮鄉盱眙五河合肥滁州來安天長十州縣及鳳陽長淮泗州廬州滁州五衛嵌坐該州縣屯田通境應完本年民衛丁漕銀米除上忙已完並壽州鳳臺懷遠鳳陽併臨淮鄉盱眙五河六州縣暨鳳陽長淮泗州三衛上忙已經蠲免外其餘未完上忙及本年下忙民衛各款錢糧銀米同未完歷年災緩熟欠各項銀米著一律全緩如有將本年錢漕已徵在官者准其流抵次年新賦又

復被黃水之泗州業經蠲免本上年上忙各保田地應徵本年下忙錢糧仍著蠲免其泗州之舊虹鄉通境新漕並泗虹兩境同阜陽渦陽靈璧三縣並鳳陽長淮泗州三衛嵌坐該州縣屯田暨定遠巢縣桐城宿州廬江霍邱東流銅陵當塗和州含山無為蕪湖亳州舒城宣城懷甯宿松建德貴池繁昌二十一州縣並宣州建陽安慶廬州鳳陽長淮六衛嵌坐該州縣屯田均係勘不成災內除懷甯宿松二縣光緒八年沙壓田畝無徵外其餘同各屬應徵本年民衛丁漕蘆課等款銀米別熟徵收內宿松霍邱二縣帶徵光緒十三年熟欠又宿州商稅場租又宿松縣源課商稅學囚等租五河縣商稅長縣秋糧照常徵收其勘不成災各屬各保內本年無收民田八萬九千九百九十二頃十一畝零內黃水淹浸田九千六百二十頃三十一畝零業經蠲免上忙一半丁地存俸等銀一萬九千四百七兩零下忙仍著蠲免銀四千六百八十兩零又受旱極重田三百二十頃六十九畝零著蠲免丁地等銀五千五百四十二兩零又上忙蠲免收馬

廩租雜辦等銀五百五十二兩零下忙仍著蠲免收馬廩租等銀九十五兩零並漕贈等米二百二十六石零又史緩丁地等款銀三十萬三千四百六十八兩零又漕南兵孤米麥五萬九千一百九十四石零又收馬廩租雜辦等銀七千四百二十八兩零又外衛屯田一千項七十八畝零內黃水淹沒田二十七項九十八畝零業經蠲免上忙一半銀一百十四兩零史緩屯折等銀七千四百二十兩零又省衛受旱極重田六百四十三項十七畝零著蠲銀三千八百四十四兩零勘不成災田四千六百八十項六十五畝零緩徵銀二萬三千八百十八兩零兵匠屯撫等米一萬四百三石零又屯運田七十一項五十三畝零應徵漕項津租銀八百六十二兩零又蘆洲九千一百十九頃四十九畝零應徵蘆課銀一萬九千九百三十八兩零又宣州等衛本年無收屯田一千三百二十七頃七十八畝零內除黃水淹浸田二百三十一頃十三畝零業經蠲免上忙一半銀九百八十八兩零史緩銀九千一百二十一兩零又蘆洲六百九頃八

十四畝零應徵銀一千三百四十二兩零同宿松縣藉租均著緩至光緒十五年察看情形分別徵至被水被旱極重之太和等三縣同被水被旱較重之壽州等十州縣鳳陽等五衛嵌坐該州縣屯田同情形亦重之泗州並舊虹鄉及輕重不等之阜陽等二十四州縣及廬州等六衛嵌坐該州縣屯田勘不成災保內未經被水被旱被風被蟲田地應徵節年熟田舊欠銀米除霍邱宿松二縣酌帶十三年熟外其餘各屬均著分別徵並別熟徵收新賦其各州縣衛自光緒六年以後災緩民衛各款銀米著隨同本年勘不成災受被款輕重不等各田畝一律緩征又光緒五年宿松無為和州三州縣借修各圩堤前請分限歸款銀兩著將未完各限災熟銀兩一律遞緩又光緒九年桐城縣借修圩堤前請分限攤徵銀兩並原緩銀兩著一併遞緩其大和等州縣及屯坐各衛所緩漕項銀兩著至光緒十五年麥熟後徵徵所緩漕糧米石著至光緒十五年秋後徵徵以紓民力餘著照所議辦理該撫即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠

均需毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1197 光緒十四年十一月二十日內閣奉

上諭陳夔奏查明安徽各屬秋禾歉收請分別蠲緩漕糧開單呈覽一摺安徽各屬本年入夏後晴雨未勻江淮並漲潁州等府州屬復遭黃水淹沒廬州等府州屬暨天長縣被旱甚重其餘各屬並有被水被旱被風被蟲之處收成歉薄若將漕糧照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有情形極重之太和潁上二縣黃水淹浸各保田畝應完本年漕糧著悉予蠲免其餘各保田地同壽州鳳臺懷遠盱眙五河合肥天長及泗州之舊虹鄉應完新舊漕糧著全行緩徵如有豫完在官者准其流抵次年漕糧又阜陽渦陽靈璧集縣定遠桐城宿州廬江霍邱東流銅陵亳州蕪湖舒城宣城當塗無為懷甯宿松建德貴池繁昌二十二州縣內除懷甯宿松二縣光緒八年沙壓田畝無徵外其餘同阜陽等州縣勘不成災保內歉收田畝新舊

漕糧及歷年災緩舊欠漕米均著分別緩徵至未被災之沿山太湖望江南陵溇縣甯國旌德太平青陽蒙城六安英山霍山廣德建平十五州縣內除潛山太湖英山霍山四縣光緒八年沙壓田畝無徵外餘同望江等州縣熟田新漕並阜陽等二十二州縣有收保內應徵本年新漕均著照常徵收內旌德縣帶徵光緒二十三年熟田舊欠餘悉查照地丁一律辦理以紓民力該撫卽刊刻勝黃並將單內所開巨圖村莊分晰徵緩詳細刊明通行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意餘著照所議辦理該部知道單併發欽此

1198 光緒十四年十一月二十日內閣奉

上諭直隸天津鎮總兵員缺著羅榮光補授欽此

1199 查直隸天津鎮總兵係陸路缺謹
奏

1200 光緒十四年十一月二十日奉
旨依議欽此

健銳營奏請續修營房摺

1201 光緒十四年十一月二十日奉
旨依議欽此

火器營奏請續修營房摺

1202 蒙

發下托倫布等摺二件繕擬批條呈進恭候
欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十一月二十日奉

旨依議欽此

1203 蒙

發下摺件已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片單八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年十一月二十一日奉

旨依議欽此

1204 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

十月二十日

1205 交內務府本日引

見

永陵尚膳正

西陵內管領各一缺擬陪之尚膳副全忠副內管領毫

年奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

十一月二十二日

1206 蒙

發下懷塔布摺一件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十一月二十二日奉

旨依議欽此

1207 光緒十四年十一月二十三日內閣奉

上諭甘肅甯夏府知府負缺著慶熙補授欽此

1208 查甘肅甯夏府知府係衝繁疲難最要缺謹

奏

1209 交鑲黃旗滿洲本日引

見補放涼州佐領一缺擬陪之防禦精微奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十一月二十三日

1210 交鑲白旗滿洲本日引

見補放

昭陵防禦一缺擬陪之驍騎校裕誠補放吉林驍騎校

二缺擬陪之領催常金領催連陞補放密雲驍

騎校一缺擬陪之委前鋒校俊長奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十一月二十三日

1211 交正白旗蒙古本日引

見補放

盛京佐領一缺擬陪之驍騎校阿克達布奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十一月二十三日

1212 光緒十四年十一月二十三日奉

旨著照此次刪改清單給獎該部毋庸議駁欽此

吏部奏補遺劉傳雲另覓請獎摺

1213 蒙

發下摺報已奉

硃批十三件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺五件圖一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十一月二十三日奉

旨依議欽此

1214 懷塔布摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

十一月二十三日

1215 查軍機章京前太僕寺卿馮光勳現在病故所

遺章京一缺應以服闋仍在軍機章京上行走

之前大理寺卿沈源深充補謹

奏

光緒十四年十一月二十三日奉

旨知道了欽此

1216 百日服滿前任湖南鹽法長寶道宜麟

旨回原衙門行走

殊。

硃。旨著交吏部照例辦理
1217 百日服滿前任直隸易州理事通判文杰

硃。旨著以主事用
1218 文章張恆湘

旨著以通判用
1219 文章張恆湘

硃。旨著以員外郎分部行走
1220 閒散信恪

旨著賞給三等侍衛在大門上行走
1221 閒散信恪

硃。旨著以主事分部行走
1222 三品廕生信勤

硃。旨著以主事分部行走
1223 閒散信愷

1224 軍機大臣 字寄

福州將軍 直隸兩江湖廣閩浙兩廣四川江
蘇安徽江西浙江湖北湖南河南山東山西廣
東各督撫 傳諭淮安關粵海關各監督
光緒十四年十一月二十四日奉

上諭戶部奏豫撥來年京餉一摺歷屆京餉均係年
前豫撥光緒十五年京餉該部擬在地丁鹽課等
款內指撥銀七百萬兩並聲明本年部庫之款提
撥截留為數甚鉅庫儲現在空虛轉瞬開春應放
俸餉各項更虞無從支持請飭設法提前趕解等
語京餉關繫緊要本年部庫存款無多待用尤亟
現經該部就各省關情形酌量動撥自應遵照奏
定數目源源報解以應要需著該將軍督撫監督
等務於來年分批提前趕解限五月前解到一半
十二月初間全數解清不准截留改撥藉詞延誤
儻屆限不到即著該部照奏定章程指名嚴叅原

單著鈔給閱看另片奏光緒十五年內務府經費
擬撥兩淮鹽課銀十二萬兩兩浙鹽課銀五萬兩
廣東鹽課銀五萬兩湖北鹽釐銀五萬兩福建茶
稅銀五萬兩兩淮安關常稅銀三萬兩閩海關常稅
銀十萬兩九江關常稅銀十五萬兩共銀六十萬
兩請飭依限完解等語著該將軍督撫監督等務
於來年開印後陸續徑解內務府交納先將起程
日期報部仍限六月前解到一半十二月初開場
數解清不准稍有蒂欠將此由五百里諭知福州
將軍直隸兩江湖廣閩浙兩廣四川江蘇安徽江
西浙江湖北湖南河南山東山西廣東各督撫並
傳諭淮安關粵海關各監督知之欽此遵
旨寄信前來

鈔交戶部

1225

順天
步軍統領衙門
五城御史

交日本軍機大臣面奉

諭旨有人奏崇文門內外有軍犯王四海及弟王五
石頭朝陽門外有東霸天劉大及牛眼馬四小太
歲張七西四牌樓有猪牙子金三及崔禿子滾地

雷紀大花戶葉三即葉書年諸匪或結黨兇橫或
包攬倉務請飭查拏等語著步軍統領衙門順天
府五城御史一體嚴密查拏務獲究辦欽此相應
傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

計粘鈔片二件
丁月二十四日

1226
蒙

發下摺件_臣等公同商閱應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單九件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十一月二十四日奉

旨依議欽此

1227 光緒十四年十一月二十四日奉

旨二十八日考試馬步箭二十九日在乾清宮考試
繙譯欽此

宗人府奏請考試宗室摺

1228 光緒十四年十一月二十四日奉

旨仍照道光二十三年成案停領欽此

戶部議覆請馬步箭摺

1229 蒙

發下摺報已奉

硃批十三件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理并奏奏起程日期摺及請撥銀兩

片查該大臣辦理此事尚能盡心擬請電寄

諭旨稍加褒獎並令劉秉璋撥銀七八萬兩解交打

箭爐廳負收存轉匯即飛咨升奏遵照恭候

命下遵繕呈遞謹

奏

光緒十四年十一月二十五日奉

旨依議欽此

1230 光緒十四年十一月二十六日內閣奉

上諭托倫布等奏軍臺廢負由配脫逃請旨飭緝究
辦一摺已革參將唐永福膽敢由配脫逃該都統
等已咨行鄰境緝拏難保不私回原籍或潛行來
京著湖南巡撫步軍統領衙門順天府五城御史
一體嚴拏務獲究辦欽此

1231 六品廕生景恩

硃。旨著發回原處以驍騎校用

1232 六品廕生英文

硃。旨著發回原處以驍騎校用

1233 蒙

發下摺件已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十一月二十六日奉

旨依議欽此

1234 光緒十四年十一月二十七日內閣奉

上諭翰林院侍講學士志銳奏請續修八旗氏族通

譜一摺據稱八旗氏族通譜自成書後迄今世爵

之增錫佐領之添設與撥隸各府移防外省視原

書所載已多不同請特派大臣續修等語雍正十三年十二月奉

旨八旗滿洲姓氏衆多向無彙載之書難於稽考著將八旗姓氏詳細查明等因欽此是氏族通譜一書原令記載姓氏不使淹沒雖敘其事蹟官爵不過略書梗概凡查考各項世職根由自有內閣吏部兵部檔冊可憑不得執此為據其詳見於凡例該侍講學士所請開局續修之處著毋庸議欽此

1235 光緒十四年十一月二十七日內閣奉

上諭岑毓英等奏藩司曾紀鳳懇請開缺養親據情代陳暨雲南現辦要務正需該負相助為理各摺片雲南布政使曾紀鳳以伊母年逾八旬懇請開缺回籍終養情詞肫摯原應准如所請惟雲南現在籌餉開荒等事均關緊要該負辦理尚稱得力且伊母迎養在署自可隨時侍奉曾紀鳳著毋庸開缺俟雲南要務辦理就緒再行陳請欽此

1236 光緒十四年十一月二十七日內閣奉

上諭張曜奏已故知縣短欠交款銀兩請旨革職查抄一摺山東已故冠縣知縣韓光鼎已故惠民縣調署掖縣知縣沈世銓各在任內虧短正雜各款銀兩為數甚鉅久未完解實屬玩延韓光鼎沈世銓均著即行革職勒令各該家屬照數完繳並著浙江江蘇巡撫將各該負原籍家產一律查抄備抵以重庫款張曜前據司詳以該二員交代清結彙報失於覺察著交部議處欽此

1237 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十一月二十七日奉

旨依議欽此

1238 八旗滿洲氏族通譜凡例

一纂輯八旗氏族通譜欽奉

諭旨原令記載姓氏不使淹沒雖敘其事蹟官爵不過略書梗概以便成書凡查考各項世職根由自有內閣吏部兵部檔冊可憑不得執此為據

1239 雍正十三年十二月初一日奉

旨八旗滿洲姓氏衆多向無彙載之書難於稽考著將八旗姓氏詳細查明並從前何時歸順情由詳細備載纂成卷帙候朕覽定刊刻以垂永久著滿洲大學士會同福敏徐夢元遵照辦理欽此

1240 交內務府本日引

見補放打牲烏拉五品翼領一缺擬陪之驍騎校全

明補放驍騎校一缺擬陪之七品委驍騎校國

佈恩奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

十一月二十七日

1241 光緒十四年十一月二十八日內閣奉

上諭張曜奏查明各屬被災情形懇恩蠲緩新舊錢

漕一摺山東濟南等屬各州縣本年早晚秋禾或

因水旱歉收或被風雹蟲災沿河一帶又有坍塌

沙壓及隄埝佔空地畝若將應徵錢漕照常徵收

民力實有未逮加恩著照所請所有被水成災最

重之齊東縣方四里在城等五十九村莊被旱被

水之濮州北舊城等里周家莊等一百五十七村

莊應徵本年錢糧漕米漕倉河銀地租學租等項

並春間青黃不接案內原緩上忙新賦均著一律

蠲免該州縣如有未奉蠲免之先豫完蠲額銀兩

查明流抵次年正賦被水成災十分之臨邑縣清

四里馮家井等十六村莊應徵本年錢糧漕米漕

倉學租等項並春間青黃不接案內原緩上忙新

賦著蠲免十分之七又被水成災七分之惠民縣

平字等約劉旺莊等六十八村莊被水被風之濱

州彭莊等六十村莊應徵本年錢糧漕米漕倉等

項並春間青黃不接案內原緩上忙新賦著蠲免

十分之二被水成災六分之惠民縣綱字等約朝

陽劉家等二十七村莊應徵本年錢糧漕米博興

縣東姑等鄉東隅等社東關莊等四十村莊高苑

縣東三約永阜等二十二村莊應徵本年錢糧漕倉

民佃竈課等項及春間青黃不接案內原緩上忙

新賦被水成災五分之東平州東智來保未戴屯

等十二村莊惠民縣綱字等約王家店等三十九

村莊蒲臺縣仁字等鄉閭家莊等四十九村莊應

徵本年錢糧漕米漕倉河銀等項樂安縣崇一等

保草窪劉莊等九十八村莊東平所王官屯等六

屯莊應徵本年錢糧倉項民佃等項及王家岡場

坐落本場趙家嘴等三十六村莊應徵本年竈課

錢糧與東平等州縣今春青黃不接案內原緩徵上忙新賦均著照例蠲免十分之一蠲贖錢糧漕米並著緩至光緒十五年秋後如原報十分者分作三年帶徵七分六分五分者分作二年帶徵其有未奉蠲免之先溢完蠲額銀兩查明流抵次年正賦所有光緒十三年未完民欠及因災蠲贖原緩錢糧漕米漕倉河銀地租學租等項均著緩至光緒十五年秋後啟徵又被水被蟲勘不成災較重之濟甯州上九曲等地方范家莊等一百二十二村莊被水較重並坍塌隄佔沙壓之歷城縣崔化一等里水屯莊等二百三十村莊被水之章邱縣西四等里朱家莊等六十五村莊並沙壓坍塌隄埝佔壓各地畝鄒平縣梁六等里孫家鎮等十八村莊暨新挑小清河佔壓地畝長山縣新安莊等三十七村莊新城縣姚郭莊等十三村莊齊東縣正五里小集莊等一百三十三村莊並隄埝佔壓沙壓坍塌共二百二十二村莊被水被沙之齊河縣李家岸等一百三十四村莊及張村本街等一百六十六村莊內坍塌隄佔地畝被水之濟陽縣溫約史家

莊等一百八村莊原續報沙壓坍塌等項地畝被水之禹城縣二都二里中辛莊等十村莊又九都五里孫家莊等八十八村莊內徒駭河隄佔壓地畝臨邑縣甄家莊等十六村莊內徒駭河北岸民埝佔壓地畝被水之長清縣郭保等里美里莊等二十四村莊暨隄埝佔壓坍塌沙壓之趙保等里李家疇等一百八十村莊肥城縣沿河坍塌地畝之孝山社安家道口等二十村莊又隄埝佔壓之尹析等三十一村莊沙壓之孝山社安家道口等三十八村莊被水之東平州東智理等保前土山等五十四村莊並西友智等保宋家園等六村莊內挑挖沮水引河淤灘沙壓等項地畝被水之東阿縣山口等村徐家莊等二十二村莊並隄河佔壓坍塌沙壓挑挖土塘等地畝又沙壓地畝之平陰縣八里莊等里鄆家莊等三十村莊及大義屯等里大義屯等七十二村莊內隄佔坍塌地畝又被水之惠民縣和字等約沙窩趙家等二百六十七村莊並原續報隄佔沙壓坍塌等地畝被水之青城縣馬扎子家等七十七村莊及隄佔挖坑等

地畝被水之樂陵縣東路法字約鐵家營等二十
村莊被沙之商河縣隆一鄉泰家莊等二十九村
莊並徒駭河隄佔地畝被水被風之濱州楊莊等
二百五十二村莊並西路七保侯玉璽莊等一百
一村莊內沙壓坍塌地畝又東路四保王蘭莊等
二百五十村莊內增培兩岸隄埝續壓地畝又東
路三保鄭莊等一百十五村莊內舊埝佔壓並河
干地畝被水之利津縣崔家莊等一百六十四村
莊並隄埝佔壓沙壓各地畝被水之蒲臺縣仁字
等鄉朱家莊等三十六村莊及培隄佔壓之小董
莊等五十九村莊民埝佔壓之紙坊莊等四十三
村莊又取土成塘及水冲沙壓之小高家等三十
五村莊被旱被水之滋陽縣進賢社五甲禹家村
等四十村莊曲阜縣小雪社小雪村等十六村莊
鄒縣安候社果莊等十二村莊被水之陽穀縣東
西更名等里東姜莊等三百二十六村莊並被隄
之阜五都張垆堆等十七村莊及挑河佔壓地畝
被旱被水並被沙隄及修築護城隄佔壓地畝之
壽張縣陽白等里張子楊莊等三百十六村莊被

水被沙之荷澤縣大郭都油樓等一百五村莊被
水之曹縣盤庚等里曹河等六十四村莊鉅野縣
北隅等保本城等四十八村莊被旱被水之濮州
南關西等里李大早村等三百二村莊被水被沙
之朝城縣在二里羅家樓等四村莊被沙之聊城
縣北六上里姜家隄等二十六村莊並被水之北
七中里十里堡等六村莊被旱被水之堂邑縣張
徐莊等十二村莊被水之金鄉縣西鄉葛村等方
李家井等一百六十五村莊魚臺縣龔家莊等一
百六十一村莊應徵本年錢糧漕米漕倉河銀荒
田馬場民佃鹽課蘆課房租學租窰地攤徵隄工埝
工河工河灘地租湖租賃基籽粒等項同被水之
霑化縣城南里何家莊等五十六村莊六鋪里南
關等一百五村莊被沙之南臺里趙山莊等十七
村莊徒駭河南北兩岸坍塌地畝之馬鳴里流鐘
鎮等四十八村莊被水坍塌沙壓之沂水縣賈家
莊等三十村莊被旱之日照縣安東衛等社安東
衛城等一百十七村莊被水之博興縣東姑等鄉
南田等社義和莊等七十一村莊樂安縣崇二等

保陳官莊等一百二十九村莊被旱被水並被沙
壓之東昌衛坐落濮州范縣聊城堂邑境內楊宣
等四十四屯莊被水被蟲被旱之臨清衛坐落濟
甯州境內王貴等八屯莊坐落滋陽縣境內高林
屯一屯莊坐落鉅野縣境內郭家莊一莊
被水之東平所郝家村等五屯莊齊河縣併衛興
隆屯等三十四屯莊又楊珍莊等三屯莊內大隄
佔壓地畝長清縣併衛苗屯等里荆家莊等九村
莊及隄埝佔壓坍塌沙壓之担屯等里睦里莊等
三十三村莊肥城縣併衛雷屯一屯莊被旱之日
照縣收併安東衛等十四屯莊被水坍塌之歷城
縣水屯等五屯莊應徵本年錢糧漕倉民佃鹽課
等項及永利場謝家窰等十四村莊永阜場坐落
霑化縣境內之利國鎮等七村莊王家岡場坐落
本場之東營等七村莊又坐落博興縣境內之窰
戶陳等八村莊坐落高苑縣境內之張家莊等四
村莊應徵本年窰課錢糧並濟甯歷城齊東齊河
濟陽東平東阿平陰惠民青城商河濱州利津霑
化蒲臺陽穀壽張沂澤濮州朝城聊城博興樂安

魚臺等州縣並東昌衛東平所歷城齊河等縣併
衛及永利場本年春間青黃不接案內原緩徵上
忙新賦並光緒十三年未完民欠因灾蠲贖原緩
錢糧漕米均著緩至光緒十五年秋後啟徵又被
水較輕之城武縣九女村候樓等七十二村莊除
本年漕米照常徵收外所有應徵本年錢糧漕倉
河銀並光緒十三年未完民欠錢糧均著緩至光緒
十五年秋後啟徵又被水被蟲之濟甯州黑土店
等地方本店等一百七十八村莊被水沙壓之歷
城縣崔化四等里大高家莊等一百十四村莊被
水被蟲之章邱縣西六等里郭塚寨等七十三村
莊被水之鄒平縣長二等里小言莊等三十四村
莊長山縣房家橋等五十二村莊新城縣陳家莊
等十五村莊齊東縣齊三里大張家等一百七十
四村莊其餘間境村莊齊河縣赫莊等七十二村
莊濟陽縣和約陳家莊等五十四村莊禹城縣二
都二里苑家莊等三十五村莊長清縣郭保里鄒
家莊等四村莊被旱被水之肥城縣傅家岸社袁
家道口等四十一村莊被水之東平州東智里等

保大金山等八十三村莊東阿縣山口等村本莊
等五十八村莊惠民縣和字等約夾道馮家等九
十九村莊青城縣徐家莊並續報台子孫家等十
七村莊樂陵縣東路和字約大白楊樹張家等三
十九村莊被水被蟲之商河縣順三鄉梁道口等
八村莊被水被風之濱州孟莊等二百五十八村
莊被水之利津縣王家莊等九十八村莊蒲臺縣
仁字等鄉金卜莊等八十七村莊被旱被水之滋
陽縣舊縣等社六甲孔家屯等五十村莊曲阜縣
西忠等社後學村等二百三十六村莊同其餘閭
境村莊被水之鄒縣石里社南北石等十五村莊
被旱之泗水縣坊廊社高何莊等二十村莊被水
之滕縣信九等保張家莊等二十一村莊被水被
蟲之汶上縣黃家橋等社刑家等四十一村莊被
水之陽穀縣北一都魏家樓西牌等八十三村莊
被旱被水之壽張縣王東里梁家莊等一百八村
莊並其餘閭境村莊被水之荷澤縣依仁都後葛
莊等一百八十四村莊曹縣咸木等里賈莊等四
十九村莊被水被旱之定陶縣清涼村大烏集莊

等一百五十三村莊被水之鉅野縣北隅等保李
家莊等八十八村莊被旱被水之濮州西崇興等
里田家莊等閭境一千二百十二村莊范縣閭境
村莊被旱之觀城縣耿辛等里安家樓等閭境一
百六十一村莊被水之朝城縣閭境村莊聊城縣
南六里于半坡等四十四村莊被旱被水之堂邑
縣楊家莊等十五村莊被水之茌平縣東五鄉西
王家集等三十八村莊被旱被水之莘縣東鄉剛
字等里唐家莊等一百四十三村莊被旱被蟲之
邱縣富六里等里楊二莊等十村莊被水之金鄉
縣西鄉葛村等方孫家莊等九十九村莊被水被
蟲之嘉祥縣閭境村莊被水之魚臺縣第等方大
翟莊等三十二村莊除本年錢糧並歷城齊東齊
河肥城東平利津蒲臺陽穀壽張河澤濮州朝城
茌平魚臺等州縣本年春間青黃不接案內原緩
上忙新賦同歷城縣併衛錢糧均照常徵收外所
有本年漕米同例不徵漕被水之海豐縣于家堆
曹家廟等八十村莊又路陽堆路陽莊等九十四
村莊聊城縣城北白民里白家窪等二十五村莊

益都縣孝悌鄉袁家莊等一百一村莊高苑縣東
五約郭莊等三十二村莊並挑它小清河佔壓地
畝壽光縣東青龍等鄉王旺莊等一百六十五村
莊昌邑縣興福社南興福莊等二十六村莊濰縣
馬頭等社泊子莊等七十五村莊並溫固等社院
上莊等一百四十村莊魚臺縣湖團安平鄉長屯
村安賢鄉東城集二村莊被旱被水之濟甯衛生
落鉅野縣境內蕭士能等七屯莊坐落金鄉縣境
內邱維翰等三屯莊坐落嘉祥縣境內陶養性等
三屯莊坐落濰陽縣境內沈國卿一屯莊坐落曲
阜縣境內蕭寬等五屯莊坐落汶上縣境內于化
龍等十二屯莊坐落壽張縣境內王德政一屯莊
及被水之齊河縣併衛譚策屯等二十六屯莊並
永利場陳家莊等十二村莊應徵本年錢糧漕倉
河銀荒田馬場民佃鹽課蘆課學租窳地攤徵隄
工搶工河工票價地租賃基籽粒等項及海豐高
苑並齊河縣併衛永利場本年春間青黃不按案
內原緩上忙新賦及十三年未完民欠因災蠲贖
原緩錢漕等項均著緩至光緒十五年秋後啟徵

又被旱最輕之臨清州閭境村莊及被水被蟲之
濟甯州下吳家灣等地方賈莊等三百八十七村
莊同其餘閭境村莊被水之歷城縣北乞元三等
里南司莊等十六村莊同其餘閭境村莊章邱縣
正二等里毛家店等三十六村莊同其餘閭境村
莊鄒平縣長一等里滕家莊等二百三十四村莊
同其餘閭境村莊長山縣前院莊等七十六村莊
同其餘閭境村莊新城縣邢家莊等十村莊同其
餘閭境村莊齊河縣老聶等一百四十七村莊同
其餘閭境村莊濟陽縣正約馬家莊等五十五
村莊同其餘閭境村莊禹城縣二都二里常家店
等四十六村莊同其餘閭境村莊臨邑縣于家橋
等十五村莊同其餘閭境村莊長清縣郭保等里
董家莊等一百六村莊同其餘閭境村莊被旱之
陵縣閭境村莊被水之德州正東六保石家巷等
二十五村莊同其餘閭境村莊德平縣閭境村莊
平原縣閭境村莊被旱之肥城縣傅家岸社宋家
莊等二十九村莊同其餘閭境村莊被水之東平
州智遠等保翠家樓等二百二十四村莊同其餘

閭境村莊東阿縣寨子等村東牌等一百二十六
村莊同其餘閭境村莊平陰縣閭境村莊惠民縣
平字等約李家坊等一百三十四村莊同其餘閭
境村莊青城縣劉家寨等三十四村莊同其餘閭
境村莊陽信縣美化等鄉坡莊等一百六十一村莊
同其餘閭境村莊樂陵縣東路恭字約薛家樓等
八十二村莊同其餘閭境村莊高河縣順六鄉趙
家莊等十三村莊同其餘閭境村莊被水被風之
濱州宋莊等四百二十七村莊同其餘閭境村莊
被水之利津縣前彩莊等七十七村莊同其餘閭
境村莊蒲臺縣仁字等鄉包祿李莊等一百七十
三村莊同其餘閭境村莊被旱被水之滋陽縣舊
縣等社一甲元莊村等八十三村莊同其餘閭境
村莊被旱之甯陽縣閭境村莊被旱被水之鄒縣
元興社鳧村等六十村莊同其餘閭境村莊被旱
之泗水縣坊廓社潞家莊等一百九十三村莊同
其餘閭境村莊被水之滕縣信九等保東王家莊
等十村莊同其餘閭境村莊被旱之嶧縣閭境村
莊被水被蟲之汶上縣老僧堂等社李家樓等七

十一村莊同其餘閭境村莊被水之陽穀縣南十
六都趙家臺等一百六十八村莊同其餘閭境村
莊荷澤縣安居都朱管莊等四百八十五村莊同
其餘閭境村莊單縣高鄉等保單橋等一百五十
八村莊同其餘閭境村莊城武縣東關村宋莊等
八十六村莊同其餘閭境村莊曹縣英賢等里大
劉莊等二十九村莊同其餘閭境村莊被水被旱
之定陶縣除緩其餘閭境村莊被水之鉅野縣北
隅等保曹家莊等一百八十四村莊同其餘閭境
村莊鄆城縣南鄉等鄉漢石橋等里大尹莊等一
百五十五村莊同其餘閭境村莊聊城縣五鄉上
里賀家海等五十六村莊同其餘閭境村莊被旱
被水之堂邑縣邵莊等一百四十村莊同其餘閭
境村莊博平縣閭境村莊被水之茌平縣四鄉等
里宋莊等一百四十九村莊同其餘閭境村莊被
旱之清平縣閭境村莊被旱被水之莘縣剛字等
里刁家莊等二百八十三村莊同其餘閭境村莊
被旱之館陶縣閭境村莊冠縣山鄉五里韓村等
五十一村莊同其餘閭境村莊被水之高唐州清

路等路王阜莊等二十二村莊同其餘閭境村莊被旱被水被雹之恩縣三聖堂沂河等五村莊同其餘閭境村莊被水之夏津縣閭境村莊武城縣閭境村莊被旱被蟲之邱縣德一等里李二莊等十九村莊同其餘閭境村莊被水之金鄉縣路地等方姚家莊等六十七村莊同其餘閭境村莊魚臺縣孝等方叔子王莊等二百九十五村莊同其餘閭境村莊除本年錢糧漕米並例不徵漕被水之海豐縣白楊等堆白楊莊等一百九十四村莊同其餘閭境村莊霑化縣舊里賈家莊等一百六十二村莊同其餘閭境村莊被旱之鄒城縣閭境村莊費縣閭境村莊被水坍塌沙壓之沂水縣石浪頭莊等五十八村莊同其餘閭境村莊被旱之日照縣濟雒等社濟雒鎮等一百八十八村莊同其餘閭境村莊被水之益都縣安定鄉柳樹等三百三十一村莊同其餘閭境村莊博興縣東姑等鄉上町等社正上町莊等二百六十七村莊同其餘閭境村莊高苑縣白家塢等一百七十四村莊同其餘閭境村莊樂安縣崇二等保張劉店等

二百五十村莊同其餘閭境村莊壽光縣西青龍等鄉堯河店等五百六十村莊同其餘閭境村莊昌樂縣閭境村莊臨淄縣北一等社九仙等三百村莊同其餘閭境村莊昌邑縣閭境村莊濰縣高莊等社南仲寨莊等八十三村莊同其餘閭境村莊魚臺縣湖團安平鄉韓士橋等二村莊又安賢鄉和沙集等六村莊並其餘各村莊被旱被水被雹之德州衛坐落德州境內左衛前所東張屯一屯莊及閭境屯莊並坐落平原武城夏津高唐德平恩縣禹城樂陵清平陵縣等州縣境內閭境屯莊被旱被水之東昌衛坐落濮州范縣聊城堂邑博平境內閭境屯莊被水被蟲之臨清衛坐落濟甯州境內廉官等二十二屯莊又坐落鄒縣境內黃路屯一屯莊坐落嘉祥縣境內盧官等十五屯莊及坐落鄆城清平臨清等州縣境內所屬屯莊同其餘閭衛屯莊被旱被水之濟甯衛除緩其餘坐落各州縣境內各屯莊被水之東平所後屯等十七屯莊又彭家村等二十一屯莊同其餘閭所屯莊齊和並衛任莊等四十八屯莊同其餘閭境

屯莊應徵本年錢糧及永利場呂王莊等合境村莊永阜場坐落各州縣窳地攤池王家岡場坐落本場之五村等四村莊同其餘閭場村莊應徵本年窳課錢糧並長清東平陽信海豐霑化陽穀鄆城博平茌平清平博興高苑等州縣並德州衛永利場本年春間青黃不接案內原緩上忙新賦及歷城長清併衛錢糧均照常徵收外所有未完光緒十三年民欠及因災蠲贖原緩錢糧漕米漕項河銀荒田馬場臨德等倉米麥銀折民佃鹽課蘆課債房租學租窳地攤徼隄工埝工河工地租湖租賃基籽粒海穀等項均著緩至光緒十五年秋後啟徵以上秋禾被水被旱被風被雹被蟲被沙及沿河隄佔沙歷埝塌各地畝無論成災與勘不成災較重較輕最輕各村莊並閭境村莊凡有光緒十二年以前未完民欠及因災蠲贖原緩遞緩錢糧漕米漕項河銀荒田馬場臨德等倉米麥銀折民佃鹽課蘆課票價房租學租窳地攤徼隄工埝工河工地租湖租賃基籽粒海穀出借倉穀牛具籽種銀兩等項一併緩至光緒十五年秋後錢漕分

為兩案各按最先年分遞年依次帶徵一年至官臺場及裁併固隄場坐落壽光縣境內阜章莊等十七村莊坐落濰縣境內魏家莊等八村莊並德州東昌臨清濟甯等四衛及東平所永利永阜王家岡等三場坐落各州縣境內屯莊窳地並寄莊錢糧均著隨同民田一律辦理以紓民力該撫即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意餘著照所議辦理該部知道欽此

1242 蒙

發下摺件已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十一月二十八日奉

旨依議欽此

1243 軍機大臣 字寄

兩江總督一等威毅伯曾 前安徽巡撫候補

三品京堂陳 光緒十四年十一月二十九日奉

上諭有人奏安徽客民會匪盤結日深宜及早防範

一摺哥老會匪往往勾結莠民乘間竊發滋生事

端實為地方隱患亟宜隨時防範以杜亂萌所奏

立保甲嚴考成整營伍勤巡哨緝匪窩嚴法紀各

條著曾國荃陳彝體察地方情形認真辦理毋任

養癰貽患是為至要原摺均著鈔給閱看將此各

諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1244 光緒十四年十一月二十九日內閣奉

上諭曾國荃崧駿奏查明江淮等屬被水被旱及拋

荒地懇請蠲緩新舊錢糧開單呈覽一摺江蘇

江淮等屬本年夏秋之交高田被旱被風低區被

水其徐海等屬又因山水下注田禾被淹收成均

形歉薄若將應徵錢糧照常徵收民力實有未逮

加恩著照所請所有上元江甯句容溧水高淳江

浦六合等七縣已經墾熟被歉民屯田地並山陽

阜甯清河桃源安東鹽城高郵泰州東臺江都甘

泉儀徵興化寶應銅山豐縣沛縣蕭縣碭山邳州

宿遷睢甯海州沐陽贛榆通州如皋海門等二十

八州縣廳同淮安大河揚州徐州四衛勘不成災

民屯田地應徵光緒十四年地丁等項錢糧均著

緩至光緒十五年秋成後分作二年帶徵又上元

江甯句容溧水高淳江浦六合等七縣未墾荒田

同江都縣及揚州衛營壘廢民屯田地應徵光緒

十四年上下忙錢糧仍著蠲免其坐落各州縣併

衛屯潛蓋課學租湖河灘租雜辦雜稅津貼增租

並江甯府屬公費關租油麻地租南七恤孤米豆

新增地畝蘆葦牧馬草場復賦召變籌餉等款及抄案入官地畝並鎮江衛生落江都泰州甘泉泰興四處屯田均照坐落地方一律查辦淮揚等屬減則蘆葦田地並海州屬一水一麥減則田地應徵本年錢糧著一體緩徵江淮各屬勘不成災並江甯府屬未墾荒田同江都縣及揚州衛營壘廢田地應徵已丑年上忙新賦均著緩至該年秋成後察看情形再行啟徵江淮等屬未完光緒六年至十三年災熟民欠軍欠各年錢糧凡坐落本年歉區者均著一併緩至光緒十五年秋成後酌量帶徵上元江甯句容江浦六合山陽阜甯清河桃源安東鹽城高郵泰州東臺江都甘泉儀徵興化寶應銅山豐縣沛縣蕭縣碭山邳州宿遷睢甯海州沭陽贛榆通州如皋泰興海門等三十四州縣廳並淮安大河楊州徐州四衛未完光緒六七八九十十一十二等年原緩遞緩災熟舊欠錢糧並光緒十三年歉田原緩各款銀米及不在豁免案內之各年未完津貼增租銀兩暨溧水縣未完光緒八九十一等年災緩各款銀米並高瀋縣未

完光緒十一年原緩遞緩二分五釐銀米均著緩至光緒十五年秋成後再行分別帶徵阜甯清河桃源宿遷海州沭陽贛榆七州縣本年被歉田地折徵銀兩著隨同各屬漕糧項銀米一體分別緩徵鎮江衛生落泰州江都甘泉泰興四州縣屯田並著隨同民田一律辦理以紓民力餘著照所議辦理該督撫即刊刻謄黃並將單內所開區圖村莊頃畝分數應緩銀兩米豆各數詳細刊刻編行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道單併發欽此

¹²⁴⁵ 光緒十四年十一月二十九日內閣奉

上諭曾國荃崧駿奏查明江淮等屬被水被旱及拋荒地懇請蠲緩漕糧開單呈覽一摺本年江蘇江淮等屬自夏徂秋高田被風被旱低窪之區遭水淹浸徐海等屬又因山水下注田禾被淹其歷年拋荒地亦尚未盡墾熟若將應徵漕糧照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有上元江甯句容江浦六合等五縣已墾成熟復被歉收田

地並山陽阜甯清河桃源鹽城高郵泰州東臺江都甘泉儀徵興化寶應銅山豐縣沛縣蕭縣碭山邳州宿遷睢甯海州沐陽贛榆如皋等二十五州縣勘不成災由地應徵光緒十四年漕糧及改徵折色銀兩均著緩至光緒十五年秋成後分作二年帶徵其上元江甯句容江浦六合五縣未墾荒田同江都縣營壘廢坍荒民田除墾熟畝徵外其餘坍荒地應徵漕糧米石仍著蠲免以紓民力餘著照所議辦理該督撫即刊刻謄黃並將單內所開區圖村莊項畝詳細刊刻徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道單併發欽此

1246 光緒十四年十一月二十九日奉

旨蘇州織造仍著文琳接管欽此

1247 光緒十四年十一月二十九日內閣奉

上諭童華奏假期又滿病未全愈懇請開缺調理一摺童華著加恩再賞假一月毋庸開缺欽此

1248 交禮部本日軍機大臣面奉

諭旨給事中貴賢奏鄉會兩試交卷領籤請嚴定章程等語著禮部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交計黏鈔片一件

十一月二十九日

1249 蒙

發下摺報已奉

硃批九件其餘應請

批示清漢摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候

硃批

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單九件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十一月二十九日奉

旨依議欽此

¹²⁵⁰ 光緒十四年十一月三十日內閣奉

上諭李鴻章奏文安等縣大窪積澇地畝請蠲緩糧銀等語本年直隸文安天津二縣窪地或顆粒無收或收成減色若將應徵糧租照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有文安縣蘇橋等五十一村應徵光緒十四年糧銀內除成熟村莊照常徵收外其餘銀三千八百五十二兩零著全行豁免天津縣趙沽里等十村應徵糧銀著減免一半銀三百七十一兩零其餘一半同應徵節年未完糧銀均著緩至光緒十五年秋後啟徵以紓民力該督卽刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副體恤民艱至意該部知道欽此

¹²⁵¹ 光緒十四年十一月三十日內閣奉

上諭李鴻章奏查明無收淀地請豁免租銀等語本年直隸靜海縣淀地積水未消之區田禾不能播

種若將應徵租銀照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有靜海縣南泊谷家莊等四村地畝本年租銀三百七兩零著全行豁免以紓民力該督卽刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

¹²⁵² 光緒十四年十一月三十日內閣奉

上諭此次軍機處繕修清字檔冊總司校對之記名道府禮部郎中玉恒著俟升道員後賞加二品銜戶部主事延祉著以本部員外郎無論題選咨留遇缺卽補先換頂戴其尤為出力之供事議敘縣丞成掄之著俟題覆後以知縣分發省分歸候補班補用縣丞于永泰著以知縣分發省分歸候補班補用未入流趙熙著以典史仍歸議敘班儘先選用俟得缺後在任以縣丞補用升用縣主簿候選巡檢繆世德著俟得缺後免升縣主簿在任以鹽大使歸候補班前補用並賞加隨帶一級從九品李崇恩著以巡檢分發省分歸候補班補用俟補缺後在任以縣丞升用王玉森著以巡檢分發

省分歸候補班補用俟補缺後在任以縣丞候補
候選縣丞廣西慈樂寨巡檢劉忠翰著免選縣丞
在任以知縣補用俟補知縣後賞加五品銜以示
鼓勵餘依議該部知道欽此

1253 交理藩院本日引

見補放四子部落協理台吉二缺擬陪之台吉札木

巴拉勒旺哩克錦補放喀喇沁協理塔布囊二

缺擬陪之塔布囊喇什薩魯布佈彥伊魯格勒

圖補放黑龍江打牲鑲黃旗佐領一缺正白旗

驍騎校一缺擬陪之驍騎校阿彥圖穆爾八品

監生阿爾綳阿奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

十一月三十日

1254 交值年旗本日引

見補放黑龍江水師營總管一缺擬陪之佐領兼騎

都尉穆克德布奉

旨著記名欽此相應傳知
貴旗欽遵可也此交

十一月三十日

1255 閒散成壽

旨著以六部主事用

1256 閒散成壽

硃。旨著賞給藍翎侍衛在大門上行走

1257 蒙

發下摺件已奉

硃批八件其餘應請

批示漢字摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單六件擬於

召見時請

旨是 否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十一月三十日奉

旨依議欽此

1258 蒙

發下摺報已奉

硃批九件其餘應請

批示漢字摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年十二月初一日奉

旨依議欽此

1259 交吏部本日引

見補放

盛京甯遠倉官一缺擬陪之

盛京甯遠筆帖式萬慶奉

旨著記名欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此文

十二月初二日

1260 交正藍旗滿洲本日引

見補放吉林佐領擬陪之仿禦色爾欽補放吉林防

禦擬陪之驍騎校成玉補放察哈爾驍騎校擬

陪之親軍多爾濟扎普奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此文

十二月初二日

1261 光緒十四年十二月初二日奉

旨著仍遵前旨給獎欽此

吏部奏知縣朱官常等及以由的不符其品階

1262 吉林補行引

見雲騎尉恩特賀莫

旨著回原處

1263 蒙

發下摺報已來

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片單八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月初二日奉

旨依議欽此

1264 劉銘傳陳彝摺各一件楊昌濬片一件遵擬批

條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

1265 光緒十四年十二月初三日內閣奉

上諭裕祿等奏勘明湖北各州縣衛被淹受旱情形

請緩徵新舊錢糧等項開單呈覽一摺湖北嘉魚

等州縣本年春夏之交汎水時漲濱臨江河各屬

低窪田地多被漫淹入秋後雨澤愆期高阜之區

又受乾旱收成均形歉薄若將新舊錢糧南米等

項照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有被

淹較重之嘉魚縣宣化等四里內之十五甲並九

洲內之越塘等十六處九屯內之斗塘等十二處

漢陽縣菱角湖等八區白釜池等九區漢川縣喝

城等二十四垸畝黃陂縣牛湖等三十七社沔陽

州麻恩等七十八官垸並後大朱等十八官垸內

地勢極低之區黃梅縣考田鎮內之白馬寺等二

村莊謝灘鎮內之梅家口等處白湖鎮內之白湖

渡等五村莊黃連鎮內之黃連嘴等五村莊鍾祥

縣河鄉內之楊林等十六村莊京山縣呂張等二十園潛江縣河汊等十七垸蘇湖等十二垸張家等十五垸天門縣淖潑等二十三垸內之四十四甲半蒲湖等二十一垸內之五十八甲趙家上等二十三垸內之四十九甲半應城縣葉葉等五園區江陵縣築支等六十六垸天寶等八十九垸公安縣毛一等十二里並刀一等十六里內之四十九甲及枝六一所石首縣民壯等十六垸並一都等十三坊垸內之三十四甲監利縣大蘇湖等六十六垸松滋縣下八上八二都並下五等十都一所等八所枝江縣洲浮等十洲垸並羊角壩洲二洲又受早較重之孝感縣尚義三股等二十四社內各社甲黃岡縣道觀河等十五區澗子口等七區孟博等八區鴉蛋洲等三區蘄水縣竹瓦店等三十四區鍾祥縣山鄉內之蕭家店等三十七村莊湖鄉內之劉家橋等十七村莊京山縣晏王等三十五園天門縣方嶺等四十五垸內之一百三十三甲半監利縣團湖等十三垸荊門州平四等五十三園內之園林鋪等一百二十四區應徵光緒十

四年新賦錢糧也餉閘丁隄費租餉蘆課等項正耗銀十四萬七千六百九十三兩零南糧正耗米一萬七千一百五十八石零著緩至光緒十五年秋後限一年帶徵其各原緩節年銀米一併展緩至光緒十六年秋後各按最先年分年次第帶徵又被淹受早次重之江夏縣茂和等三十二里宣明等十四里青山等九屯頂園等二十六洲嘉魚縣淨居等四里內之十二甲興國州興瑞等三里內之三十甲朝陽等二里內之六甲漢陽縣洪湖等十五區黃陂縣斗柞板等十一社孝感縣尚文一甲五段等十三社內各社甲蘄水縣新洋河等十八區各應徵光緒十四年南米照常徵收外其應徵光緒十四年新賦錢糧蘆課籽粒等項正耗銀一萬九千六百四十四兩零著緩至光緒十五年秋後限一年帶徵至各原緩節年各項銀米一併展緩至光緒十六年秋後遞年帶徵又被淹受早較輕之江夏縣三城等十七里上中下揚等六十三屯長生子沙等二十一洲武昌縣神一等十九里神四等九里咸甯縣一都等九都內之艾

家墩等三十九處三都等五都內之白沙橋等十
三處上七都等四都內之中屋黃等十處三都等
三都內之鹿角橋等四處嘉魚縣宣化等八里內
之五十甲並邵陵等四里內之四十甲及九洲九
也內歉收各處漢陽縣陳家河等三十七區漢川
縣柘樹等七廠畝香花等五十垸畝黃陂縣童家
等二十一社孝感縣興治等一五社沔陽州後大
朱等十八官垸內地勢稍高之區及金馬等二百
三十四官垸黃岡縣松陽鋪等三十七區蘄水縣
袁家墩等五十區並西廬州一區黃梅縣考田等
二十七鎮古角等四鎮縣市等六鎮廣濟縣秦東
等五鄉內之童司牌等四百六村莊鍾祥縣湖鄉
內之龍山觀等八十八村莊並蓮化寺等二村莊
河鄉內之歐家廟等三十八村莊並直河一村莊
京山縣南岡等二十二團潛江縣木頭等六垸永
豐等四十五垸淌湖等四垸江陵縣章董等四十
九垸小南湖等一百五垸公安縣刀一等十六
里內之四十八甲同未經被淹之赴一等四里三
洲及刀一等里內未淹各甲石首縣一都等十三

坊垸內之十八甲並頭二總等八坊垸監利縣下
太馬等二百一十垸松滋縣下五等十都內歉
收各都枝江縣義興等十九洲垸荊門州青一等
圖各應徵光緒十四年新賦錢糧蘆課屯餉閑丁
隄費南米等項照常徵收外其各原緩節年銀米
蘆課屯餉閑丁隄費等項著緩至光緒十五年秋
後遞展一年帶徵江夏縣崇通等也應徵光緒十
四年焚課錢糧正耗銀三百九十七兩零著緩至
光緒十五年秋後限一年帶徵其原緩節年銀兩
遞展一年帶徵漢陽縣崇信坊應徵光緒十四年
門攤銀兩著徵七分其應緩三分正耗銀六十八
兩零著緩至光緒十五年秋後限一年帶徵原緩
節年銀兩遞展一年帶徵武昌等衛軍田被淹受
旱垸區均與屯坐各州縣民田相同共應徵光緒
十四年屯餉軍三安家閑丁幫津等款正耗銀二
萬八千一百八十七兩零著緩至光緒十五年秋
後限一年帶徵其各原緩節年銀兩併著遞展一年
帶徵以紓民力該督撫即照單開數目刊刻謄黃
徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫
念民艱至意該部知道單併發欽此

1266 光緒十四年十二月初三日內閣奉

上諭裕祿等奏勘明湖北各州縣被淹受旱情形請緩徵漕糧開單呈覽一摺本年湖北嘉魚等州縣被淹受旱已降旨將新舊錢糧加恩分別緩徵所有應徵漕糧若令照常徵收民力仍有未逮加恩著照所請所有被淹較重之嘉魚縣宣化等四里內之十五甲漢陽縣白荃池等九區黃陂縣牛湖等三十七社沔陽州麻思等七十八官垸並後大朱等十八官垸內地勢極低之區黃梅縣考田鎮內之白馬寺等二村莊謝灘鎮內之梅家口等處白湖鎮內之白湖渡等五村莊黃連鎮內之黃連嘴等五村莊潛江縣河汊等十七垸蘇湖等十二垸張家等十五垸天門縣淖潑等二十三垸內之四十四甲半蒲湖等二十一垸內之五十八甲趙家上等二十三垸內之四十九甲半應城縣葉嘴等五圍區江陵縣築支等六十六垸天寶等八十九垸公安縣毛一等十二里並刀一等十六里內之四十九甲石首縣民壯等十六垸並一都等十三坊垸內之三十四甲監利縣大蘇湖等六十垸

松滋縣下八上八二都並下五等十都又受旱較重之孝感縣尚義三股等二十四社內各社甲黃岡縣道觀河等十五區澗子口等七區孟博等八區蘄水縣竹瓦店等三十四區天門縣方嶺等四十五垸內之一百三十三甲半監利縣團湖等十三垸荊門州平四等五十三圍內之團林鋪等一百二十四區共應徵光緒十四年漕糧正耗米一萬六千四百三十九石零著一併緩至光緒十五年秋後限一年帶徵其各原緩節年漕糧著一併展緩至十六年秋後各按最先年分分年次第帶徵以紓民力該督撫即照單開數目刊刻謄黃編行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道單併發欽此

1267 蒙

發下摺報已奉

硃批十一件其餘應請

批示漢字摺片十八件分別繕擬批條呈進恭候欽定候

硃批

發下後欽遵辦理裕祿等奏請緩嘉魚等州縣新舊錢糧摺單一件又奏請緩嘉魚等州縣漕糧摺單一件擬繕明發

諭旨二道照所請緩徵恭候

命下遵繕呈遞其應行請

旨摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年十二月初三日奉

旨依議欽此

1268 光緒十四年十二月初四日內閣奉

上諭裕祿等奏神靈顯應請頒扁額一摺湖北興國州城隍神素著靈應本年春間該處雨水過多夏秋之交復形亢旱經該官紳等虔詣祈禱旋即雨暘時若轉歉為豐實深寅感著南書房翰林恭書

扁額一方裕祿等祇領飭屬敬謹懸挂以答神庥欽此

1269 蒙

發下摺報已奉

硃批十六件其餘應請

批示漢字摺片單十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理裕祿等奏興國州

城隍神靈應請

頒扁額摺擬繕明發

諭旨令南書房翰林恭書扁額一方頒發給領恭候

命下遵繕呈遞謹

奏

光緒十四年十二月初四日奉

旨依議欽此

1270 光緒十四年十二月初五日內閣奉

上諭甘肅甘州府知府負缺著楊廷傳補授欽此

1271 查甘肅甘州府知府係衝繁疲要缺謹

奏

1272 光緒十四年十二月初五日內閣奉

上諭鑲黃旗蒙古秦公銜頭等台吉博麟出缺如何

承襲請旨辦理一摺博麟所出世職著仍襲公銜

頭等台吉該衙門知道謹二件併發欽此

1273 光緒十四年十二月初五日奉

旨擢齡阿著帶領引見欽此

鑲黃旗蒙古秦成都公銜頭等台吉博麟正喜昌
病故可否將擬照擢齡阿帶領引見

1274 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月初五日奉

旨依議欽此

1275 光緒十四年十二月初六日內閣奉

上諭慶裕等奏勘明奉省被災地方請分別蠲緩錢

糧一摺本年奉天被水甚重前經降旨令慶裕等

查勘災區妥為撫恤所有成災地畝應完錢糧自

應分別蠲緩加恩著照所請所有被災最重之安

東縣饒河尖等村也通化縣恆聚等十九保寬甸

縣古樓子等十五村也懷仁縣常親等三十二保

紅冊地九萬七千八百五十六畝零著將正賦錢

糧全行蠲免又牛莊鑲黃等五旗界餘租地五萬三千一百七十七畝零升科地六萬一千五百四十三畝零隨缺地七十畝零伍田地四百四十四畝均著蠲免原租十分之五其餘五分分作三年帶徵又被災較重之海城縣溫香湖等十五村屯牛莊鑲黃等五旗界岫巖正黃正白正紅鑲白鑲紅正藍鑲藍巴爾虎八旗界省城外界鑲黃等六旗界寬甸縣古樓子等十五村屯紅冊地三十五萬七千九百八十五畝零牛莊鑲黃等五旗界豆地承德縣銀米地七萬八千五百九十六畝零若將正賦錢糧蠲免十分之九其餘一分緩至十五年秋季帶徵海城縣溫香湖等十五村屯巨流河界岫巖正黃正白正紅鑲白鑲紅正藍鑲藍巴爾虎八旗界承德縣遼陽正紅鑲白兩旗界白旗堡界鳳城鑲黃鑲白鑲藍三旗界新民廳省城外界鑲黃等六旗界餘租地十萬一千七百七十六畝零海城縣溫香湖等十五村屯巨流河界岫巖正黃正白鑲紅正藍鑲藍巴爾虎六旗界遼陽正紅鑲白兩旗界白旗堡界鳳城鑲黃鑲白鑲藍

三旗界省城外界鑲黃等六旗界承德縣新民廳升科地八萬五千八百四十八畝零海城縣溫香湖等十五村屯隨缺地七百九十八畝零學田地四畝遼陽正紅鑲白兩旗界白旗堡界伍田地十萬一千一百六十六畝均著蠲免原租十分之四其餘六分分作三年帶徵又被災稍輕之海城縣中心堡等十七村屯巨流河界遼陽正紅鑲白兩旗界白旗堡界鳳城鑲黃鑲白鑲藍三旗界新民廳海龍城省城外界鑲黃等六旗界興京鑲黃正黃正白正紅鑲白鑲紅正藍鑲藍八旗界沙喇呼驛站通化縣恆聚等十九保寬甸縣古樓子等十五村屯懷仁縣常親等三十二保巨流河三驛站廣寧驛站紅冊地一百三十萬二千一百二十三畝零承德縣省城外界鑲黃等六旗界銀米地一萬五千八百八十畝零者將正賦錢糧蠲免十分之七其餘三分緩至十五年秋季帶徵海城縣鳳城正白鑲白正藍鑲藍四旗界承德縣新民廳省城外界等六旗界廣寧驛站岫巖州餘租地二萬六千六百三十二畝零海城縣中心堡等十七

村也遼陽正白旗界鳳凰城正白鑲白正藍鑲藍四旗界省城外鑲黃等六旗界承德縣新民廳升科地六百三十八畝零海城縣中心堡等十七村也隨缺地一千五百八十八畝零學田地二十七畝省城外界鑲黃等六旗界伍田地一百七十一畝均著蠲免原租十分之二其餘八分分作三年帶徵又被災較輕之海城縣轉香河等二十二村也遼陽正黃正白兩旗界鳳凰城正白鑲白正藍鑲藍四旗界新民廳撫順正黃等四旗界並驛站省城外界鑲黃等六旗界熊岳正紅鑲紅鑲藍三旗界興京鑲黃正紅兩旗界沙喇呼驛站安東縣石頭城等處寬甸縣古樓子等十五村也紅冊地五十八萬一千五十五畝零承德縣遼陽州銀米地五萬一千八百二十九畝零著將正賦錢糧蠲免十分之五其餘五分緩至十五年秋季帶徵海城縣岫巖州遼陽州承德縣古城子等十一村也復州鑲黃等九旗界撫順正黃等四旗界省城外界鑲黃等六旗界興京鑲藍旗界鳳凰廳餘租銀地十二萬一千二百四十五畝零海城縣

轉香河等二十二村也復州鑲黃等八旗界省城外界鑲黃等六旗界承德縣撫順正黃等四旗界並撫順驛站遼陽州鳳凰廳升科地九萬三千二百六十九畝零海城縣轉香河等二十二村也遼陽州撫順正黃等四旗界興京鑲紅鑲藍兩旗界隨缺地二萬二千一百五十三畝零復州鑲黃等九旗界伍田地二萬五千五百五十九畝零海城縣轉香河等二十二村也暨遼陽州學田地七百八十六畝零均著蠲免原租十分之一其餘九分分作三年帶徵又被災又輕之復州鑲黃等九旗界省城外界鑲黃等六旗界熊岳正紅鑲紅鑲藍三旗界興京正黃正白鑲白鑲紅正藍鑲藍六旗界通化縣恆聚等十九保寬甸縣古樓子等十五村也懷仁縣常親等三十二保全州廳紅冊地二十三萬四千八百五十四畝零岫巖州復來新民兩社徵銀地六千一百三十五畝零承德縣銀米地一萬六千七百六十八畝零著將正賦錢糧蠲免十分之三其餘七分緩至十五年秋季帶徵省城外界鑲黃等六旗界全州廳興京正黃正白鑲白

殊。

鑲藍四旗界岫巖州復來社承德縣四方臺等九
也餘租地四萬四千七百六十四畝零省城外
鑲黃等六旗界升科地一千三百八畝零興京正
黃正白鑲白正藍鑲藍五旗界隨缺地二千八百
四十七畝均著將本年原租緩至十五年秋季帶
徵又款收較重之省城外界正黃旗界熊岳旗界
紅冊地六萬四千六百三十二畝著將正賦錢糧
蠲免十分之二其餘八分緩至十五年秋季帶徵
又金州廳遼陽州新民廳被水成災共一千八百
三十七丁著緩至十五年秋季帶徵以上應蠲應
緩之正賦原租如有經徵在官者准抵作次年租
賦以紓民力餘著照所議辦理該將軍等即刊刻
謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊川
副軫念災區至意該部知道欽此

1276 涼州補行引

見雲騎尉懷懋

旨著回原處

殊。

1277 荆州補行引
見雲騎尉烏拉西
旨著回原處

殊。

1278 吉林補行引
見雲騎尉景和
旨著回原處

1279 交鑲黃旗滿洲本日引
見補放

東陵驍騎校擬陪之領催志恒奉
旨著記名欽此相應傳知
貴旗欽遵辦理可也此交

十二月初六日

1280 交鑲黃旗蒙古本日引

見補放江甯京口防禦擬陪之驍騎校錫林奉
旨著記名欽此相應傳知
貴旗欽遵辦理可也此交

十二月初六日

1281 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示清漢摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月初六日奉

旨依議銀此

1282 吳大澂摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

1283 蒙

發下摺報已奉

硃批十三件其餘應請

批示清漢摺五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片七件吏部題滿內閣學士開列請

簡本一件均擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十四年十二月初七日奉

旨依議欽此

1284 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信二件

照錄呈

覽謹

奏

1285 軍機大臣 字寄

直隸兩江湖廣閩浙四川兩廣江蘇安徽浙江

江西湖北湖南山東河南廣東各督撫 傳諭

粵海關監督 光緒十四年十二月初八日奉

上諭戶部總理各國事務衙門奏各省欠解東北

邊防經費請旨嚴催一摺據稱本年各省關應解

東北邊防經費除扣留劃抵及報解起程外尚欠

解銀五十九萬兩其光緒六七八九十一十二

十三等年積欠銀兩節經嚴催迄未報解等語此

項經費關繫緊要本年因豫省河工撥款甚鉅部

庫尤覺空虛亟待前項銀兩解到供用著各該督

撫監督迅即查照戶部單開欠解各數分批籌解

部庫儘再延欠即著戶部照貽誤京餉例指名嚴

參原單均著鈔給閱看將此由四百里諭知直隸

等省各督撫並傳諭粵海關監督知之欽此遵

旨寄信前來

抄文 戶部 總理衙門

1286 光緒十四年十二月初八日內閣奉

上諭明年舉行

歸政典禮崇上

皇太后徽號普天率土抃舞膾歡多士如林溇濡

聖澤允宜特開慶榜俾遂觀光著於光緒十五年舉行

恩科鄉試十六年舉行恩科會試用副朕錫類推

恩作育人才至意該部即遵諭行欽此

黃面紅卷

1287 光緒十四年十二月初八日內閣奉

上諭我朝武功彪炳方略昭垂同治年間粵捻各逆

肅清業經編纂成書宣示天下因思回匪構亂自

咸豐同治年間迄於光緒初年滋擾滇黔閩隴並

新疆等處地方各立頭目逆斂鴟張我

文宗顯皇帝臨軒運策勦撫兼施

穆宗毅皇帝克迪

前光臺職醜類仰惟

廟謨指授總以但分良莠不分漢回為主用能救民水

火迅奏膚公朕御極後復稟承

懿訓命將專征天山南北各城一律戡定綜計戰事始

末二十餘年允宜裁諸簡編昭茲來許即派軍機

大臣禮親王世鐸額勒和布張之萬許庚身孫毓

汶充方略館總裁督飭提調總纂等官詳慎編輯

毋稍疏漏所有應行各事宜並著隨時斟酌辦理

該衙門知道欽此

1288 同治七年十一月初二日内閣奉

上諭前因江甯克復洪逆伏誅經禮部援引成例奏

請編輯方畧時因遺孽洪福瑱尚未投首擒逆亦

未掃除暫緩纂輯茲復據禮部奏稱粵捻各逆肅

清請一併纂修方畧等語因思逆氣颺起流毒海

內十有八年我

皇考文宗顯皇帝命將出師拯民水火

憂勤日昃

廟畧宣昭朕御極後欽承

先烈並仰遵

慈安皇太后

慈禧皇太后懿訓激勵將士疊殲羣醜幸賴

昊蒼默佑粵捻各逆次第盪平迄今追溯艱難敢不恣

後懲前益深統揚著照禮部所請編輯成書俾資

省覽即派軍機大臣恭親王文祥寶璽沈桂芬李

鴻藻元方畧館總裁督飭該提調總纂等詳慎分

編毋遺毋漏所有應辦各事宜並著恭親王等隨

時斟酌辦理該衙門知道餘依議欽此

1289 光緒十四年十二月初八日内閣奉

上諭福建鹽法道貪缺著岑毓寶補授欽此

1290 查福建鹽法道係衝繁難要缺謹

奏

1291 光緒十四年十二月初八日内閣奉

上諭衛榮光奏來京陛見一摺前有旨令恭駿毋庸

來見衛榮光著倭崧駿到任後再行來京陛見江蘇巡撫著黃彭年暫行護理欽此

1292 光緒十四年十二月初八日內閣奉

上諭御史文郁奏武關外場請申明展限舊例並酌改分圍出示章程各摺片著兵部議奏欽此

1293 光緒十四年十二月初八日內閣奉

上諭岐元劉秉璋奏勦辦馬邊等處夷匪殲除悍逆餘衆一律就撫邊境肅清一摺四川馬邊屏山等處探夷句結涼山野番出巢肆擾經岐元劉秉璋派出各營兵勇分路進勦疊獲勝仗擒斬悍逆夷目殲斃夷匪甚多並焚燬蠻棚夷巢多處所有大涼山小涼山各支夷衆畏懼兵威輸誠受撫馬邊屏山全境一律肅清辦理尚屬妥速即著該將軍等飭令各該將領會同廳縣文武將善後事宜悉心籌畫妥為布置以期永靖邊陲此次在事出力文武員弁著准其擇尤保獎毋稍冒濫該部知道欽此

1294 光緒十四年十二月初八日奉

旨依議欽此

國史館奏續修 皇清奏議及大臣年表等書出力 各員請獎片

1295 光緒十四年十二月初八日奉

旨嵩山著交部議處欽此

嵩山奏帶領引 見奏儀自請議處摺

1296 世管佐領承恩

硃。旨著回原處

1297 騎都尉保煥

硃。旨著回原處

1298 雲騎尉文林

硃。旨著回原處

1299 雲騎尉連福

硃。旨著回原處

1300 交吏部本日引

見吉林伯都訥倉官暨吉林倉官各一缺擬陪之筆

帖式惠廉哈豐阿奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

十二月初八日

1301 交鑲藍旗滿洲本日引

見

盛京防禦山海關防禦各一缺擬陪之驍騎校榮

恩喀吞保奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

十二月初八日

1302 交鑲白旗滿洲本日引

見熱河防禦一缺擬陪之雲騎尉麟章奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

十二月初八日

1303 交正藍旗蒙古本日引

見察哈爾副參領成都防禦各一缺擬陪之驍騎校

貢僧巴勒鶴清奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

十二月初八日

1304 蒙

發下摺報已奉

硃批十七件其餘應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月初八日奉

旨依議欽此

1305 滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎即補郎中文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

京察一等 記名道府道銜禮部郎中玉恆

侍讀銜刑部主事桂春

四品銜吏部郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾賡額

四品銜理藩院員外郎多壽

理藩院即補郎中志樸

漢頭班章京

前大理寺卿沈源深

刑部郎中孟繼堦

兵部即補郎中沈恩嘉

俸滿截取 記名繁缺知府戶部郎中徐樹鈞

戶部員外郎顧璜

吏部員外郎王微

刑部員外郎陳邦瑞

四品銜兵部主事即補員外郎胡寶鐸

刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

四品銜通政使司叅議堃岫

理藩院員外郎即補郎中奎華

戶部員外郎孚琦

戶部主事即補員外郎延祉

京察一等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

太僕寺少卿錢應溥

俸滿截取 記名繁缺知府四品銜工部郎中祝維城

吏部郎中兼襲騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳希棠

刑部主事易俊

刑部主事馮錫仁

負外郎銜吏部候補主事孫朝華

戶部候補主事王頌蔚

1306 蒙

發下摺報已奉

硃批十八件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年十二月初九日奉

旨依議欽此

1307 光緒十四年十二月初十日內閣奉

上諭京師入冬以來得雪稀少農田待澤孔殷實深

寅盼朕於本月十三日親詣

大高殿拈香

時應宮著派貝勒載溎

昭顯廟著派貝勒載澍

宣仁廟著派貝子奕謨

凝和廟著派輔國公載濂同於是日分詣拈香欽此

1308 光緒十四年十二月初十日內閣奉

上諭譚鍾麟奏神靈顯應請頒扁額並加封號一摺

甘肅皋蘭西甯兩縣

電神會甯縣

城隍

龍神隴西縣

城隍中衛縣

城隍靖遠縣

城隍

龍神均著靈應近年以來各該縣或冰雹為災或

癘疫傳染或雨場不時經地方官紳虔誠祈禱皆
仰邀庇佑得免災稔實深寅感著南書房翰林恭
書會甯縣

城隍

龍神隴西縣

城隍中衛縣

城隍靖遠縣

龍神扁額各一方交譚鍾麟祇領飭屬分詣敬謹

懸柱以答

神麻其所請加皋蘭西甯兩縣

電神隴西縣

城隍中衛縣

城隍靖遠縣

城隍封號之處著禮部議奏欽此

1309 交吏部本日引

見黑龍江倉官一缺擬陪之筆帖式魁春奉
旨著記名欽此相應傳知

貴部欽遵可也此交

十二月初十日

1310 交內務府本日引

見補放

東陵內管領一缺擬陪之副內管領任恩副內管領一

缺擬之尚茶副普慶奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

十二月初十日

1311 交正藍旗漢軍本引

見補放

盛京防禦一缺擬陪之驍騎校常臨奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十二月初十日

1312 交正紅旗滿洲本日引

見補放涼州驍騎校一缺擬陪之前鋒扎祿堪奉

旨著記名欽此相應知

貴旗欽遵可也此交

十二月初十日

1313 交正黃旗滿洲本日引

見補放涼州協領一缺擬陪之佐領祥奎吉林佐領

一缺擬陪之防禦和連黑龍江佐領一缺擬陪

之五品官繼增西安驍騎校一缺擬陪之前鋒

希朗阿涼州驍騎校一缺擬陪之武舉領催成

凌奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此文

十二月初十日

1314 交鑲紅旗滿洲本日引

見補放成都防禦一缺擬陪之驍騎校海秀奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此文

十二月初十日

1315 交正紅旗蒙古本日引

見補放察哈爾參領一缺擬陪之副參領烏爾恭河奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此文

十二月初十日

硃。

1316 雲南普洱府知府周範

旨周範著該部照例給獎

1317 吉林補行引

見雲騎尉多隆武

硃。

旨著回原處

1318 荊州補行引

見八品監生高本

硃。

旨著回原處

1319 黑龍江補行引

見雲騎尉喜全

硃。

旨著回原處

1320 吉林補行引

見雲騎尉德貴

旨著回原處

硃。

1321 蒙

發下摺件已奉

硃批十七件其餘應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月初十日奉

旨依議欽此

1322 光緒十四年十二月十一日內閣奉

上諭貴州按察使著賀良楨補授欽此

1323 光緒十四年十二月十一日內閣奉

上諭順天府奏請加賞資善堂米石一摺西城資善

堂煖廠本年八月間業經賞給粟米三百石現因

收養貧民人數較多不敷支放著再加恩賞給粟

米三百石以資接濟餘依議欽此

1324 光緒十四年十二月十一日內閣奉

上諭潘祖蔭高萬鵬奏考覈吏治請旨嘉獎一摺據

稱直隸通永道許鈐身識見明通才華穩練順天

府治中查光泰樸實無欺久著循聲北路同知蔡

壽錄老成練達措置從容涿州知州劉枝彥政平

訟理恂幅無華署通州知州趙欽舜才具開展聽

斷擅長以上各員均堪為循良之選即著傳旨嘉

獎仍隨時督飭該員等益加奮勉毋得始勤終怠

用副朝廷策勵人才至意欽此

1325 文正藍旗滿洲本日引

見黑龍江佐領一缺擬陪之防禦阿克東阿奉
旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此文

十二月十一日

1326 交正白旗滿洲本日引

見吉林防禦曉騎校各一缺擬陪之雲騎尉承祿委

官西林奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此文

十二月十一日

1327 奏

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺一件繕擬批條呈進恭候

欽定後

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月十一日奉

旨依議欽此

1328 光緒十四年十二月十二日內閣奉

上諭長蘆鹽運使負缺著額勒精額補授欽此

1329 休深道負名單

廣東南韶連道華祝三 江西進士

直隸永定河道方濬師 安徽舉人

湖南岳常澧道崔穆之 山東進士

山東運河道陸仁愷 廣西進士原籍廣東

直隸霸昌道恩良 鎮江旗滿洲廩生

浙江杭嘉湖道豐紳泰 正藍旗蒙古鑄譯舉人

1330

湖北漢黃德道江人鏡安徽舉人
 浙江金衢嚴道聯綬 正藍旗滿洲廕生
 福建汀漳龍道聯興 鑲紅旗滿洲廕生
 山西雁平道胡毓筠 湖北進士

俸深知府名單

江西瑞州府知府達春布 鑲黃旗滿洲管學生
 山東東昌府知府程繩武 江蘇監生
 甘肅蘭州府知府恩霖 鑲紅旗滿洲人
 奉天錦州府知府增林 正紅旗滿洲編譯舉人
 直隸大名府知府國鈞 正紅旗滿洲監生
 山西朔平府知府毓銘 正藍旗滿洲監生
 山東沂州府知府錫恩 正白旗滿洲人
 雲南普洱府知府周範 貴州進士
 山東濟南府知府梅啟熙 江西進士
 安徽廬州府知府黃雲 湖南監生

1331

直隸按察使周馥 安徽監生
 光緒十四年三月補
 江蘇按察使陳欽銘 福建進士
 光緒十四年八月補

安徽按察使張岳年 浙江舉人
 光緒十二年八月補
 山東按察使福潤 蒙古正紅旗附生
 光緒十二年八月補湖北集司刑湖山東
 山西按察使嵩崑 滿洲鑲紅旗監生
 光緒十一年二月補
 河南按察使賈致恩 山東廕生
 光緒十三年二月補
 陝西按察使裕祥 滿洲鑲白旗進士
 光緒十四年九月補

甘肅按察使唐樹楠 湖南舉人
 光緒十四年十月補
 浙江按察使廖壽豐 江蘇進士
 光緒十三年九月補貴州集司刑湖浙江
 福建按察使奎俊 滿洲正白旗人
 光緒十四年二月補
 江西按察使瑞璋 滿洲正紅旗人
 光緒十一年十月補
 湖北按察使成允 正紅旗監生
 光緒十二年二月補山東集司刑湖湖北
 湖南按察使薛福成 江蘇附貢生
 光緒十四年九月補
 廣東按察使王之春 湖南人
 光緒十四年三月補浙江集司刑湖廣東
 廣西按察使張聯桂 江蘇附生
 光緒十二年十一月補
 四川按察使何樞 河南進士原籍浙江
 光緒十四年十月補
 雲南按察使鄧華熙 廣東舉人
 光緒十三年十月補

1332

光緒十四年十二月十二日內閣奉
 上諭太常寺奏請派署卿缺等語太常寺少卿著溥
 顧署理欽此

硃
○

1333 內閣侍讀學士溥頤

印啟

三德

載萼

文增

奎郁

通政使司參議堃岫

光祿寺少卿景澧

鴻臚寺少卿桂勛

1334 光緒十四年十二月十二日奉

旨著於十六十七日帶領引見欽此

領引見欽此

1335 交理藩院本日引

見補放呼倫貝爾銀白旗公中佐領缺擬陪之雲騎

尉瑪哈扎那春

旨著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

十二月十二日

1336 蒙

發下摺件臣等公同商閱應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月十二日奉

旨依議欽此

1337 蒙

發下摺報已奉

硃批十九件其餘應請

批示漢字摺片二十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年十二月十三日奉

旨依議欽此

1338 光緒十四年十二月十四日內閣奉

上諭兵部奏各省營制冊籍仍未造齊請旨飭催一摺現在兵部纂修則例會典專待各省營制送齊方可纂輯所有尚未造報之河南湖北湖南福建臺灣浙江廣東雲南甘肅新疆等省及尚未造齊之陝西廣西貴州等省著各該督撫嚴飭依限造送毋再延宕至滿營營制額缺並巡捕營營制冊籍著該將軍等查照該部單開及前行款式分別詳造送部覈辦另片奏請飭各省將現在裁定額設旗綠兵丁數目及何營何汛分別馬步守各項詳細造冊等語即著該將軍都統督撫等查照辦理餘依議該衙門知道單併發欽此

1339 交兩翼前鋒營本日引

見補放鑲紅旗護軍營察哈爾護軍校一缺擬陪之

前鋒巴圖額勒哲依奉

旨著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此文

十二月十四日

1340 成都補行引

見恩騎尉恩聯

旨著回原處

硃。

1341 蒙

發下摺件已奉

硃批二十三件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應請

旨摺片單三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月十四日奉

旨依議欽此

¹³⁴²光緒十四年十二月十五日內閣奉

上諭前因京師入冬以來得雪稀少朕親詣

大高殿拈香並派貝勒載滢等分詣

時應宮等處拈香同申祈禱仰荷

昊慈眷佑立沛祥霽善被郊原三農歡忭允宜敬謹報

謝用答

天庥本月十六日朕親詣

大高殿拈香

時應宮著仍派貝勒載滢

昭顯廟著仍派貝勒載澍

宣仁廟著仍派貝子奕謨

凝和廟著仍派輔國公載濂同於是日分詣拈香

仍冀仰邀

鴻貺渥澤預施以慰農望欽此

¹³⁴³光緒十四年十二月十五日內閣奉

上諭王文韶奏查明被水受旱田畝蘆州請分別蠲

緩遞緩錢漕一摺湖南安鄉等州縣衛本年入夏

以後湖河泛漲低窪田畝蘆洲均遭淹浸武陵縣

七八月間高地受旱低田仍受水患若將應徵錢

漕等項照常徵收民力實有未逮加恩著照所請

所有成災十分之安鄉縣圍城等官境五處湯家

等民境四處龍潭廟等湖田七處武陵縣陽城等

十二村障內之下眉溪等處沅江縣大成等二十

六境各應免光緒十四年正耗錢糧著蠲免十分

之七成災九分之安鄉縣新墟至螺絲塔民境一

處庸家塌等湖田六處益陽縣西林境各應免光緒

十四年正耗錢糧著蠲免十分之六成災八分之

龍陽縣北益等官境應免光緒十四年正耗錢糧

著蠲免十分之四成災七分之龍陽縣得意障等

處沅江縣募機等六境華容縣嚴蕭等官民三

坑澧州裴黃等各民坑堤埂湖田十八處各應完光緒十四年正耗錢糧著蠲免十分之二成災六分之武陵縣文子等十七村障等處華容縣洪市嶺等四十六坵各應完光緒十四年正耗錢糧著蠲免十分之一華容等縣應徵光緒十四年南贛漕折銀米蘆課等項並著緩至次年秋後帶徵所有各州縣蠲贖銀兩成災十分九分八分者分作三年帶徵七分六分者分作兩年帶徵本年應行帶徵各項均著遞年以次展緩本年蠲贖緩徵銀米著俟各年災緩銀米徵完後再行按限啟徵沅江縣免毀禁修之上下嘉興周家坪三坑官田全被淹沒應完光緒十四年田租銀兩均著全行蠲免又被淹較重之武陵縣姚家等十五村障內之豐年二總等處龍陽縣仁義總等區沅江縣株木實竹巴等五處舊有嶺田陞地湘陰縣聚賢等二十三圍北鄉二十三都湯家河近湖低田華容縣南鄉夏家等圍山脚湖汊湖田並蘆州地畝澧州太所等各民坑堤埂湖田十四處安鄉縣大溶湖一處武陵縣受早之同古等九村內停並岡等處

各應完光緒十四年正耗錢糧蘆課等項均著緩至光緒十五年秋後帶徵各該州縣有應完光緒十四年漕糧南贛等項銀米並著一律緩徵各該州縣有應行帶徵光緒六七八九十一十二十三等年災緩錢糧各項及安鄉龍陽沅江等縣有原借堤工銀兩均著遞緩至光緒十五年秋後各照原限分年次第帶徵又被淹較輕之武陵縣五村等二十村障安總等處龍陽縣黃公等處沅江縣明朗等九坑巴陵縣穆湖舊江等村秋地蘆州臨湘縣塘灣等圍華容縣護城等官民五十坑並東南二鄉山岡高阜澧州上夕陽等坑區五十四處安鄉縣高鎮洲軍收峇鐵蘆洲蘆地三處險各應完光緒十四年正耗錢糧南漕蘆課等項銀米照常徵收外所有應行帶徵光緒六七八九十一十二十三等年災緩錢糧並南漕銀米及蘆課銀兩均著遞緩至光緒十五年秋後查照原緩年限分年次第帶徵至岳州衛坐落巴陵臨湘華容湘陰等縣屯田應完光緒十四年屯餉軍安正耗錢糧及應徵運費並未完光緒六七八九十一十

二十三年災緩銀兩均著查照屯坐各縣地方分別蠲緩遞緩以紓民力餘著照所議辦理該撫即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1344 光緒十四年十二月十五日內閣奉

上諭沈秉成奏崇善等州縣民力竭蹶請將地丁兵米分別蠲緩帶徵一摺廣西太平等府州屬或耕種失時或元氣未復地方情形仍屬拮据若將應徵地丁兵米照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有太平府屬之崇善養利思恩府屬之遷江三州縣應徵光緒十四年錢糧銀兩著各蠲免十分之三其餘七分歸入本年啟徵南甯府屬之永瀉柳州府屬之來賓等二縣應徵光緒十四年錢糧銀兩著各以七分歸入本年啟徵其餘三分限三年帶徵桂林府屬之臨桂靈川義甯潯州府屬之平南鬱林州屬之興業等五縣應徵光緒十四年錢糧銀兩著各以八分歸入本年啟徵其餘二分分限三年帶徵臨桂靈川義甯平南永瀉

來賓等六縣均有緩徵光緒十三年錢糧銀兩著俟帶徵光緒十三年錢糧限滿後接續帶徵興業縣並無緩徵光緒十三年錢糧著自光緒十五年起分限三年帶徵崇善縣應徵光緒十四年兵米著蠲免十分之三其餘七分歸入本年啟徵永瀉來賓等二縣應徵光緒十四年兵米著各以七分歸入本年啟徵其餘三分分限三年帶徵臨桂靈川義甯平南等四縣應徵光緒十四年兵米著各以八分歸入本年啟徵其餘二分分限三年帶徵臨桂靈川義甯平南永瀉來賓等六縣均有緩徵光緒十三年兵米著俟帶徵光緒十三年兵米限滿後接續帶徵以上各州縣光緒十三年錢糧銀米應歸光緒十四年帶徵者著展至光緒十五年啟徵遞行推緩一年以紓民力餘著照所議辦理該撫即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1345 光緒十四年十二月十五日內閣奉

上諭沈秉成奏查明各屬被災田畝請將應徵地丁

兵米分別蠲緩帶徵一摺廣西象州等州縣本年
 雨水過多河流泛漲田禾被淹若將應徵地丁兵
 米照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有
 象州北上里之下令等三十六村被水衝壞田禾
 三百七十畝零應徵光緒十四年錢糧銀米著蠲
 免十分之七其餘三分分限三年帶徵又北上里
 麥豆等五十三村被水衝壞田禾七百十六畝零
 應徵光緒十四年錢糧銀米著蠲免十分之六其餘
 四分分限三年帶徵又北上里麥賈等二十九
 村被水衝壞田禾三百六十八畝零應徵光緒十
 四年錢糧銀米著蠲免十分之一其餘九分分限
 二年帶徵武宣縣東鄉里之屯應北下三里落麻
 西鄉里等村被水衝壞田禾三百六十八畝零應
 徵光緒十四年錢糧銀米著蠲免十分之一其餘
 九分分限二年帶徵象州武宣二州縣各鄉莊被淹
 田畝著將應徵光緒十四年錢糧銀米各以五分
 歸入本年啟徵其餘五分分限二年帶徵蒼梧藤
 縣懷集桂平永康武緣等六州縣著將應徵光緒
 十四年錢糧銀米各以八分歸入本年啟徵其餘

二分分限二年帶徵以紓民力該撫即刊刻謄黃
 徧行曉諭務使實惠及民毋任吏胥舞弊用副軫
 念災區至意該部知道欽此

1346 光緒十四年十二月十五日奉
 旨准其抵銷欽此

吏部奏議處山東巡撫張曜請休公罪處分可否抵銷摺

1347 蒙

發下摺報已奉

硃批十六件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片八件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月十五日奉

旨依議欽此

1348 光緒十四年十二月十六日內閣奉

上諭李鴻章奏安州等州縣積澇地畝懇恩減免豁免
 緩糧租等語直隸安州等州縣積澇已久本年復
 被淹浸或顆粒無收或收成減色若將應徵糧租照
 常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有安州
 東北兩淀共地三百二十八頃七十九畝零應徵
 光緒十四年租銀一千二百九十一兩零著全行
 豁免河間縣蒲塔窪等六村糧地二百五十六頃
 二十七畝零應徵光緒十四年糧銀四百四十八
 兩零也米九石零著減免十分之四銀一百七十
 九兩零也米三石零又前北曹等十九村糧地三
 百五十五頃七十畝零應徵光緒十四年糧銀六
 百四十九兩零也米七斗零著減免十分之三銀
 一百九十四兩零也米二斗零隆平縣黃家莊等
 三村糧地一百七十頃四十二畝零應徵光緒十

四年糧銀三百八十八兩零著減免一半銀一百
 九十四兩零其隨正耗銀一體豁免減免減騰銀
 兩照常徵收至各該花戶如有從前長完銀兩准
 其分別抵作本年並下年正賦其應徵節年糧租
 並河間縣積澇村莊應徵本節年存退莊頭等項
 租銀均著緩至光緒十五年秋後啟徵以紓民力
 該督即刊刻騰黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏
 胥舞弊用副體恤民艱至意該部知道欽此

1349 光緒十四年十二月十六日內閣奉

上諭巡視南城御史鳳英等奏拏獲結夥疊刦鎗傷
 事主盜犯請交部審辦一摺盜犯曹山林即曹遇
 春馬道安即馬道顯張全即張五曹方山均著交
 刑部嚴行審訊按律懲辦其拏獲此案盜犯出力
 各員弁著刑部於定案時聲明請旨欽此

1350 蒙

發下摺報已奉
 硃批二十二件其餘應請

批示清漢摺片二十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月十六日奉

旨依議欽此

1351 李鴻章片一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

1352 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

十二月十六日

1353 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 山東巡撫

張 光緒十四年十二月十七日奉

上諭據吳大澂等十四日電奏門占已成定於十六

日挂纜祭河十七日金門下占兩晝夜可合龍等

語鄭工指日蒞事黃水仍由東境入海該省河防

極關緊要所有堤埝各工歷年所費不貲上年冬間

張曜因培堤挑淤請款興辦復經飭撥鉅款諭令

認真辦理本平六月間鄭工引河衝開黃河驟入

東境據張曜奏報數日之間即由利津鐵門關入

海是彼時河道尚無阻滯惟現在合龍後黃流全

股北行凌汛踵至非夏間暫時分流可比所有一

切堤埝各工異常喫緊著張曜剋日親赴上下

游周流巡歷督飭在工負弁加意防守毋得稍有疏虞至直隸境內隄工亦應一律修防著李鴻章嚴督道廳文武各負認真經理以備不虞黃水入境後若何情形並著張曜迅速馳奏將此由四百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1354 光緒十四年十二月十七日內閣奉

上諭安徽潁州府知府負缺著鳳林補授欽此

1355 查安徽潁州府知府係繁疲難要缺謹

奏

1356 光緒十四年十二月十七日內閣奉

上諭本月十五日夜間貞度門不戒於火延燒太和門及庫房等處經王大臣等督率官員弁兵撲救止熄茲據各該衙門將救火各員開單由軍機大臣呈覽恭親王御前大臣博多勒噶台親王伯彥訥謨祜克勤郡王晉祺慶郡王奕劻軍機大臣禮

親王世鐸額勒和布張之萬許庚身孫毓汶總管內務府大臣福錕嵩申師曾巴克坦布崇光睿親王魁斌鄭親王凱泰豫親王本格肅親王隆懃莊親王載勛怡親王載敦貝勒載漪載澂載澂貝子奕謨溥倫公載鈇榮頤載濂載澤奎瑛麟嘉光裕鎮國將軍溥侗毓慶宮行走翁同龢松莊孫家鼐南書房行走潘祖蔭徐郁李文田吳樹梅上書房行走徐會灃王文錦李培元曹鴻勳王仁堪高釗中御前行走那彥圖瑪什巴圖爾那爾蘇符珍巴寶多爾濟濟克登旺庫爾阿勒坦呼雅克圖旺都特那木濟勒那蘭格呼勒察克達爾扎布多羅特色楞那木濟勒旺楚克剛噶爾倫布喇特那巴咱爾德本楚克蘇隆貢桑珠爾默特達木宣札布極楚克剛當黨準車楞喇旺多布濟達克沁多特諾爾布扎那濟爾迪達瓦甯保圖布烏勒濟岡巴勒珠爾勒旺呀克津那木札勒色丹巴保多爾濟御前侍衛惠銘恩燾乾清門行走熙凌阿那蘇岡溫都蘇誠厚載瀾載瀛載津博迪蘇敏噶布扎布旺喇克帕勒齊額爾齊木巴雅爾色凌那木濟勒旺

保巴咱爾吉哩第喇什彭蘇克杜英固爾扎布托
果瓦阿爾賓巴雅爾嘎爾瑪什第堆代扎布扎木
薩林扎布布彥巴里克齊巴克默特多爾濟格楚
克扎木蘇阿育爾扎那色旺諾爾布桑保貢桑諾
爾布呢朗瓦爾色凌端噶布色什旺堆花連色丹
那木扎勒車林呢瑪乾清門侍衛謙光德隆佛佑
愛隆德洪阿裕理志鈞玉書慶音布徵壽奕切都
凌阿卓凌阿全福瑞啟伊薩布慶生良泰成安伊
立布文啟崇蘭訥欽泰文璞伊勒洪阿倭立布富
陞忠清阿色清額霍綸泰全山散秩大臣果勒敏
委散秩大臣英俊定昌予告大學士寶鑒大學士
恩承尚書錫珍徐桐奎潤李鴻藻烏拉喜崇阿麟
書崑岡左都御史松森都統榮祿德福扎拉豐阿
侍郎許應駘熙敬敬信曾紀澤續昌文興廖壽恆
崇禮桂全薛允升貴恆徐用儀慶福興廉署侍郎
徐樹銘副都統容貴秀吉恩佑希朗阿希隆阿桂
祥芬車長春明安福森布文秀色普徵額明秀富
森布嵩山尚昌懋吉恆花尚阿克崖者齡柏英內
閣學士豐烈霍穆歡前大理寺卿沈源深太常寺

卿徐致祥順天府府尹高萬鵬奉宸苑卿海緒武
備院卿文壁鴻臚寺卿李端遇太僕寺少卿奎煥
錢應溥內閣侍讀學士溥頤奎郁三德通政使司
叅議堃岫光祿寺少卿景灃徐承煜詹事府左庶
子溥良欽天監監正恩明右監副王青照太醫院
左院判莊守和福州將軍希元秦甯鎮總兵懷塔
布山西布政使豫山暨翰詹科道軍機章京各部
院衙門司員各旗營侍衛章京等到者甚多實屬
勤奮出力深堪嘉尚其隨同救火之神機營兵丁
步軍統領衙門兵丁及柏唐阿護軍官役蘇拉人
等著各該衙門查明人數每名賞銀二兩水會十
五處著賞銀一萬兩各木廠匠夫著賞銀一千兩
受傷兵匠數名每名加賞銀十兩以上所賞銀兩
均著戶部給發由步軍統領福錕等查明給領以
示獎勵火災示警深宮祇懼實深惟有寅畏
天威益加修省於一切政事不敢稍涉懈弛爾大小臣
工亦當仰體朝廷兢惕之懷精白一心勤修職業
以弭災異而遂祥和將此通諭知之欽此

1357 光緒十四年十二月十七日內閣奉

上諭本月十五日夜間貞度門不戒於火延燒太和門及庫房等處所有本日值班之章京護軍等於禁城重地並不小看守實堪痛恨著交刑部嚴行審訊按律定擬具奏值班之前鋒統領恩全疏於防範咎無可辭著交部議處欽此

1358 此次奉

旨賞給救火官兵等銀兩擬請

旨由戶部給發恭候

命下繕入明發

諭旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月十七日奉

旨依議欽此

1359 光緒十四年十二月十七日內閣奉

上諭慶裕等奏敬查

永陵應修各工請派員勘估一摺

永陵

啟運殿等處應修各工均關緊要著派綿宜敬謹勘估

欽此

1360 光緒十四年十二月十七日內閣奉

上諭倉場衙門順天府奏援案請續撥粥廠賑米一摺

通州王恕園等處粥廠本年十月間業經加恩

賞給粟米八百石現在該處飢民衆多存米不敷

開放加恩著再賞給粟米一千六百石即由通倉

支給分撥王恕園等處散放以資接濟餘著照所

議辦理該部知道欽此

1361 軍機大臣面奉

諭旨禁城向來設立火班官兵備豫不虞近年以來

日就廢弛器具等項亦不全備亟應認真整頓著

軍機大臣總管內務府大臣會同步軍統領衙門

妥議章程具奏欽此

1362 交內務府本日軍機大臣面奉

諭旨禁城向來設立火班官兵備豫不虞近年以來

日就廢弛器具等項亦不全備亟應認真整頓著

軍機大臣總管內務府大臣會同步軍統領衙門

妥議章程具奏欽此相應傳知

貴衙門一體欽遵可也此交

十二月十七日

1363 蒙

發下摺報已奉

硃批十五件其餘應請

批示清漢摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單七件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月十七日奉

旨依議欽此

1364 軍機大臣面奉

諭旨太和門等處應修工程著工部內務府會同覈

實勘估奏明請旨欽此

十二月十八日

1365 交工部本日軍機大臣面奉

諭旨太和門等處應修工程著工部內務府會同覈

實勘估奏明請旨欽此相應傳知

貴衙門一體欽遵辦理可也此交

十二月十八日

1366 光緒十四年十二月十八日奉

旨著仍遵前旨准其寬免欽此

戶部奏前稽守梁俊昭款應否寬免

1367 蒙

發下摺件已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單九件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月十八日奉

旨依議欽此

1368 光緒十四年十二月十九日內閣奉

上諭慶裕奏懇恩賞假修墓一摺慶裕著賞假兩箇

月回旗修墓盛京將軍著定安暫行署理欽此

1369 交步軍統領衙門本日軍機大臣面奉

諭旨著步軍統領查明水會十五處首事衙名每處

開列一人咨報軍機處欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

十二月十九日

1370 交步軍統領衙門本日軍機大臣面奉

諭旨有人奏北新倉花戶張家五虎即張八張和尚

即張六及張八之子鳳眼張三即張三庫兒勾串

花戶左二及黑面判官張翰臣即張十狼狽王崐

即王大巡倉狗小尹即尹大左三即走狗左三成

飛腿王二等把持倉務偷竊米石請飭等語

除張八業經拿獲外其餘各犯著步軍統領衙門

順天府五城御史查明嚴拿送部懲辦欽此相應

傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

十二月十九日

1371 蒙

發下摺件已奉

硃批十五件其餘應請

批示清漢摺片單九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏
光緒十四年十二月十九日奉

旨依議欽此

1372 光緒十四年十二月二十日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨本月十六日員

度門不戒於火固屬典守不慎而遇災知做修省宜

先所有頤和園工程除佛宇暨正路殿座外其餘工

作一律停止以昭節儉而遵休和欽此

1373 光緒十四年十二月二十日內閣奉

上諭翰林院侍講崔國因奏親政伊邇謹獻芻蕘一

摺所陳典學用人崇儉三端語多可採著將原摺

鈔交毓慶宮用備省覽欽此

1374 光緒十四年十二月二十日內閣奉

上諭劉錦棠奏鎮西廳等處被災請將額徵糧石分

別蠲緩一摺新疆鎮西綏來二廳縣本年被旱被

鼠被雹地畝成災若將應徵額糧照常徵收民力

實有未逮加恩著照所請所有鎮西廳成災地一

萬八千九百一十一畝零額糧一千四百三十八石

零著一律豁免綏來縣新戶廟一渠成災地三千

七百八十畝零額糧一百四十九石零著蠲免十

分之七糧一百四石零其應行緩徵十分之三糧

四十四石零著分作三年帶徵該渠民欠未完十

三年額糧三十九石零著遞緩至來年秋收帶徵

以示體恤餘著照所議辦理該撫即刊刻謄黃編

行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念

民艱至意該部知道欽此

1375 軍機大臣欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨余聯沅屠仁守等洪良品等奏請停辦鐵路摺三件徐會澧等摺內請停鐵路一條著海軍衙門會同軍機大臣妥議具奏欽此

1376 交海軍衙門本日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨余聯沅屠仁守等洪良品等奏請停辦鐵路摺三件徐會澧等摺內請停鐵路一條著海軍衙門會同軍機大臣妥議具奏欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

十二月二十日

1377 醇親王信函一件恭呈

慈覽謹

奏

1378 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

1379 蒙

發下摺報已奉

硃批十一件其餘應請

批示漢字摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月二十日奉

旨依議欽此

1380 光緒十四年十二月二十一日內閣奉

上諭太常寺少卿林維源著幫辦全臺開墾撫番事務欽此

1381 光緒十四年十二月二十一日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨翁同龢等奏調等游百川文治奏請停辦鐵路摺四件片一件著總理海軍事務衙門會同軍機大臣歸入余聯沅等摺件一併妥議具奏欽此

1382 交總理海軍事務衙門本日軍機大臣欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨翁同龢等奏調等游百川文治奏請停辦鐵路摺四件片一件著總理海軍事務衙門會同軍機大臣歸入余聯沅等摺件一併妥議具奏欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交計鈔摺片五件

十二月二十一日

1383 光緒十四年十二月二十一日奉

旨著准其抵銷餘依議欽此

吏部奏議覆福建督糧道張開正處分摺

1384 蒙

發下摺報已奏

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片十一件分別繕擬此條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片七件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月二十一日奉

旨依議欽此

1385 光緒十四年十二月二十二日內閣奉

上諭祁世長奏患病未痊懇恩續假並請派署左部御史一摺祁世長著賞假一月毋庸派署欽此

1386 應兼署都察院漢左都御史名單

協辦大學士刑部尚書張之萬

吏部尚書徐桐

戶部尚書翁同龢

禮部尚書李鴻藻

兵部尚書許庚身

工部尚書潘祖蔭

1387 應署都察院漢左都御史名單

吏部左侍郎許應駉

右侍郎孫毓汶

戶部左侍郎孫詒經

右侍郎曾紀澤

禮部左侍郎徐郵

右侍郎童華 現在 賞假

兵部左侍郎廖壽恆 現兼署禮部右侍郎

右侍郎孫家鼐

刑部左侍郎薛允升

工部左侍郎徐用儀 現兼署刑部右侍郎

1388 光緒十四年十二月二十二日內閣奉

上諭李鴻章奏特參庸劣不職各員請旨分別懲處等語直隸成安縣知縣張敏源年力就衰辦事糊塗清豐縣知縣毛羽豐才識庸闇難膺民社南和縣知縣王爾梅人尚勤謹聽斷草率大挑候補知縣韓乾樞體弱多病難耐勞苦該員等文理尚優均著歸部以教職選用安肅縣知縣葉常芳縱容丁役不洽與情著以府經歷縣丞降補候補通判趙桂森心地狡滑不守官箴候補知縣王恩霖朦混取巧貪鄙近利均著即行革職以肅官方餘著照所議辦理該部知道欽此

1389 光緒十四年十二月二十二日內閣奉

上諭張曜奏參劾庸劣不職各員請旨分別懲處一

指山東聊城縣知縣汪維亮嗜好太深難期振作
著即行革職博興縣知縣趙秉仁才識平庸懶於
聽斷博山縣知縣劉德沛舉止輕率不諳政體均
著以縣丞歸部選用滕縣知縣黃毓奎人地不宜
著開缺另補候補知縣鄭祖傑語言動作似有心
疾著勒令回籍館陶縣教諭趙樹葵年力就衰性
情乖謬著勒令休致費縣關陽鎮巡檢祥桂行為
不謹被控有案著即行革職以肅吏治餘著照所
議辦理該部知道欽此

1390 軍機大臣面奉

諭旨本月十六日貞度門不成於火撲救出力之水
會十五處當經賞銀一萬兩並諭令步軍統領查
明首事銜名茲據開單呈覽沈永泉于鳳岡蔡珍
樂仲繁均著交部議敘徐拒芳范鴻遠均著賞給
五品頂戴薛德祥著賞給守備銜王清珏陸永明
陳長松吳德昭李洞寶謹厚均著賞給六品頂戴
梁鑑趙卿均著賞給七品頂戴以示獎勵欽此

1391 交步軍統領衙門本日軍機大臣面奉

諭旨本月十六日貞度門不成於火撲救出力之水
會十五處當經賞銀一萬兩並諭令步軍統領查
明首事銜名茲據開單呈覽沈永泉于鳳岡蔡珍
樂仲繁均著交部議敘徐拒芳范鴻遠均著賞給
五品頂戴薛德祥著賞給守備銜王清珏陸永明
陳長松吳德昭李洞寶謹厚均著賞給六品頂戴
梁鑑趙卿均著賞給七品頂戴以示獎勵欽此相
應傳知
貴衙門欽遵可也此交

十二月二十二日

1392 水會十五局首事人等擬給獎敘謹繕清單恭呈

御覽

理問銜徐拒芳請

賞給五品頂戴

三品銜記名道沈永泉請

交部議敘

從九品王清珏請

賞給六品頂戴

梁鑑請

賞給七品頂戴

從九品陸永明請

賞給六品頂戴

五品銜候選州判于鳳岡

守禦所千總蔡珍

以上二員均請

交部議敘

布政司庫大使銜陳長松請

賞給六品頂戴

五品頂戴薛德祥請

賞給守備銜

前工部學習郎中樂仲繁請

交部議敘

從九品吳德昭

候選府經歷李洞

以上二員均請

賞給六品頂戴

六品頂戴候補經制外委范鴻達請

賞給五品頂戴

趙卿請

賞給七品頂戴

候選州判竇謹厚請

賞給六品頂戴

1393 蒙

發下摺件已奉

硃批十三件其餘應請

批示清漢摺片十六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片七件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月二十二日奉

旨依議欽此

1394 光緒十四年十二月二十三日內閣奉

上諭盛京禮部侍郎著懷塔布補授欽此

1395 應調

盛京禮部侍郎名單

吏部左侍郎松桂

右侍郎景善 現在請假

戶部左侍郎熙敬

右侍郎敬信

禮部左侍郎續昌

右侍郎大興

兵部左侍郎師曾

右侍郎崇禮 現兼署工部左侍郎

刑部左侍郎桂全

右侍郎賁恆

工部左侍郎烏拉布 現出學差

右侍郎清安

理藩院左侍郎恩崇

右侍郎慶福 現在請假

倉場侍郎興廉

盛京戶部侍郎綿宜

兵部侍郎鳳秀

刑部侍郎英煦

工部侍郎阿克丹

1396 應升

盛京禮部侍郎名單

內閣學士寶昌

豐烈

文治

裕德 現出學差

霍穆歡

愛廉

都察院左副都御史志元

庚年

通政使司通政使奕欽

大理寺卿明桂 現在請假

1397 光緒十四年十二月二十三日內閣奉

上諭曾國荃奏神靈顯應請頒匾額一摺江西安義縣

龍神 素著靈應本年夏間江甯省城亢旱民間

多患疫疾經曾國荃派員前往設縣迎請

龍神虔禱甘霖立沛疫氣全消實深寅感著南書

房翰林恭書扁額一方交曾國荃祇領飭屬敬謹

懸挂以答

神庥欽此

1398 光緒十四年十二月二十三日內閣奉

上諭曾國荃奏總兵患病懇請開缺一摺雲南鶴麗

鎮總兵朱洪章著准其開缺所遺員缺著吳永安

補授欽此

1399 查雲南鶴麗鎮總兵係陸路缺謹

奏

1400 光緒十四年十二月二十三日內閣奉

上諭曾國荃奏請緩徵兩淮秦海二屬各場折價錢

糧一摺泰州等分司所屬富安等場本年入夏以

來被旱被潮收成減色若將新舊折價錢糧照常

徵收竈力實有未逮加恩著照所請所有富安

豐梁垛草堰劉莊伍祐新興七場本年應徵光緒

四年應徵十三年分折價著緩至來年麥熟後徵

收其來年二月應徵光緒十五年應徵十四年分

折價著緩至來年秋成後徵東臺何梁丁溪廟

灣四場同富安等七場上年二月內應徵光緒十

三年應徵十二年分折價及本年秋成後應帶徵

同治十年分並未屆帶徵同治十一一二十三等

年暨光緒元二三四五六七八九十一各年原

緩折價著一併緩至來年秋成後由遠而近每年

帶徵一年板浦中正臨興三場本年秋成後應帶

徵光緒十三年分蕩地折價著緩至來年麥熟後

徵收其來年二月應徵光緒十五年應徵十四年分蕩地折價著緩至來年秋成後徵徵本年秋成後應帶徵同治十年分蕩地未完折價並未屆帶徵同治十一二十三各年原緩折價均著緩至來年秋成後由遠而近每年帶徵一年以紓憲力餘著照所議辦理該督即刊刻謄黃編行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念歎區至意該部知道欽此

1401 光緒十四年十二月二十三日內閣奉

上諭兵部奏遵議處分一摺前鋒統領恩全著降一級調用再罰俸一年不准抵銷欽此

1402 光緒十四年十二月二十三日內閣奉

上諭兵部奏遵議武闈外場的展限期一摺武闈外場本有風雨展限之例近科應試人數增多即不遇風雨原定日期亦形匆促自應酌展限期俾得從容校藝著照部議嗣後順天武鄉試及會試一律展限二日九月會試十月鄉試均於初五日開

考十三日將挑取人數出示曉諭其內場題派日期均著以次遞推餘依議欽此

1403 光緒十四年十二月二十三日內閣奉

上諭都察院奏正藍旗漢軍文生書圍以民人冒入旗籍巧取科名等詞赴該衙門呈控據稱本年順天鄉試中式舉人恩麟並上年考取武生有芳均係直隸青縣民人冒入旗籍請飭查辦等語業聞冒籍倖進虛實均應澈究恩麟有芳均著刑部傳提審訊據實具奏原告文生書圍並著該衙門解交刑部備質欽此

1404 光緒十四年十二月二十三日奉

旨知道了欽此

刑部奏 貞度門值班兵丁審辦情形摺

1405 蒙

發下摺報已奉
硃批十九件其餘應請

批示清漢摺片二十一件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單十二件擬於

召見時請

旨是否當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月二十三日奉

旨依議欽此

1406 軍機大臣 密寄

兩江總督一等威毅伯曾 光緒十四年十二

月二十四日奉

上諭前有人奏前出使大臣徐承祖貪劣侵欺列款
糾參請飭查辦當經諭令總理各國事務衙門詳
細確查茲據該衙門奏稱分別行查戶部南北洋大
臣出使日本大臣嚴密查覆業經先後覆到原參

徐承祖各款中以浮冒銅價及浮開運費為最重
李鴻章覆函及黎庶昌咨覆內所稱各節顯有浮
冒情弊等語徐承祖經朝廷特簡派令出使日本
復以部局需用銅斤責成購辦宜如何潔已奉公
核實經理乃竟濫私肥己種種侵漁即就銅價一
項而論據黎庶昌所查已浮冒銀三萬餘兩之多
其餘運費餘銅各節均有弊竇似此牟利妄為
行止貪鄙實堪痛恨二品頂戴候補道徐承祖著
先行革職聽候查辦並著曾國荃飭派妥負前往
六合縣將該革負原籍財產嚴密查封備抵所有
浮銷銀數究有若干及其餘被參各款均應澈底
根究即派曾國荃飭提徐承祖到案確切研訊定
擬具奏隨負中如有應行質訊者著分別咨調傳
訊其因買銅出力保舉十五人之案並著先行撤
銷原參摺單各一件總理各國事務衙門摺一件
均著鈔給閱看將此由四百里密諭知之欽此遵
旨寄信前來

1407 光緒十四年十二月二十四日內閣奉

上諭泰甯鎮總兵兼總管內務府大臣著志元補授
欽此

1408 應放泰甯鎮總兵兼總管內務府大臣名單

吏部左侍郎松桂

右侍郎景善 現在請假

戶部左侍郎熙敬

右侍郎敬信

禮部左侍郎續昌

右侍郎文興

兵部左侍郎師曾

右侍郎崇禮 現兼署工部左侍郎

刑部左侍郎桂全

右侍郎貴恆

工部左侍郎烏拉布 現出學差

右侍郎清安

理藩院左侍郎恩崇

右侍郎慶福

內閣學士寶昌

豐烈

文治

裕德

現出學差

霍穆歡

愛廉

副都統文秀

倭恆額 差

致麟

嵩山

克勤

承綬

希朗阿

希隆阿

容貴

英信

明安

恩光

明秀

芬車
 長春
 安興阿
 尚昌懋
 謙光
 溥儀差
 豐陞阿差
 桂祥
 巴克坦布
 恩普
 德隆
 色普徵額
 崇光
 秀吉
 耆齡
 意銘假
 福森布
 容山未到任
 恩佑

硃

○都察院左副都御史志元

花尚阿
吉恆

庚午

通政使司通政使奕杖

大理寺卿明桂現在請假

光祿寺卿榮惠

太僕寺卿壽蔭

¹⁴⁰⁹光緒十四年十二月二十四日內閣奉

上諭恩全著加恩仍充當御前頭等侍衛差使欽此

¹⁴¹⁰光緒十四年十二月二十四日內閣奉

上諭長順等奏請蠲緩吉林三姓等處銀穀租賦開單呈覽一摺吉林所屬各地方本年夏秋之交雨水連綿兼遭冰雹收成均形歉薄若將應徵銀穀租賦照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有吉林省城官莊所屬本年應納租賦伯都訥廳北下坎本年應納租銀及賓州廳等地方本年應

微帶徵銀救等項均著分別蠲免緩徵以紓民力
該將軍即按照單開數目刊刻謄黃編行曉諭務
使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念災區至意
該部知道單併發欽此

1411 光緒十四年十二月二十四日內閣奉

上諭潘祖蔭高萬鵬奏特叅知縣等官一摺順天三
河縣知縣劉兆璋才欠開展遇事退縮永清縣知
縣丁予勳性頗魯鈍人地不宜均著開缺另行酌
補宛平縣龐各莊巡檢黃從周嗜好甚深性情浮
躁著即行革職以肅吏治該部知道欽此

1412 光緒十四年十二月二十四日內閣奉

上諭潘祖蔭高萬鵬奏革生霸種官地一案請交直
隸總督提訊等語武清縣已革武生楊雲鵬霸種
官園餘地業經內務府會勘明確膽敢違抗不遵
疊次砌詞牽控並有不服審訊情事殊屬刁玩著
李鴻章督飭臬司提案嚴訊定擬具奏欽此

1413 光緒十四年十二月二十四日奉
旨均著准其抵銷欽此

吏部兵部奏遵議福銳等處分摺

1414 蒙

發下摺報已奉

硃批十三件其餘應請

批示漢字摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單九件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月二十四日奉

旨依議欽此

1415 慶裕等摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

1416 光緒十四年十二月二十五日奉

旨右翼監督仍著恩全管理欽此

1417 應放右翼監督之侍郎名單

吏部左侍郎松淮

右侍郎景善 現在請假

戶部左侍郎照崧

右侍郎敬信

禮部左侍郎續昌

右侍郎文興

兵部右侍郎崇禮 現兼署工部左侍郎

刑部左侍郎桂全

右侍郎貴恆

理藩院左侍郎恩棠

右侍郎慶福

1418 應放右翼監督之副都統名單

文秀

符珍

致麟

嵩山

克勤

承綬

希朗阿

希隆阿

容貴

英信

明安

恩光

明秀

芥平

安興阿

尚昌懋

桂祥

巴克坦布

恩普

德隆

色普徵額

崇光 現任學文門副監督

秀吉

耆齡

惠銘

福森布

恩佑

愛隆

花尚阿

吉恆

1419 光緒十四年十二月二十五日內閣奉

上諭曾國荃崧駿奏蘇松等屬歉收請分別蠲緩錢

漕開單呈覽一摺本年江蘇蘇松等屬自夏徂秋連月不雨高阜山鄉被旱極重若將應徵錢糧照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有長洲元和吳縣吳江震澤常熟昭文崑山新陽婁縣金山青浦武進陽湖無錫金匱江陰宜興荆溪丹徒丹陽金壇溧陽太倉鎮洋等二十五州縣拋荒未種同長洲元和吳縣吳江震澤常熟昭文崑山新陽丹徒金壇等十一縣被旱無收元和常熟昭文崑山青浦五縣蟲傷婁縣金山丹陽三縣本年復荒又元和吳江震澤崑山新陽金山青浦金壇太倉九州縣歷年復荒長洲吳江常熟三縣屆徵新墾並常熟縣光緒八年十年丹徒縣十年丹陽縣十一年兩年太倉州五年鎮洋縣五六年新墾太湖華亭二廳縣荒廢古墓屋基靖江縣被旱無收潮田銀米長洲元和吳縣吳江震澤常熟昭文崑山新陽等九縣歷年剔贖薄收崑山新陽二縣拋荒復荒蘆價田條銀靖江縣被旱無收蘆田課銀武進陽湖無錫金匱江陰宜興荆溪丹陽溧陽等九縣被旱無收田地下忙條銀冬漕米石著一

律全行蠲免常熟縣原熟別熟坐落東南鄉各區
太倉鎮洋二州縣原熟並屆徵新墾田畝銀米並
常熟縣薄收坐落東南鄉各區昭文縣原熟別熟
同薄收各田坐落高平區漕米著減免二釐長洲
元和二縣原熟長洲縣受傷次重並別熟同薄收
各田元和縣各年屆徵新墾暨別熟及薄收昭文
縣原熟並別熟及薄收田坐落低平各區田畝及
丹徒縣原熟漕屯同歉收漕田漕米著減免四釐
長洲元和二縣原熟及長洲縣受傷次重並別熟
元和縣各年屆徵新墾及別熟田條銀吳縣原熟
別熟並屆徵新墾同薄收田常熟縣薄收坐落西
北鄉高平各區漕米常熟縣原熟別熟坐落西北
鄉高平各區銀米著減免五釐吳縣原熟別熟並
屆徵新墾田條銀著減免六釐金壇縣原熟並屆
徵新墾田銀米丹陽縣被旱無收漕田上忙條銀
同蘆田課銀著減免一成昭文縣原熟別熟坐落
高平低各區田條銀著減免一成二釐丹陽縣原
熟田漕米著減免二成丹陽縣原熟田條銀著減
免二成五釐丹陽縣薄收田漕米著減免三成丹

徒縣原熟漕屯並歉收漕田同丹陽縣薄收田條
銀著減免四成丹徒縣蘆田課銀著減免四成八
釐又該縣南鄉頭五六七等區東鄉八九十三
十四等區西鄉大小二區西南鄉三四十七區北
鄉十六區各圖村莊又歸併省衛戶屬西鄉二區
高資炭渚一帶屯田除被旱無收成灾十分田地
歸入銀米全蠲外實在被歉薄收並成熟有收漕
屯田畝除普減條銀四成漕米四釐外所有減剩
應徵銀米均著緩至光緒十五年春收後啟徵又
武進陽湖無錫金匱江陰宜興荆溪等七縣丹徒
溧陽二縣本年被旱無收田應徵光緒十五年上
忙條銀著緩至十五年秋後一併徵解其長洲等
各州廳縣減成項下應徵本年地漕鹽課正雜正
耗同蘆課學租歸公官租等銀以及漕南行贈局
卹等項米豆均著按分蠲減徵收至蘇州太倉鎮
海金山等四衛幫屯田錢糧著各照坐落地方民
田分別蠲減又鎮江衛屯坐各州縣錢糧著查照
民田蠲減秦州著酌徵五成秦興著酌徵二成五
釐江都著酌徵二成五釐甘泉著酌徵八釐丹陽

著酌徵二成二釐此外徵剩錢糧同婁縣青浦靖
江丹徒丹陽金壇溧陽等七縣十三年勘不成災
緩徵銀米並常熟縣本年歉收蘆田課銀一併著
緩一年至各屬舊欠項下除同治十一年起至光
緒五年錢糧業經蠲免外其餘原緩各年民欠及
坐落本年歉薄各區已歷奏銷民欠各款均著查
照分徵成案緩至光緒十五年秋後由遠及近以
次帶徵以紓民力餘著照所議辦理該督撫即刊
刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊
用副軫念民艱至意該部知道單併發欽此

1420 光緒十四年十二月二十五日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨洋商德威尼等
著照所請分別賞給寶星機器局出力人員著准其
擇尤保獎單四件併發欽此

海軍衙門奏訂購洋輪等事出力洋員請給寶星等因

1421 光緒十四年十二月二十五日內閣奉

上諭額勒和布等奏遵保續纂大臣年表出力人員

開單請獎一摺國史館文武大臣年表及臣工奏議
自同治十三年奏辦後經在館各員續加編纂全
書一律告成所有尤為出力各員自應量予獎敘
以示鼓勵內閣侍讀奎華著賞給三品封典貴秀
著俟升任後仍以知府在任儘先即選翰林院
編修陸繼輝著俟得道府後賞加三品銜詹事府
左贊善王貽清著賞加四品銜湖南衡永郴桂道
隆文著賞換二品銜浙江杭州府遺缺知府鶴山
江蘇松江府知府恩興均著賞加三品銜浙江按
察使廖壽豐甘肅鞏秦階道姚協贊均著交部從
優議敘即補道坐補雲南曲靖府知府施之博著
俟離知府任歸道員班後賞加二品頂戴江西督
糧道鄧蓉鏡著賞加二品銜翰林院編修李培元
著賞加五品銜詹事府左庶子朱琛前貴州貴西
道李肇錫均著交部從優議敘翰林院侍讀學士
徐會澧侍講學士惲彥彬甘肅鞏昌府知府丁振
鐸均著賞加三品銜內閣中書洪几章著俟開中
書底缺歸侍讀班後賞加四品銜吳蔭培等均著
作為歷俸期滿內閣典籍吳震著俟補知府後賞

加鹽運使銜候補侍讀許玉琢著候補侍讀後賞
加四品銜內閣中書劉嵩齡著俟同知得缺後以
知府即補內閣候補中書王仁東著仍以中書不
論雙單月過缺即補前內閣候補中書吳中欽著
俟服滿後仍以內閣中書不論雙單月本班儘先
選用主事延祉等均著賞加四品銜通政使司參
議黎岫著以應升之缺升用郎中保謙著在任以
知府不論雙單月過缺即選印務參領德順著賞
加二品銜內閣侍讀貴壽著俟得知府後賞加鹽
運使銜中書潤昌著在任以撫民同知不論雙單
月過缺即選筆帖式濟善著仍以知縣不論雙單
月歸議敘班前即選員外郎延曾著賞加武備院
卿銜筆帖式聯葆著在任以知縣不論雙單月儘
先選用文連著在任以知縣不論雙單月歸議敘
班儘先即選中書全瑞著俟補中書後作為候
補侍讀過缺即補筆帖式崇興著作為本部候補主
事過缺即補中書印祥著作為候補侍讀過缺即
補筆帖式奎斌著在任以知縣不論雙單月歸滿蒙一
班後選用中書廷恩著以本堂中書過缺即補郎

中崇昆著候補缺後在任以知府過缺即選堂筆
帖式廣嵩著在任以員外郎歸偉深班儘先即先
升用供事州同徐源洙著俟得缺後在任以知州
即補府經歷陳廷樑等均著賞給五品封典縣丞
許濟源著仍以縣丞不論雙單月歸議敘班前即
選府經歷蘇英佐著俟選缺後在任以知縣用州
吏目周炳麟等均著賞加六品銜巡檢陳德麟著
俟選缺後在任以應升之缺升用戴鴻縵著俟得
缺後以應升之缺補用通判魯德祐著俟得缺後
在任以同知用從九品王文著著以巡檢不論雙
單月仍歸議敘班即選巡檢尚希程著俟選缺後
在任以縣主簿補用府照磨郭光豫著俟選缺後
以應升之缺升用縣丞顧秉鈞著俟得缺後以知
縣補用府經歷職銜李達春著以府經歷不論雙
單月歸議敘班前即選用未入流徐夢齡著以典
史仍歸本班前即選從九品汪保鎮著以府照磨
不論雙單月歸議敘班即選府經歷孫彬著俟選
缺後以知縣用未入流徐績勳著以典史仍歸雙
月間選用從九品陳際昌著以巡檢仍歸議敘即

用班內儘先選用州吏目徐樹瑾著俟選缺後以縣主簿用按察司經歷馬振麟著賞給四品封典州同張紳著俟選缺後在任以知州歸候補班補用布政司經歷周森著俟補缺後以知州用從九品薛釗著俟選缺後在任以縣主簿歸議敘班前即補杭茂林著以巡檢不論雙單月歸議敘班前選用未入流程邦榮著以典史不論雙單月仍歸議敘本班儘先選用按察司經歷邱玉章著俟得缺後以知縣歸議敘班前即補縣丞銜成樹芝著以縣丞不論雙單月歸議敘班前即選鹽運司經歷韓治昌著賞給五品銜縣丞銜李德基著以縣丞不論雙單月歸議敘班前即選未入流莊秉泰著以典史不論雙單月歸議敘班前即選另片奏前提調總纂各官應否給獎等語內閣學士李端棻太常寺卿徐致祥刑部右侍郎周德潤均著交部議敘該部知道單併發欽此

1422

軍機大臣

禮親王

1423

額勒和布
張之萬
許庚身
孫毓汶

前軍機大臣

恭親王

寶箴

李鴻藻

王文韶

翁同龢

潘祖蔭

閻敬銘

原任軍機大臣

文祥

桂良

沈兆霖

曹毓瑛

李棠階

胡家玉

汪元方

沈桂芬

景廉

左宗棠

現任前任大員名單

現任文職大員

大學士直隸總督李鴻章

兩江總督曾國荃

陝甘總督楊昌濬

四川總督劉秉璋

雲貴總督岑毓英

山東巡撫張曜

甘肅新疆巡撫劉錦棠

福建臺灣巡撫劉銘傳

現任武職大員

正紅旗漢軍副都統高昌懋

金州副都統連順

吉林將軍長順

阿勒楚喀副都統富和

齊齊哈爾副都統托克湍

江甯將軍豐紳

甯夏副都統常星阿

綏遠城將軍克蒙額

察哈爾都統托倫布

熱河都統謙禧

伊犁將軍色楞額

烏里雅蘇台將軍杜嘎爾

庫倫辦事大臣安德

西甯辦事大臣薩凌阿

直隸提督李長樂

北洋海軍提督丁汝昌

陝西提督雷正綰

甘肅提督周達武

長江水師提督李成謀

江南提督譚碧理

浙江提督歐陽利見

福建水師提督彭楚漢
福建陸路提督孫開華
廣東水師提督方耀
廣東陸路提督唐仁廉
廣西提督蘇元春
湖北提督程文炳
湖南提督馮南斌
四川提督宋慶
雲南提督馮子材
貴州提督羅孝連
直隸大名鎮總兵徐道奎
天津鎮總兵羅榮光
通永鎮總兵吳育仁
宣化鎮總兵王可陞
正定鎮總兵葉志超
北洋海軍左翼總兵林泰曾
右翼總兵劉步蟾
山東登州鎮總兵章高元
兗州鎮總兵田恩來

曹州鎮總兵趙鴻舉
山西太原鎮總兵林成興
大同鎮總兵黃金志
河南南陽鎮總兵劉威休
河北鎮總兵崔廷桂
歸德鎮總兵牛師韓
陝西延綏鎮總兵慶連
陝安鎮總兵姚文廣
漢中鎮總兵孫金彪
甘肅甯夏鎮總兵衛汝貴
西甯鎮總兵譚上連
河州鎮總兵沈玉遂
肅州鎮總兵李培榮
涼州鎮總兵閃殿魁
巴里坤鎮總兵徐占彪
伊犁鎮總兵鄧增
江南狼山鎮總兵曹德慶
蘇松鎮總兵張景春
徐州鎮總兵董鳳高

福山鎮總兵陳海鵬
淮揚鎮總兵章合才
長江水師瓜州鎮總兵吳家榜
湖口鎮總兵丁義方
漢陽鎮總兵高光効
岳州鎮總兵張捷書
安徽壽春鎮總兵任祖文
皖南鎮總兵史宏祖
江西南贛鎮總兵姚廣武
九江鎮總兵朱淮森
浙江定海鎮總兵楊岐珍
海門鎮總兵彭大光
溫州鎮總兵周振邦
處州鎮總兵劉元勳
衢州鎮總兵喻俊明
福建汀州鎮總兵李占椿
澎湖鎮總兵吳宏洛
台灣鎮總兵萬國本
福甯鎮總兵曹志忠

漳州鎮總兵侯名貴
南澳鎮總兵劉永福
建甯鎮總兵蘇得勝
廣東北海鎮總兵王孝祺
南韶鎮總兵方友升
瓊州鎮總兵姜桂題
潮州鎮總兵鄧安邦
碣石鎮總兵鄧萬林
高州鎮總兵黃廷彪
廣西左江鎮總兵劉光裕
右江鎮總兵張春發
柳慶鎮總兵馬盛治
湖北宜昌鎮總兵羅措紳
鄖陽鎮總兵龔繼昌
湖南鎮筇鎮總兵周瑞龍
永州鎮總兵韓晉昌
綏靖鎮總兵鍾開蘭
四川重慶鎮總兵田在田
建昌鎮總兵劉士奇

松潘鎮總兵夏毓秀
 川北鎮總兵鄧榮升
 雲南開化鎮總兵蔡標
 鶴麗鎮總兵吳永安
 臨元鎮總兵何秀林
 騰越鎮總兵張松林
 昭通鎮總兵何雄輝
 普洱鎮總兵章修綱
 貴州安義鎮總兵蔣宗漢
 古州鎮總兵丁槐
 鎮遠鎮總兵和堪曾
 威甯鎮總兵蘇元瑞
 前任文職大員
 兵部尚書彭玉麟
 陝甘總督楊岳斌
 陝甘總督譚鍾麟
 兩江總督劉坤一
 福建布政使王德榜
 前任武職大員

直隸正定鎮總兵婁雲慶
 長江水師提督黃翼升
 署浙江提督黃少春
 安徽壽春鎮總兵郭寶昌
 江南提督李朝斌
 山西大同鎮總兵張樹屏
 正白旗蒙古副都統特爾慶阿
 陣亡殉難文武大員名單
 陣亡大員
 貴州都勻協副將周學桂
 咸豐十一年八月初三日奉
 旨照提督例從優議卹並於貴州及原籍地方建立專祠
 署山東曹州鎮總兵沂州協副將郝上庠
 咸豐十一年十一月十五日奉
 旨照提督陣亡例議卹
 副都統舒明安
 咸豐十一年十一月二十日奉
 旨交部從優議卹

前任京口副都統海全

同治元年三月二十七日奉

旨開復原官照都統陣亡例從優議卹

記名總兵張勝祿

同治元年七月二十八日奉

旨張勝祿殊勳屢著因傷殞命照提督陣亡例賜卹

貴州清江協副將吳秀

同治元年七月二十九日奉

旨照提督陣亡例從優議卹

記名副都統德克登額

同治元年九月十五日奉

旨從優照都統陣亡例議卹

儘先副將郭明鼐

同治元年十月二十日奉

旨追贈提督銜照提督陣亡例議卹

開復總兵林向榮

同治元年十二月二十一日奉

旨交部議卹

乍補副都統傑純

同治二年正月十三日奉

旨照都統例從優議卹准其子謚

總兵彭星占

同治二年正月十九日奉

旨照總兵立功後陣亡例從優賜卹

記名總兵吳宏盛

同治二年二月三十日奉

旨交部從優議卹

署雲貴總督潘鐸

同治二年三月二十七日奉

旨照總督陣亡例交部從優議卹

乾清門頭等侍衛副都統銜卓明阿

同治二年四月初六日奉

旨照陣亡例交部從優議卹

河北鎮總兵余際昌

同治二年四月二十日奉

旨照提督陣亡例從優賜卹

副將鄔桂芳

胡俊友

以上二員同治二年六月初五日奉

旨均著照總兵陣亡例從優議卹

總兵朱希廣

記名提督陝西漢中鎮總兵趙既發

以上二員同治二年七月初二日奉

旨均著照提督陣亡例從優議卹

正黃旗侍衛班領頭等侍衛益謙

同治二年七月十八日奉

旨照副都統陣亡例從優議卹

記名總兵賴榮光

同治二年八月初二日奉

旨照總兵陣亡例從優議卹

總兵賀蘭桂

蕭慶泗

何玉林

解洪德

以上四員均於同治二年十月十三日奉

旨從優議卹

總兵銜儘先副將尹連陞

同治二年十一月初二日奉

旨照總兵陣亡例從優議卹

護理漢中鎮總兵漢鳳營遊擊陳天柱

同治二年十二月二十四日奉

旨照總兵例賜卹

總兵何安泰

同治三年三月初二日奉

旨照提督陣亡例從優議卹並准於嘉興府死事地方

建立專祠

江西南贛鎮總兵程學啟

同治三年三月二十九日奉

旨追贈太子太保銜照提督陣亡例從優賜卹加恩予

諡入祀昭忠祠史館立傳安慶蘇州嘉興各府建立

專祠賜祭一壇

欽差大臣西安將軍多隆阿

同治三年四月二十日奉

旨追贈太子太保照將軍陣亡例從優賜卹賞一等輕

車都尉世職入祀京師昭忠祠立功省分建立專祠

鑲紅旗護軍統領舒保

同治三年五月初八日奉

旨照都統陣亡例從優賜卹並加恩予諡入祀昭忠祠
於武昌等處建立專祠戰績宣付史館

子爵河南歸德鎮總兵李臣典

同治三年七月二十七日奉

旨照提督陣亡例從優議卹並加恩予諡吉安等處建
立專祠戰績宣付史館

正黃旗漢軍都統舒通額

頭等侍衛隆春

頭等侍衛奇克塔善

以上三員同治三年八月十六日奉

旨交部從優議卹

記名總兵湖北提標叅將石清吉

同治三年九月二十六日奉

旨照提督陣亡例議卹入祀昭忠祠並准於直隸等處
建立專祠

記名提督蕭河清

同治三年十月二十一日奉

旨照提督陣亡例從優議卹入祀湖南湖北昭忠祠並

湖南等處建立專祠

署福建陸路提督福甯鎮總兵林文察

同治三年十二月初五日奉

旨照提督例從優議卹

記名提督孟宗福

同治三年十二月十五日奉

旨照提督陣亡例從優議卹

頭品頂戴護軍統領恆齡

都統銜副都統蘇倫保

以上二員同治四年正月二十一日奉

旨交部從優議卹

布政使銜福建按察使張運蘭

同治四年二月二十三日奉

旨照巡撫陣亡例議卹

吐魯番領隊大臣署巴里坤領隊大臣色普詩新

同治四年三月十三日奉

旨照都統陣亡例交部從優議卹

二等侍衛古城領隊大臣惠慶

同治四年四月初六日奉

旨照副都統陣亡例從優賜卹

科爾沁博多勒噶台親王僧格林沁

同治四年四月二十九日奉

旨照陣亡例以親王飾終典禮從優議卹同日奉

旨配饗

太廟

內閣學士全順

同治四年五月初三日奉

旨照尚書陣亡例從優議卹

總兵何建楚

同治四年五月初三日奉

旨照提督陣亡例從優議卹

總兵丁長勝

同治四年閏五月十四日奉

旨照提督陣亡例議卹並加恩予諡

塔爾巴哈台參贊大臣錫霖

領隊大臣博勒果素

以上二員均於同治四年六月初九日奉

旨照陣亡例賜卹

杭州副都統關福

同治四年七月十三日奉

旨照例議卹

塔爾巴哈台參贊大臣武隆額

同治五年五月十六日奉

旨照都統例賜卹

已革廣西右江鎮總兵慶瑞

同治五年八月三十日奉

旨開復原官照提督陣亡例從優議卹

廣西右江鎮總兵張樹珊

同治六年正月初七日奉

旨照提督陣亡例從優議卹加恩予諡廬州等處建寧尊祠

廣西右江鎮總兵唐殿魁

同治六年二月十四日奉

旨照提督陣亡例從優議卹

記名布政使前福建汀漳龍道彭毓楨

同治六年三月初三日奉

旨照布政使陣亡例從優議卹加恩予諡湖南本籍及

立功地方建祠宣付史館立傳

署貴州提督趙德光

同治六年八月十四日奉

旨照提督陣亡例從優議卹並於死事地方及貴州省城暨郎岱廳原籍建祠

總兵銜參將趙友勝

同治六年九月初一日奉

旨照總兵陣亡例從優議卹

記名總兵彭文林

記名提督周保和

以上二員同治六年十月初七日奉

旨均照提督陣亡例從優議卹

副將周萬祥

副將楊瑞庭

以上二員同治六年十月三十日奉

旨均交部從優議卹

記名提督安徽壽春鎮總兵李祥和

同治六年十月初七日奉

旨交部照提督陣亡例議卹加恩予諡

總兵黃祖淦

同治六年十二月初三日奉

旨照提督陣亡例從優議卹

記名提督李佑厚

同治七年五月二十四日奉

旨照提督陣亡例從優議卹並予諡

記名提督胡良作

同治七年七月初十日奉

旨照提督陣亡例從優議卹予諡建祠

提督銜總兵江忠珀

同治八年三月初二日奉

旨照提督陣亡例議卹並加恩予諡准於死事地方建祠

甘肅提督高連陞

同治八年三月初七日奉

旨照陣亡例議卹並加恩予諡戰績宣付史館立傳廣

西等處建祠

記名副都統烏勒西布

同治八年三月十五日奉

旨照都統陣亡例從優議卹並於甯夏府建祠事績宣

付史館加恩予諡

記名按察使黃潤昌

布政使銜道員鄧子垣

記名提督劉長槐

以上三員同治八年五月初九日奉

旨黃潤昌照巡撫陣亡例從優議卹鄧子垣照布政使

陣亡例從優議卹劉長槐照提督陣亡例從優議卹

均加恩予諡宣付史館並於原籍及死事地方建祠

總兵凌子龍

副將唐運珍

副將王得勝

以上三員同治八年五月初九日奉

旨均照總兵陣亡例從優議卹

副將蔣安旺

同治八年五月初九日奉

旨照副將陣亡例從優議卹

提督榮維善

同治八年六月十八日奉

旨照提督陣亡例從優議卹並准予諡於原籍暨死事

各地方建祠戰功宣付史館

記名提督浙江處州鎮總兵馬德順

同治八年十月初七日奉

旨照提督陣亡例議卹並加恩予諡在河南洛陽

原籍及甘肅西安堡建祠

記名副都統烏拉協領貴陞

同治八年十月二十七日奉

旨照都統陣亡例從優議卹並於死事地方建祠

記名提督易德麟

同治八年十一月初五日奉

旨照提督陣亡例議卹並加恩予諡准於原籍湖南湘

鄉縣及甘肅靈州地方建祠

頭品頂戴記名提督李就山

同治八年十二月初八日奉

旨照提督陣亡例議卹並加恩予諡

提督銜記名總兵周本立

記名總兵易作義

副將溫其林

以上三員同治八年十二月初八日奉

旨照所保官階議卹

提督銜前浙江衢州鎮總兵簡敬臨

升用提督姚連陞

以上二員同治八年十二月初八日奉

旨均照提督陣亡例議卹並加恩予諡

提督銜記名總兵譚正明

補用總兵鄧雲高

副將秦龍瑞

副將羅榮貴

以上四員同治八年十二月初八日奉

旨各照所保官階議卹

副將李其貴

同治八年十二月二十日奉

旨照本職從優議卹

擬保總兵副將徐效孟

同治八年十二月二十一日奉

旨照擬保官階從優議卹

廣東陸路提督劉松山

同治九年二月初五日奉

旨予諡入祀昭忠祠立功地方建祠戰績立傳

記名提督楊春輝

同治九年二月二十二日奉

旨建祠予諡

記名提督張萬美

同治九年十月二十六日奉

旨照提督陣亡例從優議卹並予諡

記名副都統委營總常在

同治十年十一月二十六日奉

旨照副都統陣亡例賜卹

記名提督甘肅涼州鎮總兵傅先宗

同治十一年三月初二日奉

旨交部照提督陣亡例議卹

記名提督前廣東高州鎮總兵徐文秀

同治十一年三月初二日奉

旨交部照提督陣亡例議卹並於死事地方建立專祠

湖北候補道周康保

同治十二年閏六月初十日奉

旨著交部照二品文員陣亡例從優議卹並加恩予諡

立傳建祠

擬保提督李大洪

總兵張大發

光緒二年十一月二十五日奉

旨均照提督陣亡例從優議卹李大洪並予諡

提督王慶福

提督銜總兵曾又得

光緒三年十月二十九日奉

旨交部各照官階從優議卹

總兵朱成其

光緒三年十一月二十一日奉

旨交部照官階從優議卹

烏魯木齊提督業布冲額

光緒三年十二月二十一日奉

旨照陣亡例議卹

庫爾喀喇烏蘇領隊大臣文永

光緒五年六月初一日奉

旨交部從優議卹

前庫倫辦事大臣薩凌河

前額魯特領隊大臣托克托奈

以上二員光緒五年六月十八日奉

旨分別優卹

英吉沙爾領隊大臣托克托布

光緒五年六月十九日奉

旨從優議卹

陝西漢中鎮總兵蕭德揚

光緒六年正月初二日奉

旨開復原官照提督陣亡例議卹

提督劉思河

總兵黃喜光

記名總兵副將胡陽春

副將武鴻來

以上四員光緒十一年二月十八日奉

旨從優議卹

總兵孫得勝

光緒十一年五月十五日奉

旨從優議卹

記名提督貴州安義鎮總兵陳嘉

光緒十一年九月初一日奉

旨照提督陣亡例賜卹加恩予諡並將事績宣付國史館立傳

記名提督前廣東高州鎮總兵楊玉科

光緒十年二月十八日奉

旨從優議卹十一年五月十五日奉

旨賜祭一壇加恩予諡十三年正月十九日奉

旨准於雲南大理府城暨廣西鎮南關建祠

記名提督朱煥明

光緒十四年十月十七日奉

旨照陣亡例從優議卹

殉難大員

杭州將軍瑞昌

同治元年正月二十四日奉

旨照將軍陣亡例從優賜卹

浙江巡撫王有齡

同治元年正月二十四日奉

旨照巡撫例從優賜卹

浙江提督饒廷選

浙江處州鎮總兵文瑞

署漳州協副將繼興

廣西提督張玉良

同治元年正月二十七日奉

旨交部從優議卹

軍機大臣戶部尚書署陝甘總督沈兆霖

同治元年七月十九日奉

旨照尚書例賜卹並查照一品官歿於王事例聲明請旨

陝西巡撫鄧爾恆

同治元年十二月十五日奉

旨照例議卹

前都察院左副都御史張蒂

同治元年八月奉

旨照侍郎例從優賜卹陝西省城建立專祠

浙江學政刑部右侍郎張錫庚

同治二年四月初五日奉

旨照尚書例賜卹初七日奉

旨加恩予諡

湖州協副將鄂爾霍巴

同治二年四月初七日奉

旨照副將例從優議卹

前任兵部左侍郎黃球

同治二年七月二十四日奉

旨照侍郎例賜卹

道員趙景賢

同治二年五月奉

旨照巡撫例賜卹予諡建祠

烏魯木齊都統平瑞全家殉難

同治三年十月十一日奉

旨照都統例從優議卹並入祀京師昭忠祠

巴燕岱領隊大臣穆克登額

同治四年七月初四日奉

旨交部從優議卹

署浙江黃巖鎮總兵補用副將剛安泰遵洋遇害

同治五年正月十九日奉

旨照總兵例賜卹

提督銜湖南總兵黃觀龍兵變被害

總兵銜補用副將賀茂林兵變被害

以上二員同治八年四月初七日奉

旨照原階原資議卹

署浙江黃巖鎮總兵陳紹捕盜遇害

同治九年五月初三日奉

旨予諡建祠立傳

署雲南順雲協副將楚雄協副將魁昌

同治十二年閏六月初十日奉

旨交部從優議卹並准於死事地方建立專祠

前伊犁將軍明緒

伊犁領隊大臣崇熙

葉爾羌參贊大臣顏騰額

巴彥岱領隊大臣富勒敦泰

錫伯營領隊大臣烏勒德春

綏定鎮總兵沈玉桂

以上六員光緒元年七月初一日奉

旨從優議卹

1426 已故文武大員名單

湖北巡撫胡林翼

咸豐十一年九月十七日奉

旨著追贈總督照總督例賜卹並加恩予諡入祀賢良

祠並於湖北省及湖南原籍建立專祠

署江甯將軍京口副都統巴棟阿

咸豐十一年十月十五日奉

旨著從優照將軍例賜卹

前漕運總督袁甲三

同治二年七月十七日奉

旨照漕運總督軍營病故例從優賜卹

前任安徽巡撫李續宜

同治二年十一月十七日奉

旨照總督軍營病故例賜卹

前署廣西提督江忠義

同治二年十二月初五日奉

旨照總督例賜卹予諡

察哈爾都統西凌阿

同治五年九月十九日奉

旨照都統例賜卹

副都統塔爾巴哈台參贊大臣德興阿

同治六年五月十五日奉

旨照都統軍營病故例議卹

察哈爾都統色爾固善

同治六年十月初五日奉

旨著照都統例賜卹

協辦大學士四川總督駱秉章

同治六年十二月十八日奉

旨著照大學士例賜卹

兩江總督馬新貽

同治九年八月初三日奉

旨加太子少保銜照總督例賜卹入祀賢良祠

大學士一等果威伯官文

同治十年正月十二日奉

旨贈太保照大學士例賜卹

記名都統前正黃旗漢軍副都統溫德勒克西

同治十年十二月十五日奉

旨照軍營立功後病故例從優議卹並加恩予諡宣付

國史館立傳

記名提督江西九江鎮總兵黃開榜

同治十年十二月十九日奉

旨交部從優議卹並加恩予諡

大學兩江總督曾國藩

同治十一年二月十二日奉

旨追贈太傅照大學士例賜卹加恩予諡文正入祀京

師昭忠祠賢良祠並湖南原籍江甯省城建立專祠

生平事蹟宣付史館

熱河都統庫克吉泰

同治十二年四月二十一日奉

旨照都統例賜卹伊孫瑞文侯及歲時帶領引見

記名提督駱國忠

同治十二年六月十三日奉

旨著照提督立功後在營病故例議卹並加恩予諡

記名提督宇文秀

同治十二年九月二十八日奉

旨照提督立功後在營病故例從優議卹予諡立傳

前任浙江提督鄭魁士

同治十二年十一月二十二日奉

旨著交部議卹並加恩予諡

降調廣東巡撫前山西按察使蔣益澧

同治十三年十二月二十六日奉

旨開復原官照巡撫例賜卹

盛京將軍都興阿

光緒元年二月十一日奉

旨追贈太子太保銜照將軍例賜卹

貴州巡撫曾壁光

光緒元年九月十三日奉

旨追贈太子太保銜照總督例賜卹

四川總督吳棠

光緒二年七月二十一日奉

旨照總督例賜卹

荊州將軍巴揚阿

光緒二年十月二十四日奉

旨照將軍例賜卹

烏魯木齊都統英翰

光緒四年正月十二日奉

旨照都統軍營病故例從優賜卹

正白旗漢軍副都統西蒙克西克

光緒四年三月十七日奉

旨照副都統例賜卹

刑部左侍郎袁保恆差次病故

光緒四年四月十三日奉

旨照侍郎例從優議卹

前任都統奕山

光緒四年六月初二日奉

旨照例賜卹

前署貴州巡撫韓超

光緒四年八月二十一日奉

旨加恩予諡國史館立傳

前幫辦陝甘軍務通政使司通政使劉典

光緒五年正月十三日奉

旨照侍郎例賜卹加恩予諡宣付史館立傳

兩江總督沈葆楨

光緒五年十一月十四日奉

旨贈太子太保銜入祀賢良祠照總督例賜卹

前鑲黃旗蒙古都統明慶

光緒六年四月初四日奉

旨照都統例賜卹

直隸提督郭松林

光緒六年四月二十八日奉

旨照提督例賜卹予諡

前吉林將軍富明阿

光緒八年十二月初四日奉

旨照將軍例賜卹

前任總兵陳國瑞

光緒九年七月初二日奉

旨加恩開復總兵原官並將戰績宣付國史館

前任湖北提督傅振邦

光緒九年七月十一日奉

旨照提督例賜卹

前任鑲黃旗蒙古都統穆騰阿

光緒十年二月初十日奉

旨照都統例賜卹

記名提督陝西延綏鎮總兵譚仁芳

光緒十年四月初九日奉

旨照提督軍營病故例賜卹

前雲南提督胡中和

光緒十年四月十九日奉

旨照提督軍營病故例賜卹戰績宣付史館

廣東水師提督吳長慶

光緒十年六月初五日奉

旨照提督軍營病故例從優議卹

記名提督安徽皖南鎮總兵潘鼎立

光緒十年七月初四日奉

旨照提督軍營病故例從優議卹

前兩廣總督張樹聲

光緒十年十月二十三日奉

旨照總督例賜卹

署廣東瓊州鎮總兵前福建水師提督吳全美

光緒十一年正月三十日奉

旨照軍營立功後病故例從優議卹並將事蹟宣付

國史館立傳

記名提督甘肅甯夏鎮總兵譚拔萃

光緒十一年四月初九日奉

旨照提督立功後在營病故例從優議卹並將戰績

宣付國史館立傳

記名提督福建甯鎮總兵張得勝

光緒十一年六月十五日奉

旨照提督軍營立功後病故例從優議卹

署湖南提督周盛傳

光緒十一年七月初八日奉

旨照提督軍營病故例從優議卹戰功事蹟宣付國

史館立傳加恩予諡立功省分建立專祠

四川總督丁寶楨

光緒十二年五月初七日奉

旨照總督例賜卹

安徽巡撫吳元炳

光緒十二年五月二十二日奉

旨照巡撫例賜卹

伊犁將軍金順

光緒十二年七月初七日奉

旨照將軍例賜卹

前湖南提督鮑超

光緒十二年九月初十日奉

旨照提督軍營病故例從優議卹

前福建陸路提督唐定奎

光緒十三年四月初九日奉

旨照提督軍營病故例從優議卹加恩予諡原籍及

立功省分建祠戰功事蹟宣付史館立傳

前湖南提督周寬世

光緒十三年閏四月初九日奉

旨照軍營立功後病故例議卹戰功事蹟宣付史館

立傳

前任雲貴總督劉長佑

光緒十三年八月十四日奉

旨照總督例賜卹

記名布政使劉連捷

光緒十三年八月十九日奉

旨照布政使軍營立功後病故例從優議卹加恩予

諡原籍及立功省分建祠戰功事蹟宣付國史館

立傳

福州將軍穆圖善

光緒十三年十月十六日奉

旨照將軍軍營病故例賜卹加恩予諡

福州將軍善慶

光緒十四年四月二十八日奉

旨照將軍例賜卹予諡

湖南提督周盛波

光緒十四年十月十六日奉

旨照提督軍營病故例從優議卹

1427 滿州軍機章京

四品銜戶部郎中如松

四品銜內閣侍讀文英

四品銜通政使司參議整岫

工部員外郎即補郎中文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

京察一等 記名道府禮部郎中王恆

侍讀銜刑部主事桂春

理藩院員外郎即補郎中奎華

戶部員外郎乎琦

戶部主事即補員外郎延祉

四品銜吏部郎中保謙

京察一等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

五品頂戴戶部筆帖式和爾賡額

四品銜理藩院員外郎多壽

理藩院即補郎中志樸

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢軍機章京

前大理寺卿沈源深

太僕寺少卿錢應溥

俸滿截取 記名繁缺知府四品銜工部郎中 記名御史祝斌

刑部郎中 記名御史孟繼堦

吏部郎中兼襲騎都尉世職 記名御史金保泰

戶部主事王汝濟

兵部即補郎中沈恩嘉

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳希棠

俸滿截取 記名繁缺知府戶部郎中 記名御史徐樹鈞

刑部主事易俊

四品銜戶部員外郎顧璜

吏部員外郎王傲

刑部員外郎陳邦瑞

四品銜兵部主事即補員外郎胡寶鐸

刑部主事馮錫仁

五品銜刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

員外郎銜吏部候補主事孫朝華

戶部候補主事王頌蔚

1428

前充滿洲軍機章京

前福建延建邵道文吉

前廣西按察使英祥

選用道崇鑑

前浙江金衢嚴道英廉

前浙江温州府知府裕彰

理藩院主事塔克什布

盛京將軍慶裕

前江西建昌府知府奎綬

貴州安順府知府文海

禮部左侍郎續昌

奉天府府尹裕長

掌江西道監察御史本貴

內閣侍讀學士三德

安徽徽州府知府春岫

江西建昌府知府玉春

浙江杭嘉湖道豐紳泰

奉天錦州府知府增林

候補五品京堂禮部郎中桂斌

長蘆鹽運使額勒精額

浙江衢州府知府榮堃

前陝西按察使曾鉢

山東兗州府知府穆特亨額

前直隸廣平府知府佛爾恭額

俸滿吉林分巡道豐伸泰

江蘇蘇州府知府魁元

直隸口北道吉順

前充漢軍機章京

前湖南督糧道夏獻雲

前兵部右侍郎朱智

前浙江候補道靳邦慶

前江西吉南贛甯道蔣繼洙

湖北漢黃德道江人鏡

江蘇江甯府知府李廷蕭

前浙江杭州府知府龔家雋

工部左侍郎徐用儀

前四川敘州府知府史崧秀

前戶部郎中葉衍蘭

前兵部候補郎中金日修

前鴻臚寺少卿梁僧寶

安徽按察使張岳年

福建泉州府知府李耀奎

湖北黃州府知府李方豫

浙江嚴州府知府李士彬

四川潼川府知府魏邦翰

河南道監察御史余聯沅

掌四川道監察御史莊子楨

河南懷慶府知府李芳柳

降調福建道監察御史黃兆樞

山西候補知府孫紀雲

浙江甯紹台道吳引孫

寧江西道監察御史胡泰福

前長蘆鹽運使李邦楨

前吏部候補主事徐士佳

1429 光緒十四年十二月二十五日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨呂耀斗者仍交

軍機處存記欽此

海軍衙門奏道員呂耀斗請獎片

1430 光緒十四年十二月二十五日奉

旨准其抵銷欽此

兵部奏道議副都統嵩崑處分摺

1431 蒙

發下摺報已奉

硃批十二件其餘應請

批示漢字摺片單十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月二十五日奉

旨依議欽此

1432 軍機大臣 字寄

步軍統領衙門 順天府 五城御史 光緒

十四年十二月二十六日奉

上諭此國毅奏分發人員呈繳執照訊係受人朦騙按

律定擬一摺山西試用從九品王沅茶報捐官職

確有案據惟驗看時並不親往輒敢以財行求託

沈祖望在京代辦實屬妄為著即行革職據王沅
茶供沈祖望在京城楊梅竹斜街興盛信局後身
居住著步軍統領衙門順天府五城御史一體嚴
拿務獲解往山西歸案訊辦將此各諭令知之欽此遵
旨寄信前來

摘鈔交吏部

1433 光緒十四年十二月二十六日內閣奉

上諭剛毅奏神靈顯應請頒扁額一摺山西忻州

關帝廟

城隍廟臨晉縣

風神廟

城隍廟甯遠廳

龍神廟夙著靈應本年夏間各處亢旱經該地方
官紳虔詣祈禱立沛甘霖轉歉為豐實深寅感著
南書房翰林恭書扁額各一方交剛毅祇領飭屬
敬謹懸挂以答
神麻欽此

1434 光緒十四年十二月二十六日內閣奉

上諭剛毅奏查明各屬被災情形懇恩分別蠲緩錢
糧等項一摺本年山西陽曲等廳州縣被旱被水
被雹被驟各地方夏麥秋禾收成均形歉薄若將
新舊錢糧米豆土鹽各稅照常徵收民力實有未
逮加恩著照所請所有陽曲縣大東流村西流村
彭村等三村應徵光緒十四年地丁正耗土鹽稅
改徵豆銀及本色米豆著全行豁免又成災七分
之高村大孟鎮三畛村李家溝安生村北白家莊
張家溝卷子頭村泉溝村等九村應徵光緒十四
年下忙正耗錢糧改徵豆石土鹽稅本色米豆著
蠲免十分之二成災五分之東嶺村院家節村黑
寺巖村角子崖村礮廠村青羊峒村等六村應徵
光緒十四年下忙正耗錢糧改徵豆石土鹽稅本
色米豆著蠲免十分之一以上高村等十五村蠲
餘銀糧緩至十五年秋後起分作二年帶徵文水
縣成災五分之南徐村北徐村北峪口村宋家莊
樊家莊宜兒村武午村里洪村麻家寨楊家寨武
家寨東宜亭村明陽河西上河頭村等十四村應

徵光緒十四年上忙正耗錢糧兵米馬豆鹽稅著
蠲十分之一蠲餘糧銀緩至十五年秋後起分作
二年帶徵又成災不及五分之宜兒村武午村里
洪村麻家寨楊家寨武家寨東宜亭北峪口宋家
莊樊家莊南徐村明陽河西上河頭村等十三村
應徵光緒十四年下忙正耗錢糧兵米馬豆鹽稅
著緩至十五年麥熟後徵收其十五年麥熟錢糧
等項著遞緩至秋後帶徵又歷被沙鹹地畝成災
十分之南徐村北徐村中社村龍泉村營兒村並
營兒村隨附之桑子屯等五村應徵光緒十四年
上下忙正耗錢糧米豆土鹽稅著全行豁免代州
沙窰金盤等二村應徵正耗錢糧土鹽稅色米著
自光緒十四年為始暫行停徵二年又成災十分
之西高泉東高泉西段景小峪村張試口前張仙
堡西會村東段景後口前馬橋村上沿村上陽花
新莊村磨河村窰子村滴水清龍門村大石頭梁
張試掌等九村應徵光緒十四年正耗錢糧色米
山米土鹽稅著蠲免十分之七成災九分之聶營
村富村等二村應徵光緒十四年正耗錢糧色米

屯米土鹽稅著蠲免十分之六成災八分之東章
村黑山莊上門王下門王等四村應徵光緒十四
年正耗錢糧色米土鹽稅著蠲免十分之四以上
西高泉等二十五村蠲餘銀糧均著緩至十五年
秋後起分作三年帶徵又各該村尚有應歸光緒
十四年帶徵未完光緒十年被災案內蠲餘緩徵
丁耗色米屯豆土鹽稅著遞緩至十八年秋後接
續帶徵成災五分之赤上溝小西莊里會村東窰
子頭水峪村井溝村花彪嘴關市村橙槽溝大烟
旺烟旺溝東村稽家烟旺村小烟旺村富家窰村
郎界溝村等十五村應徵光緒十四年正耗錢糧
及無耗屯銀色米山米土鹽稅著蠲免十分之一
蠲餘銀糧緩至十五年秋後起分作二年帶徵其
餘該州歉收村莊未完光緒十四年正耗錢糧土
鹽稅色米山米屯米屯豆著展緩至來年秋後併
徵大同縣成災六分之王皓疇村王家莊下峪村
谷家莊上西河下西河牛寺溝麻峪口東莊子南
莊子西莊子寺兒上南息村西浮頭村盤道村大
灘頭小灘頭等十七村應徵光緒十四年正耗錢

糧米豆著蠲免十分之一成災五分之閻家堡百
谷寨張家堡南棟莊楊家寨水澗村安家堡古定
橋舊橋村柏山村等十村應徵光緒十四年正耗
錢糧米豆著蠲免十分之一又該縣寄莊應州屬
成災六分之西店村成災五分之北張家寨山門
城等三村應徵光緒十四年正耗錢糧米豆著蠲
免十分之一以上王皓疇等三十村蠲餘銀糧著
緩至十五年秋後起分作二年帶徵其王皓疇等
十七村莊閻家堡等十村莊尚有原緩帶徵舊欠
光緒六年至十三年正耗米豆等項均著遞緩至
十七年秋後起按最先年分分年帶徵應州成災
六分之北沙城岳家莊崩楊莊東店村西店村南
岸莊等七村又成災五分之侯家嶺胡家嶺梁亭
村南進村西王家莊劉家莊山門城張家上下莊
豐黃巍張家寨北官莊花紅村東壩村米家寨栗
家坊鄭家莊西楊莊東朱莊龍泉寺李家莊二十
村又該州寄莊大同縣屬成災六分之下峪村王
蔣等二村被災五分之閻家堡一村應徵光緒十
四年分正耗錢糧米豆均著蠲免十分之一蠲餘

正耗米豆等項緩至十五年秋後起分作二年帶
徵其南沙城等二十七村及下峪村等三村光緒
十年被水案內原緩帶徵民欠未完光緒六七八
九十等年正耗錢糧米豆並光緒二十三年兩
年民欠正耗錢糧米豆著一併遞緩至十七年起至
二十四年止按最先年分分年帶徵又收成歉薄
之三里寨小南頭席家堡北賈寨郭家寨城下莊
八里坡泉字頭北馬莊魏家莊何家疇張家營南
賈寨美井村啞哨莊周家莊蘇家寨蕭家寨吳家
莊灰泉村南王莊南旺莊武家店石家店城西鋪
村康興莊辛坊村范家莊大柳樹呂花疇城東關
等三十一村帶徵民欠未完光緒六七八等三年
地丁正耗米豆等項著一併遞緩至十七年起分
作三年帶徵懷仁縣成災六分之燕家莊乾莊村
張家莊賀家莊馬家莊魏家莊潘家窩棚凍牛坡
楊家小莊窩押扒井柳溝村吳兒城上下沙河黃
昏城富家村黑龍池立羊泉腰寨村雙井村王平
溝上石井榆平村水泉村張家溝馬營村李官人
屯暖泉溝李家莊等二十八村並該縣寄莊大同

縣屬之王家莊小灘頭等二村成災五分之胡家寨滋潤村禪房村小莊畦村大莊畦村紅山峪村等六村應徵光緒十四年正耗錢糧米豆著蠲免十分之一蠲餘銀糧緩至十五年秋後起分作二年帶徵各該村未完光緒十年地丁米豆等項銀糧著遞緩至十七年秋後帶徵其餘縣屬歉收村莊帶徵光緒十年民欠地丁正耗銀兩米豆著遞緩至十五年秋後帶徵山陰縣成災七分之河陽堡合里窩八步堰關家窩白殿溝藍家窩夏家窩郭家窩鴛鴦會等九村應徵光緒十四年正耗錢糧米豆著蠲免十分之二成災五分之賀家窩關岱岳上岱岳王家澗上神泉下神泉安營村北周莊辛留村南岸莊新岱岳來遠村陳家嶺東雙山西雙山黃魏村小東莊郭家莊辛樂村沙家寺東寨窩等二十一村莊應徵光緒十四年正耗錢糧米豆著蠲免十分之一蠲餘銀糧緩至十五年秋後起分作二年帶徵各該村尚有帶徵節年災緩民欠未完光緒六七八十一十二十三等年地丁正耗米豆等項銀兩著一併遞緩至十七年秋後

起分年帶徵朔州成災九分之神武村徐村小蓮花羊十二莊等四村應徵光緒十四年下忙正耗錢糧運米豆石本米著蠲免十分之六成災八分之西鄆河泥河村曲呂河大羊圈頭小羊村李家堡大蓮花泉子溝東泉子溝大石泉三泉村西寺院南場村天圪堵白家園東榆嶺新近疇察罕鋪等十八村應徵光緒十四年下忙正耗錢糧運米豆石本米著蠲免十分之四蠲餘銀糧著一併緩至十五年秋後起分作三年帶徵成災七分之羅家疇戎井溝宋紅溝伏家莊苗家山下疇村寺頭村陸家莊霍家營北辛莊汴子疇尚家莊八岔口等十三村應徵光緒十四年下忙正耗錢糧運米豆石本米著蠲免十分之二蠲餘銀兩緩至十五年秋後起分作二年帶徵各該村尚有民欠未完光緒十三年並十四年上忙地丁正耗運米豆等項銀糧均著展緩至十五十六兩年秋後起按最先年分分年帶徵其餘該州歉收村莊未完光緒十四年正耗錢糧運米豆石本米著展緩至來年秋後併徵右玉縣成災七分之一中碾子頭上泥

清下泥溝何家莊趙家莊韓家麻黃頭張家花板
石孤山子新慶莊馬良村邵家村蔡家獅子村上
柳溝侯家村棋杆村新墩灣村白家窰孫家灣解
家窰洪家窰驢馮子溝富家堡王成莊侯林村南
崔家窰燕家窰等二十六村應徵光緒十四年正
耗錢糧穀米豆石著蠲免十分之二又成災六分
之楊柳窰東碾子頭西碾子頭花家寺全家花板
石魏家窰下柳溝程馬窰進士灣等九村應徵光
緒十四年正耗錢糧穀米豆石著蠲免十分之一
以上中碾子頭等三十五村蠲餘銀兩著緩至十
五年秋後起分作二年帶徵該縣被災各村內除
趙家莊侯家村白家窰東碾子頭等四村並無舊
欠銀糧外其餘中碾子頭等三十一村莊未完光
緒六年至十三年舊欠米豆穀石均著展緩至十
五年秋後起按最先年分分年帶徵甯武縣成災
七分薛家窰圪塔村柳坡泉郭家莊殷家莊趙
家溝常峪村盤道村宋村溝紅河村大石灣水窰
段莊黃草圪坨西地村寬草坪寬溝村李子樹梁
全家溝白泉西溝羊道坡蘇地溝上白泉寺兒塢

高崖上馬邑所辛寨村王化莊即八岔口祝家莊
磨上村東五花營壩上喜辛莊中白泉梨園河豆
色圪坨賈家窰車道坡等三十六村應徵光緒十
四年正耗錢糧豆石著蠲免十分之二又成災六
分之馮家山中石湖達達莊北辛窰李家莊窰子
坪石湖河馬家溝張家窰雙墻子駱駝塢黃草梁
南莊子黃土崖蘇峪寨龍骨塢后石湖南辛窰小
莊子蘇峪村朱家溝賈家堡馬家灣等二十三村
應徵光緒十四年正耗錢糧豆石著蠲免十分之
一以上薛家窰等五十九村蠲餘正耗銀兩豆石
均著緩至十五年秋後起分作二年帶徵五臺縣
成災八分之蔡家莊一村應徵光緒十四年正耗
錢糧色米土鹽稅著蠲免十分之四蠲餘銀米著
緩至十五年秋後起分作三年帶徵和林格爾廳
成災五分之崑都崙村三道惱包村倒拉蘇村中
二十家子村龐家窰子村羅家窰子村車舖窰子
村哈拉板申村小芍藥溝村店灣村等十村應徵
光緒十四年本折米石著蠲免十分之一蠲餘米
石緩至十五年秋後起分作二年帶徵以上崑都

崙等十村未完光緒六七兩年及十三年米石均著遞緩至十七年秋後起至十九年秋後止按最先年分分年帶徵清水河廳成災六分之西鄉韓家梁單臺子白馬路賈大路滑石二岔河口缸房坪不懺窰等八村應徵光緒十四年折色地糧正耗著蠲免十分之一成災五分之東鄉石灣子永安窰太平窰富家莊五里坡七墩溝三岔口碓碓溝門夾榆樹溝掌甯里孔讀林黃土圪洞蘆草溝車舖等十三村應徵光緒十四年折色地糧正耗著蠲免十分之一以上韓家梁等二十一村蠲餘銀兩均著緩至十五年秋後起分作二年帶徵各該村未完光緒十一十二十三等三年折色地糧正耗銀兩著遞緩至十七年秋後起至十九年止按最先年分分年帶徵又東鄉雙井子等三十村西鄉大榆樹灣等四村北鄉七墩窰十九村共五十三村光緒十三年被災案內有蠲餘緩徵正耗銀兩暨光緒十一十二兩年舊欠未完正耗糧著一併遞緩至十五年秋後起分作三年按最先年分分年帶徵薩拉齊廳被水五分之一以下勘不成災之

武鄉縣營代桂營太平縣營炭車營壽陽營高泉營北卜子村南挽爾村北挽爾村大水橋村董家營太平莊郭廷貴營何四營壯丁營七星村安樂村喇嘛村路三圪堆等十九村並木頭湖村西河堰村二道河村定襄營安民村李想等六村又被釀五分以下勘不成災之雙泡子村楊祥營南壽陽營北壽陽營丁桂香營豐厚村小灘子村忻太莊苗四營沙海子村繁峙營劉家營五臺營福壽村張寬營朔州營三道河村召上村善岱村李明月澄口村永豐村朱公營一間房村等二十三村內除收穫中稔各戶本年新賦照常完納外其餘收成歉薄之劉德福等各戶應完光緒十四年米石著緩至十五年秋後帶徵所有光緒十三年被災案內二道河等四十八村光緒六年至十三年緩徵米石原請自十五年起分年帶徵著遞緩至十六年起至二十三年止按最先年分逐年帶徵榆次縣歉收之懷仁鎮等八村弓村等二十八村光緒十二年被水案內蠲餘正耗錢糧民屯米豆土鹽稅等項原緩至十三年秋後起分作三年二年

徵收著遞緩至十五年秋後起仍按原限三年二
年分年帶徵太谷縣境內各村有民欠未完光緒
六七兩年正耗錢糧並六年民欠米石於光緒十
三年被災案內遞緩至十四年秋後徵收著展緩
至十五年秋季後帶徵臨汾縣歉收各村有民欠未
完光緒六年至十二年緩徵尾欠正耗錢糧米豆
並和村等九村光緒十一年被雹案內蠲餘遞緩
暨山郭大堡二十八村莊光緒十三年被霜被雹
案內原緩至光緒十四年秋季後帶徵正耗錢糧米
豆等項著一併展緩至十五年秋季後起按最先年
分遞年帶徵舊欠一年介休縣萬戶堡等六村有
帶徵未完光緒十二年被水案內蠲餘正耗錢糧
匠價土鹽稅等項又禮成中街等二十四村有光
緒十三年被水案內蠲餘正耗錢糧土鹽稅匠價
等項原緩至光緒十四年上忙起分作三年二年
帶徵著一併展緩至十五年上忙起仍照原分年
限分年帶徵蠲餘錢糧除已分年展緩各廳州縣
不計外其餘被災十分九分八分者分作三年帶
徵被災七分六分五分者分作二年帶徵以紓民

力餘著照所議辦理該撫即刊刻謄黃徧行曉諭
務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至
意該部知道欽此

1435 剛毅摺三件繕擬批條呈進俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

十月二十日

1436 蒙

發下摺報已奉

硃批九件其餘應請

批示清漢摺片十一件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理剛毅奏山西陽曲等廳州縣被災
請蠲緩錢糧等項摺擬繕明發

諭旨照所請分別蠲緩又奏神靈顯應請

頒扁額摺擬繕明發

諭旨令南書房翰林恭書扁額頒發又奏訊明從九

品王沅茶呈繳假照一案摺擬繕寄信

諭旨令步軍統領衙門順天府五城御史嚴等沈祖

望務獲解往山西歸案訊辦恭候

命下遵繕呈遞是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月二十六日奉

旨依議欽此

1437 蒙

發下摺報已奉

硃批三十二件其餘應請

批示清漢摺片十六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十四年十二月二十七日奉

旨依議欽此

1438 光緒十四年十二月二十八日內閣奉

上諭翰林院編修張仁黼著仍在尚書房行走欽此

1439 光緒十四年十二月二十八日內閣奉

上諭倪文蔚奏查明災歉情形將各廳州縣應徵錢

漕分別停緩展緩開單呈覽一摺河南鄭州等十

四州縣自上年黃河漫溢後積水尚未全消陳留

等六十七廳州縣又因先旱後澇秋收歉薄若將

新舊錢漕照常徵收民力實有未逮加恩著照所

請所有鄭州等十四州縣被水災區及陳留等六

十七廳州縣歉收各村莊應徵新舊錢漕均著分

別停緩展緩以紓民力該撫即按照單開各屬應

停應展數目分晰刊刻謄黃編行曉諭務使實惠

均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意餘著照

所議辦理該部知道單併發欽此

1440 光緒十四年十二月二十八日內閣奉

上諭張煦奏查明各屬被災輕重懇恩蠲緩錢糧開單呈覽一摺本年陝西咸甯等屬被水被雹或田地衝壓或收成失望若將應徵錢糧照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有被災次重之咸甯富平盤屋三屬未完本年錢糧著暫行停緩分年帶徵已輸銀兩盤屋一縣著免流抵咸甯富平二縣著流抵下年正賦被災極重之臨潼沔縣零軍地二項六十四畝著緩徵一年餘同臨潼零軍地被水未完錢糧著一律蠲免以紓民力該撫即按照單開地畝分數分晰刊刻謄黃編行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意餘著照所議辦理該部知道單併發欽此

1441 光緒十四年十二月二十八日內閣奉

上諭劉錦棠奏懇恩展假回籍省視祖母一摺覽奏情詞懇切自應勉如所請劉錦棠著再賞假六箇月准其回籍省視假滿即行回任以資倚畀甘肅

新疆巡撫著魏光燾暫行護理欽此

1442 光緒十四年十二月二十八日奉

旨據奏五城水會情殷報効具見悃忱惟現在支搭棚座為日較久況值天氣嚴寒著傳知各該局紳等毋庸進內輸值以示體恤欽此

巡視東城給事中文綱等奏五城水會呈請報効摺

1443 蒙

發下摺報已奉

硃批十九件其餘應請

批示漢字摺片十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單七件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月二十八日奉

旨依議欽此

1444 查朝鮮國例

貢使臣到京所有例

賞該國王及使臣物件應由禮部具奏辦理外至該

使臣於新正在

紫光閣筵宴例有

加賞物件等謹查照向例擬寫

賞單進

呈謹

奏

1445 擬

加賞朝鮮國使臣物件

正使一員

閃緞三疋 上屆抵用蟒緞

漳絨三疋

大卷八絲緞四疋

小卷五絲緞四疋

大荷包一對

小荷包二對

副使書狀官二員

閃緞各二疋 上屆抵用蟒緞

漳絨各二疋

大卷八絲緞各三疋

小卷五絲緞各三疋

大荷包各一對

小荷包各二對

次日

發下閃緞仍抵用蟒緞餘俱照單

1446 朝鮮國正貢使判中樞府事李諱翼

副貢使禮曹判書金綺秀

書狀官兼寺僕正宋榮大

慈覽謹

1447 醇親王送到信函一件恭呈

奏

十二月二十日

1448 軍機大臣 字寄

伊犁將軍色 甘肅新疆巡撫劉 光緒十四

年十二月二十九日奉

上諭色楞額奏清釐伊犁勇餉撫臣請照舊章礙難

照辦一摺所有伊犁遣撤勇隊酌發餉項川資各

事宜即著責成色楞額就近一手經理前由譚鍾

麟撥解銀十五萬兩著劉錦棠派員轉解伊犁應

用此事該將軍所奏為難棘手之處固係實在情

形但摺內往復瀆陳語多負氣殊失和衷共濟之

道著傳旨申飭該將軍接奉此旨務當妥速清釐

將應裁營勇早日遣撤覈實報銷並將善後諸務

妥為籌辦以肅營伍而靖邊陲將此由四百里各

諭令知之欽此遵

旨寄信前來

摘鈔交戶部

1449 光緒十四年十二月二十九日內閣奉

上諭本日據吳大澂倪文蔚馳奏鄭州大工合龍日

期一摺鄭州大工自上年十二月興辦堵築本年

七月間因兩壩屢有整陷未能剋期蒞事諭令吳

大澂署理河東河道總督前往接辦節據該署督

將辦理情形隨時奏報至本月初十日開放引河

正溜即由金門北面東趨一面將東西兩壩工程

晝夜趕辦於十六日挂纜十七十八兩日正壩上

邊壩同時合龍十九日金門斷流全溜悉歸正道

大工一律堅固此皆仰賴

天

神默佑得以迅速竣工慶幸之餘倍深寅感發去

大藏香十枝著吳大澂度赴工次各處

河神廟代朕敬謹祀謝以答

神庥吳大澂自受任以來迅赴事機實心籌畫會

同倪文蔚督飭在工員弁認真趕辦使大工刻期

告成洵為不負委任吳大澂著賞加頭品頂戴補

授河東河道總督倪文蔚著開復革職留任處分

賞還頂戴仍交部從優議敘李鴻藻等雖經獲咎

於前惟已辦之工均屬穩固現在全功告厥自應分別施恩李鴻藻著開復革職留任處分賞還頂戴成孚著加恩釋回以按察使候補李鴻年著加恩釋回並賞還銜翎前山西布政使紹誠前按察使潘駿文均著開復革職處分潘駿文留辦工並著交部從優議敘所有在工尤為出力文武弁河南河北鎮總兵崔廷桂著遇有提督缺出儘先提奏布政使劉瑞祺等均著交部從優議敘並加隨帶三級革職留工道員薛福年等著開復革職處分均以原官頂戴銜翎仍歸原班原省補用薛福年並賞給三代一品封典董克紹並賞加二品頂戴開歸陳許道蔭保著賞戴花翎已革道員譚文煥著開復原官免繳捐復銀兩仍以道員分發省分補用降調知府馮光元著開復降三級調用處分免繳捐復銀兩仍歸原省以原官原銜原班補用並賞戴花翎知府陸襄誠著免補本班以道員仍留河南補用並換二品頂戴知府白文清等均著免補本班以道員仍歸河南原省補用白文清並賞加二品頂戴李國和並加隨帶三級已革

知府王兆蘭著開復原官升階免繳捐復銀兩仍以知府歸部選用承祿著開復原官銜翎免繳捐復銀兩仍以知府歸部選用革職留任留工同知朱懋瀾等均著開復革職留任處分免補知府以道員在任候補朱懋瀾並俟離同知任後賞加三品銜陳履成並俟歸道員後賞加二品頂戴張士傑並賞給二品封典高善志著開復革職留任處分開缺免補知府以道員歸部選用李棠等均著開復革職留任處分補缺後免補知府以道員用並賞戴花翎同知姜恆晉著免補同知以知府用並俟補知府後以道員用水恩綬著補缺後免補知府以道員在任候補並賞戴花翎直隸州知州何嗣焜著免補本班以知府分發省分補用並加三品銜賞戴花翎知州吳榮榮著俟補缺後以直隸州知州在任候補並賞戴花翎汪啟著俟選缺後免補直隸州知州以知府在任候選並賞戴花翎革職留任留工通判崔惠均著開復革職留任處分俟升補同知後免補知府以道員在任候補並俟歸道員後賞加三品銜通判查筠著賞戴花

翎知縣胡傳著免補知縣以直隸州知州分發省
補用並賞戴花翎同知龔秉彝著俟補同知後免
補知府以道員用並賞戴花翎朱衣德等均著免
補本班以知府籤掣省分補用並賞戴花翎開復
同知石祖芬著免繳捐復銀兩仍以原官升階升
銜分省補用知縣葉惟憲著仍以知縣歸候補班
補用並賞戴花翎韓銑著免補本班以直隸州知
州仍歸原省前補用並賞戴花翎降調知縣朱
益濬著開復降調處分免繳捐復銀兩仍以原官
升銜歸原省補用縣丞周桐豫著免補縣丞以知
縣仍留原省補用並加同知銜賞戴花翎參將郭
廣泰著免升副將以總兵請旨簡放都司王麟著
免升參將遊擊以副將儘先在任升用並賞加總
兵銜革職留任留工守備張敬修著開革職留任
處分以都司在任候補並加參將銜賞戴花翎革
職留任留工協備樊景山著開復革職留任處分
以都司在任候補並加參將銜賞戴花翎革職留
任留工守備朱永和著開復革職留任處分俟補
都司後以遊擊儘先升用並加副將銜革職留任

留工協備杜長春著開復革職留任處分以都司
在任候補並加參將銜賞戴花翎協備曹宗涵著
以都司在任候補並賞加參將銜千總朱彥著賞
加四品銜花翎革職留任留工千總徐進德著開
復革職留任處分並賞加四品銜花翎已革署開
歸陳許道李正榮獲咎較重所請開復處分未免
過優李正榮著以同知補用另片奏總理墾工及
辦理轉運出力各負懇請獎勵各等語道員朱壽
鏞何維楷均著交軍機處存記遇有道員缺出請
旨簡放又片奏請將失事員弁免罪等語已革同
知余潢州判余嘉蘭千總陳景山額外委郭俊
汝均著疏加免罪所有合龍後一應善後事宜吳
大澂等務當督飭員弁妥協經理以期隄防鞏固
永慶安瀾餘著照所議辦理該部知道單一件片
三件併發欽此

1450

署河東河道總督吳大澂

記名提督河南河北鎮總兵崔廷桂

花翎鹽運使銜候補道朱壽鏞

花翎二品頂戴遇缺題奏道何維楷

1451

禮部尚書李鴻藻 羊職留任降為三品頂戴

前著河東河道總督成孚 羊職發往軍台効力積罪

前著河東河道總督李鶴年 羊去銜翎發往軍台効力積罪

河南巡撫倪文蔚 羊職留任降為三品頂戴

前山西布政使紹誠 羊職留工効力嗣經撤去學掾差使經手事竣回旗

前開復按察使潘駿文 羊職留工効力

前著開歸陳許道候補道李正榮 摘頂降調留工別經羊職

1452 光緒十四年十二月二十九日內閣奉

上諭吳大澂等奏神靈顯應請頒匾額並加封號一

摺河南偃師縣

黃大王廟風著靈異此次鄭州大工經吳大澂等

派員致祭並恭迎

神像至來童寨供奉自此河流日順開放引河之

日正溜衝開冰底自入引河不致為積冰所壅塞

得以剋期蒞事仰賴

河神佑助實深寅感即照所請於金門工次建立

河神廟並專建

黃大王廟著南書房翰林恭書扁額各一方交吳

大澂等敬謹懸挂以答

神庥至請加

黃大王封號之處著禮部議奏另片奏黨將軍屢著靈應請加封號等語著該部一併議奏欽此

1453 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十四年十二月二十九日奉

旨依議欽此

1454 蒙

發下曾國荃等摺件已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

光緒十四年十二月二十九日奉

旨依議欽此

1455 臣等查明新正應行

加恩各省除

盛京江蘇安徽江西浙江福建臺灣湖北湖南山

西陲西甘肅廣東廣西雲南貴州經該將軍督

撫具奏無庸接濟外所有直隸山東二省業經

該督撫奏到臣等擬繕

諭旨二道並擬定日期

頒發謹

奏

1456 光緒十五年正月初二日直隸

初四日山東

1457 查各處繳到

硃筆暨清漢摺片單例應彙齊繳進茲將兵部繳到

硃筆暨慶裕等繳到清漢摺片單一併開單繳進謹

奏

1458 恭繳

諭旨一封

硃筆暨清漢摺片單五十四封

兵部一封

慶裕等一封

慶裕一封

希元等一封

希元一封

定安等一封
定安一封
古尼音布等一封
古尼音布一封
阿克丹一封
啟秀一封
曾國荃等一封
曾國荃二封
裕祿等一封
裕祿一封
譚鍾麟等一封
卞寶第一封
劉錦棠等一封
崧駿一封
奎斌等一封
奎斌一封
德馨一封
杜嘎爾等一封
杜嘎爾一封

祥麟等一封
國俊一封
雲生一封
富爾丹一封
恩澤一封
依克唐阿一封
恭壽一封
濟祿一封
奕甯一封
安德等一封
安德一封
福惠一封
廷彥一封
成孚一封
李秉衡等一封
李秉衡一封
李嘉樂一封
李用清一封
王先謙一封

楊頤一封

華金壽一封

張仁黼一封

徐承祖一封

唐瑞廷一封

穆圖善等一封

穆圖善一封

長善一封

錫綸等一封

錫綸一封

批摺四封

劉錦棠一封

杜嘎爾等一封

雲生一封

徐承祖一封

1459

奏為奏銷領用紙張等項事光緒十四年正月
起至十二月止方略館領用繕寫檔書籍及辦稿

臣世鐸等跪

行文釘輯檔案等項用過紙張並光緒十四年
領用過烤炭暨舊紙張數目一併詳開列清單
繕摺

奏

聞伏乞

皇太后

皇上聖鑒謹

奏

光緒十四年十二月二十八日

臣世鐸

臣額勒和布

臣張之萬

臣許庚身

臣孫毓汶

1460 計開

光緒二年辦理方略

舊存全綿榜紙一千六百九十張

舊存黃綾二十二匹零半匹
光緒五年用過三匹高
雲半匹

方略館

舊存五摺黃榜紙六十張 釘檔皮面用無存

舊存五摺白榜紙五十張 行文林稿用無存

舊存台連紙壹千五百張 行文林稿用無存

本年領過

五摺黃榜紙貳百張 釘檔皮面用過一百零張尚存六十張

五摺白榜紙肆百張 林稿等項用過三百零張尚存五十張

三號高麗紙貳百張 釘檔皮面用無存

台連紙陸千張 林稿等項用過四百五十張尚存一千五百張

烤炭二千四百觔 無存

1461

臣世鐸等跪

奏為奏銷紙張事光緒十四年分軍機處領用過

戶部紙張循例報銷理合開列清單繕摺

奏

聞伏祈

皇太后

皇上聖鑒謹

奏

光緒十四年十二月二十八日

臣世鐸

臣額勒和布

臣張之萬

臣

臣

1462 計開

軍機處光緒十四年分領用紙張

本紙七十張 繕寫奏摺及抄錄各處奏摺行文等項用無存

白榜紙二十張 鈔錄檔案包封案件用無存

黃榜紙二百張 釘稿檔案包封案件用無存

高麗紙一百五十張 包封月摺及檔案皮面用無存

台連紙一萬張 繕清輝漢並寫底稿用無存